

芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

設計図

図面リスト

図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE
D-00-1	図面リスト1	N:S	D-30	増築管理棟_展開図2	1:100	D-60	既存宿泊棟_既存1階建具キープラン図	N:S
D-00-2	図面リスト2	N:S	D-31	増築管理棟_展開図3	1:100	D-61	既存宿泊棟_既存2階建具キープラン図	N:S
D-01	案内図	N:S	D-32	増築管理棟_展開図4	1:100	D-62	既存宿泊棟_既存建具表1	N:S
D-02	特記仕様書1	N:S	D-33	増築管理棟_建具キープラン図	1:100	D-63	既存宿泊棟_既存建具表2	N:S
D-03	特記仕様書2	N:S	D-34	増築管理棟_建具表1	1:100	D-64	既存宿泊棟_新規1階建具キープラン図	1:100
D-04	特記仕様書3	N:S	D-35	増築管理棟_建具表2	1:100	D-65	既存宿泊棟_新規2階建具キープラン図	1:100
D-05	特記仕様書4	N:S	D-36	増築管理棟_伏図	1:100	D-66	既存宿泊棟_新規建具表1	1:100
D-06	特記仕様書5	N:S	D-37	増築管理棟_耐力壁1	1:100	D-67	既存宿泊棟_新規建具表2	1:100
D-07	特記仕様書6	N:S	D-38	増築管理棟_耐力壁2	1:100	D-68	既存宿泊棟_屋根詳細図-1	1:5
D-08	特記仕様書7	N:S	D-39	増築管理棟_耐力壁3	N:S	D-69	既存宿泊棟_屋根詳細図-2	1:5
D-09	敷地求積図	1:300	D-40	活動スペース_断面図	1:100	D-70	外構図	1:300
D-10	既存配置図	1:250	D-41_1	詳細図1(新規土間図・手摺図)	1:15	D-71	外部撤去写真1	N:S
D-11	新規配置図	1:250	D-41_2	詳細図1(新規土間図)	1:15	D-72	外部撤去写真2	N:S
D-12	増築宿泊棟_仕上表	N:S	D-42	活動スペース_屋根詳細図	1:5	D-73	既存宿泊棟_既存1階撤去図	1:100
D-13	増築宿泊棟_平面・立面図	1:100 1:150	D-43	既存基礎図	1:150	D-74	既存宿泊棟_既存2階撤去図	1:100
D-14	増築宿泊棟_矩計図1	1:30	D-44	既存宿泊棟_外部仕上表	N:S	D-75	既存宿泊棟_内部撤去写真	N:S
D-15	増築宿泊棟_矩計図2	1:30	D-45	既存宿泊棟_内部仕上表	N:S	D-76	既存宿泊棟_内部撤去写真2	N:S
D-16	増築宿泊棟_展開図1	1:50	D-46	既存宿泊棟_既存1階平面図	N:S	D-77	土間斫り範囲図(配置図)	1:250
D-17	増築宿泊棟_展開図2	1:50	D-47	既存宿泊棟_既存2階平面図	N:S	D-78	土間斫り範囲図(平面図1)	1:100
D-18	増築宿泊棟_展開図3	1:50	D-48	既存宿泊棟_既存立面図	N:S	D-79	土間斫り範囲図(平面図2)	1:100
D-19	増築宿泊棟_建具キープラン図	1:100	D-49	既存宿泊棟_既存断面図	N:S	D-80	サイン図1	N:S
D-20	増築宿泊棟_建具表	1:100	D-50	既存宿泊棟_既存矩計図	N:S	D-81	サイン図2	N:S
D-21	増築宿泊棟_伏図	1:100	D-51	改修後1階平面図・増築棟平面図	1:100	D-82	サイン図3	N:S
D-22	増築宿泊棟_耐力壁1	1:100	D-52	改修後2階平面図・増築棟平面図	1:100	D-83	サイン図4	N:S
D-23	増築宿泊棟_耐力壁2	1:100	D-53	改修後増築棟平面図	1:100	D-84	サイン図5	N:S
D-24	増築宿泊棟_耐力壁3	N:S	D-54	全体立面図	1:150	D-85	サイン図6	N:S
D-25	増築管理棟_仕上表	N:S	D-55	既存宿泊棟_展開図1	1:50	D-86	サイン図7	N:S
D-26	増築管理棟_平面図	1:100	D-56	既存宿泊棟_展開図2	1:50	D-87	サイン図8	N:S
D-27	増築管理棟_立面図	1:150	D-57	既存宿泊棟_展開図3	1:50	D-88	サイン図9	N:S
D-28	増築管理棟_矩計図	1:30	D-58	既存宿泊棟_展開図4	1:80			
D-29	増築管理棟_展開図1	1:100	D-59	既存宿泊棟_展開図5	1:50			

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

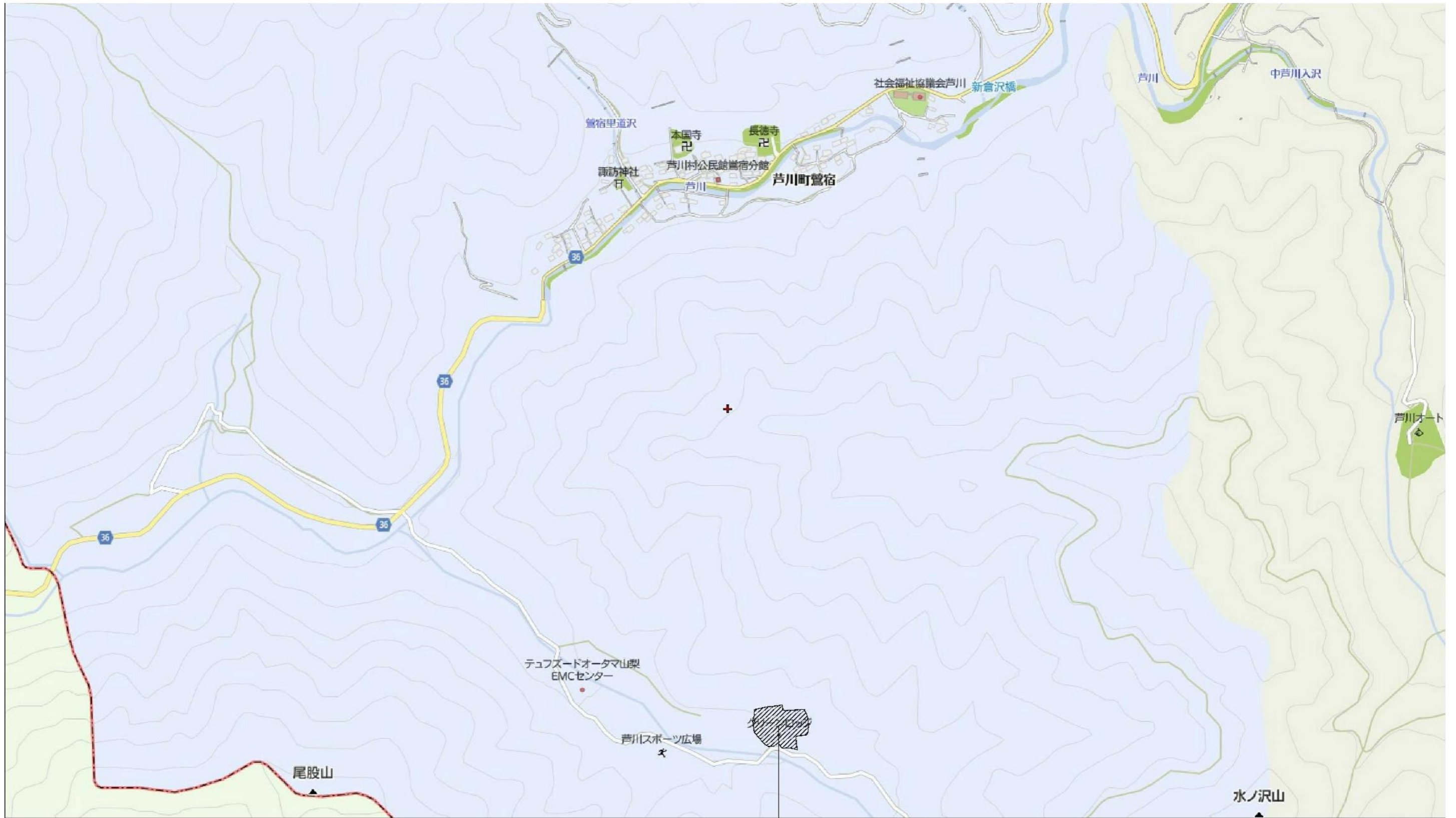
MEMO

DATE

ITEM 図面リスト1

SCALE

CHECK



住所：笛吹市芦川町鶯宿1760

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 案内図

SCALE

CHECK

NO D-01

⑤. 鉄筋工事 (構造図参照)

① 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名 (mm)
・SD295A	D16以下
・SD345	D19以下
・	
・	

② 鉄筋の継手 呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ○ガス圧接 ○重ね継ぎ手(D19以下) (5.3.4)

③ 鉄筋のからり厚さ ※からり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5)

・耐久上不利な箇所の鉄筋のからり厚さは下表による。

施工箇所	5.3.2(b)の値に加える寸法 (mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10

④ 既製コンクリート杭の杭頭補修 ・A形 ※B形 ・図示 (5.3.7)(図1.1)

⑤ 帯筋 ※H形 (5.3.7)(図2.2)

⑥ 最上階柱頭補修 ※行方 行方ない

⑦ 壁開口部の補修 一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (5.3.7)(図4.2)

耐震壁 ※B形 ・図示

⑧ 梁貫通孔の補修形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (5.3.7)(図7.1)

⑨ 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)

⑥. コンクリート工事

① レディーミクストコンクリートの類別 ※I類 ・II類 (表6.1.1)

② セメントの類別 ※普通ポルトランドセメント (6.3.2)(6.16.2)

・高炉セメントB種

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定に適合しなければならない。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下
全アルカリ	0.75%以下	算出はJIS R5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。
塩素	0.02%以下	

③ 砕石及び砂利の種類 ※A (6.3.3)(6.5.4)

・B(※コンクリート中のアルカリ総量 R=3.0kg/m³以下)

④ 混和材料の種類 ※混和剤 ・混和材 (6.3.5)

⑤ 普通コンクリートの設計基準強度 ※構造図による (6.4.1)(6.4.3)

設計基準強度 F _o (kg/cm ²)	施工箇所
②10 (21-15-25)	基礎・基礎梁
②10 (21-15-25)	土間コンクリート
①180 (18-15-25)	捨コンクリート

⑥ 型枠(せき板)の種類 塗装の有無 ※無 ・有 (6.9.3)

⑦ せき板面の気泡緩衝材張り(MCR工法) 気泡緩衝材の種類 ※炭素繊維入りエチレン気泡シート

コンクリート増打ち厚さ	※10mm ・20mm
施工箇所	※図示

⑦. 鉄骨工事 (構造図参照)

① 施工管理技術者 ※適用する ・適用しない (7.1.4)

② 鋼材の材質 ※構造図による (7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
・SS400	大梁	
・SS400	小梁、GPL、スプライムPL	
・STK400	P柱	
・BCR295	C柱	
・SN490C		
・SN490B	内ダイアフラム	
・SSC400	鋼縁	

③ 高力ボルト ※ルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト(7.2.2)(7.12.5)

AOQL ※4.0% ・2.5% (7.6.11)

検査水準 ※第6水準 (7.6.11)(表7.6.2)

試験の種類別	試験箇所	試験方法
・超音波探傷試験		※7.6.11(b)による
・放射線試験		・図示
・マクロ試験		

④ 溶接部の試験

⑤ 耐火被覆 種別 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材吹き付け ・耐火板張り ・図示

所要性能(区分) ・30分耐火() ・1時間耐火(柱・梁)

⑥ アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・C種 (表7.10.1)

⑦ 柱底均しモルタル工法 ・A種 ※B種 (表7.10.2)

無収縮モルタルの製造所 評価名簿による

⑧ 鉄骨の製作工場 ※監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3)

※溶接作業判定基準に適合する製作を行う製作工場又は建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場のうち、下記の条件を満足するもの。

(1) 契約電力 () kw以上(デマンド契約した場合はこの70%で可)

(2) 超音波探傷器()台以上又は放射線透過試験装置()台以上

(3) 建築士 1級()名以上 2級()名以上

(4) WES8103 1級()名以上 2級()名以上

(5) NDI UT Ⅲ種()名以上 Ⅱ種()名以上

⑨ 溶融亜鉛めっき

亜鉛めっきの種類別	材 料	備 考
A種		外部階段
B種	普通ボルト	
C種		

素地ごしらは、JIS H9124 溶融亜鉛めっき作業標準による。

⑧. コンクリート・ALC・押出成形セメント板工事

1 建築用コンクリートブロック 補強コンクリートブロック造 ※16(C種)普通ブロック ・16(C種)防水ブロック (8.2.2)

帳壁及び庇 ※表8.3.1及び下表による (8.3.2)

種別	施工箇所

2 ALCパネル (表8.4.2)(表8.4.3)(8.4.2)

種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	取付け工法(種別)
・外壁パネル	・1177 ・1961		※B
・間仕切りパネル	・637	・100 ・37 ・50	・B ・C ・D ・E
・屋根パネル	・981		※8.4.5による
・床パネル	・2354 ・3530	・100 ・150	

3 押出成形セメント板 ※厚物(厚さ35mm以上) (8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

種類	※無石綿イ(タイプII)	施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	工法	耐火性能
・外壁			※フラットパネル	・35・50・60	・A種	※有り
			・デザインパネル(図示)	・50・60	・B種	()
			・タイルベースパネル	・60		・無し
・間仕切り			※フラットパネル	・35・50・60	・B種	※無し
			・デザインパネル(図示)	・50・60	・C種	・有り
			・タイルベースパネル	・60		()

製造所

・薄物(厚さ35mm未満) 種類 ※無石綿イ

施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	耐火性能
	※フラットパネル		※無し
	・デザインパネル(図示)		・有り()

製造所

⑨. 防水工事 (9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)~(表9.2.8)

1 アスファルト防水

種 別	施工箇所
※A1-2	
・A-2	
・C-2	
・E-1 ・E-2	

アスファルト ※3種 ・4種 (9.2.2)

断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 (9.2.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

れんが ※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。

立ち上がり部の乾式保潔材 ※適用しない (9.2.5)

・適用する(※押出成形セメント板 ())

製造所 (表9.4.1)

2 合成高分子系ルーフィングシート防水

種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S-1	※1.2		・シルバー	※非歩行
・S-2	※2.0		・カラー	・軽歩行
・S-3	※2.0			
・S-4	※1.5			

3 塗膜防水

・ウレタン防水(株ダイフレックス、脱気絶縁複合防水工法DD-10同等、十年保証付表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	仕上げ塗料塗り
・X-1		・シルバー ・カラー
・X-2		
・X-3		
・Y-1		
・Y-2		

脱気装置

・設ける 材種() 設置数量(箇所/m)

下表以外は、表9.5.1による (9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
外部建具周囲・外壁目地	C種

④ シーリング

⑩. 石工事

1 天然石張り (10.2.1)

石の品質

床用石材 ※2等品

壁及びその他の石材 ※1等品

石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	産地・名称	仕上げの種類

2 テラゾ張り (10.2.1)

表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2)

3 壁の石張り工法 (10.3.3)(10.5.3)

外壁石張り

工法

・外壁湿式工法(※流し筋工法 ())

・乾式工法

裏面及び裏打ち処理 ※行方ない ・行方(裏面処理の場合小口共)

ドレインパイプ ※ステンレスSUS304

内壁石張り (10.4.3)(10.5.3)

工法

・内壁空構工法(※あと施工アンカー横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法)

・乾式工法

裏打ち処理 ※行方ない ・行方

石の厚さ (mm) 御影石 25mm(床見切り) 本磨き (10.6.2)

床石張りの裏面処理 ※行方ない ・行方

屋内のフックス掛け ※行方 ・行方ない (10.1.5)

・セラミックタイル

④ 床及び階段の石張り

5 その他

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

ITEM 特記仕様書2

MEMO

SCALE

DATE

CHECK

11. タイル工事

1 陶磁器質タイル	タイルの種類 (11.2.1)										
	施工箇所	形状寸法	きじ		釉薬		役物		色		備考 (同等品)
	玄関	150角	磁器	せつ器	陶器	無釉	施釉	有	無	標準	
2 壁タイル貼りの工法	タイルの見本焼き ※行わない ・ 行う										
	内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・ 積み上げ張り 外装タイル ・ 密着張り ・ マスク張り タイルの認識張り ※行わない ・ 行う										
3 陶磁器質タイル型枠先付け工法	適要タイル 種類 タイル型枠先付け面のせき板										
	小口タイル	二丁掛タイル	タイルシート 法		6.9.3[材料](b)(3)						
	大形タイル		積木法		6.9.3[材料](b)(3)						

12. 木 工 事

① 木材の品質	※12.2.1による ・ 市販品		
② 樹種	※表12.2.3による ・ 代用樹種を適用しない箇所()		
③ 集成材	品名 規格・品質 芯材の樹種 化粧単板の樹種		
	※集成材	※一般材	※たも ・ なら ・ しおじ
	・ 構造用集成材	※1等 ・ 2等	・
	・ 造作用集成材	※1等 ・ 2等	・ たも
	・ 化粧塗作用集成材	※1等 ・ 2等	・
④ 防ぎ処理	行う箇所 (12.2.9)		
5 床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 下張り用床板 ※無し ・ 有り(※合板張り ・ 板張り) 床板 ※フローリング(18.5.2による) ・ 縁甲板(※ひのき ・) ・ 大ホール ラバー付フローリングt=12mm(永大産業:ダイレクトタフ同等品) 量敷き ※畳下床板 ※有り(※合板張り) ・ 無し		

13. 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺き	屋根葺き形式 材 種 板厚(mm)		
	嵌合式立平葺、嵌合式角棧瓦棒葺カバー工法、横葺	塗装溶融亜鉛めっき銅板 ※カラーガルバリウム鋼板	※0.4 ・ 0.8
2 折板葺き	材料 ※塗装溶融亜鉛めっき銅板(板厚(mm) ※0.6 ・ 0.8) (ガルバリウム鋼板) (板厚(mm) ※) 寸法 山高(85)mm 山ピッチ()mm 型式 ※重ね形 ・ はせ締り形 ・ カン合形 軒先面戸板 ※有り ・ 無し 断熱材 ※有り(種別 5 厚 mm) ・ 無し 耐火性能 ※30分耐火 ・ 無し		
③ とい	材 種 ※配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 ・ ステンレス管 ○カラーGL銅板 (表13.6.1) 銅管製といの防露 ※表13.5.5による 掃除口 ※有り ・ 無し		

14. 金 属 工 事

1 ステンレスの表面仕上げ	種 別 施 工 箇 所	
	※HL程度	
	・ 2B程度	
	・ 鏡面仕上げ	
	・	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2)(表14.2.1)				
	種 別	施 工 箇 所			
	・ B-1種(無着色)				
	○B-2種(・ブランク系・ブラック・スタンパー)				
	・ 焼付塗装				
3 鉄の亜鉛めっき	(14.2.3)(表14.2.2)				
	表面処理方法	種 別 施 工 箇 所			
	溶融亜鉛めっき	・ A種			
		・ B種			
		・ C種			
	電気亜鉛めっき	・ D種			
		・ E種			
		・ F種			
4 軽量鉄骨天井下地の補強	屋外の天井ふところか1.0m未満の補強 ※14.4.4(g)による補強 ・ 図示				
5 手すり及びタラップ	(14.8.2)(14.8.3)				
	種 別	材 料 の 種 別 表 面 処 理			
	・ 手すり	※ステンレスSUS 304	※HL程度 ・ 鏡面程度		
		・ 鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種		
	・ タラップ	※ステンレスSUS 304	※研磨無し ・		
		・ 鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種		
6 金属成形板張り	・ アルミ押出型材(スンドレル(アサヒ金属社AS115同等品) ・ 断熱材入り金属性パネル(アイジー工業)同等				
	型 状	製 法 材 種 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面処理			
	・ スノンドレル形	・ 押出し	※7mm以下製 図示による 板厚 2.0		
	・ パネル形	・ ロール	・		
		※プレス	・		
7 アルミニウム製笠木	伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける(施工箇所は図示)				
	種 別	板厚(mm) 表面処理 固定間隔 備 考			
	・ 100形	1.5	※A-1又はB-1種	※1.3m程度	隅角部及び突出部等の役物は本体製造所の仕様による。
	・ 250形	2.2	・ B-1種	・	
	・ 350形	3.0	・ B-2種	・	
	・ 図示		()		
8 フッ素樹脂塗装鋼板	製造所				

15. 左 官 工 事

① 防火材料	※屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。		
2 モルタル塗り材料	吸水調整材 製造所 ※監督職員の承諾する製造所		
	防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 製造所 ※監督職員の承諾する製造所		
③ 床コンクリートの直均し仕上げ	※表6.2.4による		
4 仕上塗材仕上げ	(15.5.2)(表15.5.1)		
	種 別	呼 び 名 仕 上 げ の 形 状 等	
	・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状
		・ 内装薄塗材E	砂壁状じゅうらく
		・ 可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状
		・ 防水形外装薄塗材E	・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状
		・ 外装薄塗材S	砂壁状
		・ 内装薄塗材W	京壁状じゅうらく
	・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE	・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ※凹凸模様
		・ 可とう形複層塗材	耐摩性 ※3種
		・ 複層塗材Si	上塗材
		・ 複層塗材E	溶媒 ※水系 ・ 溶剤系
		・ 複層塗材RE	樹脂 ※アクリル系
	・ 複層塗材RS	・	
	・ 防水形複層塗材CE	外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック	
	・ 防水形複層塗材E	防水形の増塗り材 ※行う	
	・ 防水形複層塗材RS		
	・ 軽量骨材仕上塗材	吹付け用軽量塗材 砂壁状	
		こて塗り用軽量塗材 平たん状	
4 仕上塗材仕上げ	・ 塗壁 (フッコー: CITTA同等)		

16. 建 具 工 事

① アルミニウム製建具	外部に面する建具 (表16.2.1)				
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込(mm) 施工箇所
	○A種	S-4	A-3	W-4	70
	・ B種	S-5			
	・ C種	S-6	A-4	W-5	100
	表面処理 ※B-1 ・ B-2(※ブランク系・ブラック・スタンパー) (表14.2.1)				
	屋内建具 表面処理 ※C-1 ・ C-2(※ブランク系・ブラック・スタンパー) (表14.2.1)				
2 網戸	防虫網 (16.2.3)				
	網の種類 ※ステンレス製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製				
	型 式 ※外部可動式 ・ 固定式				
③ 鋼製建具	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.3.2)(表16.3.1)				
	※適用する ○適用しない				
	製品の寸法許容差(ただし書きの建具) (16.3.4)(表16.3.3)				
	※製造所標準製作規定寸法許容差による ・ 表16.3.3による				
④ 鋼製軽量建具	品質規格 (16.4.2)				
	※建築工事共通仕様書による ・ 製造所標準仕様による(製造所 評価名簿による)				
	簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2)				
	※適用する(※A-3 ・) ・ 適用しない				
	製造所				
⑤ 鋼製軽量自閉装置付引き戸	製品の許容寸法差(ただし書きの建具) (16.5.4)(16.3.4(b))				
	※製造所標準製作規定寸法許容差による ・ 表16.3.3による				
6 ステンレス製建具	表面仕上 ※HL仕上げ ・ 鏡面仕上げ (16.5.4)				
	曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.5.5)				
7 自動ドア開閉装置	開閉方法 センサの種類 (16.8.2)(表16.8.2)				
	開閉方法		センサの種類		
	※スライディングドア		・ マットスイッチ ・ 電子マットスイッチ		
	・ スイングドア		・ 光線スイッチ ・ 音波スイッチ		
	・ ダブルスライドドア		※熱線スイッチ ・ 光電スイッチ		
	・ 挟まれ防止機能付				
⑧ 木製建具	かまち戸の樹種 かまち() 鏡板() (16.6.2)				
	ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙 ・ 鳥の子 (表16.6.3)				
⑨ 建具用金物	マスターキー ※作成する ・ 作成しない (16.7.4)				
	建具金物の種類 (表16.7.1)				
	種 別	品 質 ・ 規 格			
	モノロック	本締まり付きモノロック			
	シリンダ錠	シリンダ本締まり錠			
	ドアクローザー	ドアクローザー			
	模範錠	模範錠			
	ピボットヒンジ	ピボットヒンジ			
	ヒンジクローザー	ヒンジクローザー			
	フロアヒンジ	フロアヒンジ			
⑩ ガラス	・ 合わせガラス ○ 網入型板ガラス ⊙ 型板硝子 t=4.0mm (16.13.2)				
	品 種	構 成 種 類			
	※フロート 合わせガラス	・ フロート 板合わせガラス			
	・ 網入り磨き合わせガラス	・ 熱線吸収、フロート 板合わせガラス			
		・ 網入り磨き、フロート 板合わせガラス			
		・ 網入り磨き、熱線吸収板合わせガラス			
	・ 強化ガラス: スクールテン/ホワイト				
	材料板ガラスによる種類		種 別		
	※フロート 強化ガラス	※フロート 板強化ガラス			
		・ 熱線吸収板強化ガラス			
	・ 型板強化ガラス	※型板強化ガラス			
	・ 熱線吸収板ガラス				
	品 種	色 調			
	※熱線吸収フロート 板ガラス	・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ			
	・ 熱線吸収網入磨き板ガラス	・ グレー ・ ブロンズ			
	・ 太陽光発電パネル(シャープ多結晶合わせガラス同等品)				

① ガラスとめ材	① 複層ガラス	品 種	板ガラスの組み合わせ		
		品 種	板ガラスの組み合わせ		
		・ 断熱複層ガラス ・ 日射熱遮へい複層ガラス			
		・ 熱線反射板ガラス			
		品 種	反射特異面	色 調	映像調整
		※熱線反射ガラス	※内面・外面	・ ブルー ・ グレー	※行わず
		・ 高性能熱線反射ガラス	内面	・ ブロンズ ・ シルバー	・ 行う
		・ 倍強度ガラス			
		材料板ガラスによる種類	色 調		
		※倍強度フロート板ガラス			
		・ 倍強度熱線吸収板ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・		
		・ ガラスブロック ※JIS A5212による			
		寸法(mm)	色 調	ノクターン	防火認定
		※クリア	・ 熱線反射		※無し
		・ 乳白	・ カラー()		・ 乙種防火
	(16.13.2)(表16.13.1)				
	建具の種類	材 種			
	アルミニウム製	※シーリング材 ・ ガスケット(F I X 部はシーリング材)			
	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材			
	ステンレス製	※シーリング材			
	ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。				
	名称	種類	張り面	性能等	
	※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1	
	品質 JIS A5759による				
12	ガラス用フィルム				
13	重量シャッター				
14	軽量シャッター				
15	オーバーヘッドドア				
17. カーテンウォール工事					
1	メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。			
	カーテンウォール材料の種類	規 格 等			
	種 類	規 格 等			
	※アルミニウム製	※16.2.3のアルミニウム製建具の材料による			
	カーテンウォールの方式				
	・ 方立方式				
	・ ノックマリオン方式(・ 単純2 辺支持構法 ・ SSG構法)				
	・ パネル方式				
	・ スノンドレル方式				
	・ 小型パネル組み合わせ方式(・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式)				
	シーリング材及びガラス取付材料				
	被着体の組合せ	シーリング材の種類			
	記号	主成分による区分	耐久性による区分		
	金属	ガラス			
	石、タイル				
	ガラス	ガラス			
	※ 上記以外のシーリング材の種類は表9.5.1による				
	構造用ガスケット	※適用しない (17.2.2)			
		・ 適用する (施工箇所:)			
	断熱材	※適用しない (17.2.2)			
		・ 適用する (種類: 厚さ(mm) : 施工箇所 ※図示)			
	製品の寸法許容差	※ 表2.2.2.1による (17.2.3)(表17.2.1)			
		・ 製造所標準製作規定寸法許容差による			

2 PCカーテンウォール	アルミニウムの表面処理 (17.2.3)(表14.2.1)	種別	色彩等	
		・ A-1種 ・ B-1種	無着色	
		・ A-2種 ・ B-2種	※ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー ・	
		・ D種	※ 塗装材料() 焼付け方法() コート() ベーク	
		耐風圧性能 (17.1.3)	性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第109号に定められた風圧力に対して安全であること。	
		・ 正圧	kg/m ² 以上及び負圧 kg/m ² 以上に対して安全であること。	
		主要部材のたわみ	支点間距離(h)	
		※4 m以下	※±(1/150) × h	状態
		・ 4 mを超える	かつ絶対量20 mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が生じること
		耐震性能 (17.1.3)	設計用震度 水平方向(K _h) ※1.0 ・ 垂直方向(K _v) ※0.5 ・	
		構造種別	層間変位量(h = 支点間距離)	状態
		鉄骨造	※±(1/100) × h 以上	※部材の破損、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じること
		鉄筋コンクリート造	※±(1/200) × h 以上	シールリングは補修程度
		鉄骨鉄筋コンクリート造		
		水密性	・ W-4 ・ W-5 (17.1.3)	
	気密性	・ A-3 ・ A-4 (17.1.3)		
	耐火性能	※適用しない ・ 適用する(時間、施工箇所: 図示)		
	映像調整	適用は16章建具工事の11項ガラスによる		
	製造所	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。		
	コンクリートの種類及び品質	※2.3.2による		
	・ 下製による(ただし、下表以外は2.3.2による)			
	コンクリートの種類	設計基準強度(F _o)	所要スランプ(cm)	
	鉄筋	※ SD295A ・		
	取付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)及び材質	(14.2.3)(表14.2.2)		
	金物種類及び部位	内部	外部	
	PC版打込み金物	※ E種 ・	※ A種 ・	
	PC版打込み取付ボルト	※ E種 ・	※ ステンレスボルト	
	2次ファスナー	※ E種 ・	※ A種 ・	
	取付ボルト	※ E種 ・	※ A種 ・	
	レベル調整ボルト	※ E種 ・	※ A種 ・	
	※ 上記以外がカーテンウォール製作所の仕様による			
	シーリング材料 (17.3.2)(9.5.2)	施工箇所		
		記号	主成分による区分	
	カーテンウォール板間目地		耐久性による区分	
	※ 上記以外のシーリング材の種類は表9.5.1による			
	断熱材	※適用しない		
		・ 適用する (種類: 厚さ(mm) 施工箇所 ※図示)		
	製品の寸法許容差	※表2.2.3.1による		
		・ 製造所標準製作規定寸法許容差による		
	表面仕上げ	※()		
	耐火材料	施工部位	種別	
		・ ファスナー部		
		・ 取付ブラケット		
		・ パネル目地部		
	耐風圧性能 (17.1.3)	性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第109号に定められた風圧力に対して安全であること。		
		・ 正圧 kg/m ² 以上及び負圧 kg/m ² 以上に対して安全であること		

18. 塗装工事	耐震性能 (17.1.3)	設計用震度 水平方向(K _h) ※1.0 ・ 垂直方向(K _v) ※0.5 ・			
	構造種別	層間変位量(h = 支点間距離)	状態		
	鉄骨造	※±(1/100) × h 以上	※部材が割傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない。シールリングは補修程度		
	鉄筋コンクリート造	※±(1/200) × h 以上			
	鉄骨鉄筋コンクリート造				
	18. 塗装工事				
	1	防火材料	※屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく 基材同等の認定表示のあるもの。		
	2	塗装業者	※日本塗装工業会の会員 ・ 監督職員の承諾する業者		
	3	素地ごしらえ	垂鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4)(表18.2.3)(表18.3.4)		
		種別	施工部位及び塗料種別		
		A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗料、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗料の場合		
		B種	A種、C種以外		
		C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合		
	4	床用塗料塗り	せつこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 (18.2.7)(表18.2.7)		
		種 別	※B種 ・ A種 (施工箇所: 男子WC、女子WC、給湯室)		
	材 質	ウレタン樹脂系塗料(※標準色)			
	仕上種別	※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ			
	塗布量	プライマー塗りのうえ主剤2 回塗りとし、総塗布量は0.5 Kg/m ² 以上とする			
5	防塵用塗料塗り	材 質 水性アクリル系樹脂塗料(※標準色)			
	仕上種別	コーティング(ローラー刷毛塗り)			
	塗布量	主剤2 回塗りとし、総塗布量は0.25 Kg/m ² 以上とする。			
①9. 内装工事					
①	ビニル床シート張り	種類 (19.2.2)			
	※発泡層のないもの	※NC ・	※無地 ・ マーブル柄	※2.0	
	・ 発泡層のあるもの		※柄物 ・ 無地		
	工法	※熱溶接工法 ○突付け(施工箇所)		(19.2.3)	
②	ビニル床タイル張り	種類 (19.2.2)			
	※コンポジションビニル床タイル(半硬質)	CT	※2.0		
	・ コンポジション床タイル(軟質)	CTS			
	・ ホモジニアスビニル床タイル	HT	・ 3.0		
	○ナイロン100%シーグラス				
3	帯電防止床タイル張り	種類 ※コンポジションビニル床タイル (19.2.2)			
	性能	体積抵抗値(JIS K6911による) 1.0 × 10 ⁹ Ω 以下			
	厚さ	※2 mm ・ 4.0又は4.5 mm			
④	ビニル幅木	高さ(mm) ※60 ・ 75 ○100 ○300 (19.2.2)			
5	合成樹脂塗床	種類 (19.4.2)(表19.4.1~表19.4.7)			
	種別	仕上げの種類			
	・ 弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ			
	・ エポキシ樹脂塗床材	※難燃剤を展べ仕上げ			
		・ 厚膜流し展べ仕上げ (※平滑 ・ 防汚)			
		・ 樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・ 防汚)			
		・ 防汚仕上げ			

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

ITEM 特記仕様書4

MEMO

SCALE

DATE

CHECK

⑤ せっこうボード その他のボード張り	(19.7.2)(表19.7.1)			③ 断熱材	(19.9.2)				⑥ トイレブース	表面仕上げ材 ・メラミン樹脂化粧板(標準色 アルミ製コーナーエッジ付) (20.2.5) 足形状 ※ 幅木型 ・足金物型 ・ポリエステル樹脂化粧板 製造所 評価名簿による
	種類	記号	厚さ(mm)、規格等		種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等		
・難燃木毛セメント板	—	・15 ・20 ・25	③ 13 可動間仕切	・押出法	※2種	・一般部	※25	特定フロンを使用しないもの	(20.2.12)	
・断熱木毛セメント板	—	・15 ・20 ・25		・吹付硬質ウレタンフォーム断熱材(現場発泡断熱材)	※3種(皮付き)	・土層接地スラブ下面	※25			特定フロンを使用しないもの ※難燃3級
・けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2(無石綿)・6・4	③ 14 浴室天井材	※断熱材補修部分				製造所 監督職員の承諾する製造所	(20.2.14)	
○ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9・12) ・凹凸タイプ(※12・15・19)		構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	仕上げ			※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・焼付塗装
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		※フラットタイプ9(不燃) ・凹凸タイプ(・12・15)(不燃)	③ 1 耐震スリット	※パネル式	・	※鋼板(※0.5)	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・焼付塗装	事務所	製造所	
○せっこうボード	GB-R	9.5(準不燃) 12.5(不燃)		量下地	厚さ(mm)	※40	・65			・80
・シージングせっこうボード	GB-S	9.5(準不燃) 12.5(準不燃)	③ 2 止水板	フローリング類	厚さ(mm)	※80	・95	10 ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.2.14)	
・強化せっこうボード	GB-F	9.5(不燃) 12.5(不燃)		形状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式	③ 表示標識				
○硬質せっこうボード	GB-R-H	9.5(準不燃) 12.5(不燃)	③ 階段滑止め	材種	ステンレスSUS304 (20.2.6)	13 煙突用成形ライニング材				
○化粧せっこうボード	GB-D	9.5(不燃)		形状	ビニルタイヤ入り	14 キャスタブル耐火物				
・化粧せっこうボード(木目)		12.5(不燃)幅440程度 模様(※柱目・板目)専用下地材付き	④ 階段手すり	幅(mm)	約35	15 天井点検口				
・メラミン樹脂化粧板	—	JIS K6903による 厚さ1.2		取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法	16 床点検口				
・吸音用穴明き石こうボード		9.5	5 フリーアクセスフロア	(20.2.2)				17 鋼製書架及び物品棚	(20.2.11)	
・耐水石こうボード		12.5		施工箇所	構法	設定高さ(mm)	適用地震時水平力			表面仕上げ材
(表9.6.1)				④ 20. ユニット及びその他の工事				19 くつふきマット	(20.2.8)	
軽量鉄骨下地ボード 遮音壁の遮音シート材 ※アクリル系シーリング材 ・ジョイントセメント				目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	目地材			シーリング材(見え掛かりのみ)
7 吸音材	(表19.7.1)			④ 3 耐震スリット	目地寸法(mm)	※20×10	※20×10	目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)
	種類	記号	厚さ(mm)		形状	・垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型	・有り	・水平方向
※ロックウール吸音ボード1号	RW-8	※25	④ 4 階段手すり	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	(20.2.10)	
・グラスウール10K		※100		形状	・垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	・耐火型			・有り
(表19.5.2~19.5.7)(表19.5.1~表19.5.4)				④ 5 フリーアクセスフロア	目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
種別	格種	工法	仕上塗装		目地材	シーリング材(見え掛かりのみ)	シーリング材(内外とも)	11 黒板及びホワイトボード		
※天然木化粧複合フローリング	※なら ・ひのき	※釘どめ工法(C種)	※有 ・無	目地寸法(mm)	※20×10	※20×10	11 黒板及びホワイトボード			
・ラバー付合板フローリング t=12mmなら	・	・接着工法	Gワックス	製造所	11 黒板及びホワイトボード					
・	・	・	・	形状	11 黒板及びホワイトボード					
※永大産業(ダイレクトタフ同等品)				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
(表19.8.2)					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
8 フローリング張り	施工箇所	壁紙の種類			防火性能の級別	品質等	11 黒板及びホワイトボード			
		紙	織物	ビニル			化学繊維	無機質	11 黒板及びホワイトボード	
9 壁紙張り	仕上表参照	・	・	○	・	・	※1級	・	・	
		・	・	・	・	・	※1級	・	・	
10 畳敷き	適用箇所		種別			11 黒板及びホワイトボード				
	表12.5.1による床組	・A種	※B種	・C種	・D種	11 黒板及びホワイトボード				
11 カーペット敷き	適用箇所		種別			11 黒板及びホワイトボード				
	ポリステレンフォーム床下地	※C種	・D種	11 黒板及びホワイトボード						
・ウエノシステック:マトロン同等品				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
・図示による					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
・織じゅうたん				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
(19.4.3)(表19.3.1)					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
種別 ・A種 ・B種 ・C種				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
(表19.3.1)					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
バイル形状 ・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
色柄 ※単一色(無地) ・柄物(標準品)					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
帯電性 人体帯電圧 3Kv以下				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
・タフテッドカーペット					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
(19.3.4)(表19.3.4)				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
バイル形状					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
バイル長(mm)				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
工法					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
帯電性				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
人体帯電圧					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
※3Kv以下				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
・カットバイル					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
※5~7				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
※全面接着工法					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
・マルチレベルループ				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
※4~6					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
・レベルループバイル				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
※4					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
・カット、ループ併用				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
・					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
○タイルカーペット				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
(19.4.3)(表19.3.2~表19.3.3)					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
バイル形状				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
種別					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
電気抵抗値(Ω)				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
種別					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
※A種 ・B種				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
※適用しない					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		
・10°Ω以下				④ 5 フリーアクセスフロア	④ 20. ユニット及びその他の工事				11 黒板及びホワイトボード	
・カットバイル					目地	内壁(幅×深さ)	外壁(幅×深さ)	11 黒板及びホワイトボード		

② 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(L×W×H mm)</th> <th>適用内容</th> <th>規格・品質等</th> </tr> <tr> <td>① 流し台</td> <td>・1200 ①1500・1800</td> <td>トラップ付き</td> <td>※優良住宅部品</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>※600(IHクッキングヒーター)・700</td> <td>バックガード※有り・シロココファン(セキョウキッチンI型)</td> <td>・ミニキッチン</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200・900・600・1500</td> <td></td> <td>※市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り棚</td> <td>※1200・900</td> <td>ステンレス製 ※1段式</td> <td></td> </tr> </table> <p>※(サンウエーブGSFシリーズ同等品)</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製 ・1800x1200 ・600x900 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p>	種類	寸法(L×W×H mm)	適用内容	規格・品質等	① 流し台	・1200 ①1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品	・コンロ台	※600(IHクッキングヒーター)・700	バックガード※有り・シロココファン(セキョウキッチンI型)	・ミニキッチン	・つり戸棚	・1200・900・600・1500		※市販品	・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式	
種類	寸法(L×W×H mm)	適用内容	規格・品質等																		
① 流し台	・1200 ①1500・1800	トラップ付き	※優良住宅部品																		
・コンロ台	※600(IHクッキングヒーター)・700	バックガード※有り・シロココファン(セキョウキッチンI型)	・ミニキッチン																		
・つり戸棚	・1200・900・600・1500		※市販品																		
・水切り棚	※1200・900	ステンレス製 ※1段式																			
③ 屋内掲示板																					
2.2 移動間仕切	<table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・一般タイプ</td> <td>40</td> <td>※鋼板</td> <td>・焼付け塗装 ・壁紙貼付</td> <td>ホール</td> </tr> <tr> <td>・遮音タイプ</td> <td></td> <td>※鋼板</td> <td>・焼付け塗装 ・壁紙貼付</td> <td></td> </tr> </table> <p>表面仕上げの壁紙貼付の品質は18章内装工事による 製造所 評価名簿による</p>	遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所	・一般タイプ	40	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付	ホール	・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付						
遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所																	
・一般タイプ	40	※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付	ホール																	
・遮音タイプ		※鋼板	・焼付け塗装 ・壁紙貼付																		
④ 洗面カウンター ※設備	<p>材質 ・メラミン樹脂化粧板(芯材:集成材) ・人工大理石(品質 ※図示)</p> <p>奥行き(mm) ・約450 ・約600</p>																				
2.4 誘導用及び 注意喚起用床材	<p>屋内 ※塩ビビニル製 ・磁器又はセラミックタイル(※300・) ・レジンコンクリート製</p> <p>屋外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はセラミックタイル(※300・)</p>																				
2.5 敷地境界石標	・ A種 ※B種 (20.5.1)(表20.5.1)																				
2.6 旗竿	<p>材質 ※アルミニウム合金製</p> <p>形式 ※テーパー型 ・同一断面型</p> <p>地上高さ(m) ・6 ・8 ・10 ・12</p> <p>操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式</p> <p>固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</p> <p>製造所</p>																				
2.7 旗竿受金物	材質 ステンレス製SUS304																				
⑤ フェンス	※ビニル被覆エキスパンドフェンス ①樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス 製造所																				
2.9 屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し</p> <p>施錠 ※有り ・無し</p> <p>製造所</p>																				
3.0 車止め支柱	ステンレス製(上下式鎖内蔵型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※ スプリング付 ・スプリング無し																				
⑥ (ミニ)キッチン	ミニキッチン:W=1,200(クリンプレティ/クリナップ同等品)																				
3.2 調理実習台	900x2400																				
3.3 フード	SUS製																				
⑦ 総合案内板	サイン図参照																				
⑧ 室名札	サイン図参照																				
⑨ ピクトサイン	サイン図参照																				
⑩ 埋込み消火器ボックス5箇所																					
3.8 階数表示板	ABS樹脂製、153x81x20(株新協和:SK-602、同等)																				
3.9 笠 笠	スチール製メラミン焼付け、400x877x590(山崎株:YA-31L-I D、同等)																				
4.0 室内空気中の化学物質 の濃度測定	<p>監督員が指定する室の揮発性有機化合物室内濃度を、厚生労働省が標準的方法として示した検査方法で測定し、定める指針値以下であることを確認し、報告すること。</p> <p>測定対象室</p> <p>測定対象室</p>																				

21. 排水工事																																		
① 排水管	<p>(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>管形状(接合方法)</th> </tr> <tr> <td>※30心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※外圧管(※1種・2種)</td> <td>B形(ゴム接合)</td> </tr> <tr> <td>①硬質塩化ビニール管</td> <td>※VP ・VU</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋳鉄製マンホールふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ①T-20用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>①グレーチングふた</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メバエッチ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>※受枠付き</td> <td>・溝ふた用</td> <td>・歩行用</td> <td>※細目</td> <td>※凹凸形</td> </tr> <tr> <td>①ステンレス製</td> <td>・ボルト固定 ※無し ・図示</td> <td>・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目</td> <td>・凹凸形</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p> <p>※B種 (21.2.3)(表3.2.1)</p> <p>製造所</p>	材種	管の種類	管形状(接合方法)	※30心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種・2種)	B形(ゴム接合)	①硬質塩化ビニール管	※VP ・VU		種類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)	・T-2用 ・T-6用 ①T-20用	・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形		材質	形式	種類	適用荷重	メバエッチ	上面形状	・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形	①ステンレス製	・ボルト固定 ※無し ・図示	・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	・凹凸形
材種	管の種類	管形状(接合方法)																																
※30心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(※1種・2種)	B形(ゴム接合)																																
①硬質塩化ビニール管	※VP ・VU																																	
種類	適用荷重																																	
・水封形 ・簡易気密形(ノックン式)	・T-2用 ・T-6用 ①T-20用																																	
・密閉形(テーパーノックン式) ・中蓋付密閉形																																		
材質	形式	種類	適用荷重	メバエッチ	上面形状																													
・鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形																													
①ステンレス製	・ボルト固定 ※無し ・図示	・樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目	・凹凸形																													
② 排水樹及びふた																																		
③ 埋戻し土																																		
4 浸透管及び浸透樹																																		
22. 舗装工事																																		
① 盛土に用いる材料	①A種 ・B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)																																	
2 遮断層及び凍上抑制層の材料	<p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 (22.2.5)</p> <p>・凍上抑制層 ※切り込み砂利</p>																																	
3 路床安定処理用材料	<p>※添加材料による安定処理 (表22.2.2)</p> <p>種類 ・普通砕石(丸石)セト ・フィッシュセトB種 ・生石灰() ・消石灰()</p> <p>添加量 Kg/m³</p>																																	
4 路床土の支持力比試験	※行う(※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)																																	
5 路床締め固め度の試験	※行う (22.2.5)																																	
6 路盤材料	<p>※再生クラッシャーラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.1)</p> <p>・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)</p> <p>(22.4.2)(表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>※顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カラーアスファルト舗装</td> <td>※無し ・有り</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材(焼成) ・着色骨材(樹脂被覆)</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3)</p> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>・寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表面</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td colspan="2">・粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table> <p>シーラコート ※行わない ・行う(施工範囲) (22.4.5)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)</p> <p>早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6)</p>	舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物	・カラーアスファルト舗装	※無し ・有り	・	区分	※一般地域	・寒冷地域	表面	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																
舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類																																
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物																																
・カラーアスファルト舗装	※無し ・有り	・																																
区分	※一般地域	・寒冷地域																																
表面	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F) ・細粒度アスファルト混合物(13F)																																
基層	・粗粒度アスファルト混合物(20)																																	
⑦ アスファルト舗装																																		
⑧ コンクリート舗装																																		

9 透水性舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)																																					
1.0 排水性舗装	<p>アスファルト混合物 (表22.7.2)</p> <p>※改質アスファルト I型 ・改質アスファルト II型</p> <p>タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (表22.7.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用時期</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>下記以外</td> <td>PKR-T1</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>PKR-T2</td> </tr> </table> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.6)</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・カラー平板(C)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・洗出平板(W) ・擬石平板(S)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※標準ブロック</td> <td>車道部 ※80 ・</td> <td rowspan="2">※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック</td> <td>歩道部 ※60 ・</td> </tr> <tr> <td>・植生ブロック</td> <td>※80 ・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>製造所 ※監督職員の承諾する製造所</p> <p>・舗石舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>規格品</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うろこ張り</td> <td>※2等品</td> </tr> </table>	適用時期	種類	下記以外	PKR-T1	冬期	PKR-T2	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂	・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル	種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック	車道部 ※80 ・	※標準品	・透水性ブロック	歩道部 ※60 ・	・植生ブロック	※80 ・100		種類	厚さ(mm)	施工方法	規格品	※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※2等品
適用時期	種類																																					
下記以外	PKR-T1																																					
冬期	PKR-T2																																					
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																			
※普通平板(N) ・カラー平板(C)	※300角	※60	※砂																																			
・洗出平板(W) ・擬石平板(S)			・モルタル																																			
種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																				
※標準ブロック	車道部 ※80 ・	※標準品																																				
・透水性ブロック	歩道部 ※60 ・																																					
・植生ブロック	※80 ・100																																					
種類	厚さ(mm)	施工方法	規格品																																			
※小舗石(花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※2等品																																			
2.3 植栽工事	<p>① 樹木の植栽基礎整備 ※行う (23.2.2)(23.2.3)(図23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12m以上</td> <td>※100 ・120 ・150</td> <td rowspan="2">①A種</td> <td rowspan="2">・葉隠りの範囲 (樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>①7~12m</td> <td>※80 ・100</td> </tr> <tr> <td>・7m未満</td> <td>※60 ・80</td> <td>・C種</td> <td>※埋込み部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・D種</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>・芝、地被類 ※20 ※B種 ・ ※植栽範囲</p> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで埋込み用土で盛土を行う。</p> <p>② 埋込み用土 ※現場発生土の良質土 ①客土(※畑土 ・ 黒土) (23.3.2)</p> <p>3 土壌改良材 ※行う(※バーク堆肥(50kg/m³) ・) (23.2.3)(23.2.4)</p> <p>施工箇所 ※埋込み部分 ・ 図示</p> <p>4 支柱材 ※杉の焼丸太 ・ 竹 (23.3.2)</p> <p>5 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・ わら 及び こも (23.3.2)</p> <p>6 芝張り</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>※こうらい芝</th> <th>・野芝</th> </tr> <tr> <td>客土</td> <td>※行わない</td> <td>・行う(※畑土 ・ 黒土)</td> </tr> </table> <p>(23.4.2) (23.3.2)</p>	樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12m以上	※100 ・120 ・150	①A種	・葉隠りの範囲 (樹高7m以上)	①7~12m	※80 ・100	・7m未満	※60 ・80	・C種	※埋込み部分			・D種	・図示	種類	※こうらい芝	・野芝	客土	※行わない	・行う(※畑土 ・ 黒土)													
樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																			
・12m以上	※100 ・120 ・150	①A種	・葉隠りの範囲 (樹高7m以上)																																			
①7~12m	※80 ・100																																					
・7m未満	※60 ・80	・C種	※埋込み部分																																			
		・D種	・図示																																			
種類	※こうらい芝	・野芝																																				
客土	※行わない	・行う(※畑土 ・ 黒土)																																				

<p>④. 解体工事</p> <p>1. 建設副産物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律台147号）」及び「再生資源の利用に促進に関する法律（平成3年法律第48号）」に基づき適正に処理を行うこと。</p> <p>2. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下、「建設リサイクル法」という。）及び「同施行規則」に基づき、適正に再資源化等を行うこと。</p> <p>3. 解体工事にあたっては、工事現場内で使用材料ごとに分別解体を行うこと。</p> <p>4. 施工者は、解体発生材の処理について「建設副産物適正処理推進要領」に基づき適正に処理すること。</p> <p>5. 建設副産物のうち建設リサイクル法で特定しているもの以外の有用なもので原材料として利用できるもの（以下、「再生資源」という）は、建設工事等の資材の材料として利用（以下「再資源化」という。）できるようにすること。（鉄くず、アルミ、ガラス等）</p> <p>6. 本工事の施工者が関係法令に基づき必要となる諸官庁への手続きについては、もれなく行うこと。</p> <p>7. 施工者は、契約後速やかに施工計画書を提出するとともに、建設副産物の発生抑制、再資源化及び減量化並びに適正処理について「再生資源利用促進計画書」を作成して、監督員の承諾を受けること。</p> <p>8. 施工者は、解体工事の完成後、速やかに「再生資源利用促進計画」の実施状況を把握して「再生資源利用促進実施書」に管理表（マニュアル）を添付して、監督員に提出すること。</p> <p>9. 解体建物及び解体工作物等の工事範囲は、地中内にある構造物（地中梁、基礎、配管類等）まで撤去し、埋め戻し及び整地すること。ただし、利用する配管類は保存すること。</p> <p>10. PCB入り機器類については、液漏れ等防止のため腐食しない容器に収容して監督員の指定する場所まで運搬し、監督員の収納すること。</p> <p>11. 分別解体の状況、材料ごとの運搬車への積み込み状況、運搬車が中間処理施設へ廃棄物を搬入している状況等は、入念に写真撮影しておくこと。また、中間処理施設から先の処理経路についても適正に処理されているかが確認できる写真・契約書等の資料を監督員の指示により提出すること。</p>	<p>19. 工事関係提出書類等については「工事関係提出一覧表」（宮精課ホームページ掲載）を熟読し遺漏の無いように提出すること。</p> <p>20. 次の工事施工計画書を提出すること。 ○総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの） ・工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による） このなかで、使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者等）も明らかにすること。</p> <p>21. 環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。（建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）</p> <p>22. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(共に最新版)」による。</p> <p>23. 地中埋設物について、図面及び現地により、詳細に調査すること</p> <p>24. 前面道路周辺の近隣住民の安全に十分に配慮すること。</p> <p>25. 請負者は、本工事でリサイクルできない廃棄物（中間処理施設へ持ち込めないもの）は県内最終処分場での優先処理に努めるものとする。</p> <p>26. 請負者は、本工事で25で処理する廃棄物及びメーカー等が回収する廃棄物以外の廃棄物は、県内中間処理施設での優先処分に努めること。</p> <p>27. 工事完成時に工事関係書類等を必要部数提出すること。（山梨県営繕課工事関係提出一覧表に準じる）</p> <p>28. 工事写真を完成（工事検査）時に提出すること。</p>		
	<p>⑤. 雑工事</p> <p>1 ポスト 型郵便受け 1ヶ所</p> <p>② ビクチャレール 埋込型（杉田エース：C-K） 管理棟</p> <p>3 バリカー 5本</p> <p>④ 屋外看板・屋内サイン サイン図参照</p> <p>⑤ 消火器ボックス S t 設置型（杉田エース：UFB-3F-WHT）同程度5ヶ所</p> <p>⑥ 消火器・大型消火器 ABC粉末10型 5本</p> <p>7 定礎 S t 設置型（杉田エース：UFB-3F-WHT）同程度6ヶ所</p> <p>8 消火器ボックス ステンレスPL 600×600 エッチング文字</p>		
<p>12. 解体工事中に飛散性アスベストが含有されている恐れのある材料が確認された場合は、作業を中断して、速やかに監督員に報告し、指示に従うこと。（事前調査では飛散性のアスベストは確認されなかった。調査報告を参照して解体工事を行うこと。非飛散性及びびみなしアスベスト含有の部材はリストを確認して適切に処理を行うこと。）</p> <p>13. 現場への搬入路は、破損のないよう留意し、もし破損した場合は速やかに復旧すること。</p> <p>14. 工事関係者以外の者の現場への侵入防止や適切な場所に交通整理員を配置するなどして解体工事現場内及び周辺道路の安全管理に十分配慮すること。</p> <p>15. 有害物質等及び有害物質等含有物の撤去及び処理にあたっては、事前調査・事前措置を行い関係法令等に従って適正に行うこと。 （関係法令等） ○廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律） ○労働安全衛生法・同法施行令・石綿障害予防規則 ○大気汚染防止法 ○PCB廃棄物特別措置法（PCB廃棄物ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する法律） ○フロン回収破壊法（特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律） ○ダイオキシン類対策特別措置法・同法施行令・廃棄物焼却施設内におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱・環境庁ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル ○建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）</p> <p>16. 解体工事で発生が予想される騒音、粉塵、振動等については、事前にその内容を検討して必要な措置を行うこと。なお、苦情等が発生した場合は、速やかに誠意をもって対応すること。</p> <p>17. 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除 (1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 (3) 請負者が(1)の報告等を怠った場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。</p> <p>18. 請負者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。また、請負者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。</p>			

TITLE

MEMO

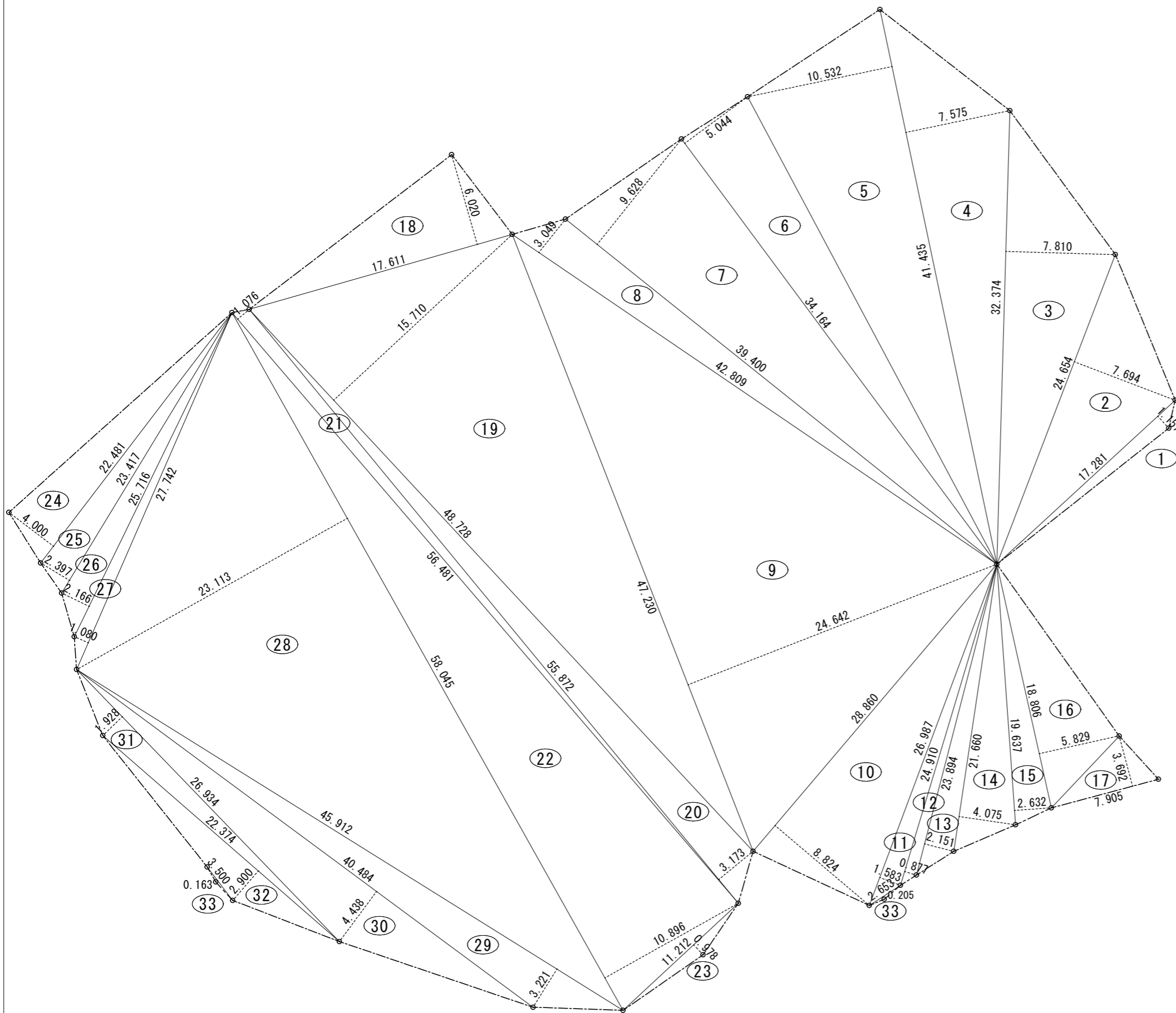
DATE

ITEM

SCALE

CHECK

NO



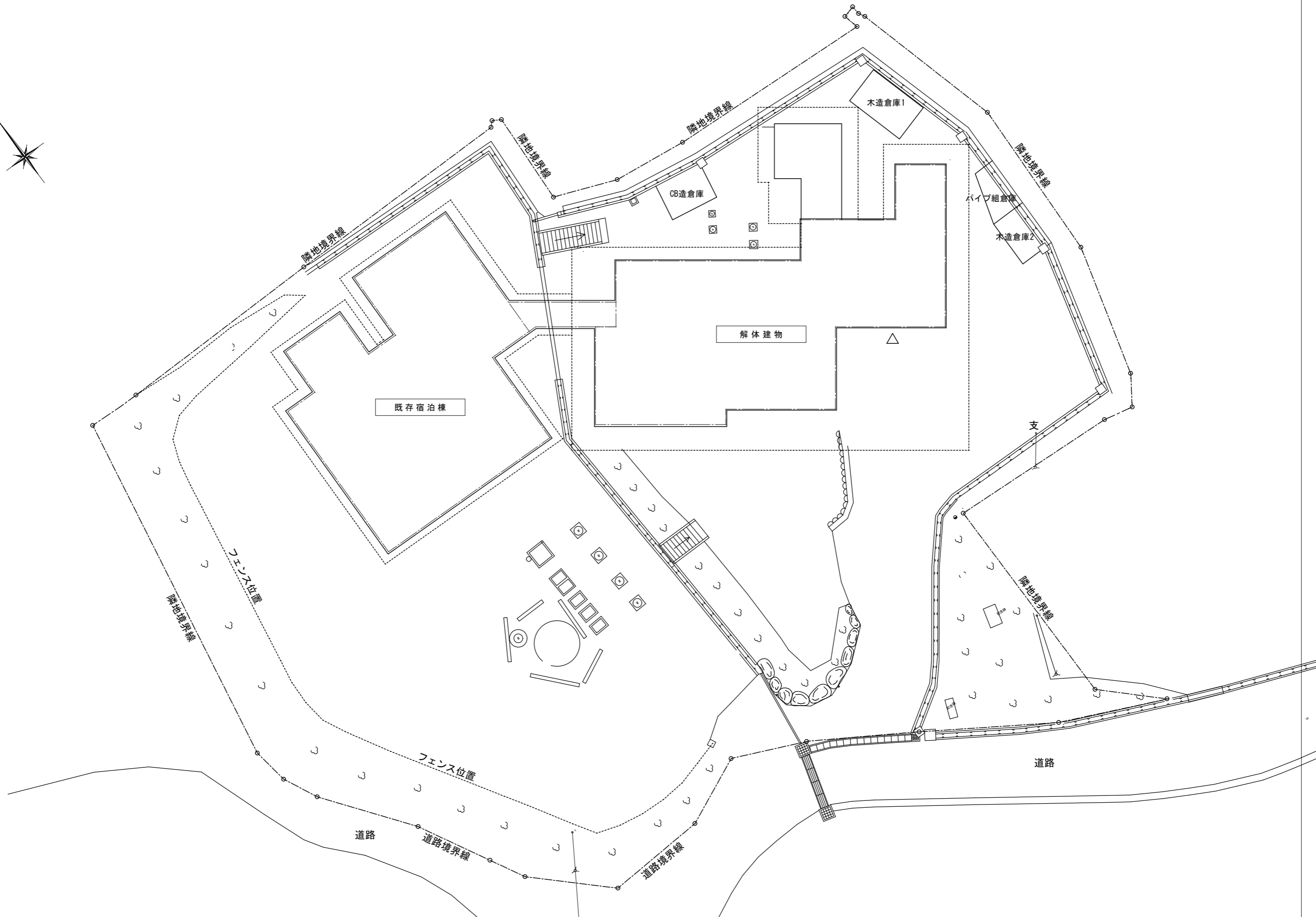
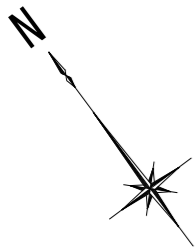
記号	底辺	×	高さ	×	1/2	倍面積
①	17.281	×	1.157	×	1/2	9.997
②	24.654	×	7.694	×	1/2	94.844
③	32.374	×	7.810	×	1/2	126.420
④	41.435	×	7.575	×	1/2	156.935
⑤	41.435	×	10.532	×	1/2	218.197
⑥	34.164	×	5.044	×	1/2	86.162
⑦	39.400	×	9.628	×	1/2	189.672
⑧	42.809	×	3.049	×	1/2	65.262
⑨	47.230	×	24.642	×	1/2	581.921
⑩	28.860	×	8.824	×	1/2	127.330
⑪	26.987	×	1.583	×	1/2	21.360
⑫	24.910	×	0.877	×	1/2	10.923
⑬	23.894	×	2.151	×	1/2	25.698
⑭	21.660	×	4.075	×	1/2	44.132
⑮	19.637	×	2.632	×	1/2	25.842
⑯	17.806	×	5.829	×	1/2	54.810
⑰	7.905	×	3.692	×	1/2	14.593
⑱	17.611	×	6.020	×	1/2	53.009
⑲	47.728	×	15.710	×	1/2	382.758
⑳	54.872	×	3.173	×	1/2	88.641
㉑	55.481	×	1.076	×	1/2	30.387
㉒	57.045	×	10.896	×	1/2	316.229
㉓	11.212	×	0.978	×	1/2	5.483
㉔	22.481	×	4.000	×	1/2	44.962
㉕	23.417	×	2.397	×	1/2	28.065
㉖	25.716	×	2.166	×	1/2	27.850
㉗	27.742	×	1.080	×	1/2	14.981
㉘	57.045	×	23.113	×	1/2	670.797
㉙	45.912	×	3.221	×	1/2	73.941
㉚	40.484	×	4.438	×	1/2	89.834
㉛	26.934	×	1.928	×	1/2	25.964
㉜	22.374	×	2.900	×	1/2	32.442
㉝	2.999	×	0.163	×	1/2	0.285
㉞	2.653	×	0.205	×	1/2	0.272
合計						3,740.000
敷地面積						3,740.00

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 敷地求積図

MEMO
 SCALE 1 : 300

DATE
 CHECK

NO D-09



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO 支

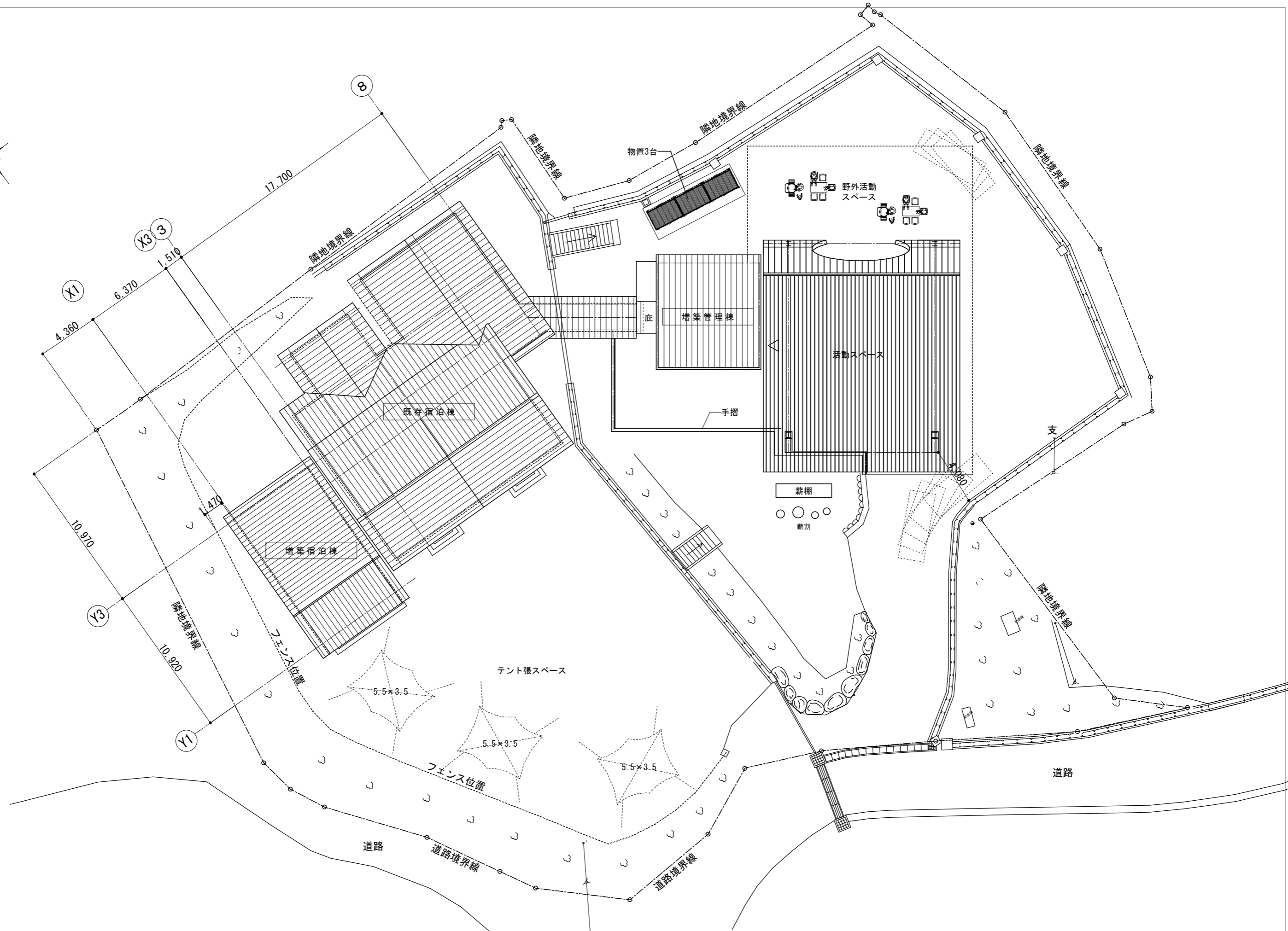
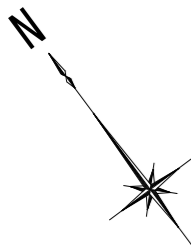
DATE

ITEM 【改修前】配置図

SCALE 1 : 250

CHECK

NO D-10



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

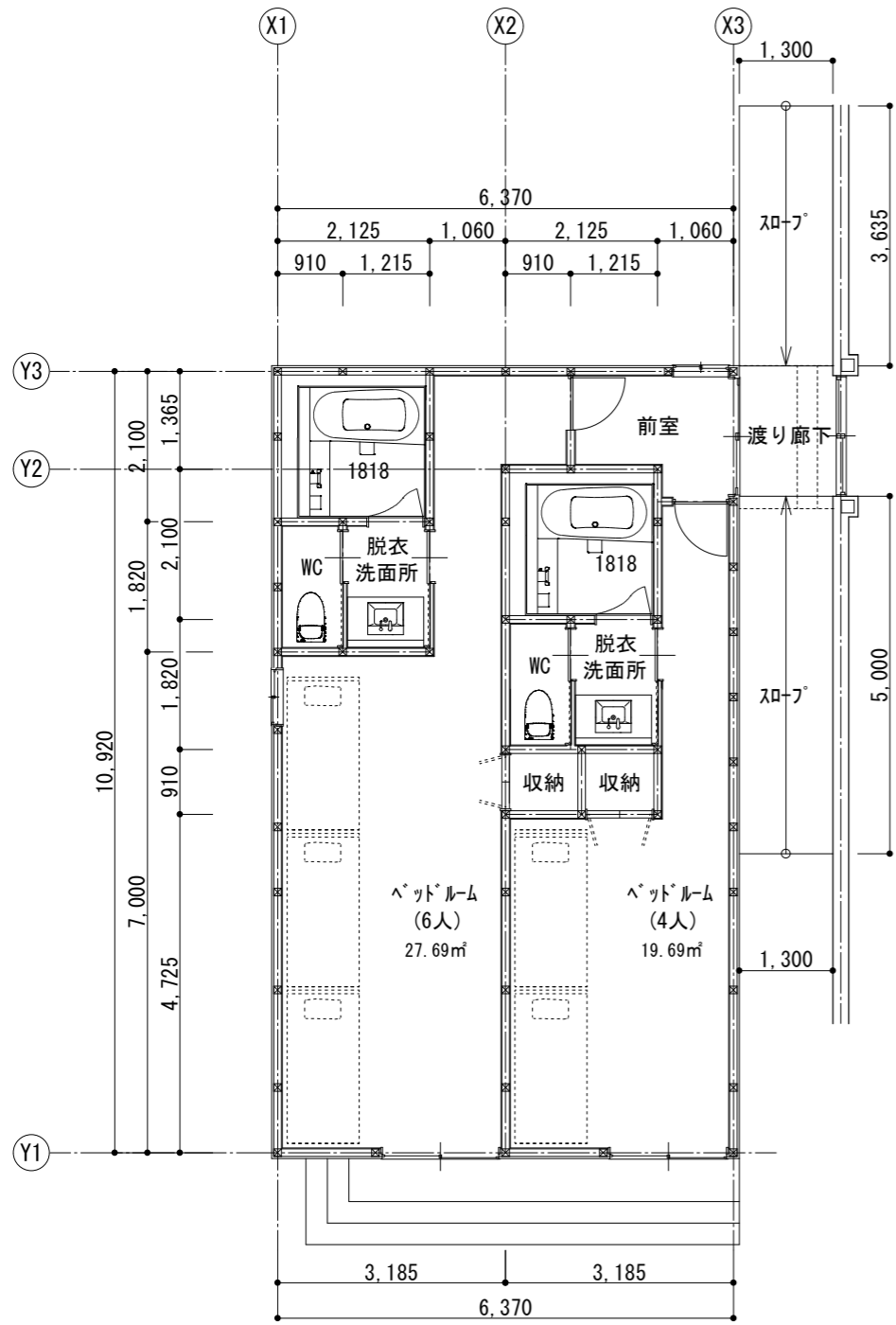
ITEM 【改修後】配置図

MEMO 支

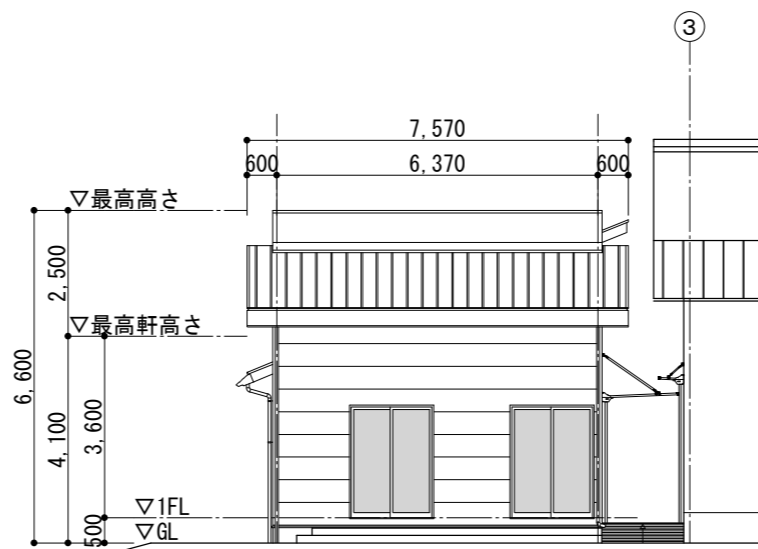
SCALE 1 : 250

DATE

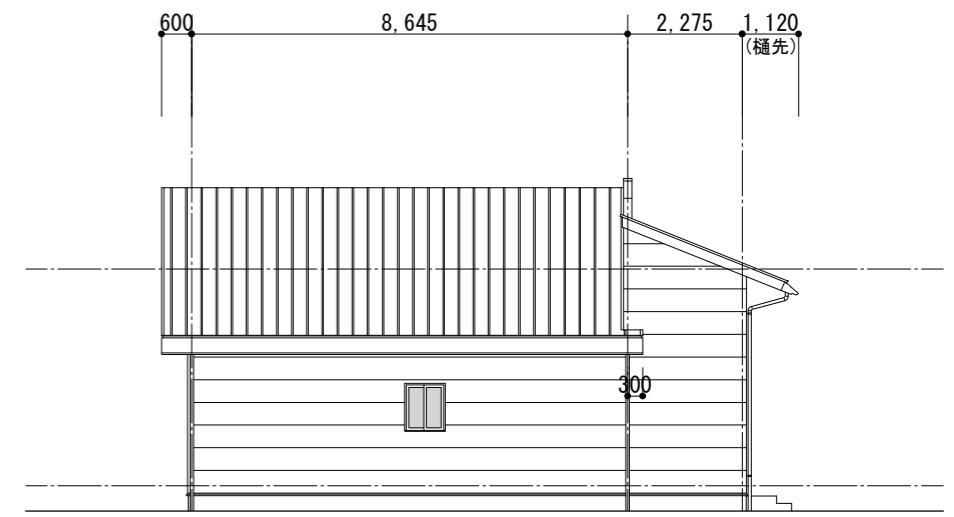
CHECK



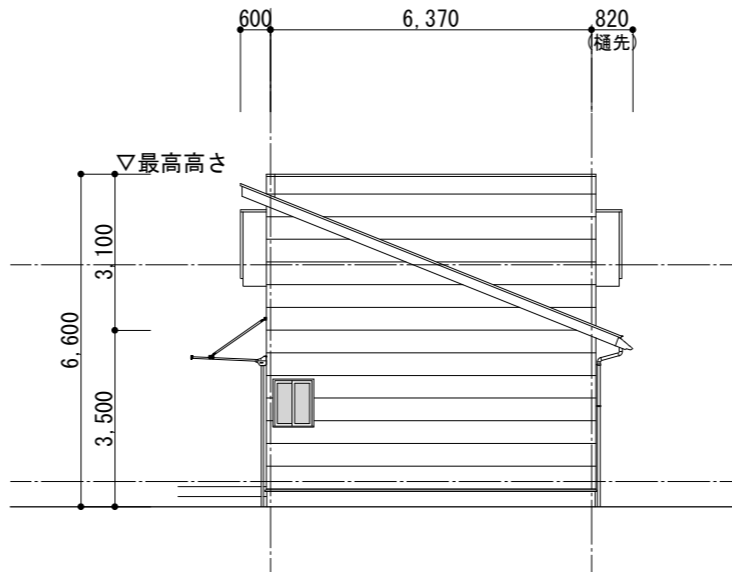
増築宿泊棟
1:100



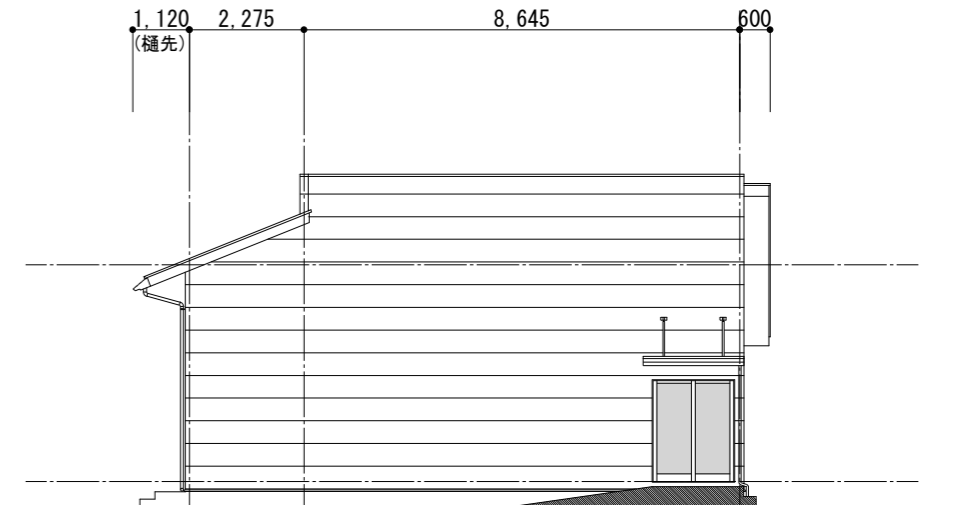
南側立面図
1:150



西側立面図
1:150



北側立面図
1:150

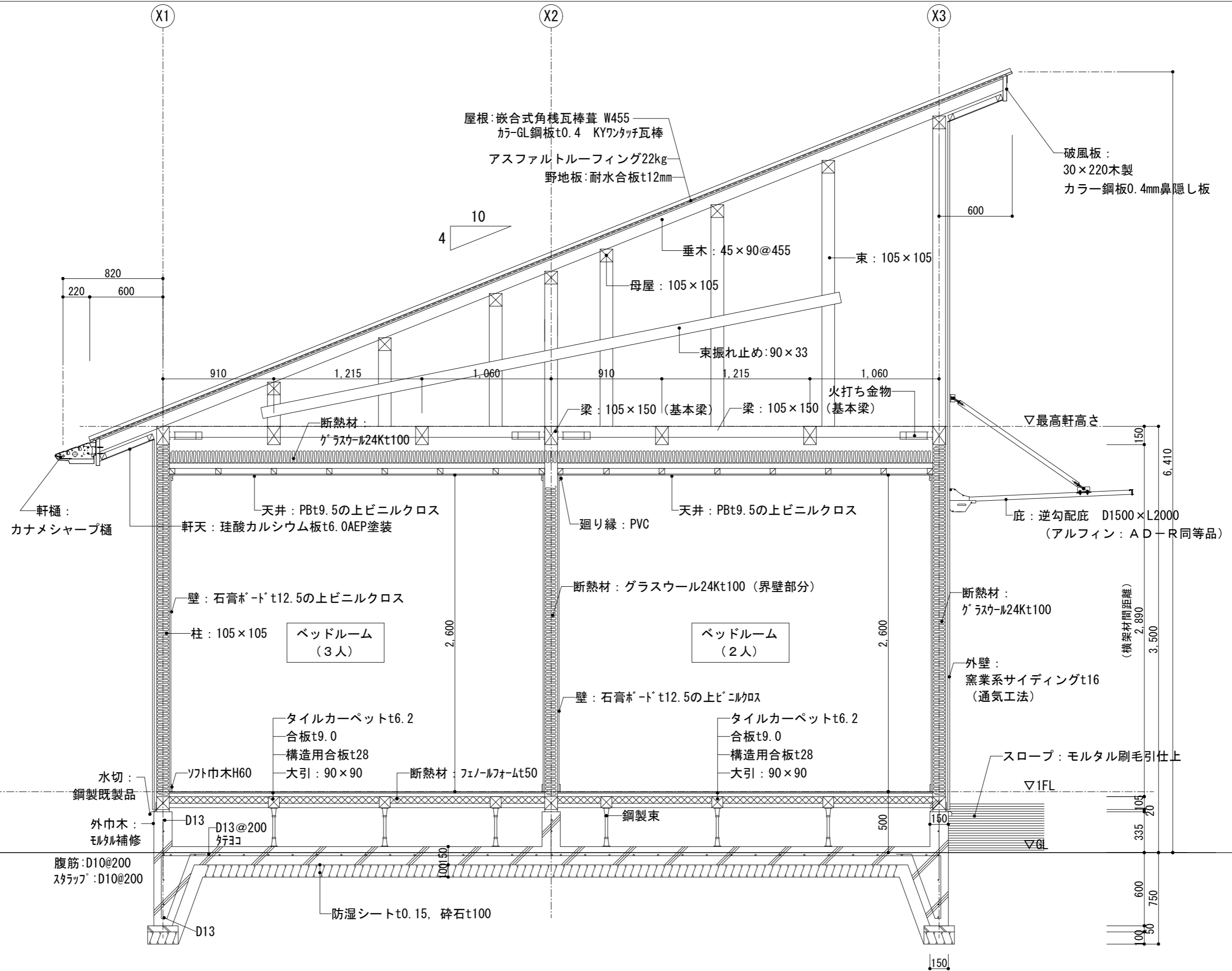


東側立面図
1:150

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【増築宿泊棟】平面・立面図

MEMO
SCALE 1:100 / 1:150

DATE
CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【増築宿泊棟】 矩計図 1

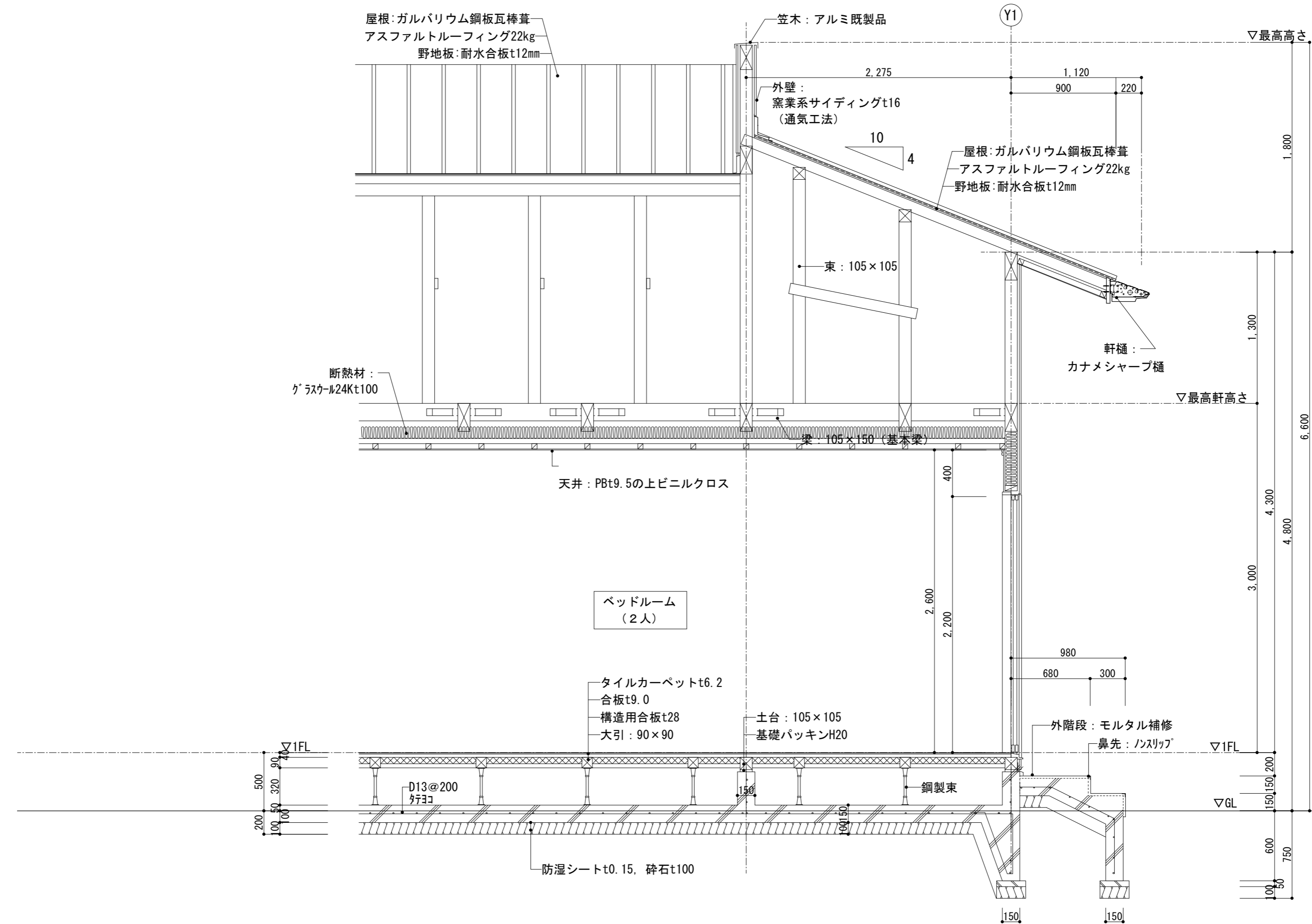
MEMO

SCALE 1 : 30

DATE

CHECK

NO D-14



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

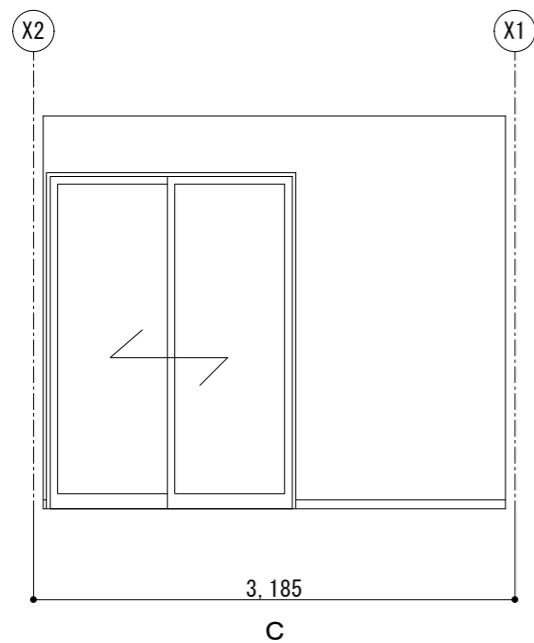
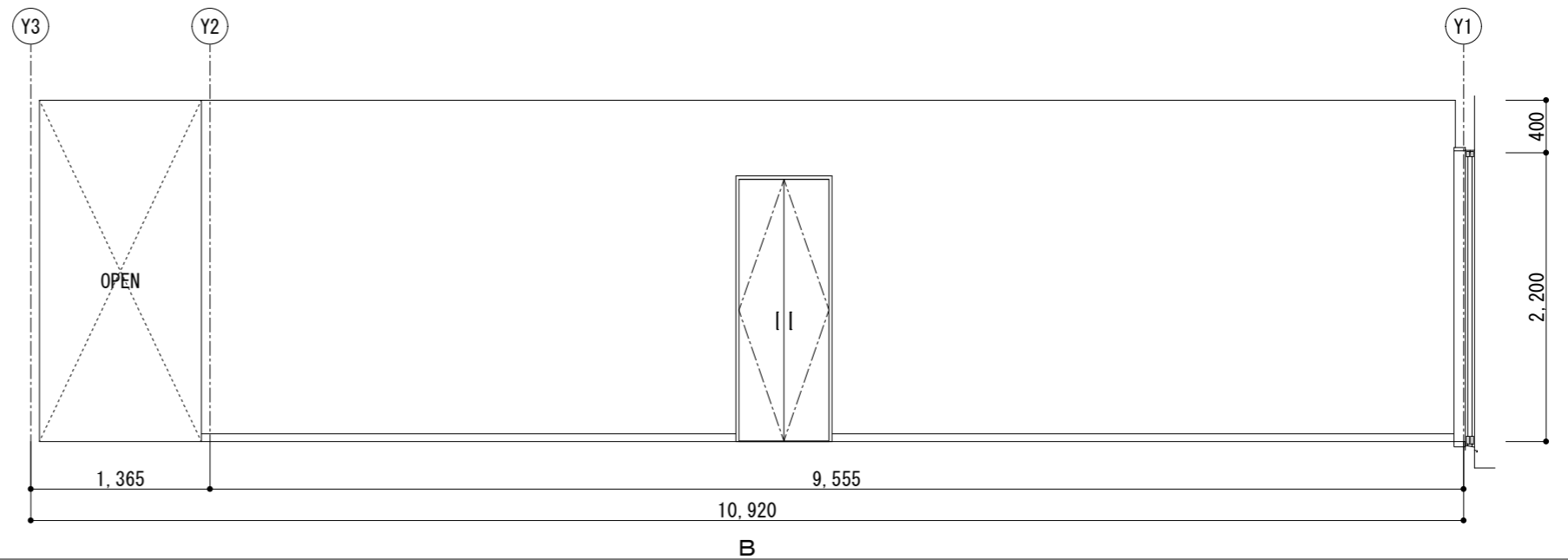
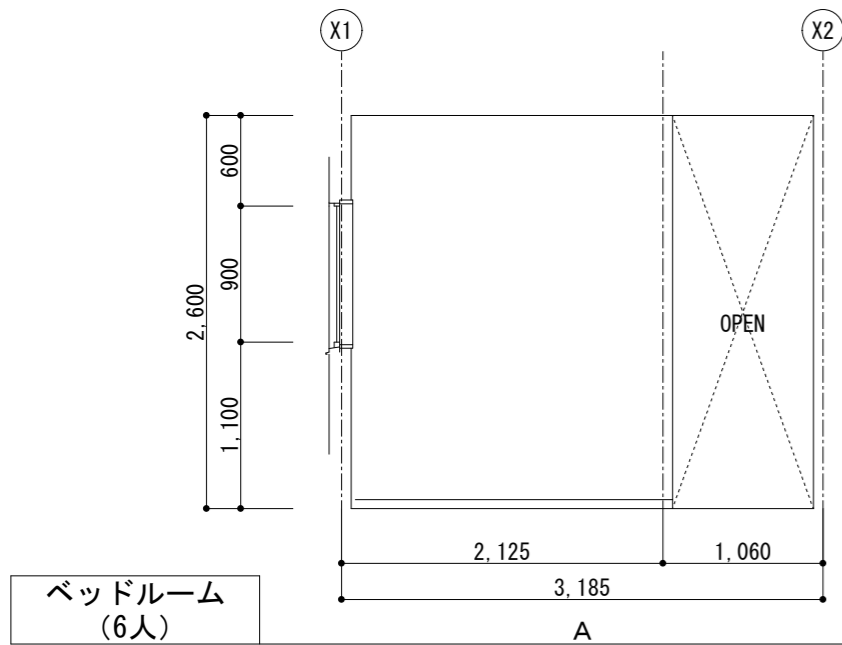
ITEM 【増築宿泊棟】 矩計図 2

MEMO

SCALE 1 : 30

DATE

CHECK



ベッドルーム (3人)	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾 木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天 井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備 考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【増築宿泊棟】展開図 1

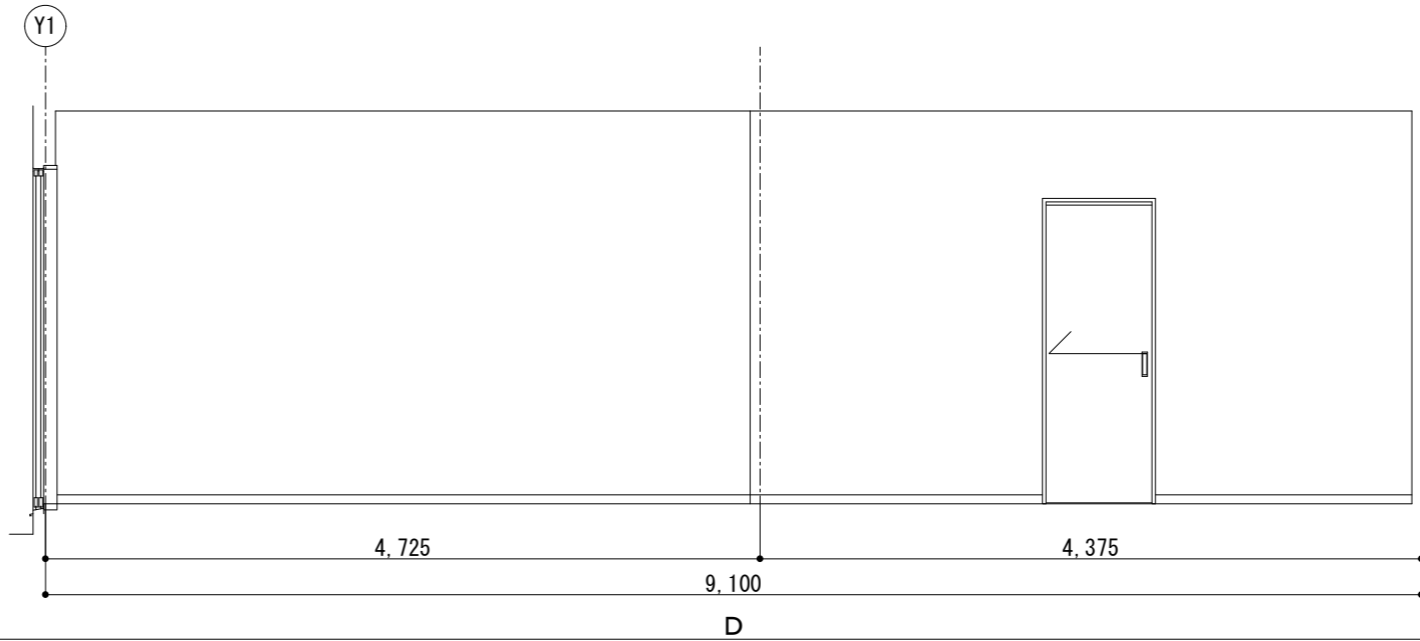
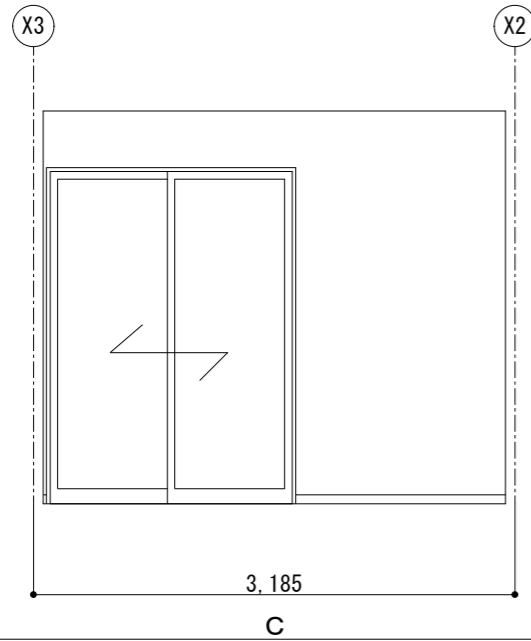
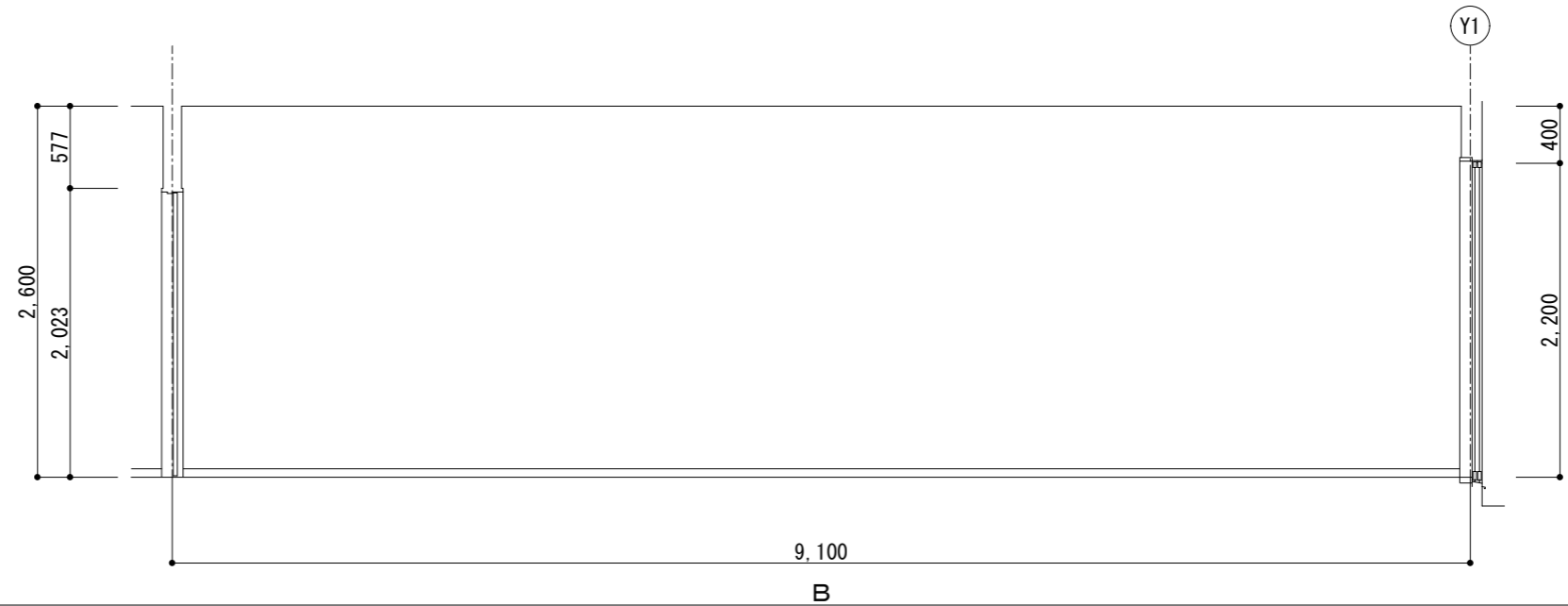
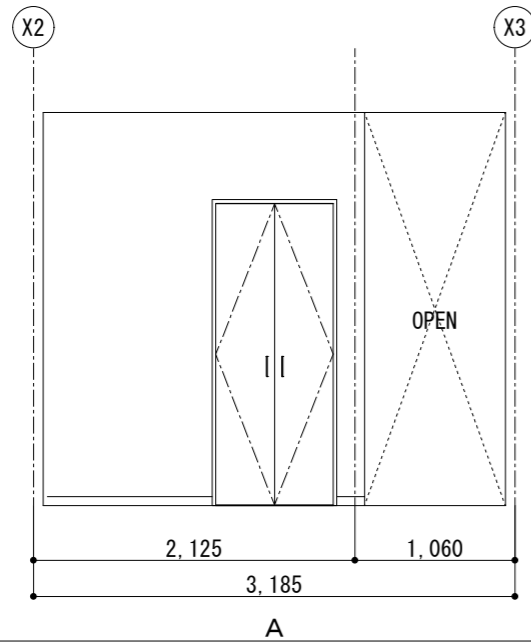
MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

ベッドルーム
(4人)



ベッドルーム (2人)	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾 木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天 井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備 考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

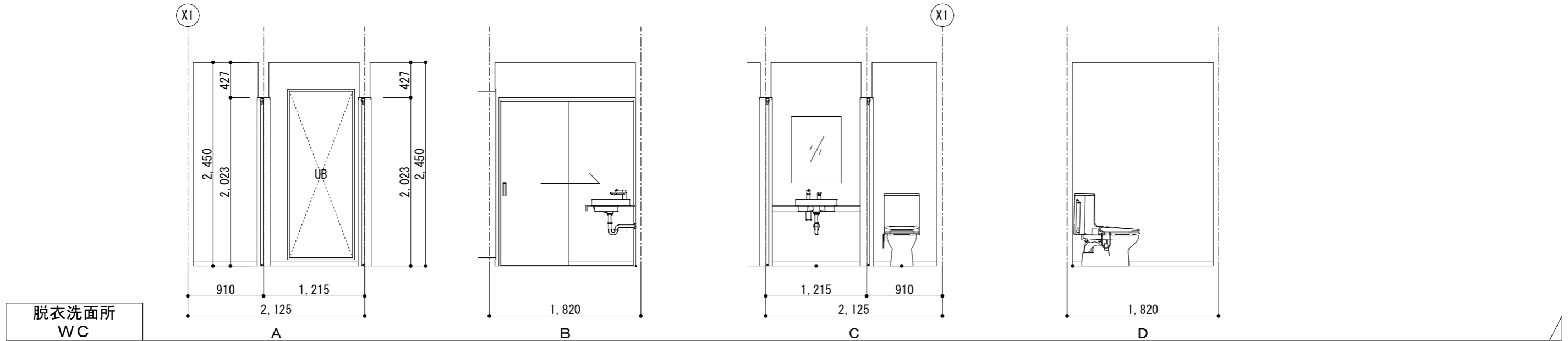
MEMO

DATE

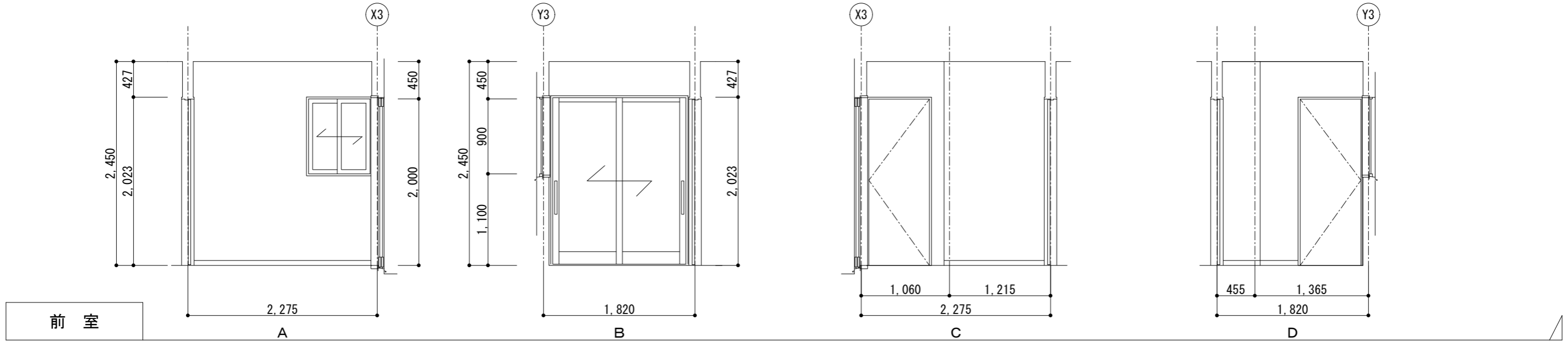
ITEM 【増築宿泊棟】展開図 2

SCALE 1 : 50

CHECK



脱衣洗面所
WC



前室

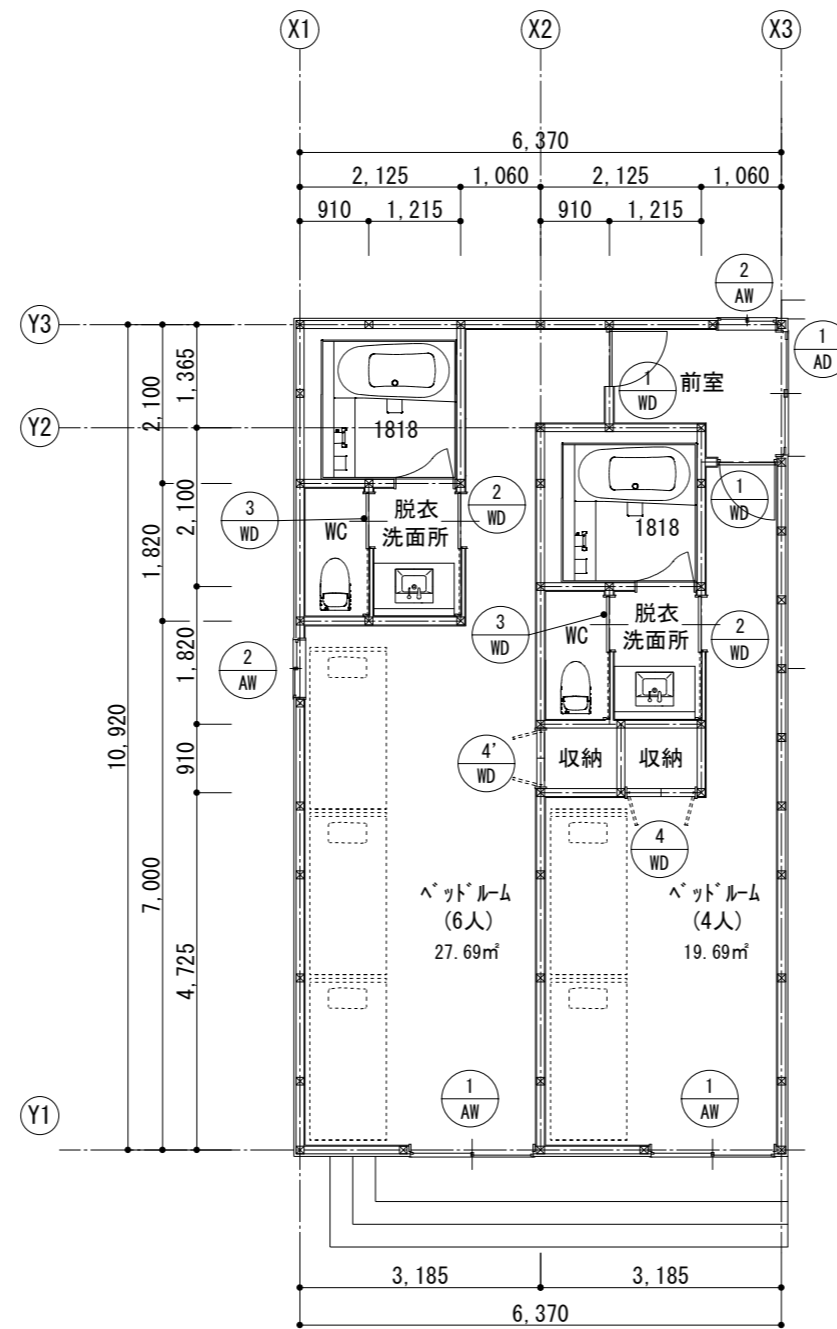
前室	
床	合板t9.0上タイルカーペットt6.2
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5下地の上 ビニルクロス
天井	石膏ボードt9.5下地の上 ビニルクロス
備考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【増築宿泊棟】展開図 3

MEMO
SCALE 1 : 50

DATE
CHECK

ベッドルーム (3人) : 27.69㎡
 AW-1, AW-2
 採光 : $27.69 \times 1/7 = 3.96$
 $1.60 \times 2.2 + 0.74 \times 0.9$
 $= 4.18\text{㎡} > 3.96\text{※OK}$
 換気 : $27.69 \times 1/20 = 1.385$
 $1.60 \times 2.2 \times 1/2 + 0.74 \times 0.9 \times 1/2$
 $= 2.09\text{㎡} > 1.385\text{※OK}$
 排煙 : $27.69 \times 1/50 = 0.554$
 $1.60 \times 0.55 \times 1/2 + 0.74 \times 0.35 \times 1/2$
 $= 0.56\text{㎡} > 0.554\text{※OK}$



ベッドルーム (2人) : 19.69㎡
 AW-1
 採光 : $19.69 \times 1/7 = 2.813$
 1.60×2.2
 $= 3.52\text{㎡} > 2.813\text{※OK}$
 換気 : $19.69 \times 1/20 = 0.985$
 $1.60 \times 2.2 \times 1/2$
 $= 1.76\text{㎡} > 0.985\text{※OK}$
 排煙 : $19.69 \times 1/50 = 0.394$
 $1.60 \times 0.55 \times 1/2$
 $= 0.44\text{㎡} > 0.394\text{※OK}$

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】キープラン図

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	① AD 前室 1	① AW ベッドルーム 2	② AW ベッドルーム(3人)・前室 2
姿図			
形式	引違ドア	アルミ樹脂複合 引違い窓	アルミ樹脂複合 引違い窓
材質・仕上	アルミ (カラー)	アルミ (ステンカラー) /樹脂	アルミ (ステンカラー) /樹脂
見込	70mm	70mm	70mm
硝子	強化ガラス6+A12+LowE3	FL4+A12+LowE3	FL4+A12+LowE3
金物	ドアハンドル、シリンダー錠	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸
	衝突防止マーク	16020	07409
備考	付属金物一式 (マスターキー：WD-1, 2箇所対応)	付属金物一式	付属金物一式

記号	① WD ベッドルーム 2	② WD 脱衣洗面所 2	③ WD WC 2	④ WD 収納 1	④' WD 収納 1
姿図					() はWD-4'
形式	片開き戸	片開き戸	片引きトイレドア	クローゼットドア	
材質・仕上					
見込					
硝子					
金物	サムターンシリンダー錠、ドアチェーン		表示錠		
	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	ラシッサ LAA : LIXIL同等品	
備考	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

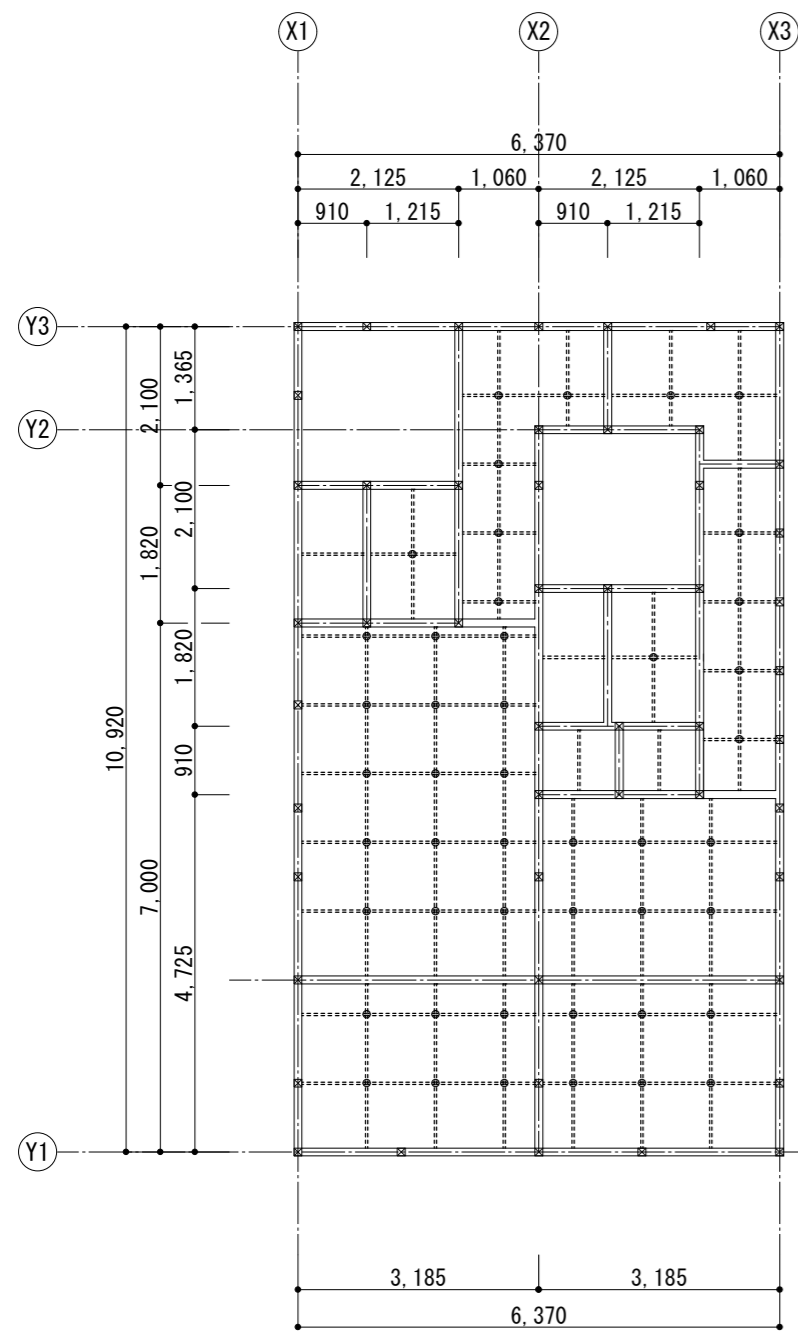
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】 建具表

SCALE 1 : 100

CHECK

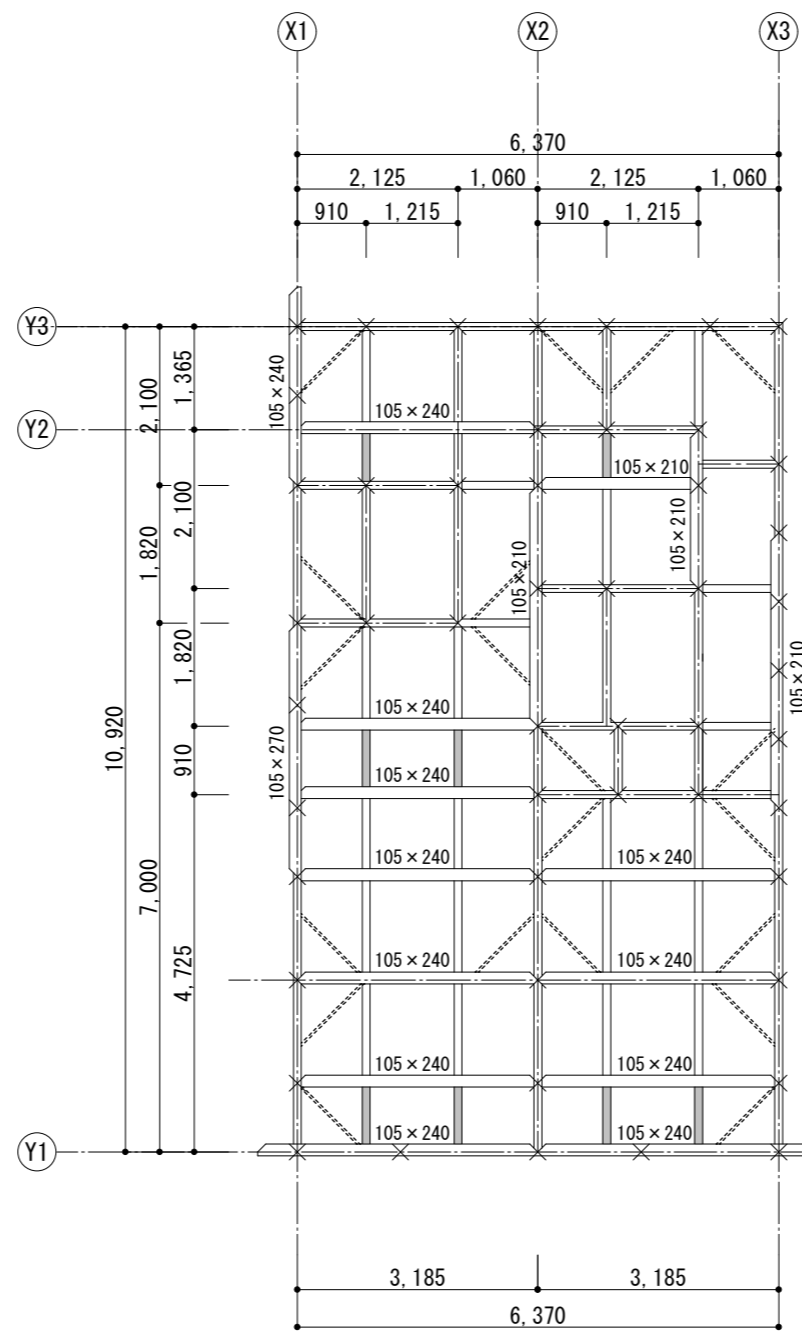


土台伏図

土台 : 105 × 105

..... 大引 : 90 × 90

○ スチール製床束



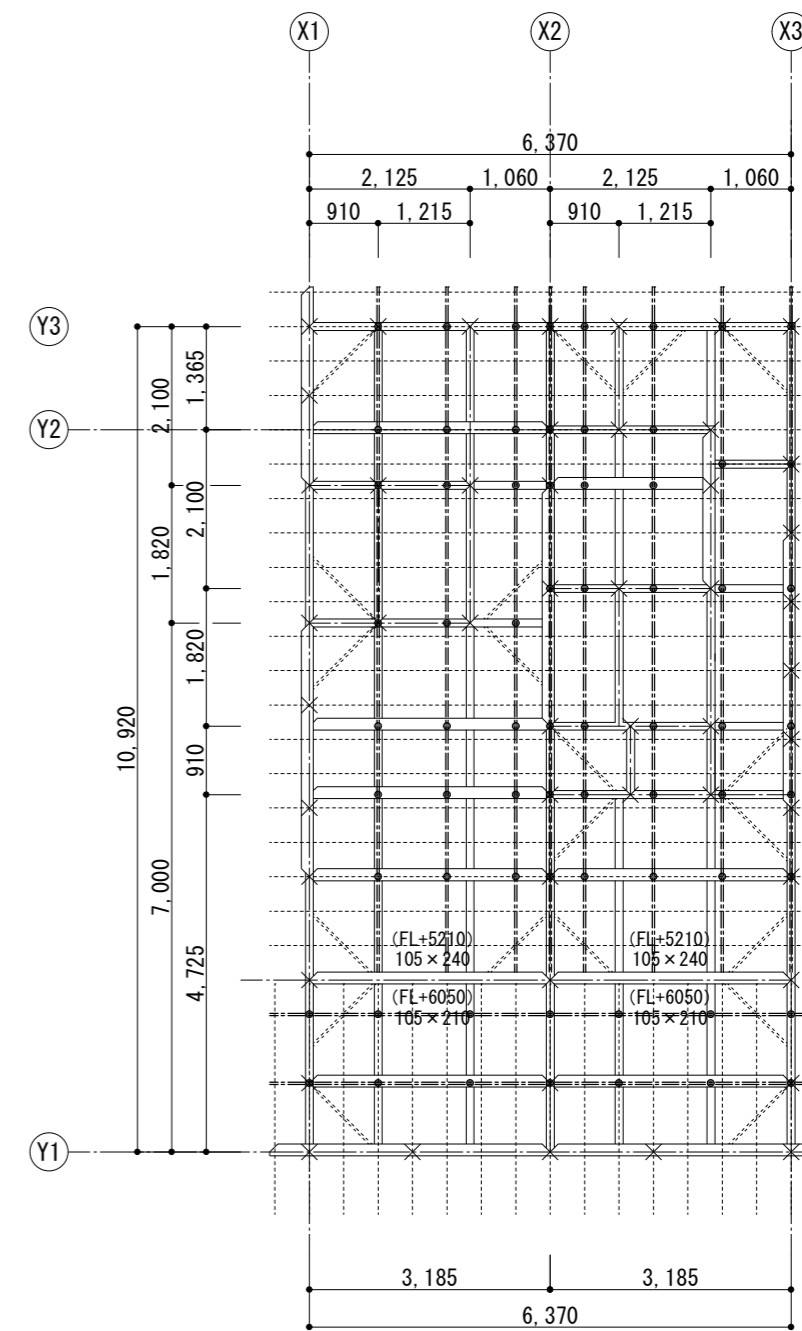
小屋伏図 1

× 1階柱

特記なき梁は105 × 180

==== 105 × 105

..... 火打ち金物



小屋伏図 2

----- 母屋 : 105 × 105 @ 910

..... 垂木 : 45 × 90 @ 455

○ 束 : 105 × 105

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

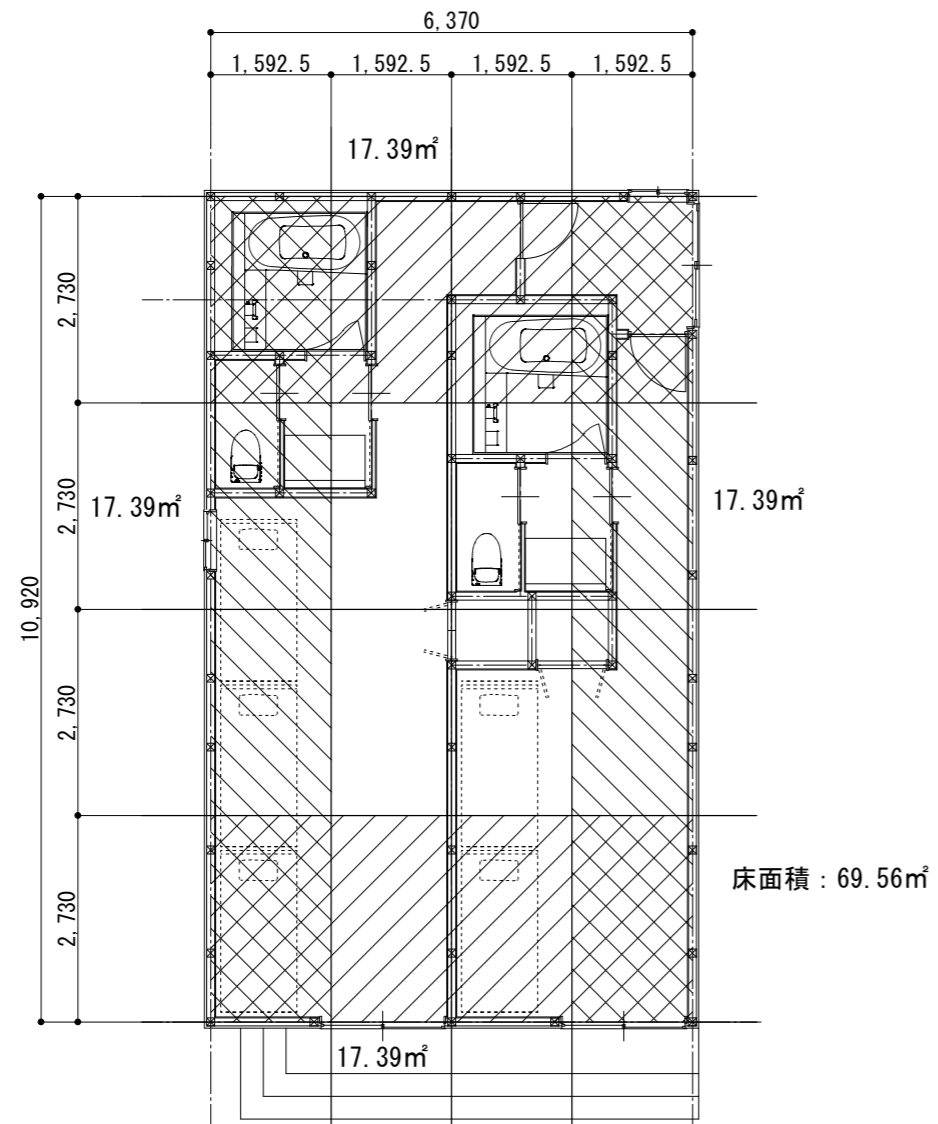
DATE

ITEM 【増築宿泊棟】伏図

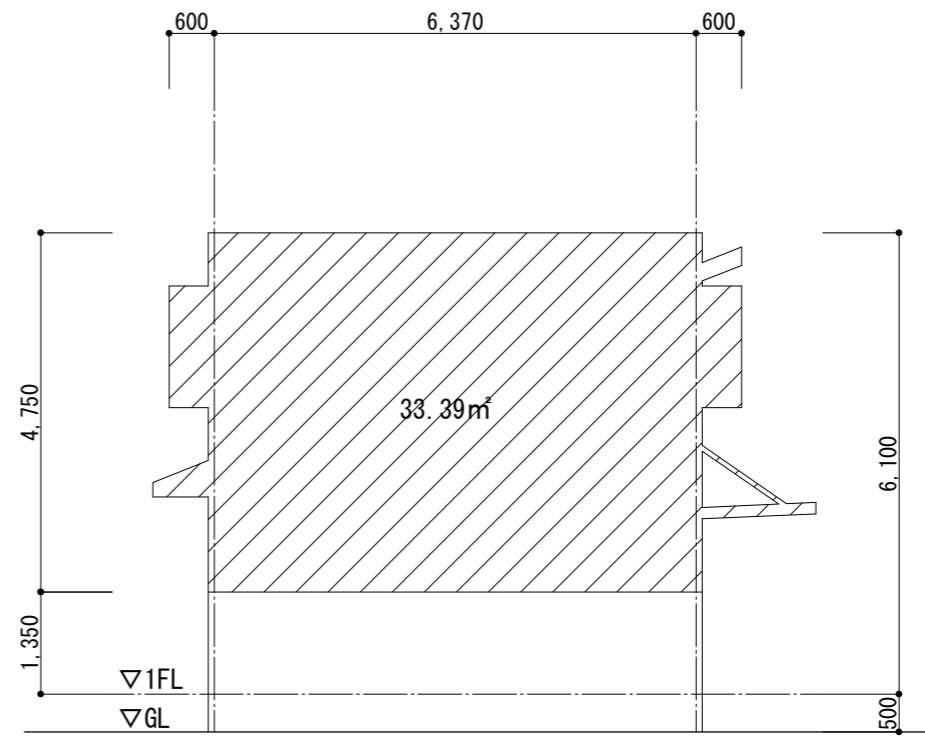
SCALE 1 : 100

CHECK

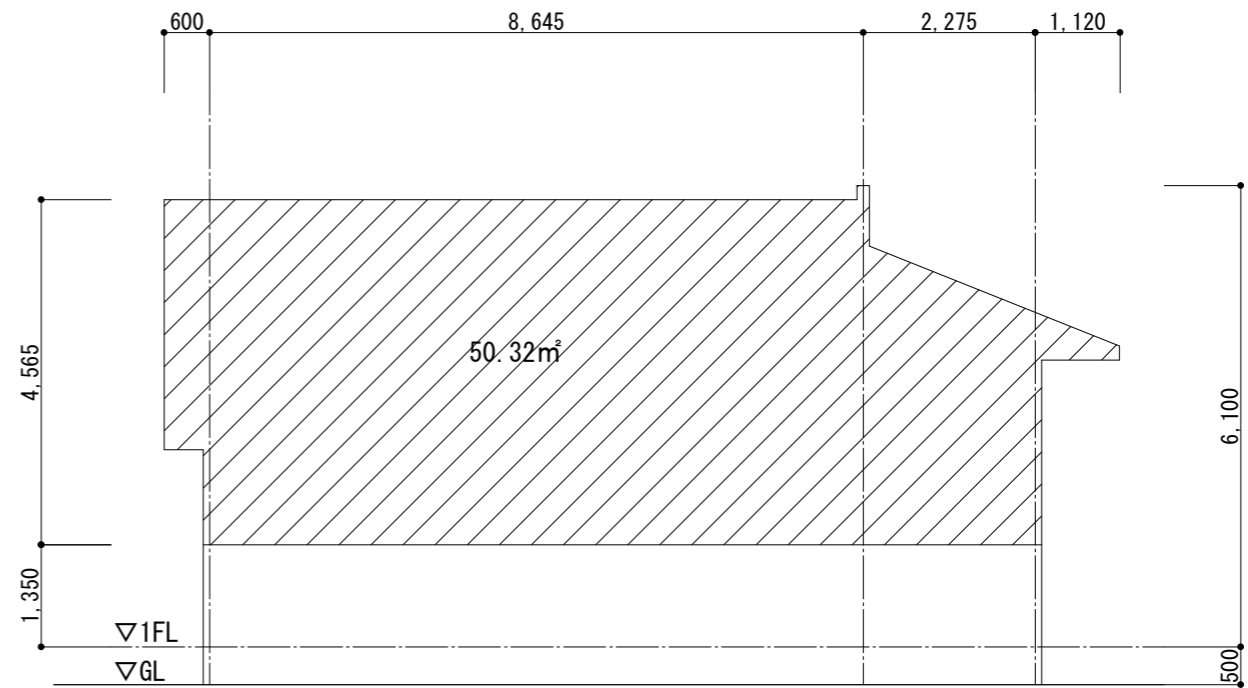
NO D-21



平面図



Y方向の見付面積 (はり間)



X方向の見付面積 (桁行)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

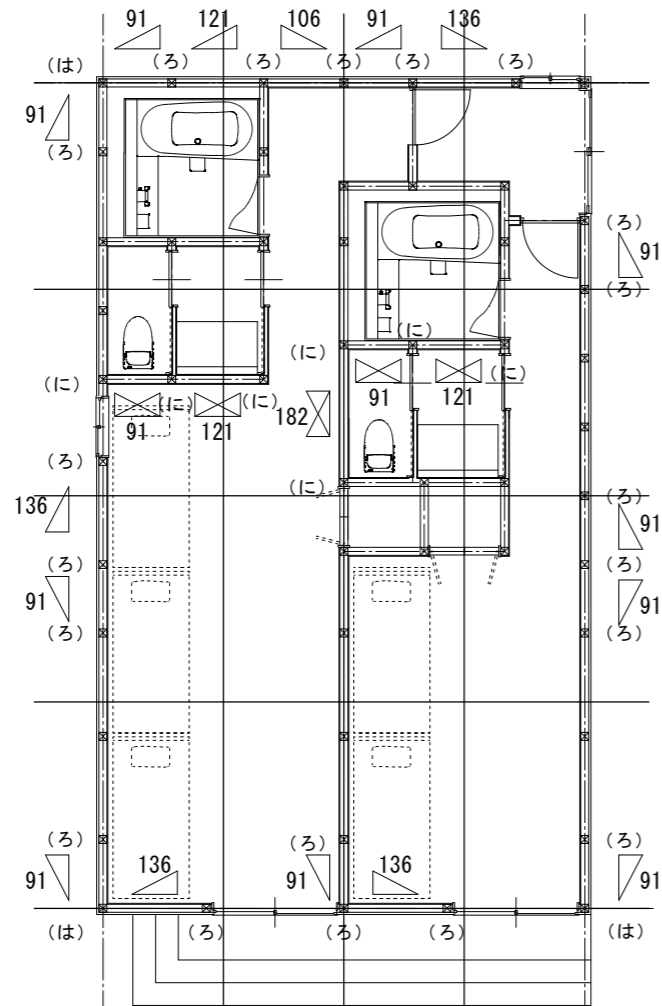
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出 (求積図)

SCALE 1 : 100

CHECK



平面図

凡例

- 土台 : 105×105
- 柱 : 105×105
- 梁・頭繫 : 105×150 (基本サイズ)
- 母屋 : 105×105@910
- 小屋束 : 105×105
- 鋼製火打
 - △ : 45×90筋交い 壁倍率2.0
 - ⊠ : 45×90筋交い (たすき) 壁倍率4.0

樹種

- 構造材 : ひのき (代用樹種の使用可)
- 造作材 : 松, 杉, ひのき (代用樹種の使用可)
- 下地材 : 松, 杉 (代用樹種の使用可)
- 代用樹種 : 国交省標準仕様書 表12.2.2による

・柱頭、柱脚接合部仕様 (平12建告第1460号表3)

	継手・仕口の仕様 又は、同等以上の接合方法
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち、又は、かど金物CP-L
(は)	かど金物CP-L、又は、山形プレートVP
(に)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S
(ほ)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S (スクリーナーあり)
(へ)	10kN用引き寄せ金物 (HD-B10)
(と)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15)
(ち)	20kN用引き寄せ金物 (HD-B20)
(り)	25kN用引き寄せ金物 (HD-B25)
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15) × 2個

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出 (平面図)

SCALE 1 : 100

CHECK

必要壁量	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)		風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量	
		X方向 (桁行), Y方向 (はり間)		X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
	1階	床面積 (㎡) 69.56 × 13 = 904.28	(cm)	見付面積 (㎡) 50.32 × 50 = 2516.00	(cm)	見付面積 (㎡) 33.39 × 50 = 1669.50	(cm)
2階	床面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	

壁量計算	階数	耐力壁の種類 (S56建告1100)	倍率	有効壁量 (cm)		判定	
				X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
				壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長	壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長		
1階	筋交い 45×90	2.0	91 × 2.0 × 2 = 364	91 × 2.0 × 7 = 1274	3330>2516	2546>1669.5	
	筋交い 45×90	2.0	106 × 2.0 × 1 = 212	136 × 2.0 × 2 = 544			
	筋交い 45×90	2.0	121 × 2.0 × 1 = 242				
	筋交い 45×90	2.0	136 × 2.0 × 3 = 816				
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	91 × 4.0 × 2 = 728	182 × 4.0 × 1 = 728			
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	121 × 4.0 × 2 = 968				
				3330	2546	OK	OK
2階							

耐力壁配置検討					
階数		X方向		Y方向	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
1階	存在壁量 (cm)	91 × 2.0 × 2 = 364 106 × 2.0 × 1 = 212 121 × 2.0 × 1 = 242 136 × 2.0 × 1 = 272	136 × 2.0 × 2 = 544	91 × 2.0 × 3 = 546 136 × 2.0 × 1 = 272	91 × 2.0 × 3 = 546 136 × 2.0 × 1 = 272
		合計 1090	合計 544	合計 818	合計 818
	床面積 (㎡)	17.39	17.39	17.39	17.39
	必要壁量 (cm)	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07	17.39 × 13 = 226.07
	壁量充足率	1090 / 226.07 ≒ 4.82 > 1.0	544 / 226.07 ≒ 2.40 > 1.0	818 / 226.07 ≒ 3.61 > 1.0	818 / 226.07 ≒ 3.61 > 1.0
壁量比	—		—		
2階	存在壁量 (cm)				
		合計	合計	合計	合計
	床面積 (㎡)				
	必要壁量 (cm)				
	壁量充足率				
壁量比					

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

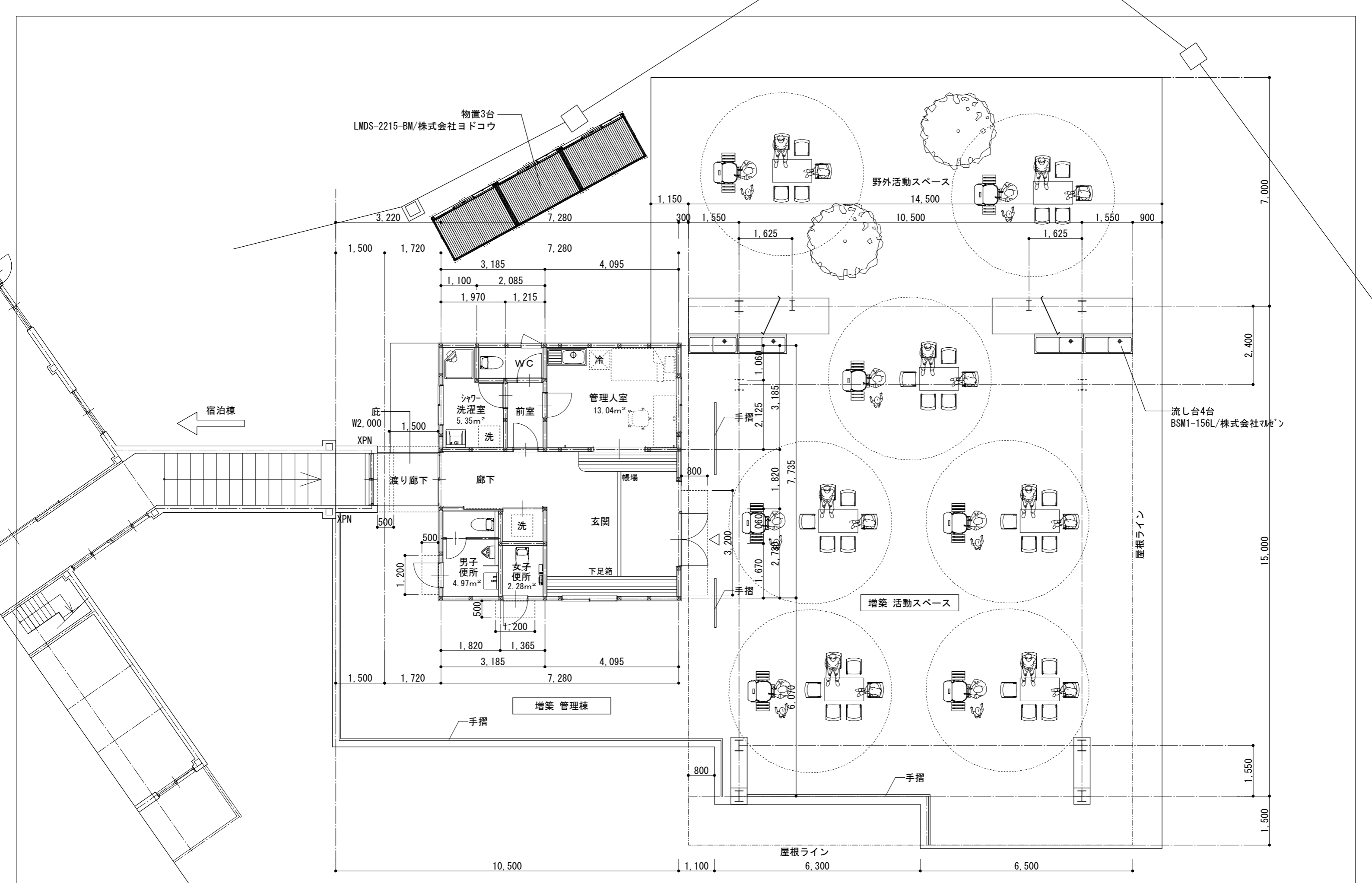
MEMO

DATE

ITEM 【増築宿泊棟】耐力壁算出

SCALE 1 : 100

CHECK



物置3台
LMDS-2215-BM/株式会社ヨドコウ

野外活動スペース
14.500

管理人室
13.04m²

シャワー
洗濯室
5.35m²

男子
便所
4.97m²

女子
便所
2.28m²

増築 活動スペース

増築 管理棟

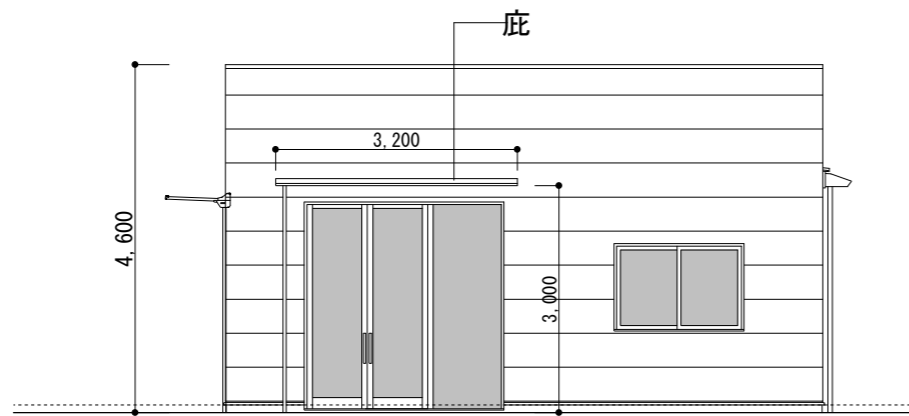
流し台4台
BSM1-156L/株式会社マレック

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 【改修後】増築部分平面図

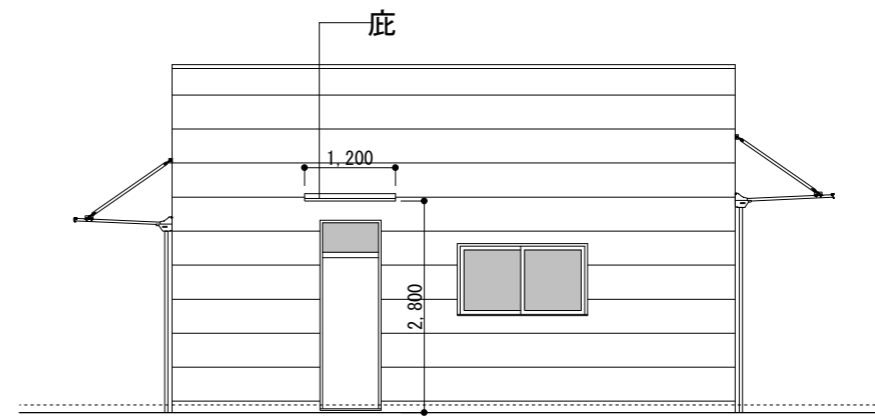
MEMO
SCALE 1 : 100

DATE
CHECK

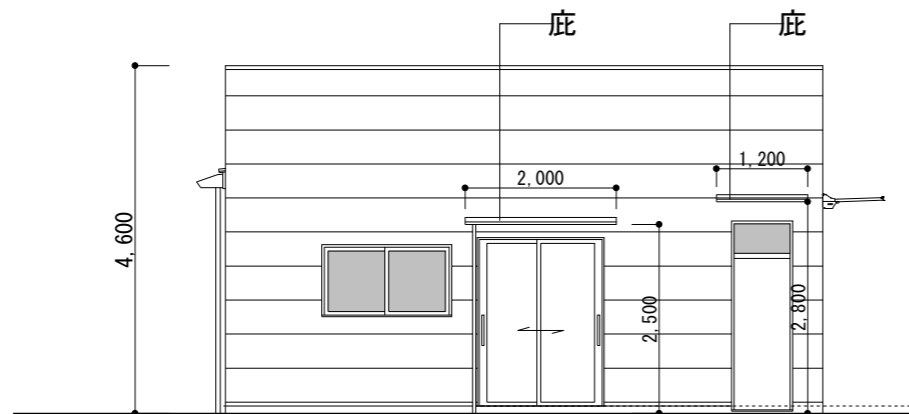
NO D-26



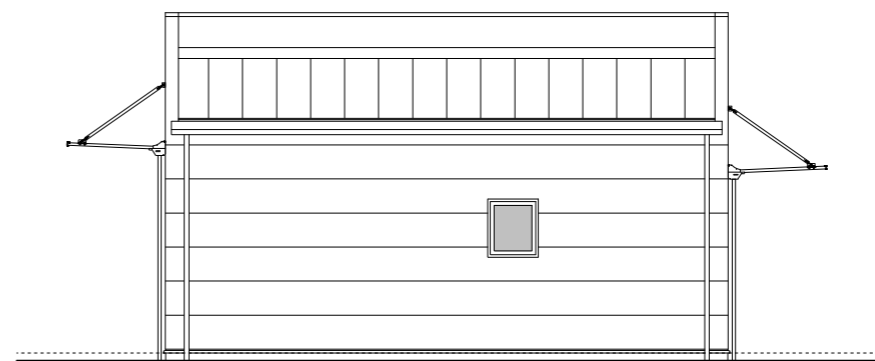
東側立面図



南側立面図



東側立面図



北側立面図

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

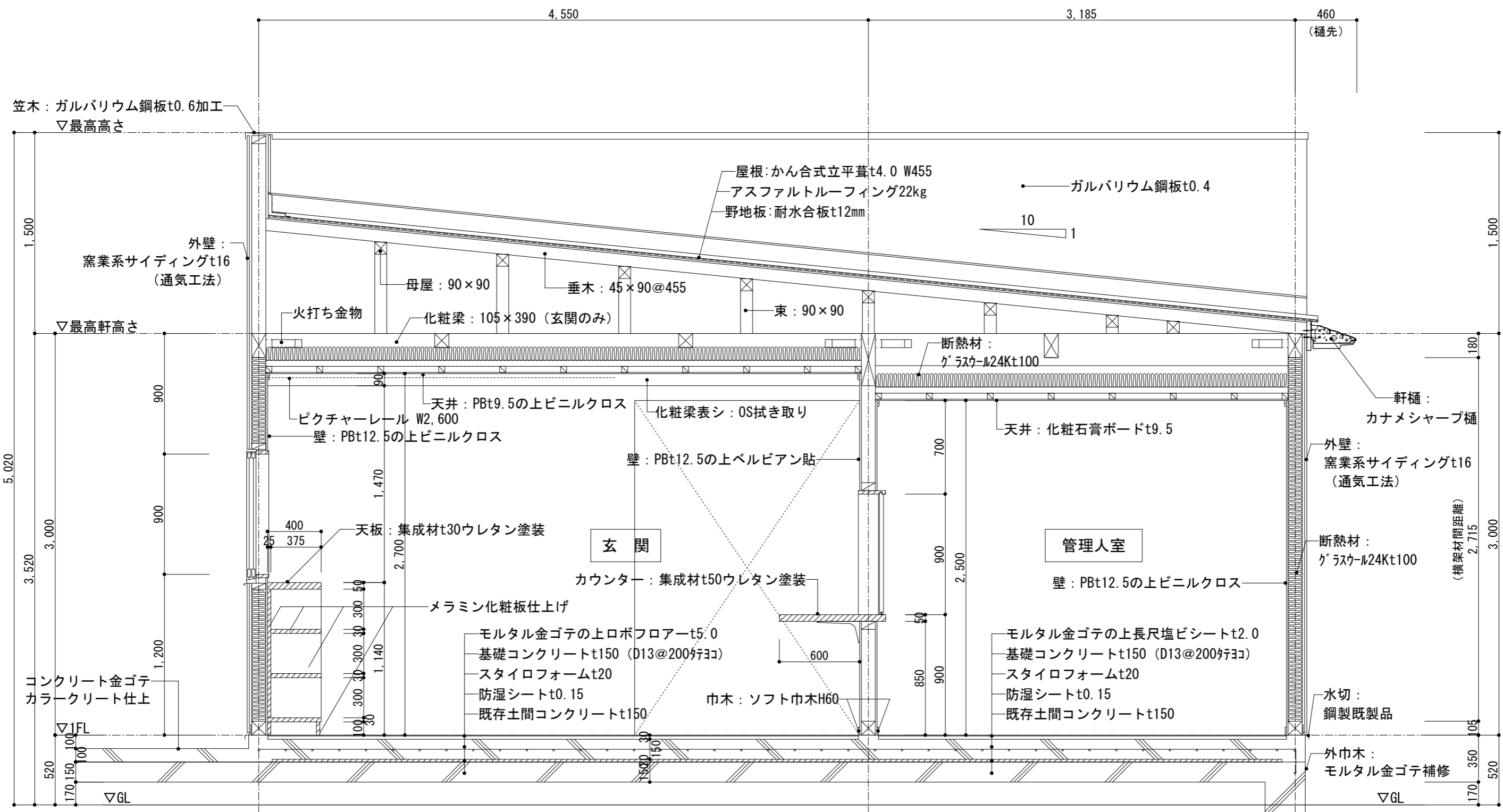
MEMO

DATE

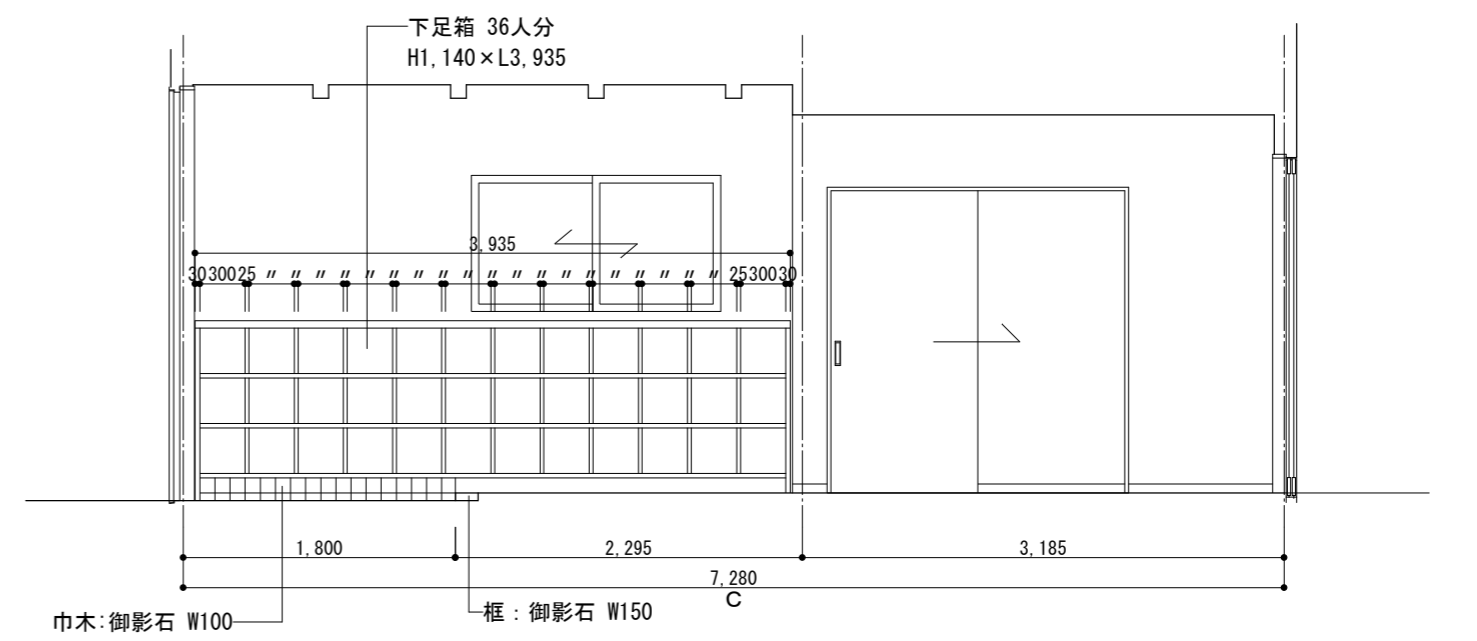
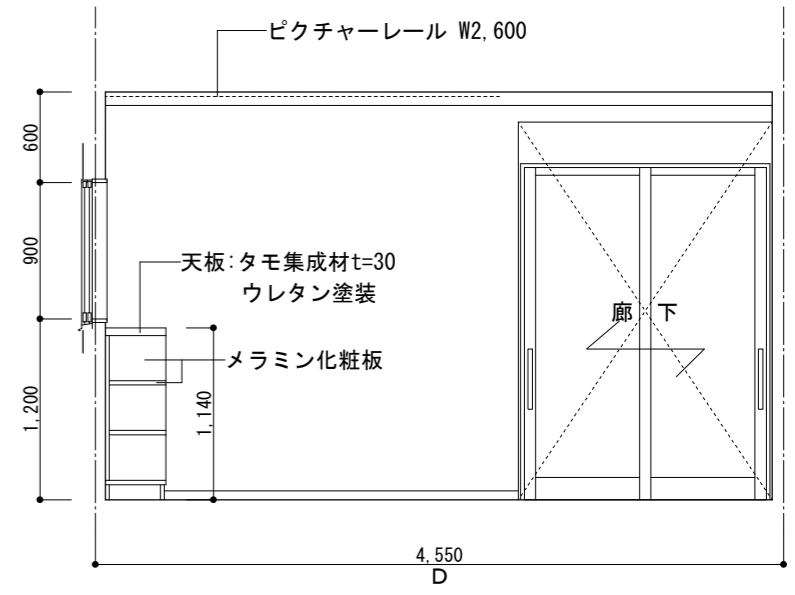
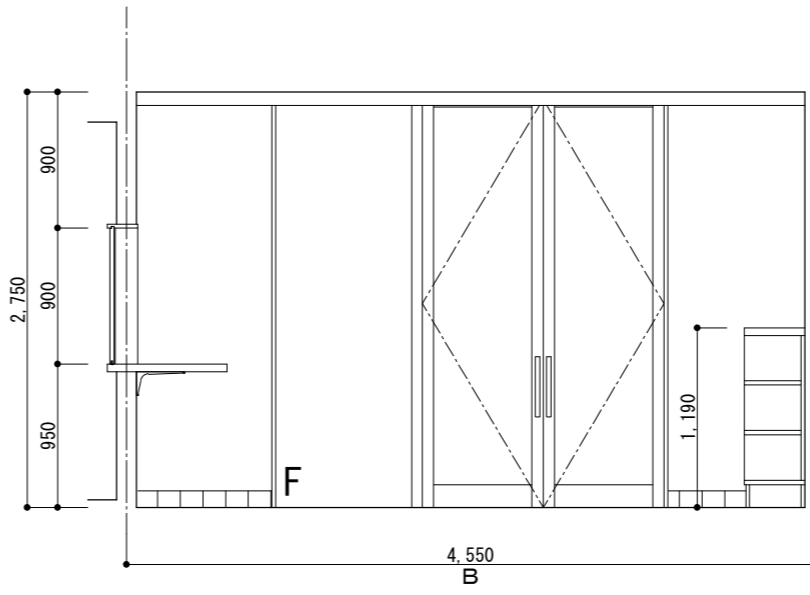
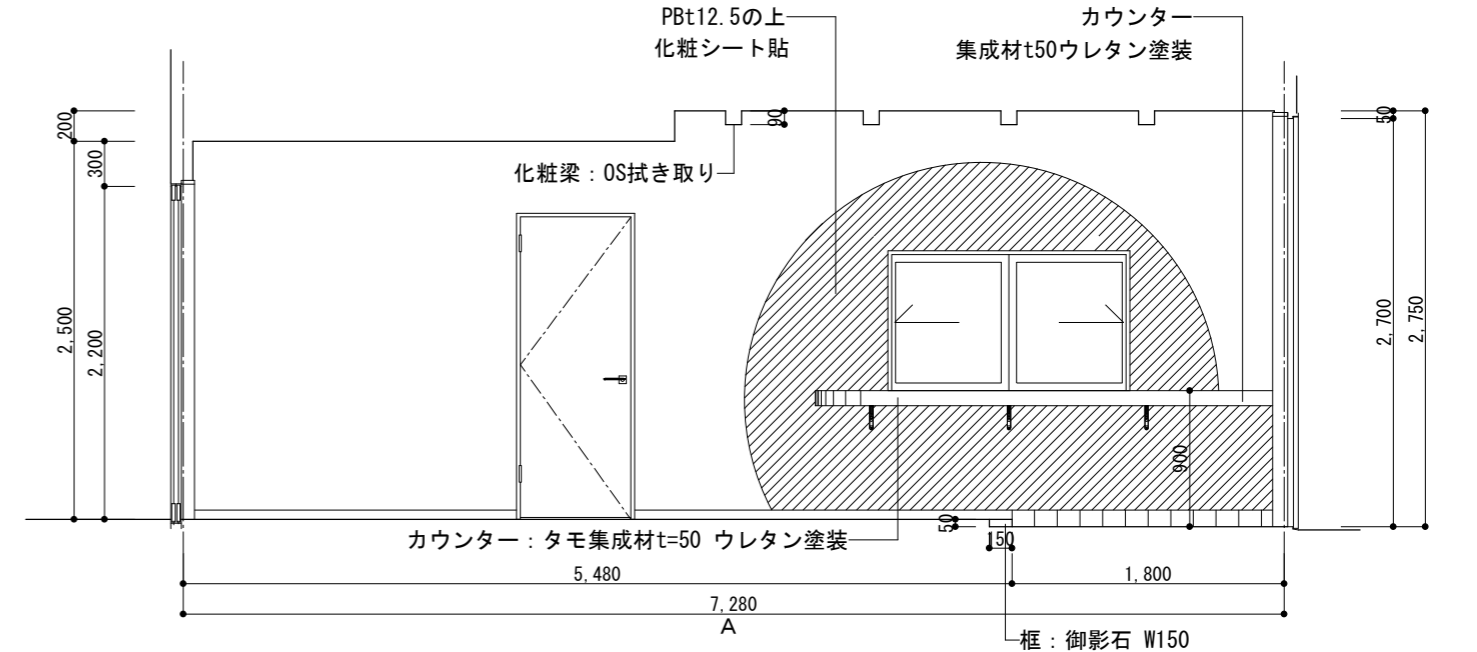
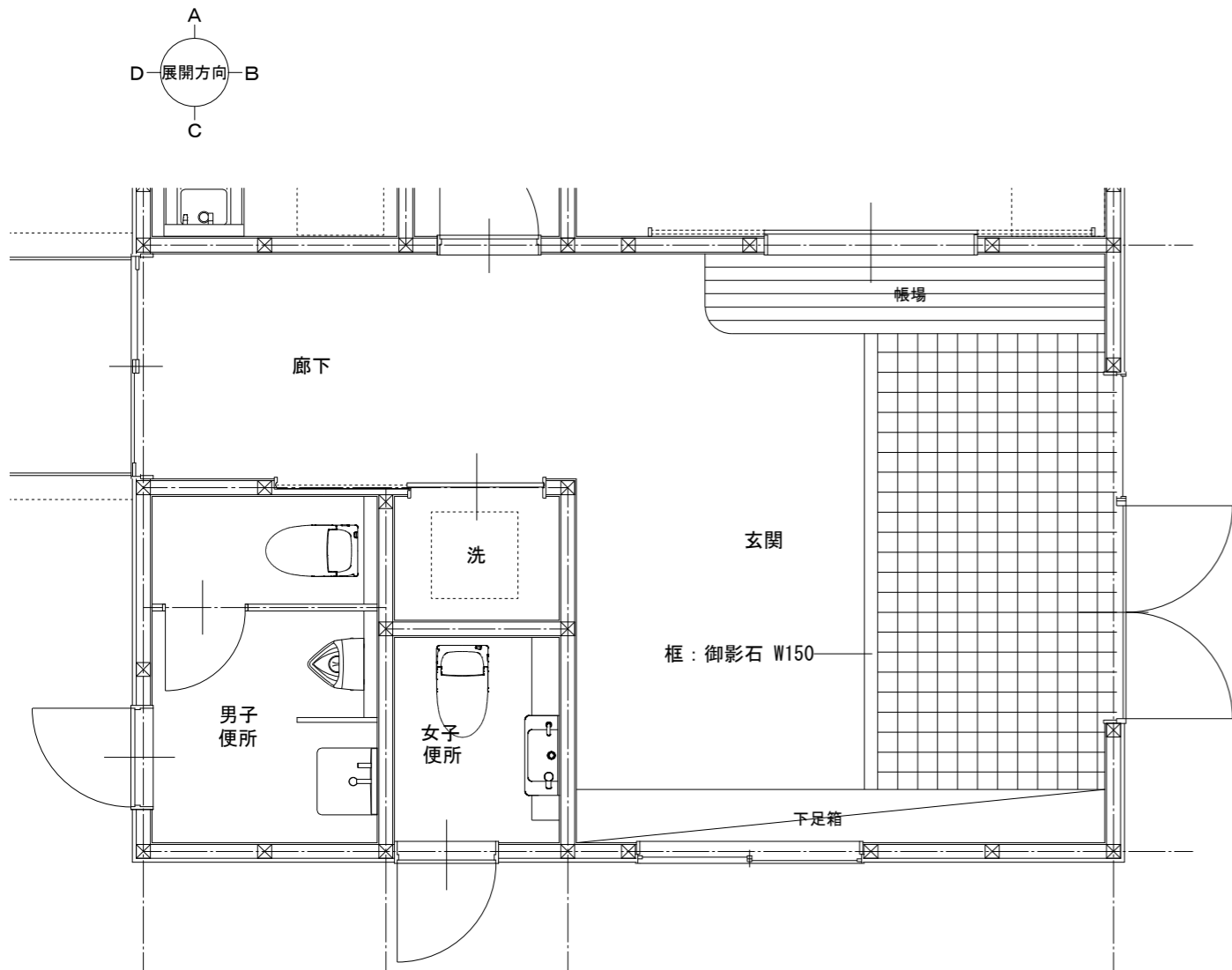
ITEM 【増築管理棟】立面図

SCALE 1 : 150

CHECK

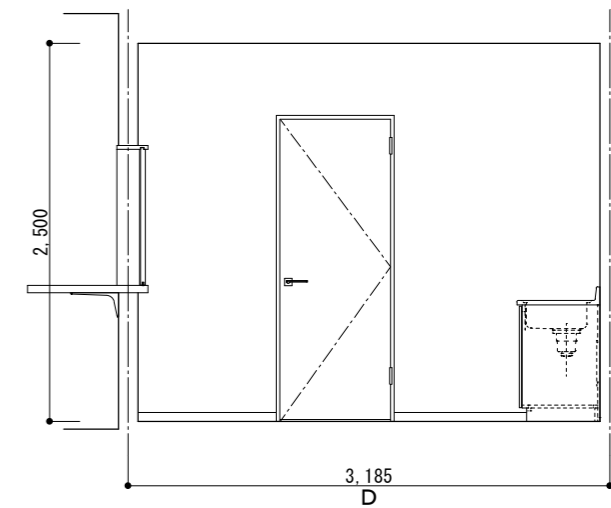
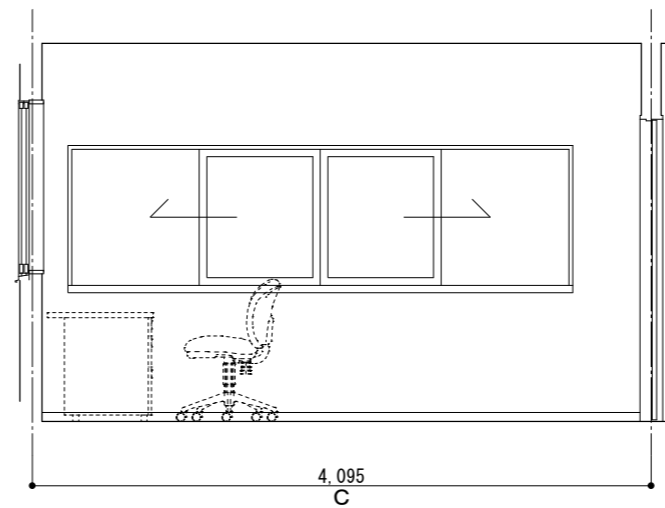
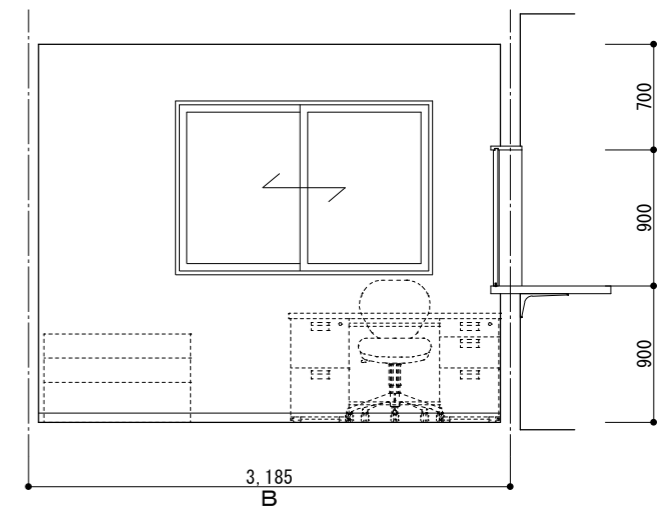
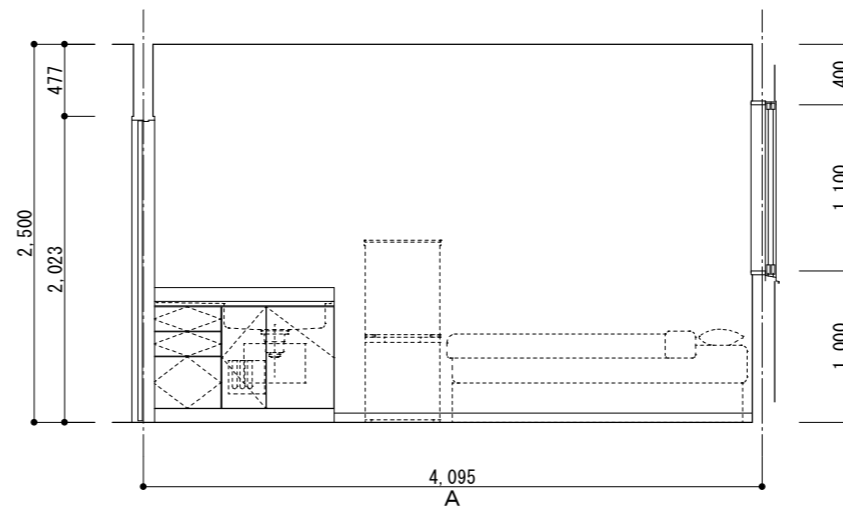
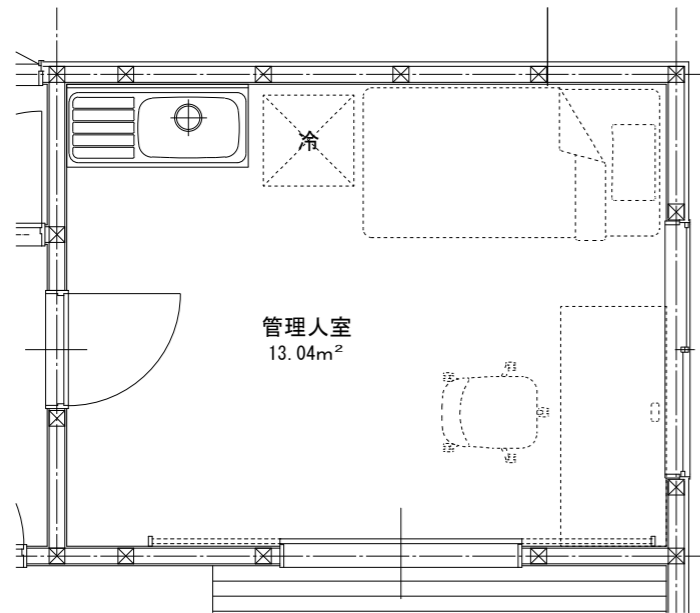
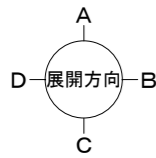


TITLE	芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）	MEMO		DATE	
ITEM	【増築管理棟】矩計図	SCALE	1 : 30	CHECK	



■ 廊下 仕上表

床	玄関: コンクリート金ゴテの上 150角御影石 廊下: モルタル金ゴテの上 ロボフローア シーグラスt=5.0mm程度/アスワン(株) 洗濯機室: モルタル金ゴテの上 長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=60 一部 床150角御影石立上げH=150
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼 一部 化粧シート貼
天井	石膏ボードt9.5の上 ビニールクロス貼 一部 化粧石膏ボードt9.5
備考	帳場カウンター: 仕様は展開図参照 計算できません 下足箱: 仕様は展開図参照 ピクチャーレール W2,600 洗濯室: 洗濯パン(設備)



■ 管理人室 仕上表

床	モルタル金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	ミニキッチン L1200

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

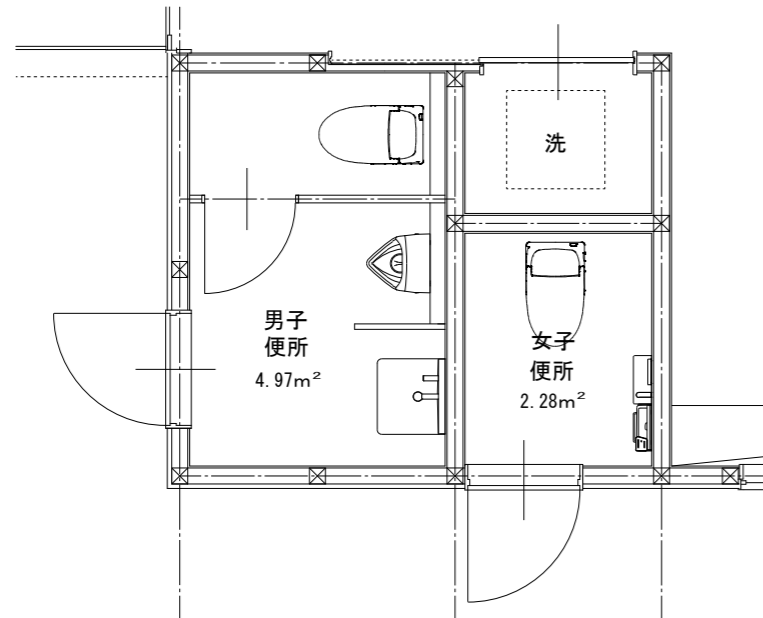
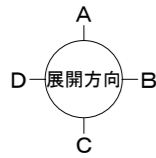
MEMO

DATE

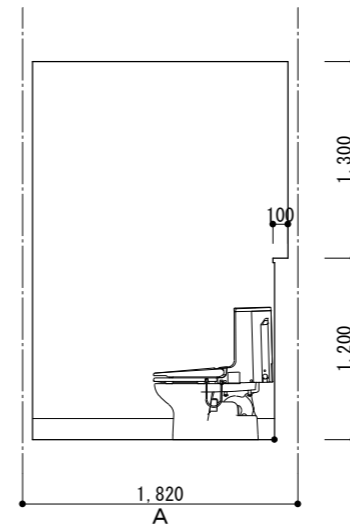
ITEM 【宿泊管理棟】展開図2

SCALE 1 : 80

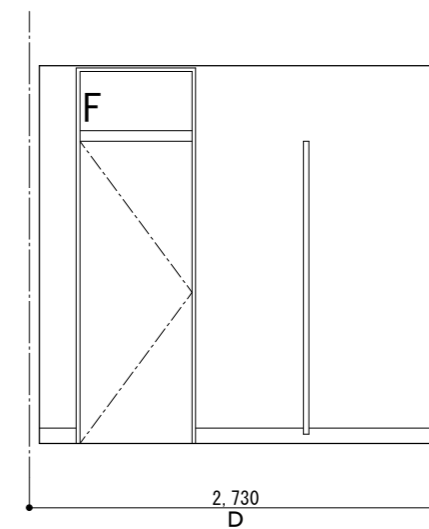
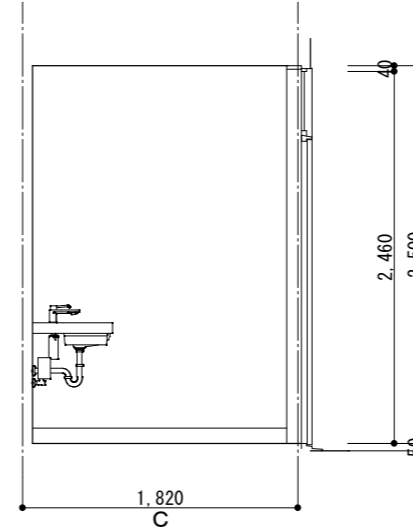
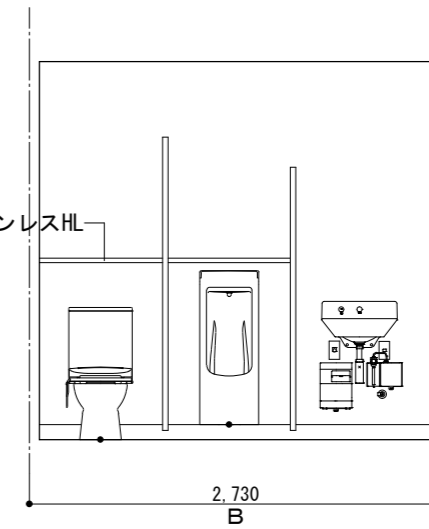
CHECK



男子便所



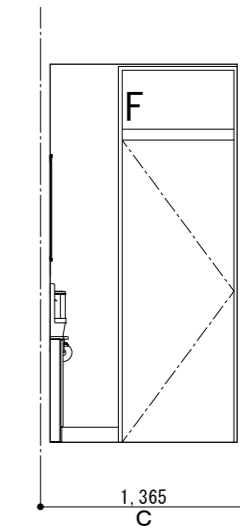
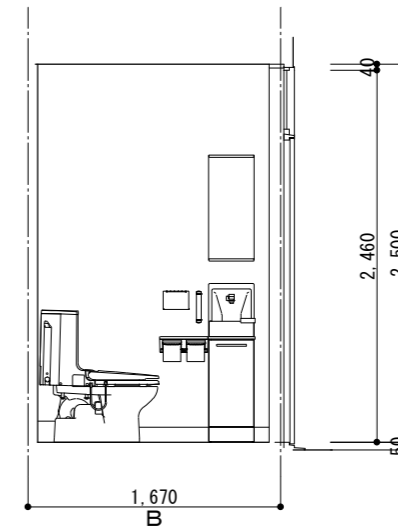
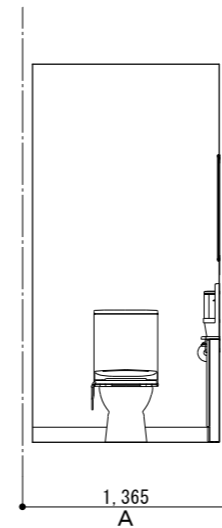
甲板：ステンレスHL



■男女トイレ 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 塗床
巾木	塗床立ち上げ H=100
壁	耐水Pbt12.5の上 着剤付き化粧シート貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	甲板：ステンレスHL

女子便所



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

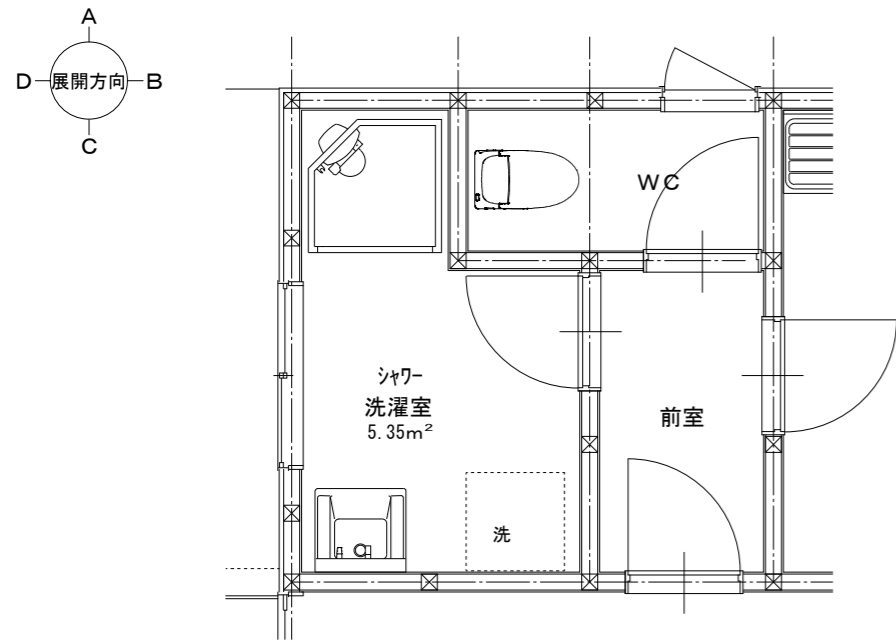
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】展開図3

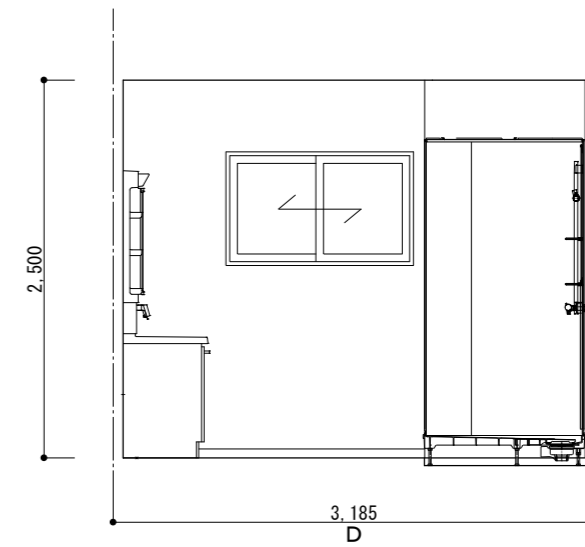
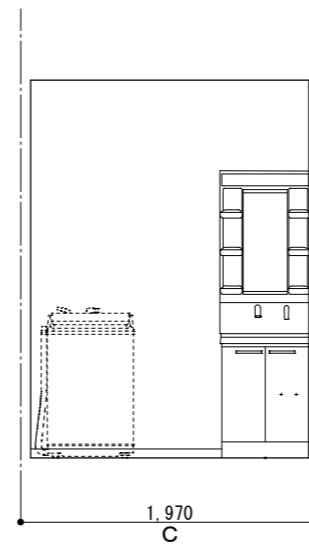
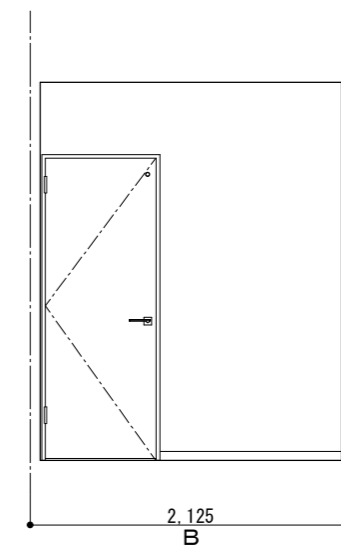
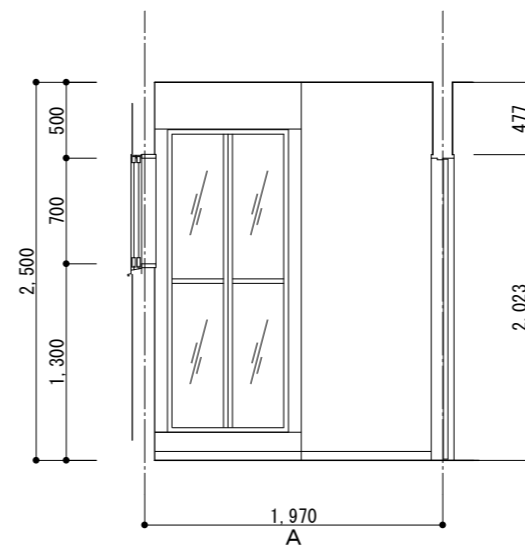
SCALE 1 : 100

CHECK



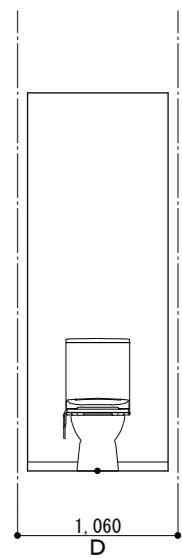
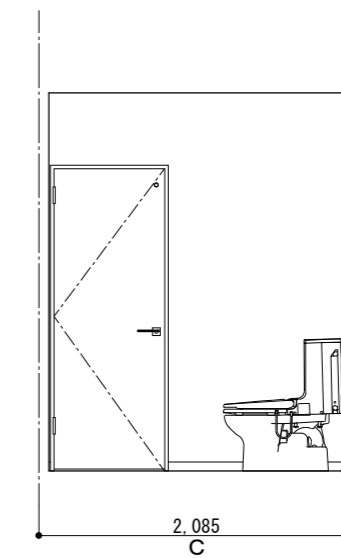
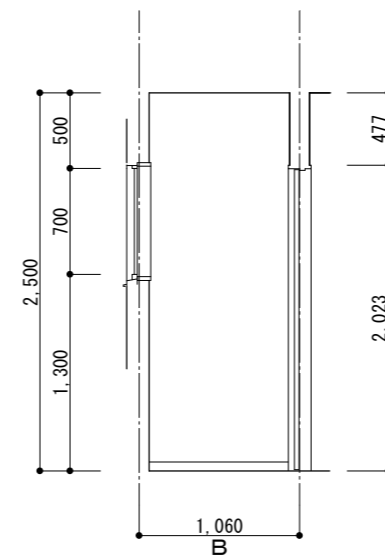
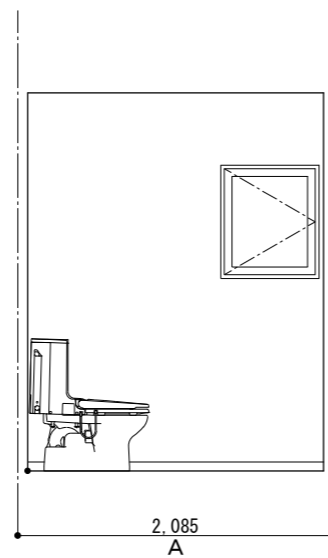
■ 管理人シャワー洗濯室 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	流し (LOS0705. LMAS075) 設備工事 洗濯機パン 設備工事



■ 管理人トイレ 仕上表

床	コンクリート金ゴテの上 長尺塩ビシートt2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	石膏ボードt12.5の上 ビニールクロス貼
天井	化粧石膏ボードt9.5
備考	シャワーユニット 0808



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

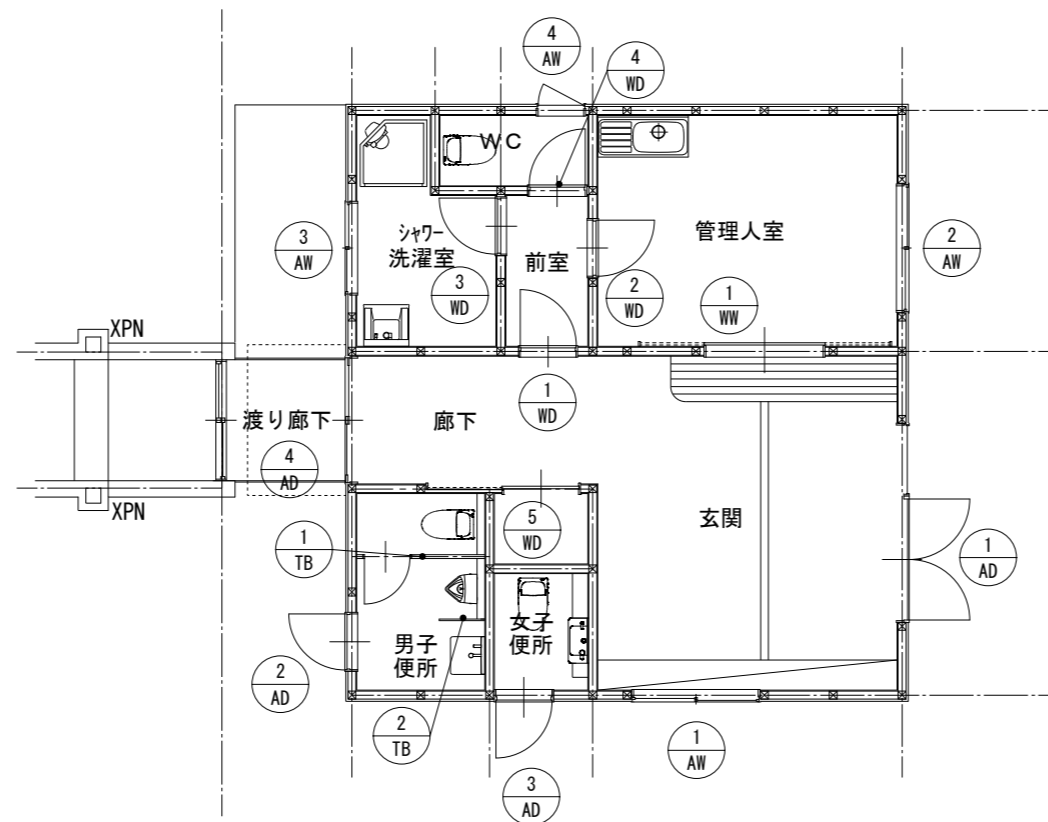
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】展開図4

SCALE 1 : 100

CHECK



管理人室 : 13.04㎡
 AW-2
 採光 : $13.04 \times 1/20 = 0.652$
 1.65×1.1
 $= 1.81\text{㎡} > 0.652 \text{※OK}$
 換気 : $13.04 \times 1/20 = 0.652$
 $1.65 \times 1.1 \times 1/2$
 $= 0.91\text{㎡} > 0.652 \text{※OK}$
 排煙 : $13.04 \times 1/50 = 0.261$
 $1.65 \times 0.4 \times 1/2$
 $= 0.33\text{㎡} > 0.261 \text{※OK}$

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具キープラン図

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	1 AD	前室 1	2 AD	男子便所 1	3 AD	女子便所 1	4 AD	廊下 1
姿図								
形式	両開きドア+FIX		片開きドア+ランマFIX		片開きドア+ランマFIX		引違ドア	
材質・仕上	アルミ (カラー)		アルミ (カラー)		アルミ (カラー)		アルミ (カラー)	
見込	70mm		70mm		70mm		70mm	
硝子	強化ガラス6+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		強化ガラス6+A12+LowE3	
金物	ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 DC、フランス落し、衝突防止マーク		レバーハンドル、シリンダー錠 DC		レバーハンドル、サムターンシリンダー錠 (表示) DC		ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 衝突防止マーク	
備考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

記号	1 AW	玄関 1	2 AW	管理人室 1	3 AW	シャワ洗濯室 1	4 AW	WC 1
姿図								
形式	アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 引違い窓		アルミ樹脂複合 横滑り窓	
材質・仕上	アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂		アルミ (ステンカラー) /樹脂	
見込	70mm		70mm		70mm		70mm	
硝子	FL4+A12+LowE3		FL4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3		型板4+A12+LowE3	
金物	水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 16509		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 16511		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 11907		水切り、クレセント、額縁：樹脂既製品、網戸 06007	
備考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具表 1

SCALE 1 : 100

CHECK

記号	① WD	前室 1	② WD	管理人室 1	③ WD	シャ-洗濯室 1	④ WD	WC 1
姿 図								
形 式	片開き戸		片開き戸		片開き戸		片開きトイレ戸	
材質・仕上								
見 込								
硝 子								
金 物	サムターンシリンダー錠 ラシッサ LAA : LIXIL同等品		ラシッサ LAA : LIXIL同等品		ラシッサ ATL : LIXIL同等品		表示錠 ラシッサ ATL : LIXIL同等品	
備 考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

記号	⑤ WD	廊下 1	① WW	管理人室 1	① TB	男子便所 1	② TB	男子便所 1
姿 図								
形 式	片引き戸 (Vレール)		引分け窓		トイレブース		トイレブース	
材質・仕上			メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込			36		36		36	
硝 子			FL4					
金 物			堀込引手、Vレール、戸車、鎌鍵		脚金物、表示錠、ラバトリーヒンジ、帽子掛		脚金物	
備 考	ラシッサ LAA : LIXIL同等品 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

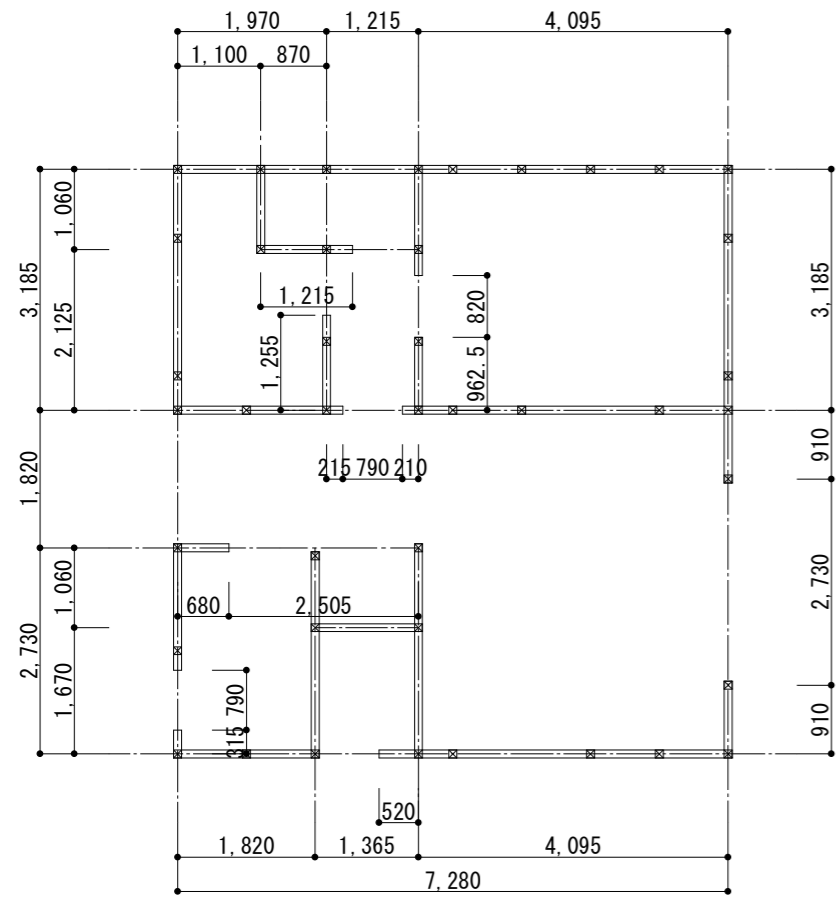
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】建具表 2

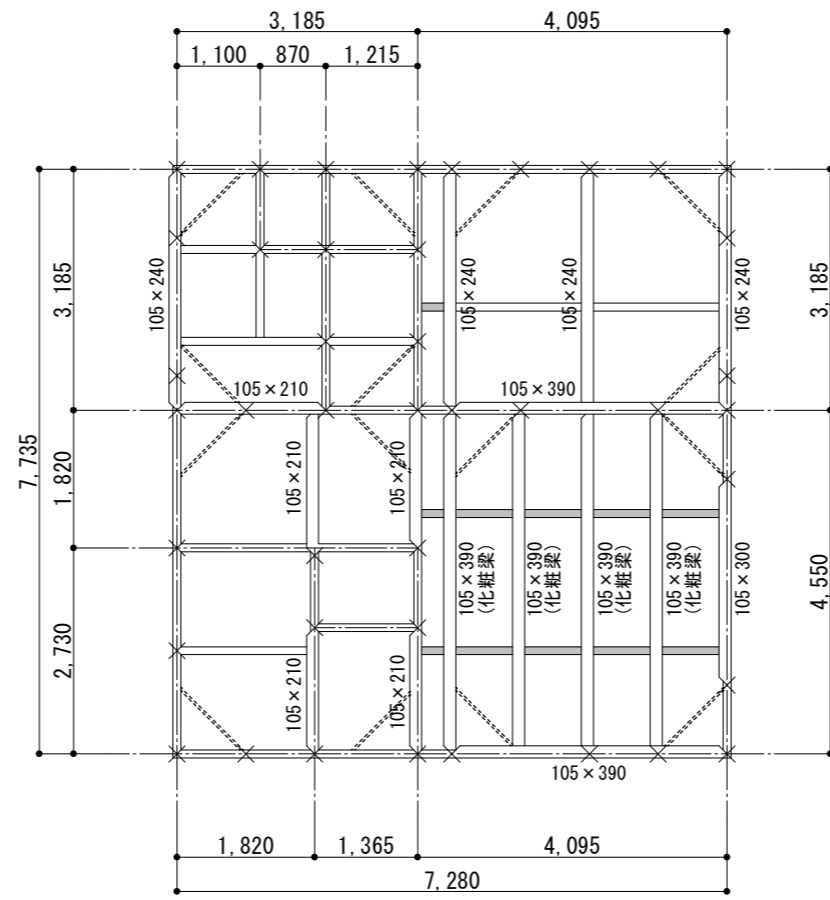
SCALE 1 : 100

CHECK



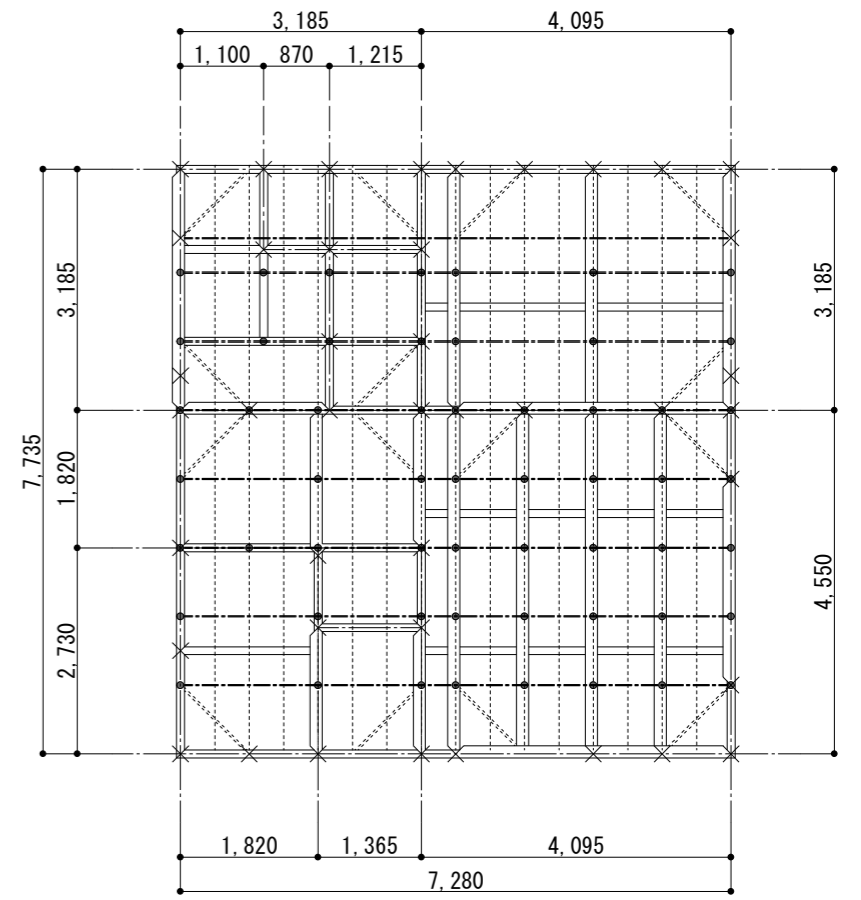
土台 : 105 × 105

土台伏図



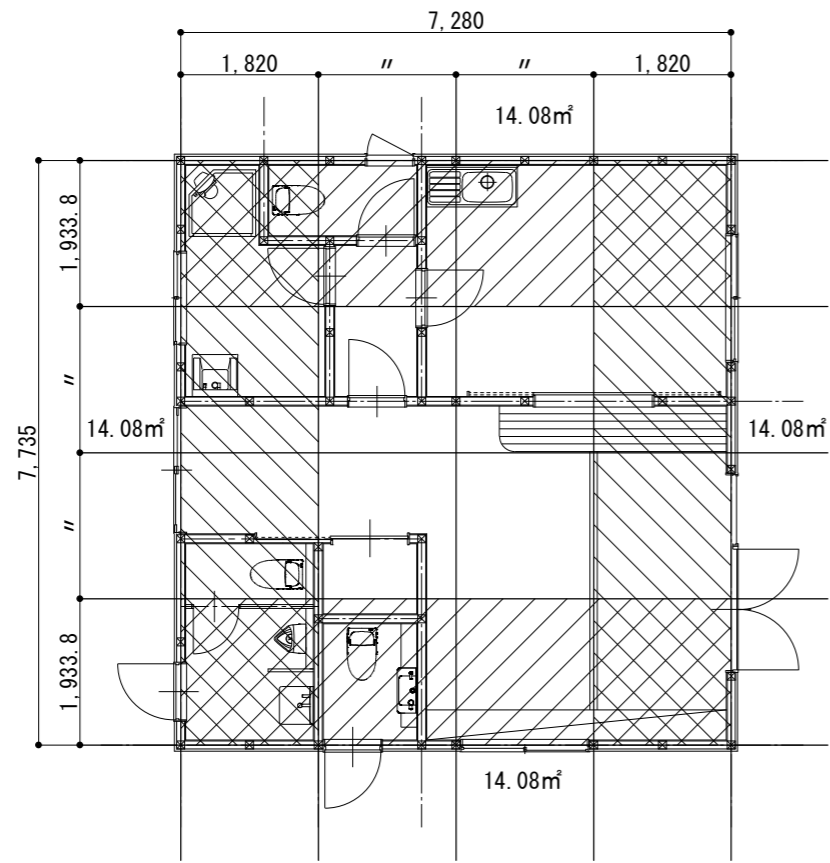
小屋伏図 1

- × 1階柱
- 特記なき梁は105 × 180
- 105 × 105
- 火打ち金物

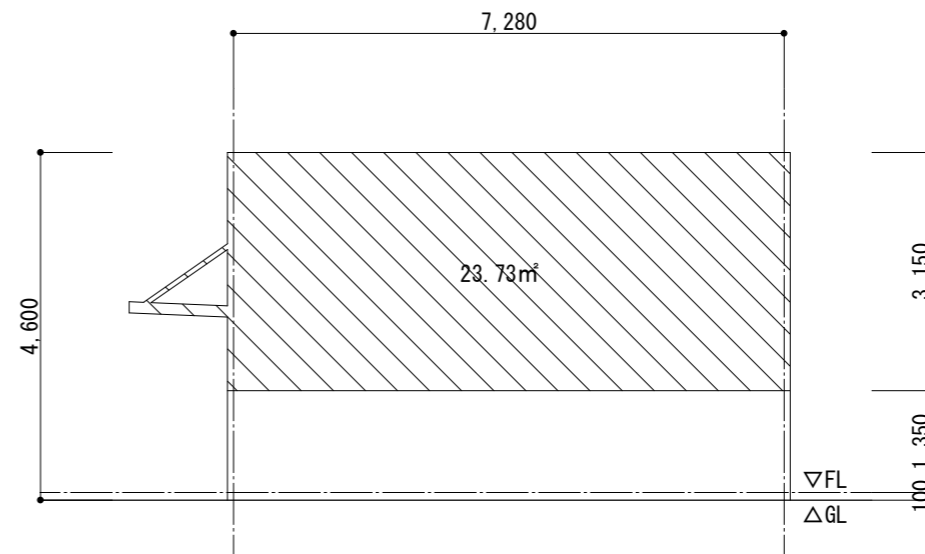


小屋伏図 2

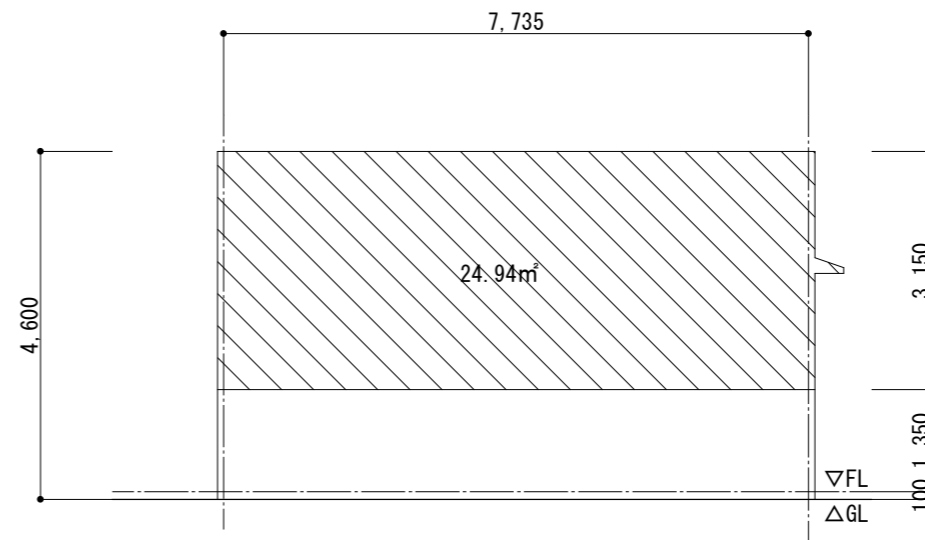
- 母屋 : 90 × 90 @ 910
- 垂木 : 45 × 90 @ 455
- 束 : 90 × 90



床面積 : 56.31m²



Y方向の見付面積 (はり間)



X方向の見付面積 (はり間)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

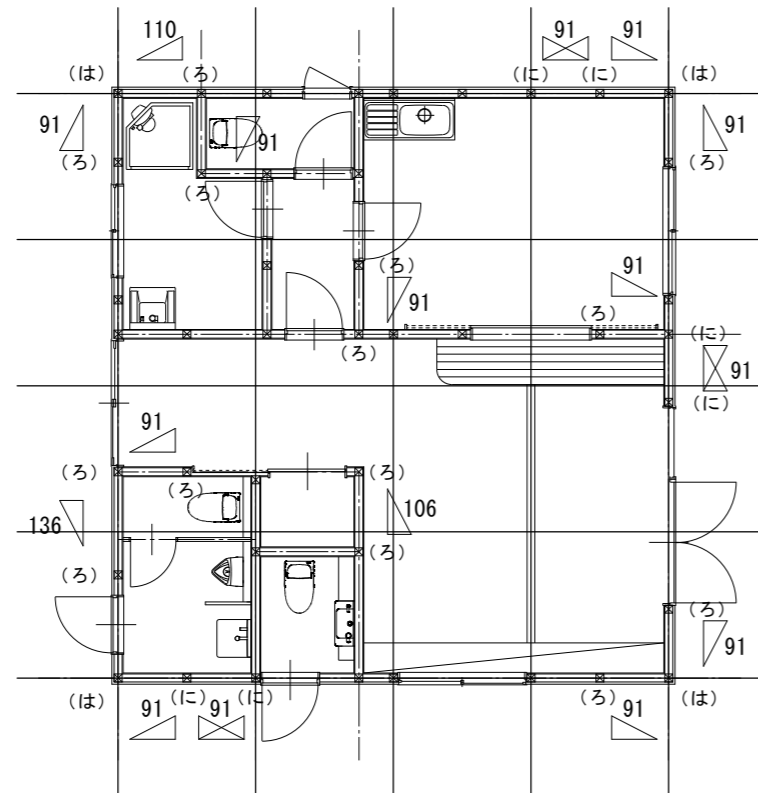
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出 (求積図)

SCALE 1 : 100

CHECK



凡例

土台 : 105×105

柱 : 105×105

梁・頭繋 : 105×180 (基本サイズ)

母屋 : 90×90@910

小屋束 : 90×90

鋼製火打

△ : 45×90筋交い 壁倍率2.0

⊠ : 45×90筋交い (たすき) 壁倍率4.0

樹種

構造材 : ひのき (代用樹種の使用可)

造作材 : 松, 杉, ひのき (代用樹種の使用可)

下地材 : 松, 杉 (代用樹種の使用可)

代用樹種 : 国交省標準仕様書 表12.2.2による

・柱頭、柱脚接合部仕様 (平12建告第1460号表3)

	継手・仕口の仕様 又は、同等以上の接合方法
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打ち、又は、かど金物CP-L
(は)	かど金物CP-L、又は、山形プレートVP
(に)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S
(ほ)	羽子板ボルトSB、又は、短冊金物S (スクリュウ釘あり)
(へ)	10kN用引き寄せ金物 (HD-B10)
(と)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15)
(ち)	20kN用引き寄せ金物 (HD-B20)
(り)	25kN用引き寄せ金物 (HD-B25)
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物 (HD-B15) × 2個

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出 (平面図)

SCALE 1 : 100

CHECK

必要壁量	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)		風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量	
		X方向 (桁行), Y方向 (はり間)		X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
	1階	床面積 (㎡) 56.31 × 13 = 732.03	(cm)	見付面積 (㎡) 24.94 × 50 = 1247.00	(cm)	見付面積 (㎡) 23.73 × 50 = 1186.50	(cm)
2階	床面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	見付面積 (㎡)	(cm)	

壁量計算	階数	耐力壁の種類 (S56建告1100)	倍率	有効壁量 (cm)		判定	
				X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
				壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長	壁長 × 倍率 × 個数 = 有効壁長		
1階	筋交い 45×90	2.0	91 × 2.0 × 5 = 910	91 × 2.0 × 5 = 910	1858>1247	1758>1186.5	
	筋交い 45×90	2.0	110 × 2.0 × 1 = 220	106 × 2.0 × 1 = 212			
	筋交い 45×90	2.0		136 × 2.0 × 1 = 272			
	筋交い 45×90 (たすき)	4.0	91 × 4.0 × 2 = 728	91 × 4.0 × 1 = 364			
				1858	1758	OK	OK
2階							

耐力壁配置検討					
階数		X方向		Y方向	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
1階	存在壁量 (cm)	91 × 2.0 × 1 = 182 110 × 2.0 × 1 = 220 91 × 4.0 × 1 = 364	91 × 2.0 × 2 = 364 91 × 4.0 × 1 = 364	91 × 2.0 × 2 = 364 136 × 2.0 × 1 = 272	91 × 2.0 × 2 = 364 91 × 4.0 × 1 = 364
		合計 766	合計 728	合計 636	合計 728
	床面積 (㎡)	14.08	14.08	14.08	14.08
	必要壁量 (cm)	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04	14.08 × 13 = 183.04
	壁量充足率	766 / 183.04 ≒ 4.18 > 1.0	728 / 183.04 ≒ 3.97 > 1.0	636 / 183.04 ≒ 3.47 > 1.0	728 / 183.04 ≒ 3.97 > 1.0
壁量比	—		—		
2階	存在壁量 (cm)				
		合計	合計	合計	合計
	床面積 (㎡)				
	必要壁量 (cm)				
	壁量充足率				
壁量比					

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

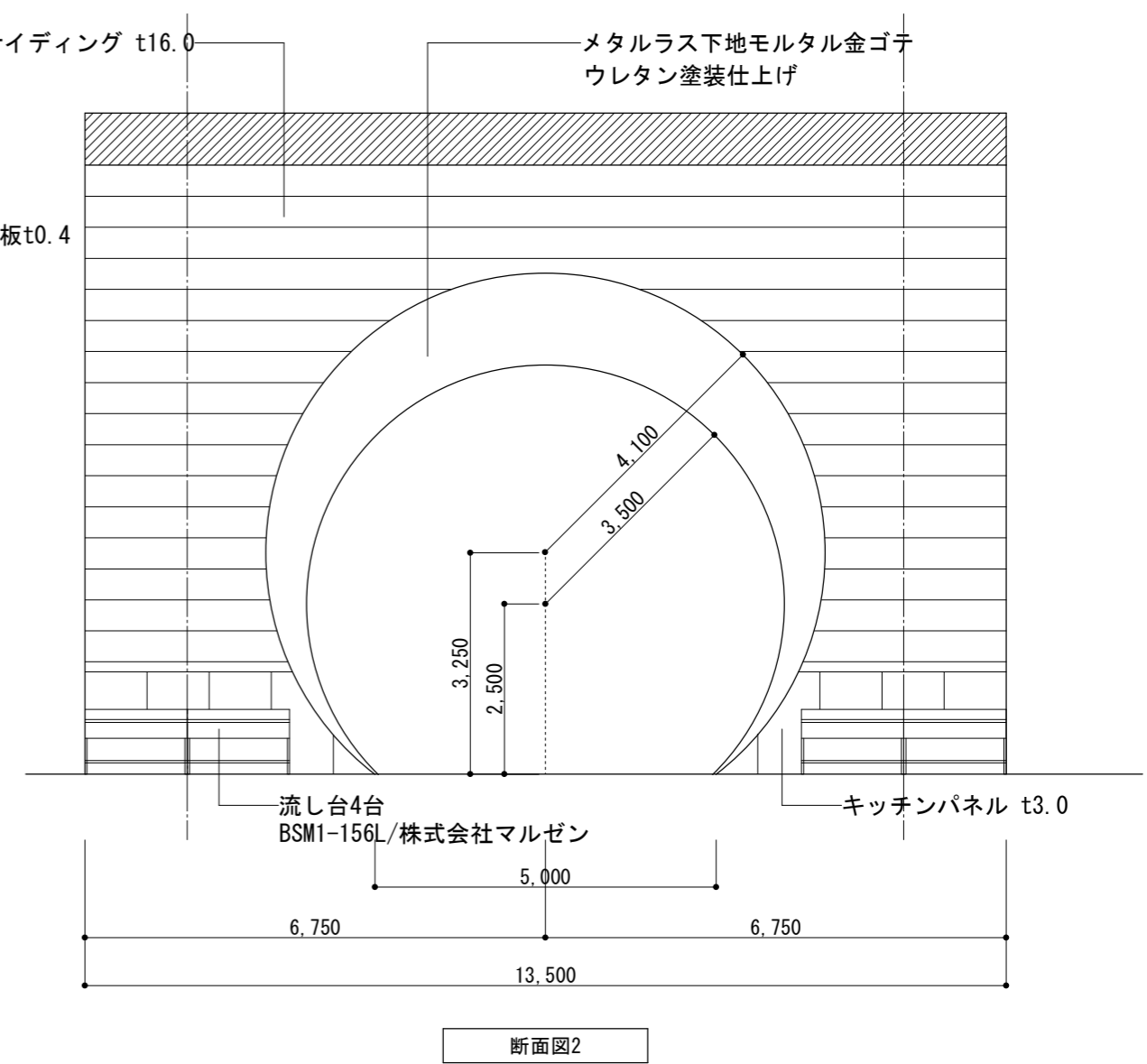
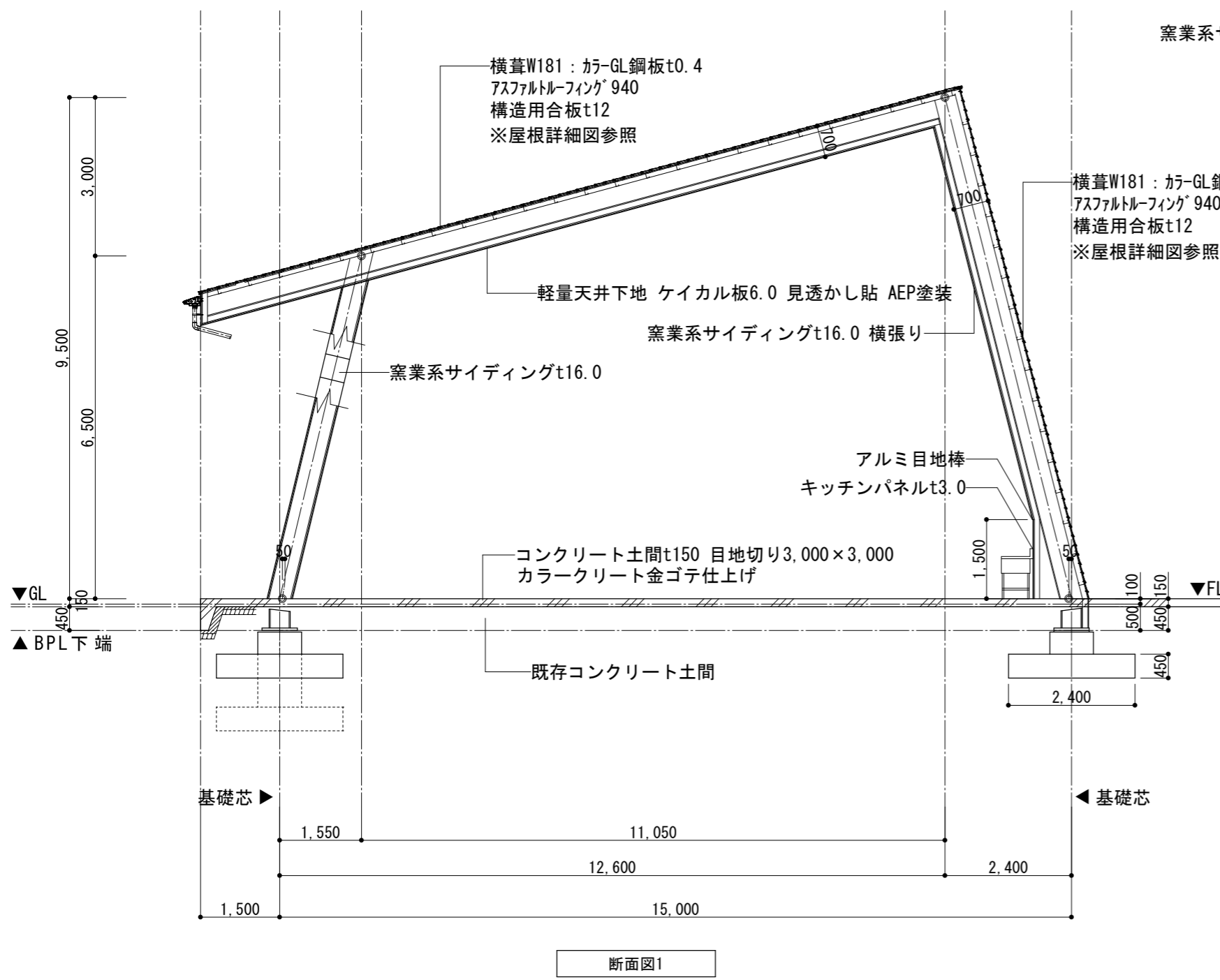
MEMO

DATE

ITEM 【増築管理棟】耐力壁算出

SCALE 1 : 100

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 【活動スペース】断面図

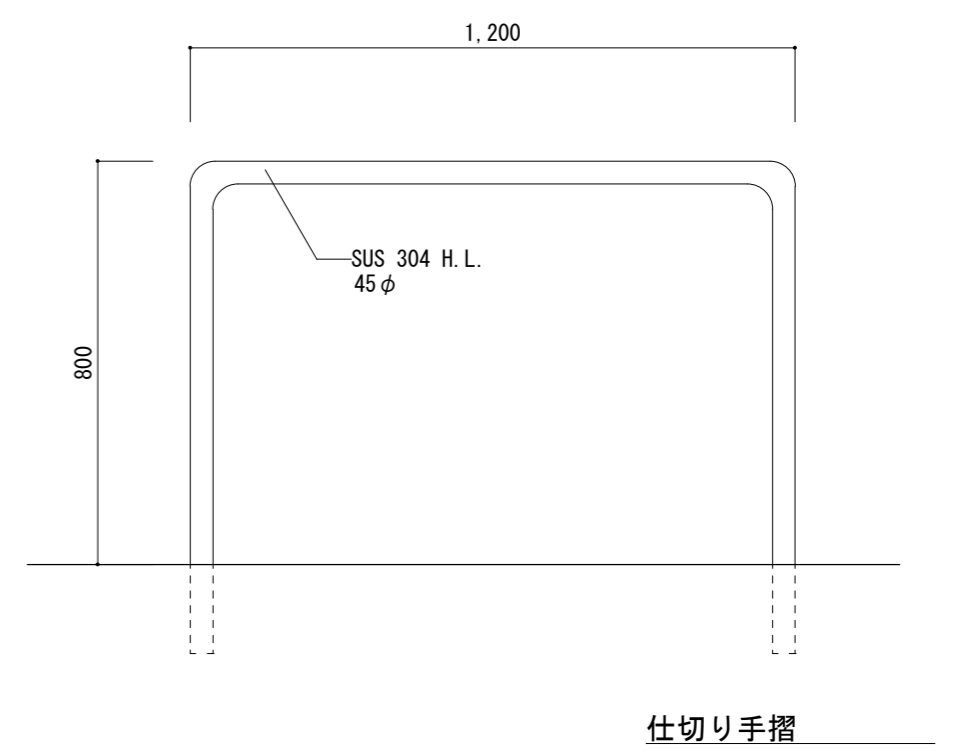
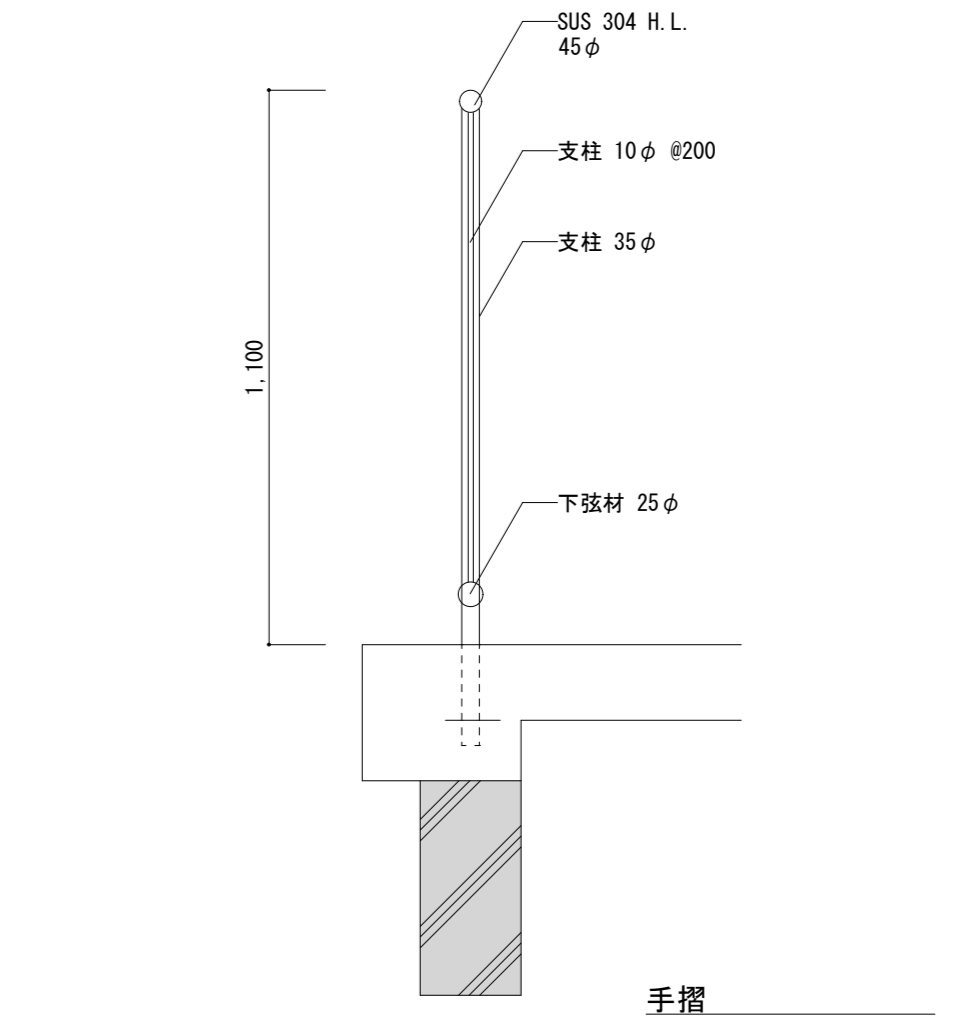
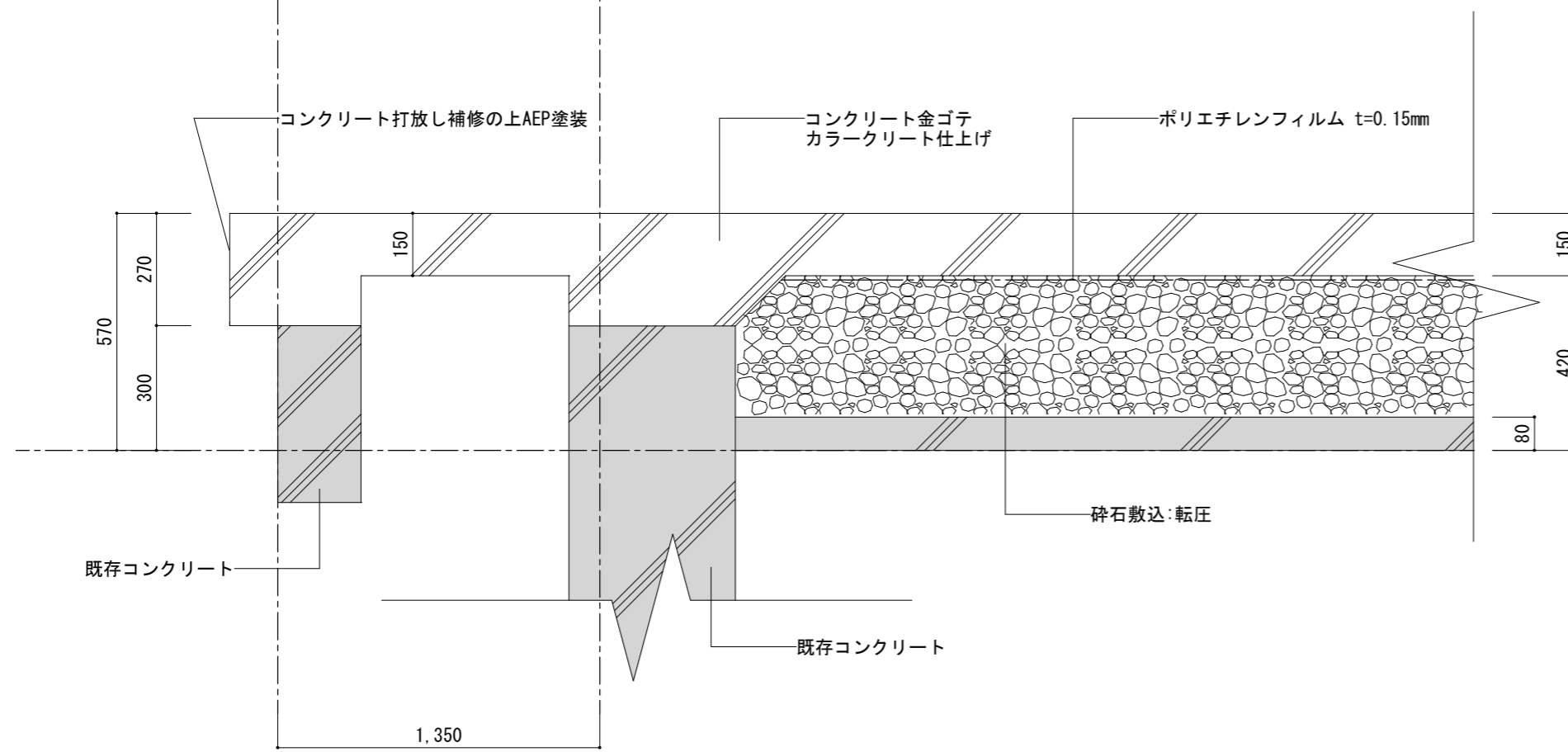
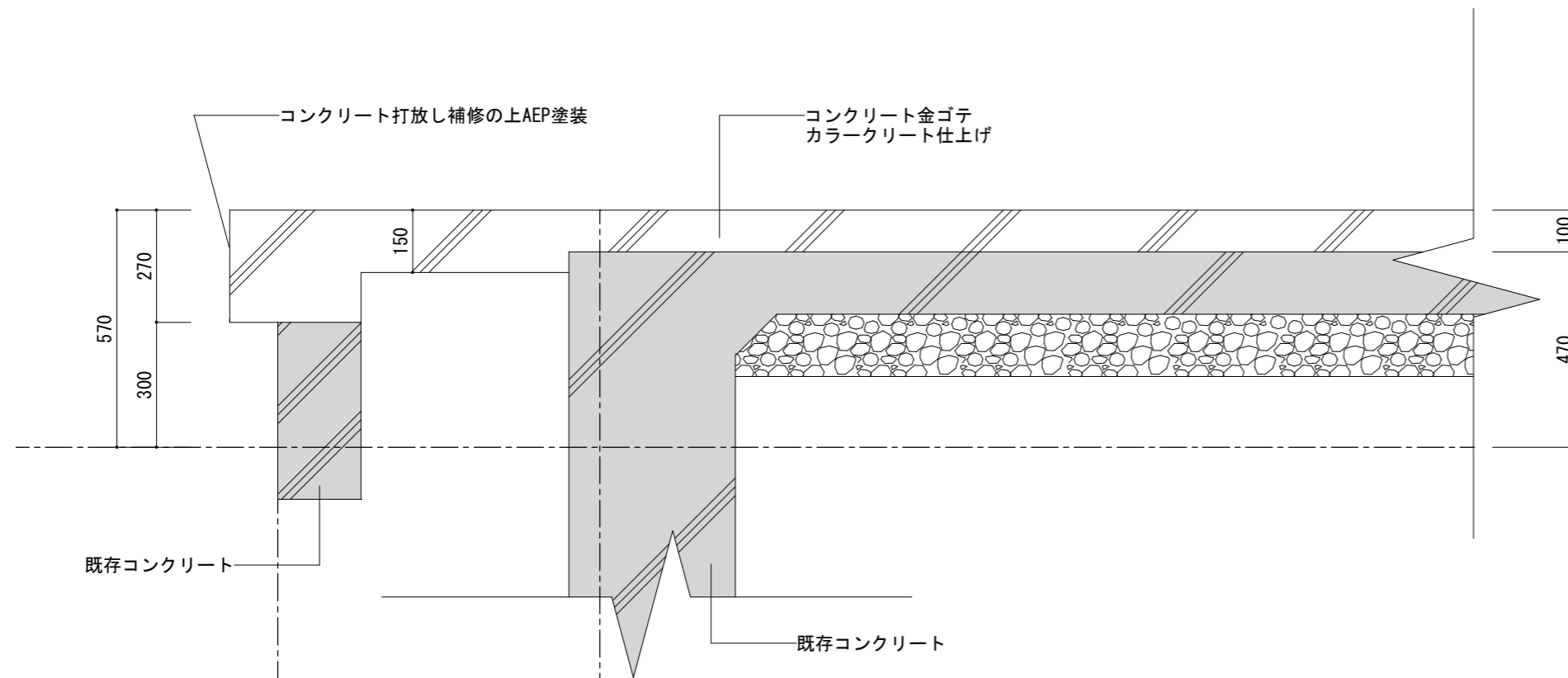
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO D-40

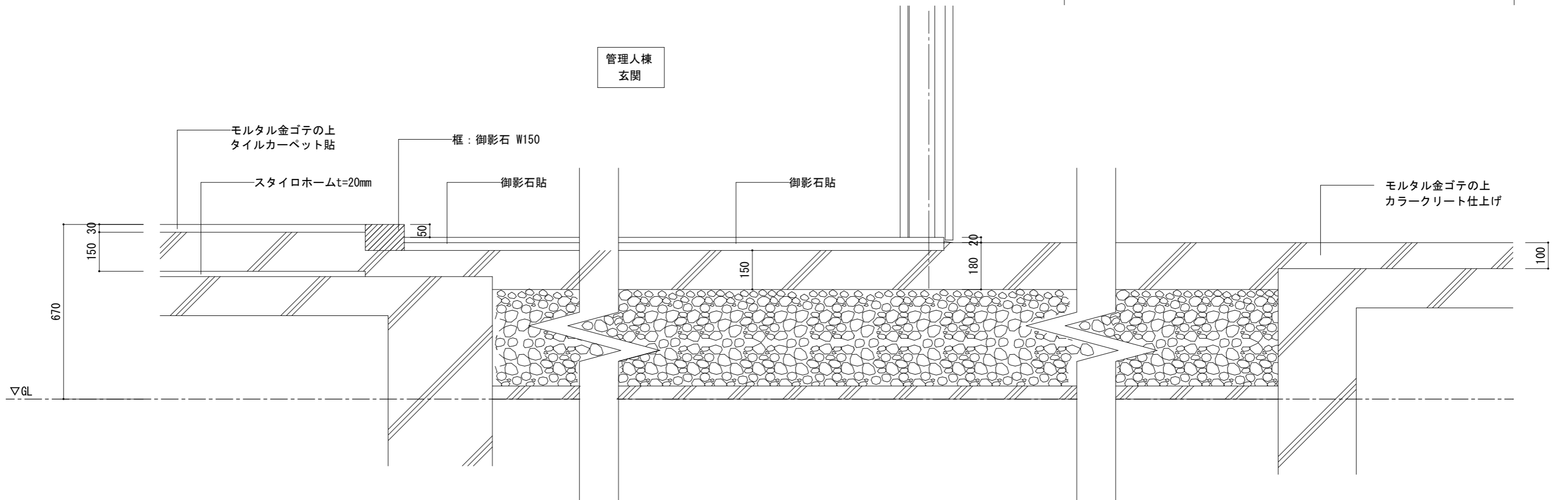
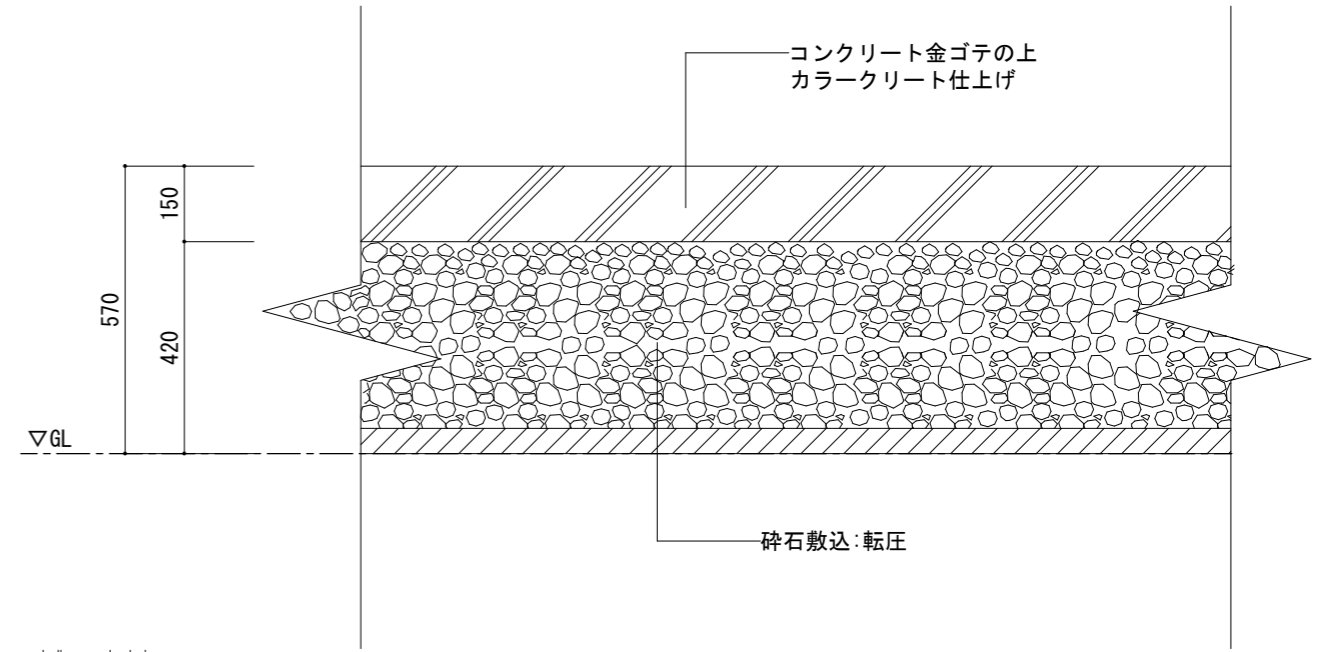
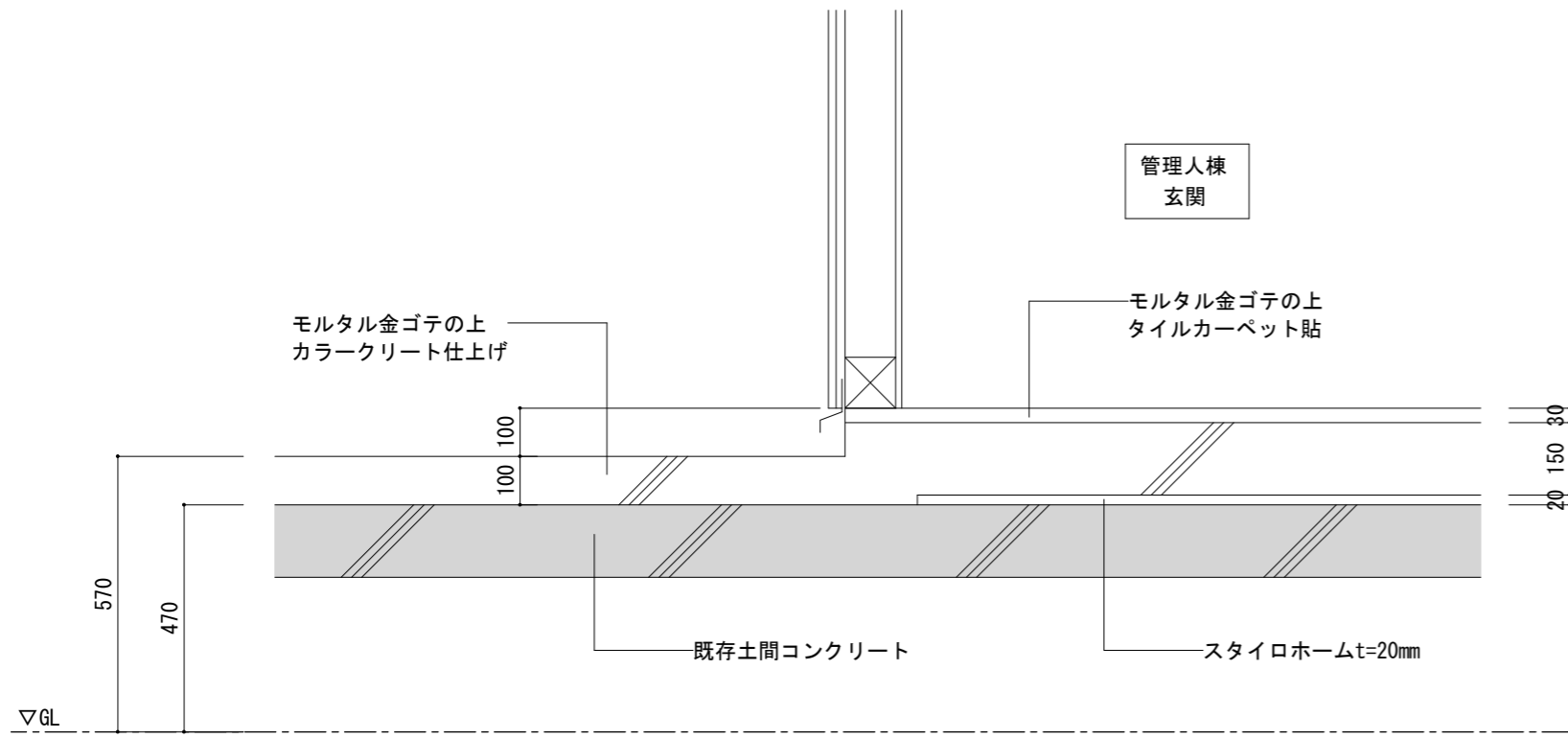


TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 詳細図

MEMO
 SCALE 1 : 15

DATE
 CHECK

NO D-41
 -1



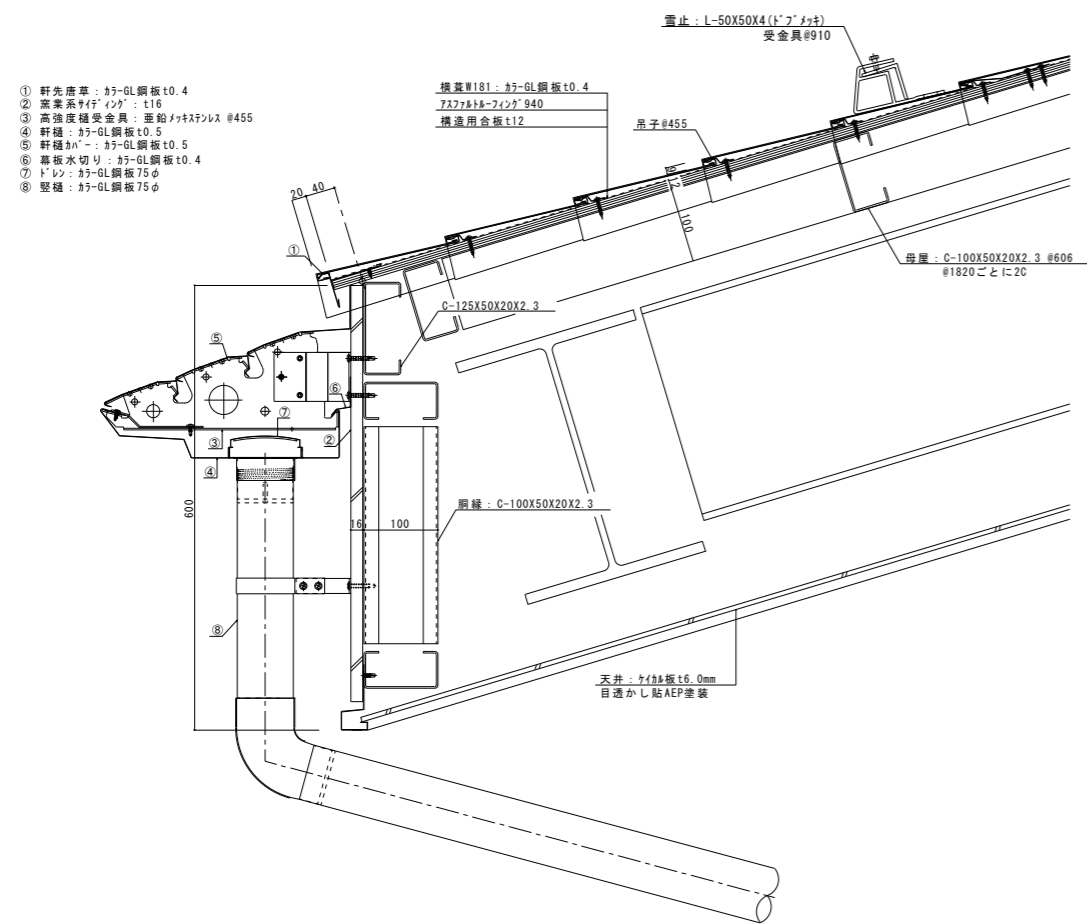
TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 詳細図2

MEMO
 SCALE 1 : 15

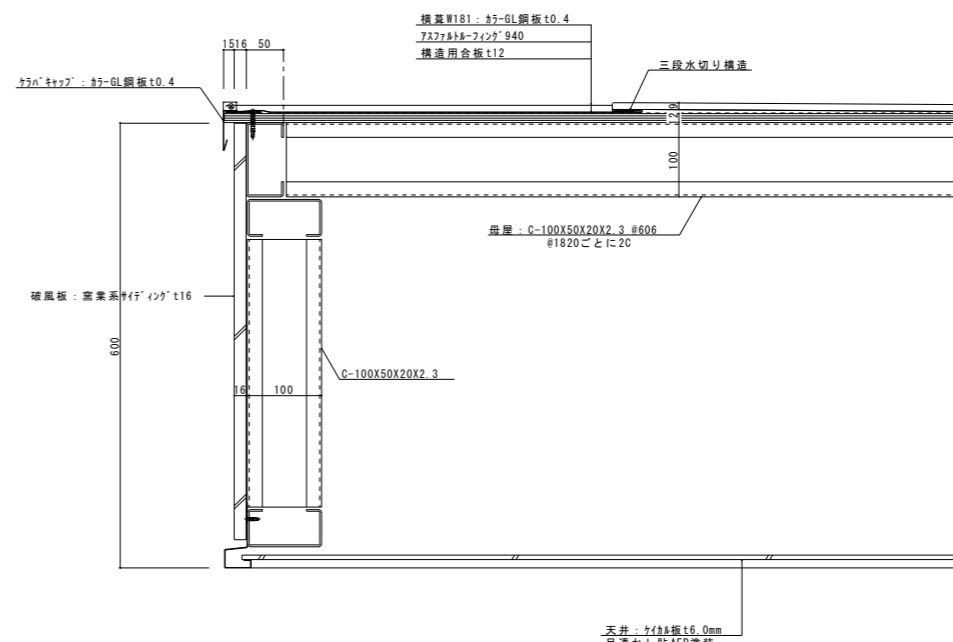
DATE
 CHECK

NO D-41
 -2

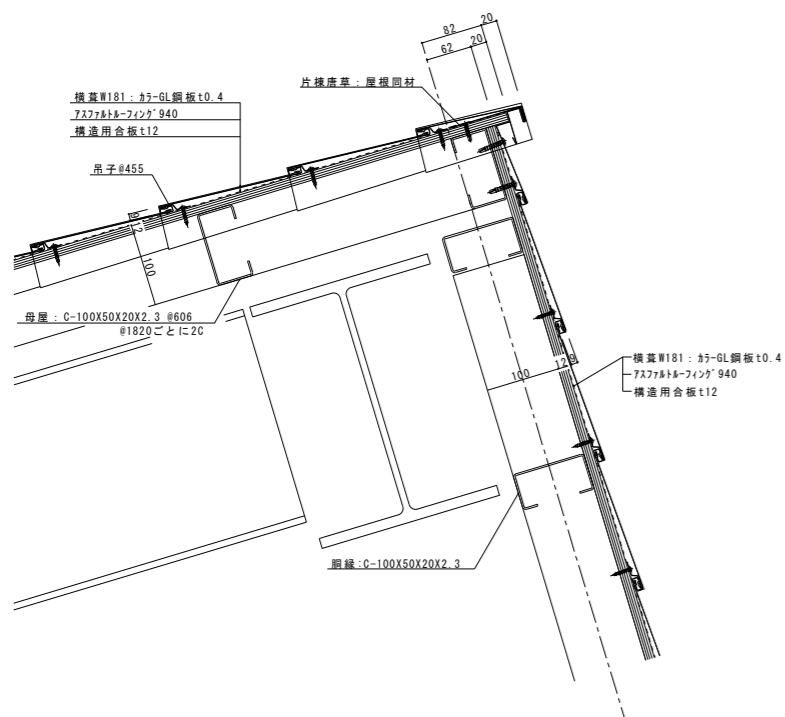
軒先



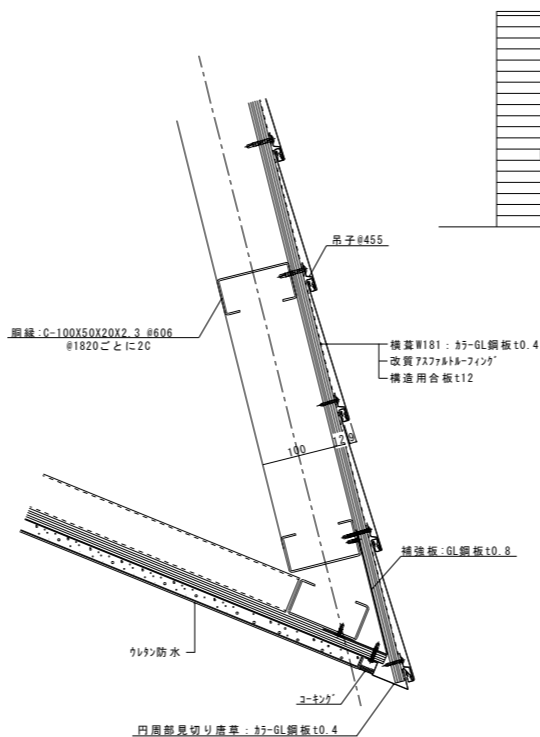
妻側



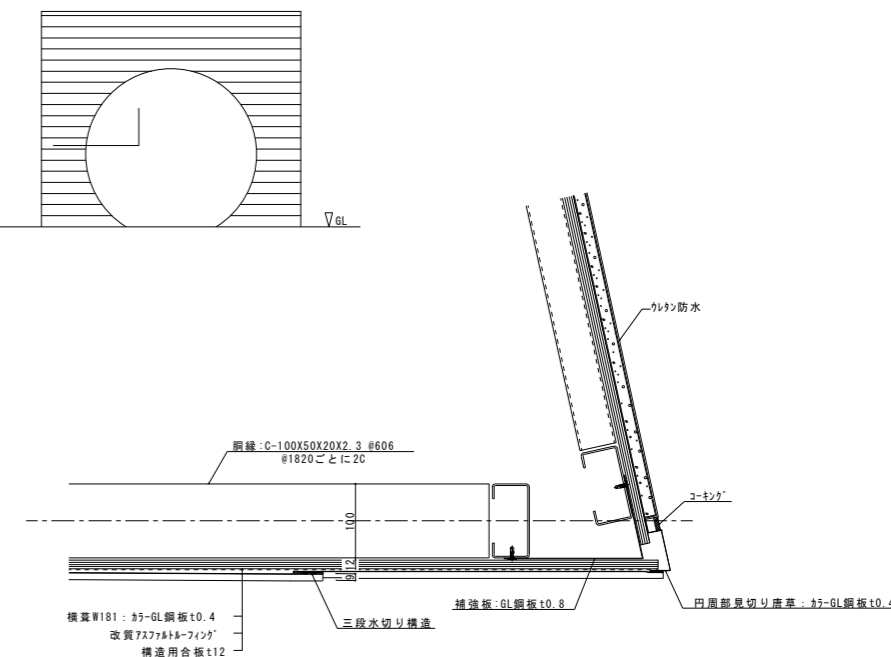
片棟



円周上部



円周側面



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

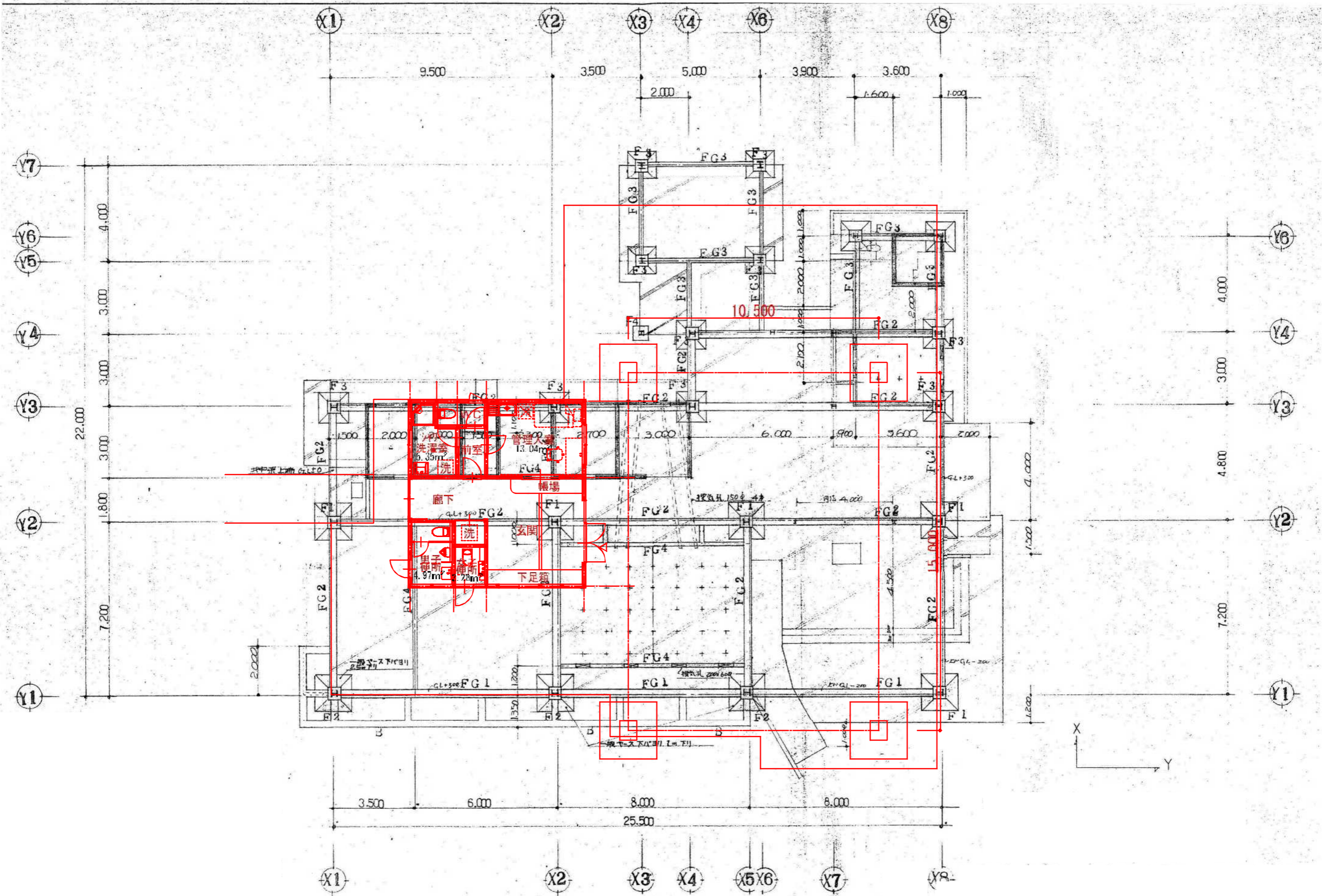
MEMO

DATE

ITEM 【活動スペース】屋根詳細図

SCALE 1:5

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【活動スペース】基礎確認図

SCALE 1 : 150

CHECK

外部仕上表

屋根	改修前	カラー鉄板瓦葺き、アスファルトルーフィング22kg、野地板@12、雪止めアングル：耐候性鋼L=50×50、L=300 チドリ配置 トップライト：ポリカーボネート性 900角（アルミ枠・アルミ水切付）3ヶ所、（建設省告示101号適合品）	ぬれ縁	改修前	スノコ、ヒバ120×60 @80、木材保護塗料塗り（3回）
	改修後	断熱材付ガルバリウム鋼板によるカバー工法		改修後	撤去
軒天	改修前	硬質木片セメント板 @12 VP 目透かし@900	縦樋・軒樋	改修前	配管用鋼板 縦樋：塩ビ製100φ OP
	改修後	軒天及び破風板撤去、 軒天一段ケイカル板AEP塗装、破風板キシラデコール塗装		改修後	既存撤去、新規新設 軒樋：カナメシャープ樋、縦樋：カラーGL鋼板t0.5
外壁	改修前	ラスカットボード@9.0 モルタル金ゴテ シリカー系リシン吹付、ローラー押え 腰：杉板@18 押縁下見張り@176、木材保護塗料塗り（3甲斐）	柱型	改修前	化粧付柱 180×30杉材、木材保護塗料塗り（3回）
	改修後	現況の腰杉板撤去、その他、現況の上、構造用合板t3.0、縦胴縁、現場発泡ウレタンt25、構造用合板t9.0 窯業系サイディングt16貼		改修後	付け柱：調整の上、縦胴縁として使用
基礎	改修前	コンクリート打放し	建具	改修前	アルミ製サッシ見込70（ブロンズ色）、内部木製、スチール製サッシ見込86（OP塗）
	改修後	コンクリート打放し、モルタル補修の上、AEP塗装		改修後	ガラスを真空ガラスに入替え
渡り廊下	改修後	床：ノーマッドマット（ケミタングルハード）t14.0mm			

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】外部仕上表

SCALE -

CHECK

NO

D-44

内部仕上表

階	室名		天井高	床	巾木	壁	天井	備考
1階	前室	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AFP	
		改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	一部天井補修の上、AEP塗装上塗り	
	研修室 ↓ ベツルーム	改修前	2,400	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ AEP塗装	石膏ボードt9.0 AEP 木製格子天井(一部)	
		改修後		縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装	カーテン(備品)、カーテンレール セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)
	研修室・宿泊室 ↓ ベツルーム	改修前	2,400	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、ラスカットボード@9.0、モルタル金ゴテ AEP (界壁は小屋裏までモルタル金ゴテ仕上)	石膏ボードt9.0 AEP 木製格子天井(一部)	
		改修後		縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装	カーテン(備品)、カーテンレール セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)
	リネン	改修前	2,400	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	木製棚
		改修後		長尺塩ビシート t2.0 張り替え	OP	AEP塗装上塗り	天井補修の上、AEP塗装上塗り	
	食堂	改修前	2,300 3,600	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12、ビニールクロス貼り(準不)	石膏ボードt9.0 ビニールクロス貼り(準不)	ステンレス流し(撤去)
		改修後		長尺塩ビシート撤去の上、ロボフロアt5.0(アスワン様)	OP	ビニールクロス張り替え	ビニールクロス張り替え	流し台新設、暖炉 カーテンレール
	洗面 ↓ 男子・女子便所	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	
		改修後		長尺塩ビシート t2.0 張り替え	長尺巻き上げ	下地処理の上化粧シート貼	既存石膏ボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×1,600
	女子便所	改修前	2,400	磁器質タイル50角タイル貼り 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	磁器質 100角タイル	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP 腰壁：磁器質タイル貼り H=1000 色分けライン	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角	
		改修後		既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート	長尺巻き上げ	モルタル、タイル撤去の上、 耐水PB12.5下地化粧シート貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×2,000
	男子便所	改修前	2,400	磁器質タイル50角タイル貼り 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	磁器質 100角タイル	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP 腰壁：磁器質タイル貼り H=1000 色分けライン	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角	
		改修後		既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート	長尺巻き上げ	モルタル、タイル撤去の上、 耐水PB12.5下地化粧シート貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー600×1,600
シャワー室 ↓ シャワー室及び脱衣室	改修前	2,400	防水モルタル金ゴテ、塩ビ製スノコ敷込 踏込：モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	モルタル金ゴテ 目地分れ VP H=100	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP	フレキシブルボードt6.0 目透かし VP 910角		
	改修後		既存撤去後 シャワールーム 脱衣室：長尺塩ビシート 張り替え	ソフト巾木 H=100	耐水PBt12.5 ビニールクロス貼	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼	ミラー1,200×900 シャワーユニット 0912	
廊下	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP トップライト部：アルミ製ルーバー60角(木柄)		
	改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP		
渡廊下 (階段)	改修前	2,450	モルタル金ゴテ、長尺塩ビ系シート t2.0(ヨウセツ止め)	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP		
	改修後		長尺塩ビシート撤去の上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	PB面はビニールクロス貼 モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP	ノンスリップ	
2階	研修兼 宿泊室 ↓ ベツルーム	改修前	2,100 3,750	均しモルタル下地、ネダフォームt65 タタミt60敷込、ケヤキ柄縁甲板張り	タタミ寄せ 雑巾摺り	木胴縁、ラスカットボードt9.0、モルタル金ゴテ 目地切VP ジュラク柄ビニールクロス貼り(準不)(界壁は小屋裏まで)	石膏ボードt9.0 ビニールクロス貼り(準不)	
		改修後		ネダフォーム撤去の上、乾式2重床の上、合板t12.0 タイルカーペット (NT350)t6.2	ソフト巾木 H=100	ビニールクロス張り替え	ビニールクロス張り替え 一部換気扇部分フラット壁必要	壁掛け扇風機(各個室)
	押入	改修前		木組床、合板t5.5 (T.1)	雑巾摺り	木胴縁、合板t4 (T.1)	合板t3.0 (T.1)	
		改修後		合板t5.5の上、長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=100	PBt12.5の上、ビニールクロス貼	PBt9.5の上、ビニールクロス貼	
	廊下	改修前	2,100 3,750	モルタル金ゴテ下地、ラバークッション付、長尺縁甲板張りt12.5	木製 OP H=100	木胴縁、石膏ボードt12 AEP	石膏ボードt9.0 AEP	
改修後			長尺縁甲板張りの上、タイルカーペット (NT350)t6.2	OP	ボード下地の上、AEP塗装 一部、クラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装	既存天井補修の上、AEP		
階段			踏面：タイルカーペット (NT350)t6.2、蹴上：ウレタン塗装				ササ、蹴上：OP塗装 ノンスリップ 取付	

注1) 内部天井補修はボード張替とし、想定数量20.5㎡とする
但し、施工時期変更がある場合は協議し、負債金額の増減を行う

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

MEMO

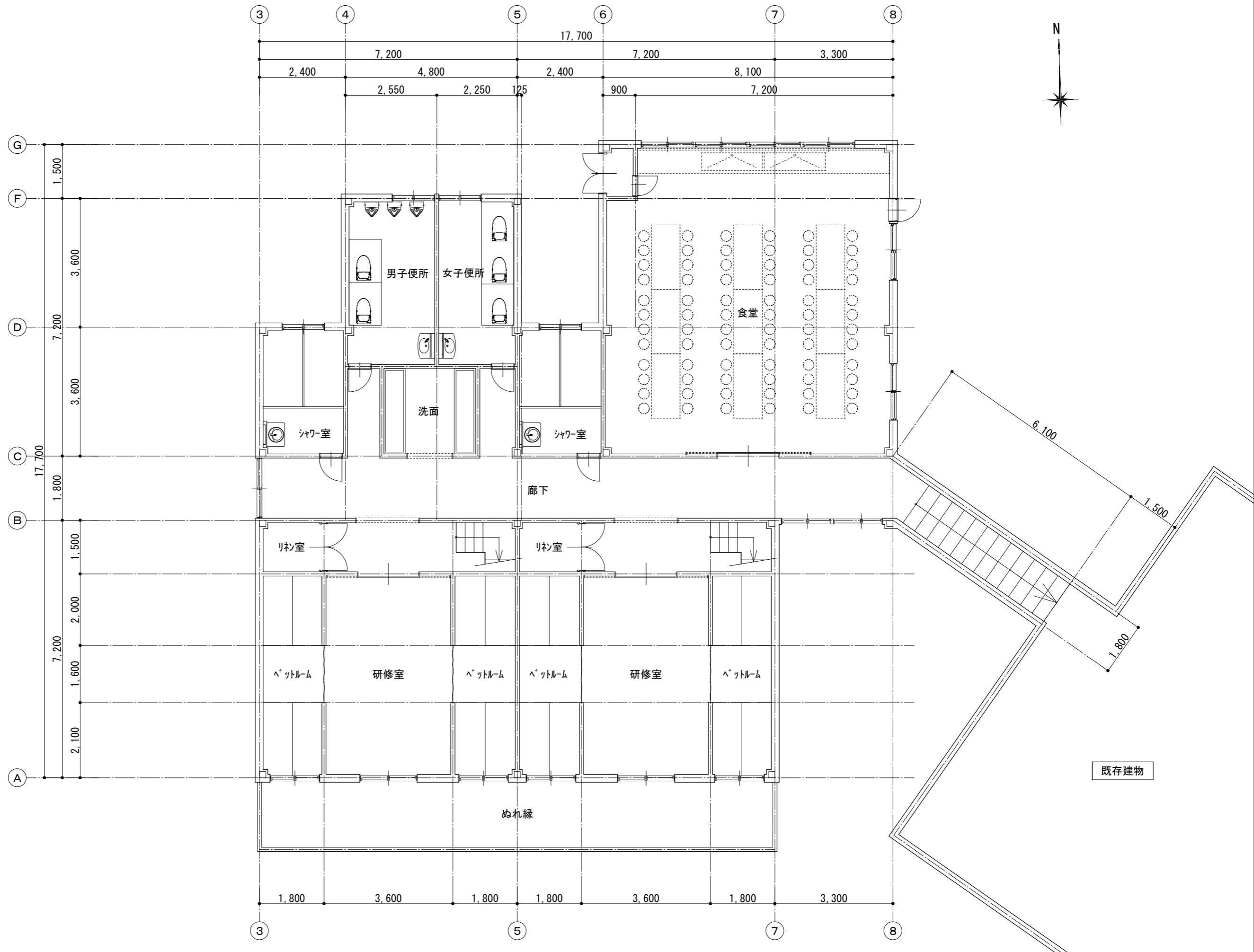
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】内部仕上表

SCALE -

CHECK

NO D-45



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 【改修前】1階平面図

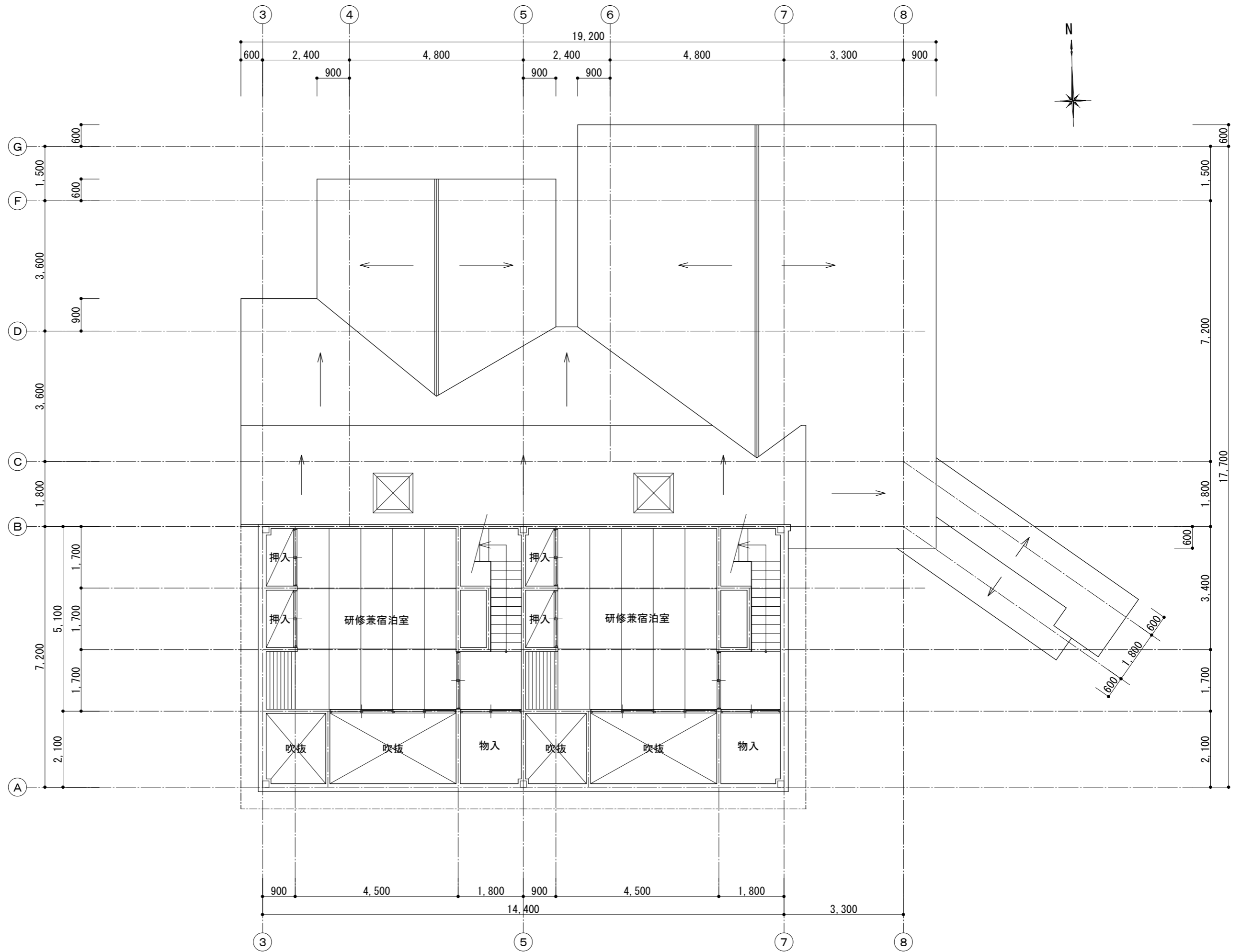
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO D-46



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

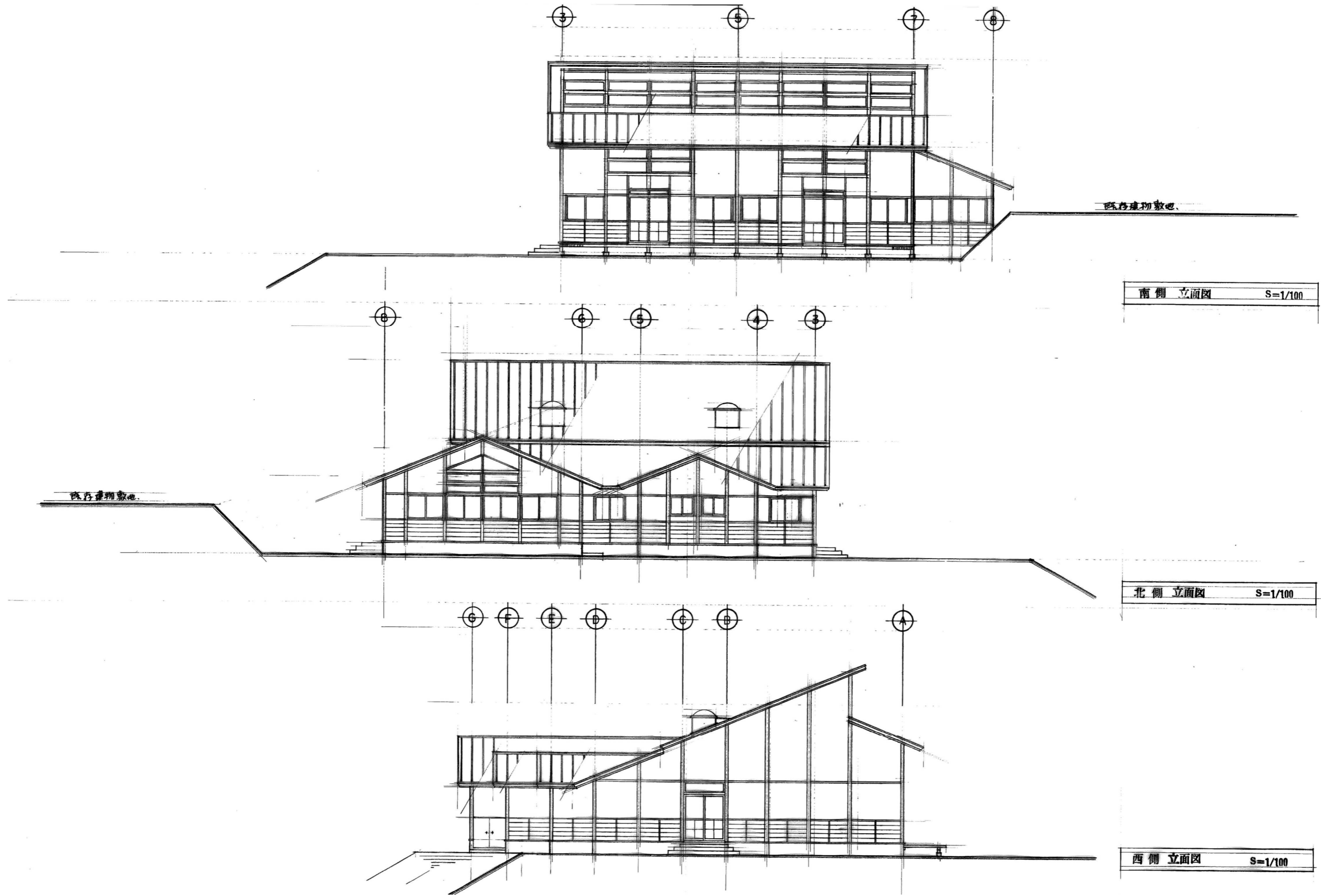
DATE

ITEM 【改修前】2階平面図・1階屋根伏図

SCALE 1 : 100

CHECK

NO D-47



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

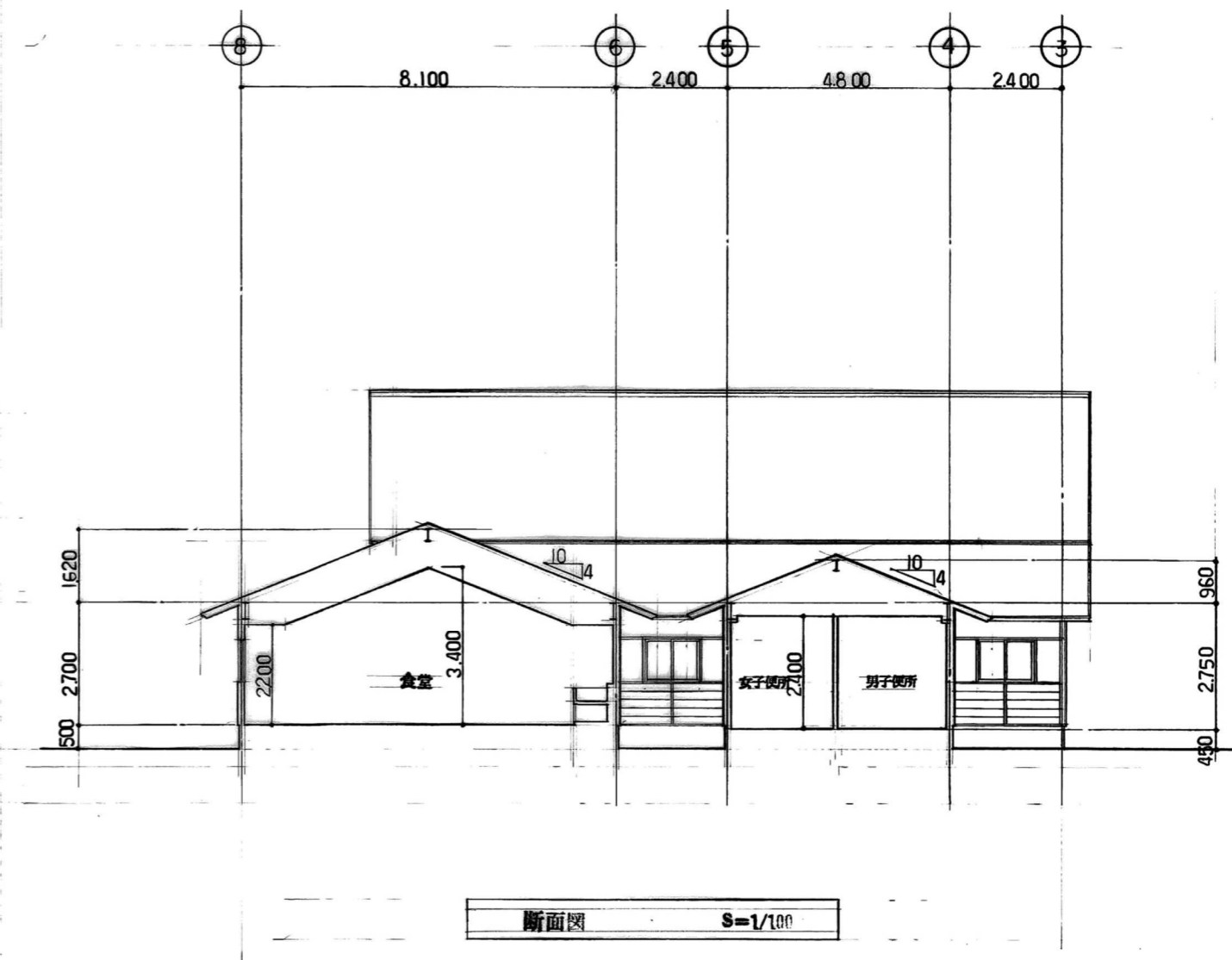
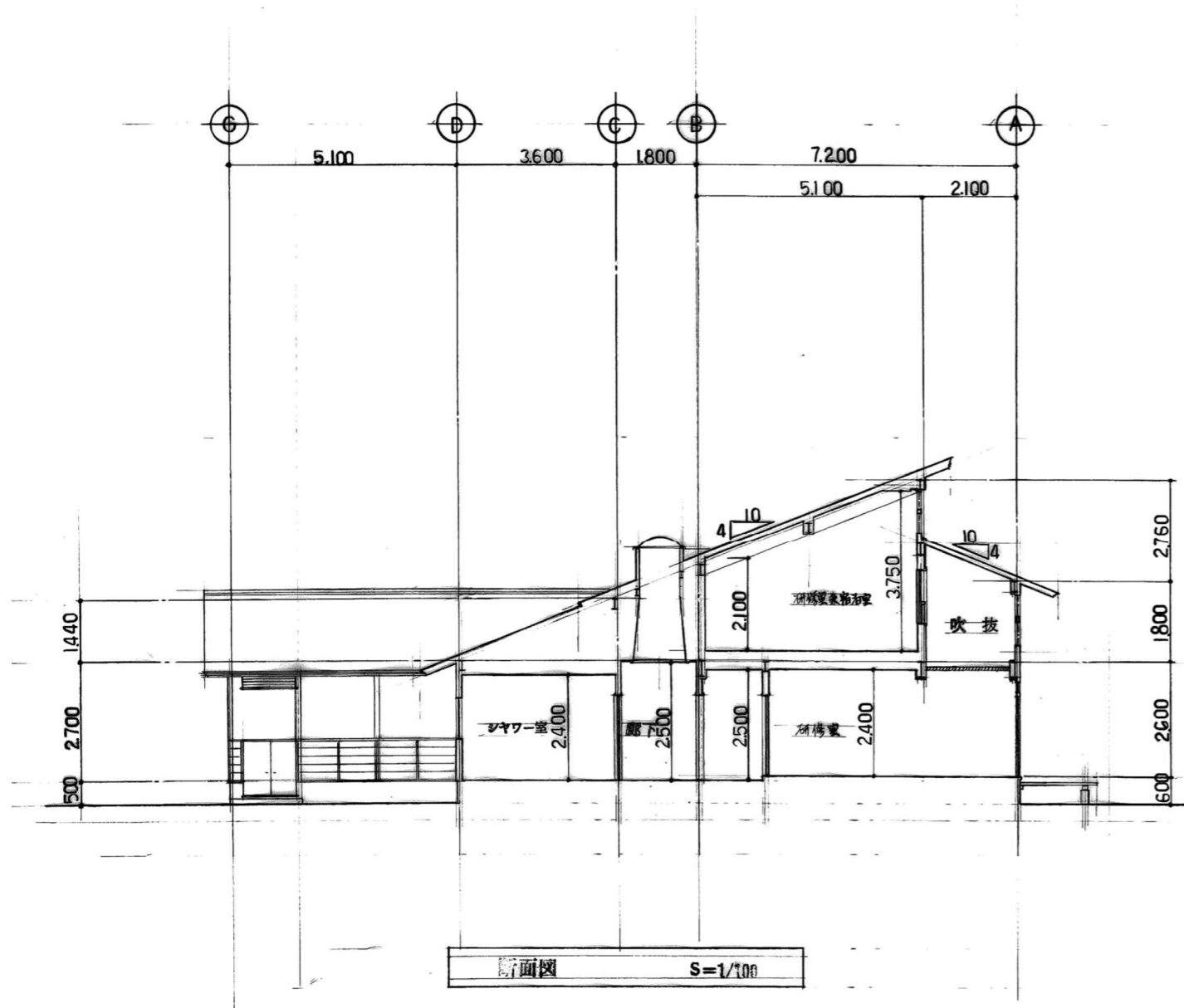
MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】既存立面図

SCALE

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

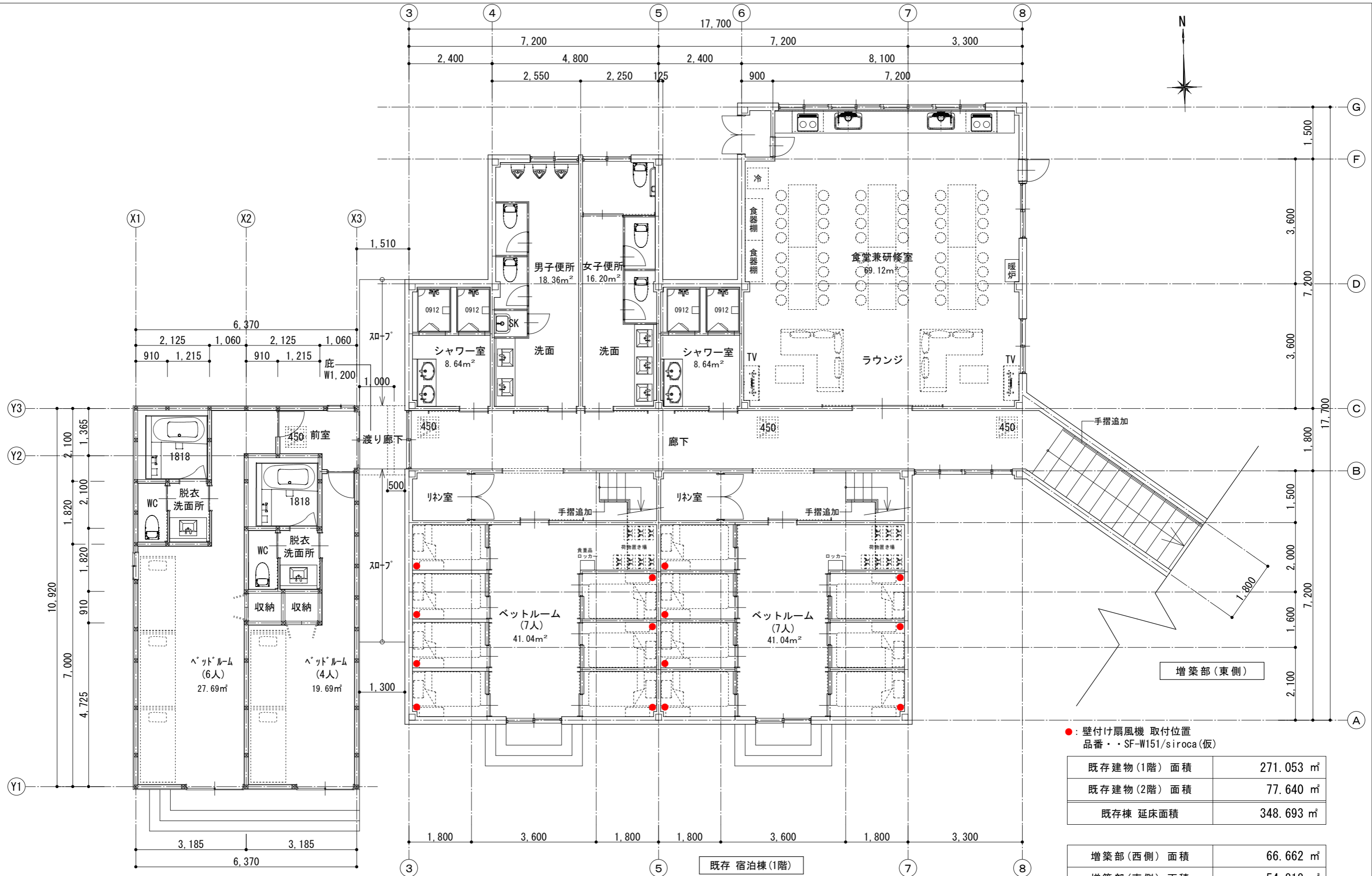
MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】既存断面図

SCALE

CHECK

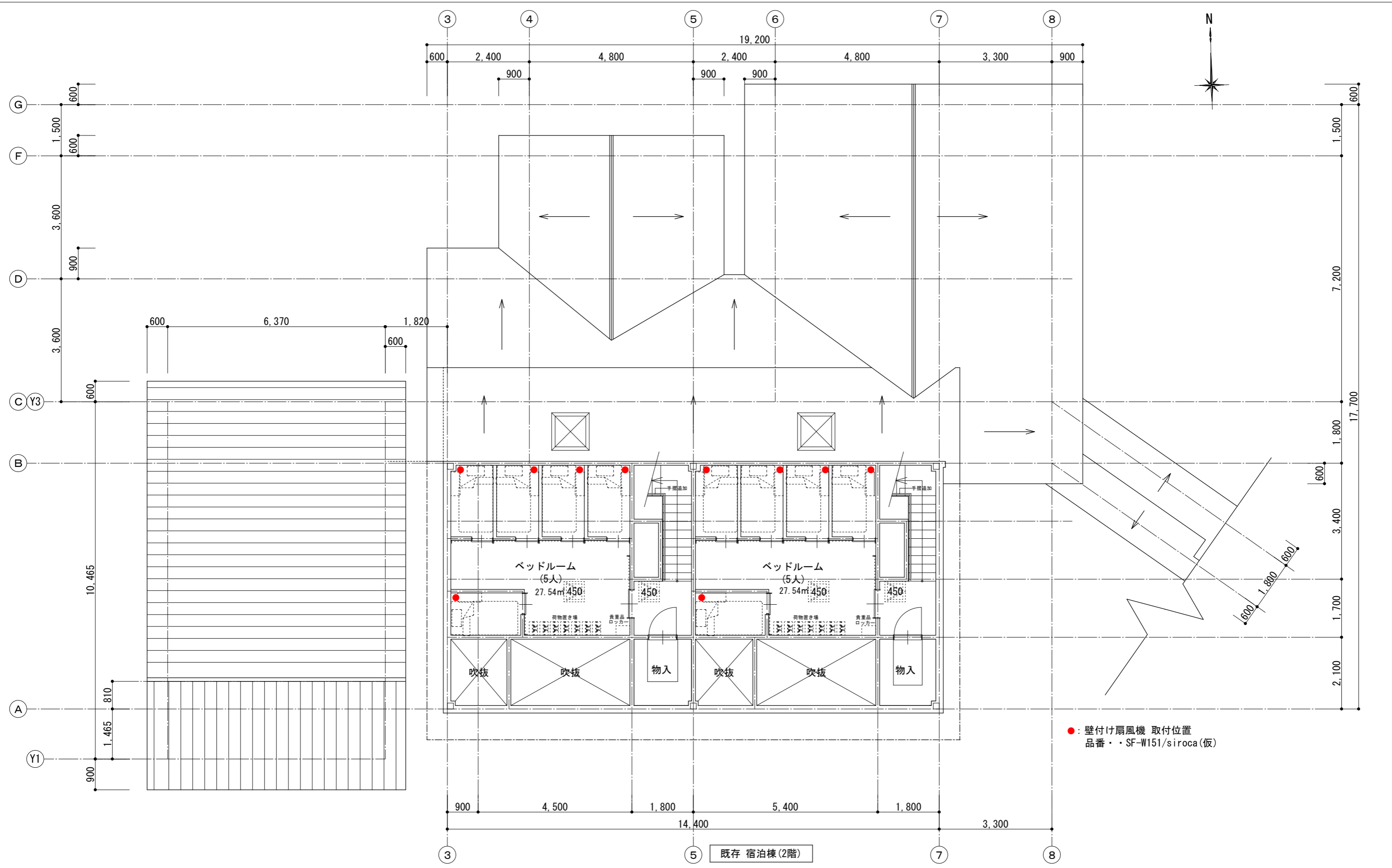


●: 壁付け扇風機 取付位置
品番・・SF-W151/siroca(仮)

既存建物(1階)面積	271.053 m ²
既存建物(2階)面積	77.640 m ²
既存棟 延床面積	348.693 m ²
増築部(西側)面積	66.662 m ²
増築部(東側)面積	54.818 m ²
大屋根 面積	199.14 m ²

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
ITEM 【改修後】1階平面図

MEMO
SCALE 1:100
DATE
CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 【改修後】2階平面図・1階屋根伏図

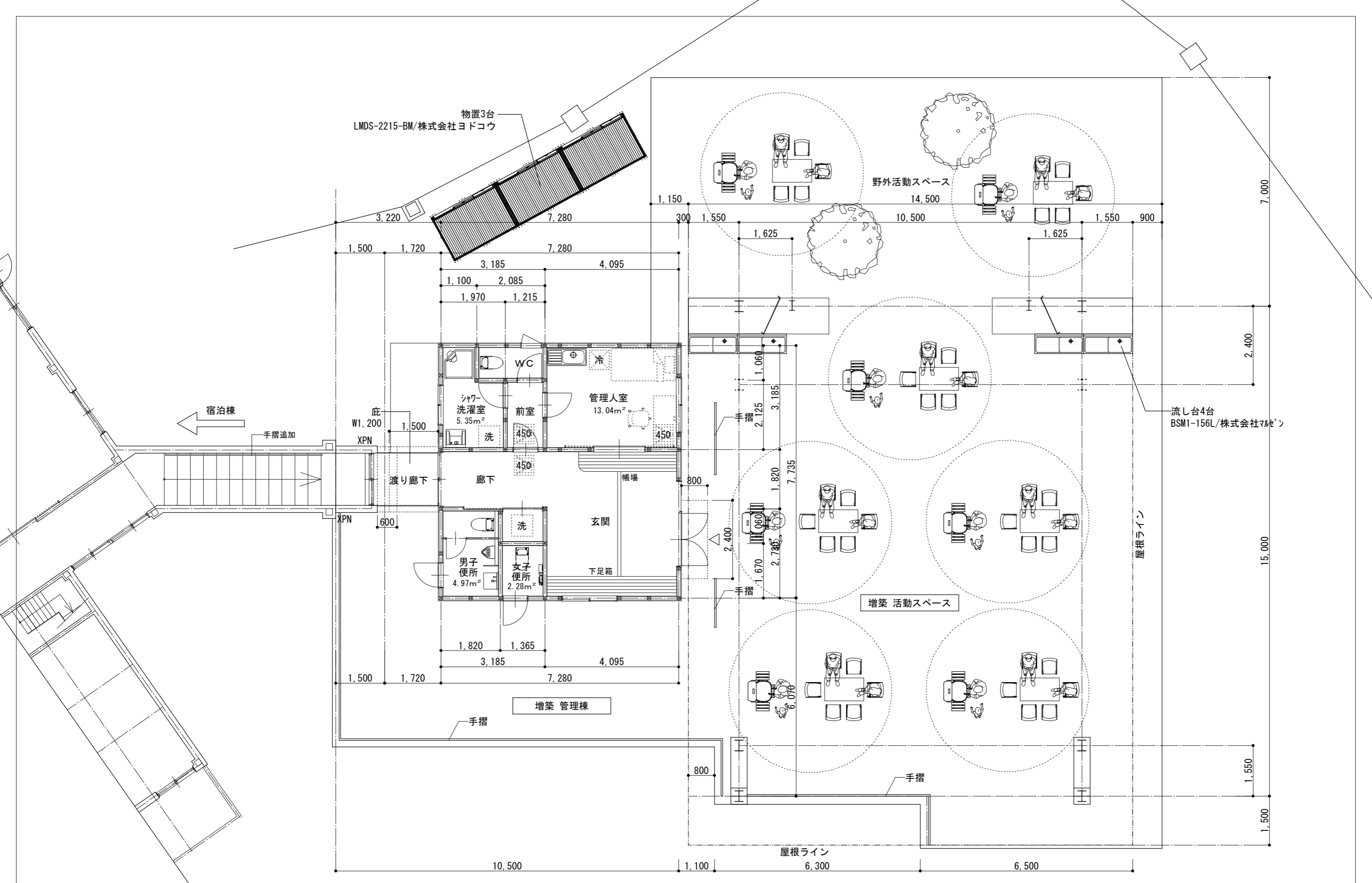
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

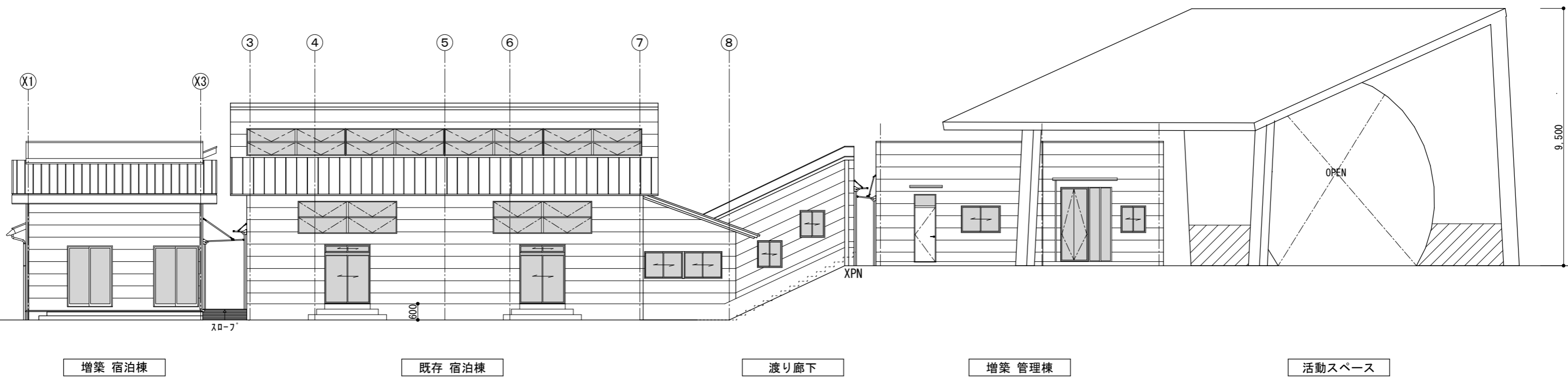
NO D-52



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 【改修後】増築部分平面図

MEMO
 SCALE 1 : 100

DATE
 CHECK



増築 宿泊棟

既存 宿泊棟

渡り廊下

増築 管理棟

活動スペース

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

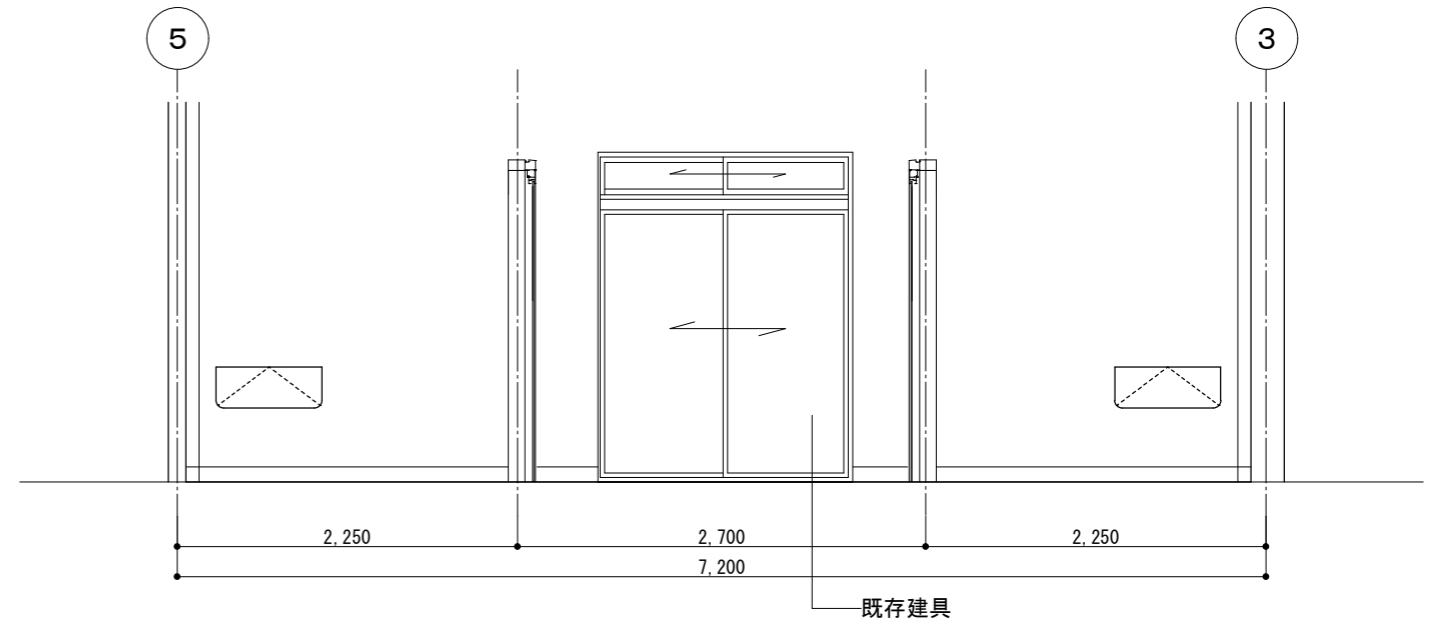
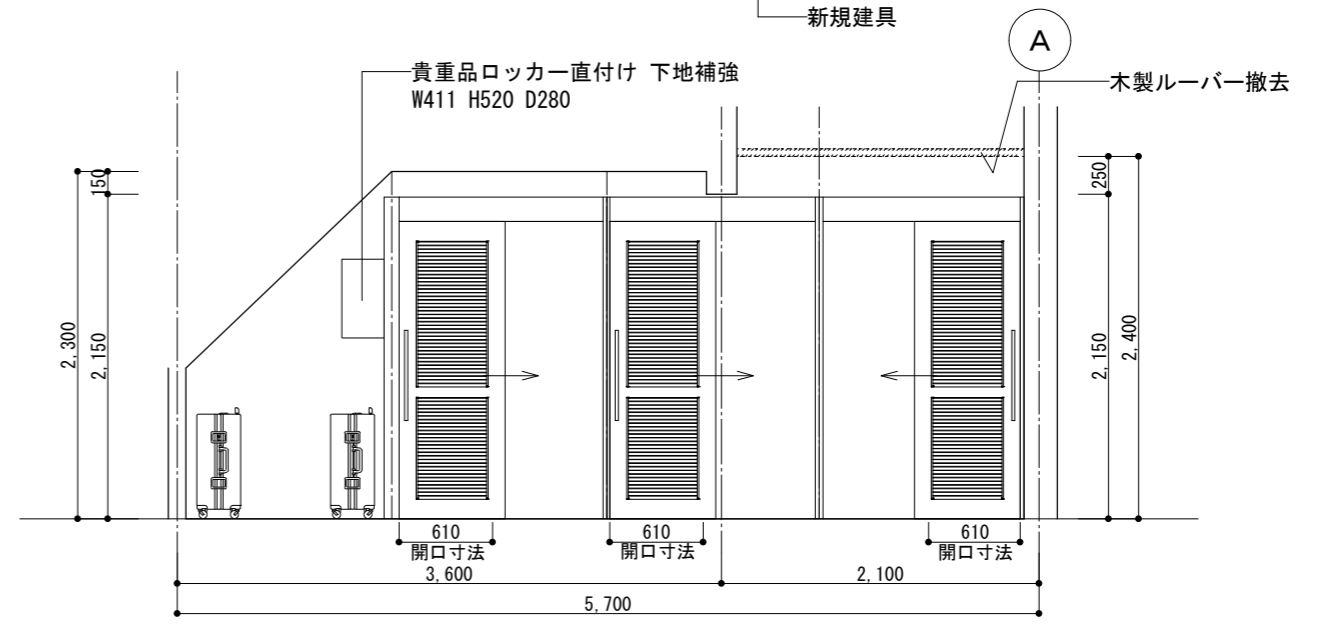
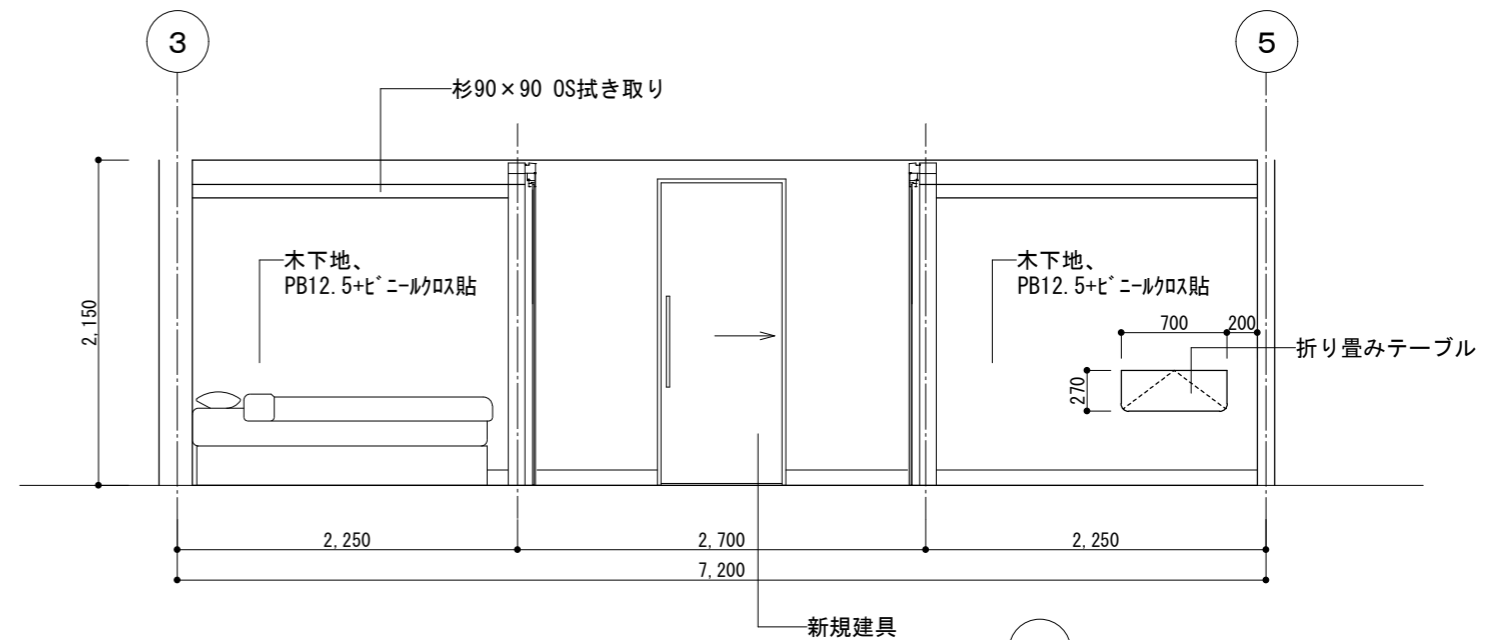
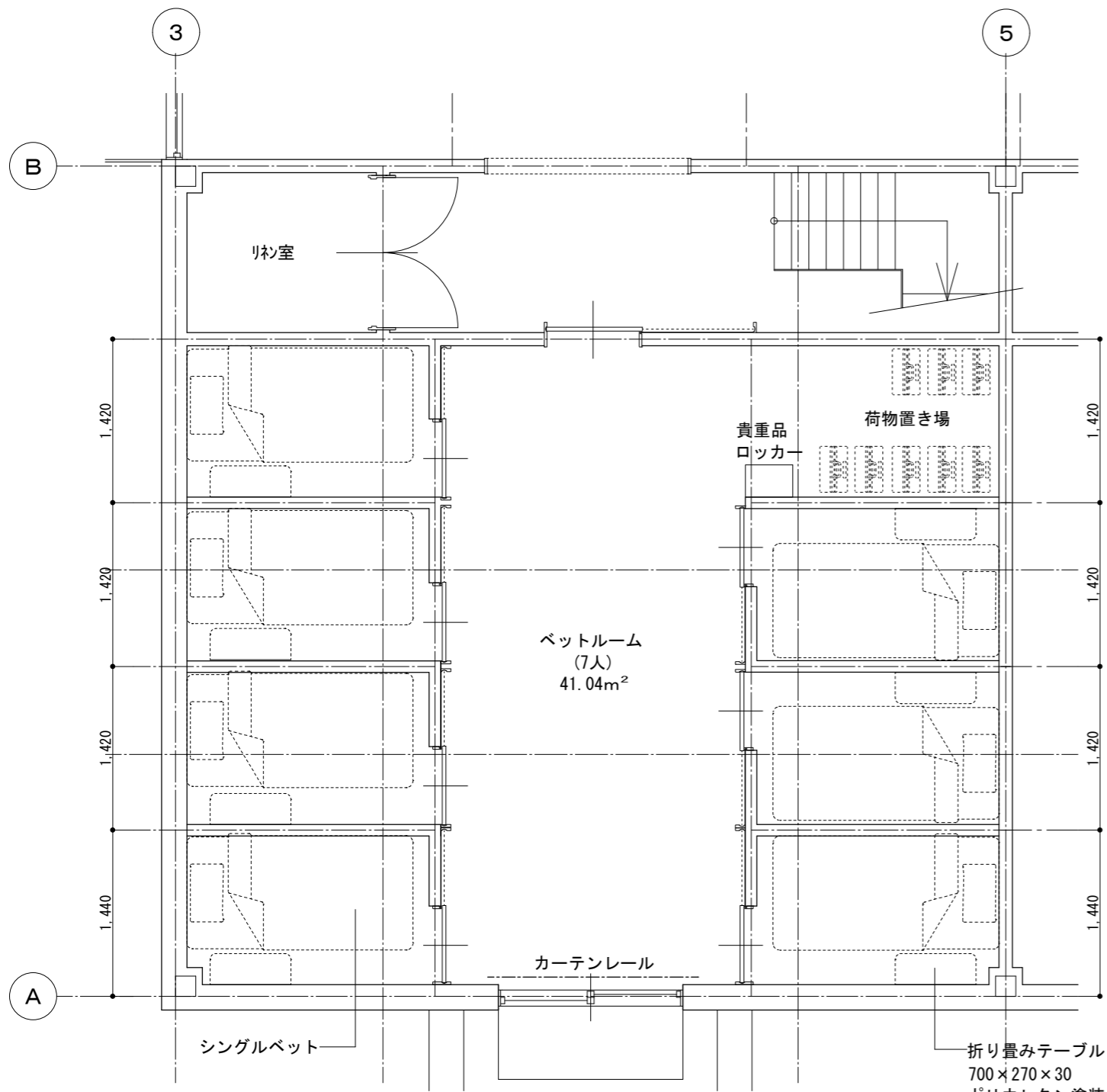
DATE

ITEM 【改修後】全体立面図

SCALE 1 : 150

CHECK

NO D-54



ベツドルーム (7人)	
床	縁甲板張り撤去の上、 レベルクリート下地タイルカーペツ (NT350) t6.2
巾木	既存木製H=100 OP塗装
壁	モルタル面はクラック部分パテ処理後、寒冷紗貼の上、AEP塗装
天井	天井撤去の上、天井表し / 梁OP塗装 デッキプレートに不燃性現場発泡ウレタンt20 水性アクリル塗装
備考	カーテン(備品) カーテンレール、セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

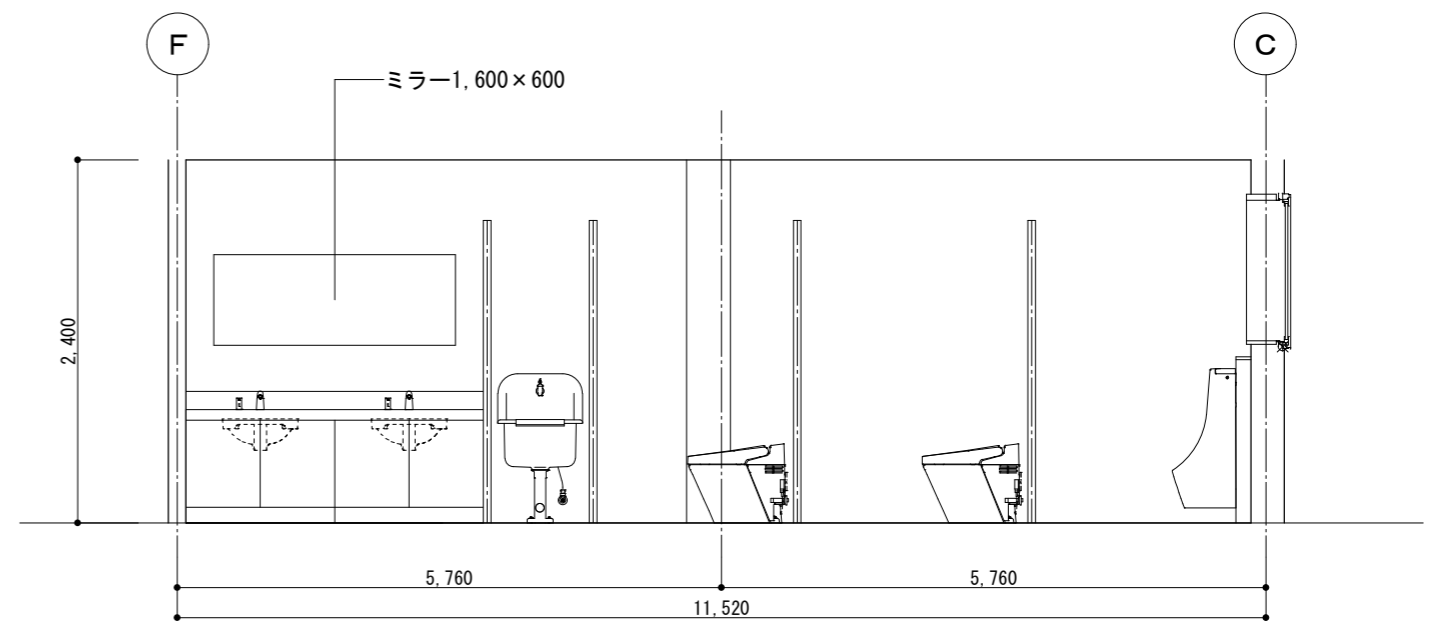
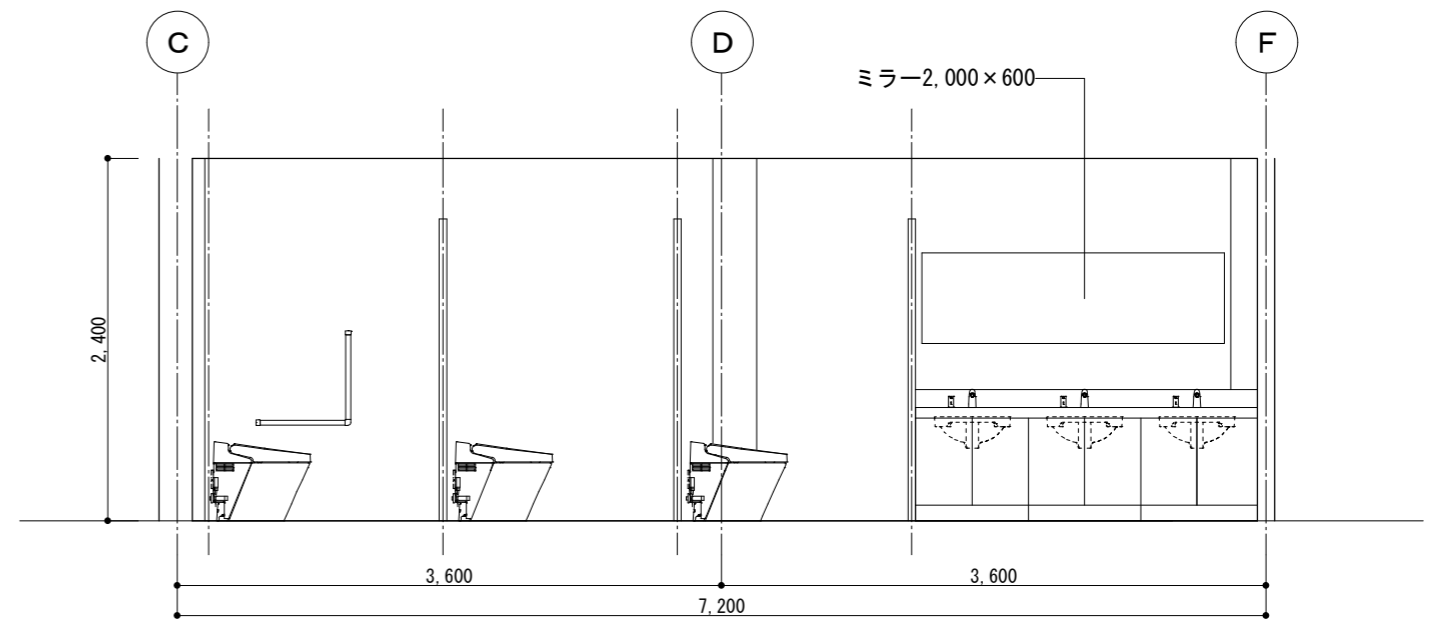
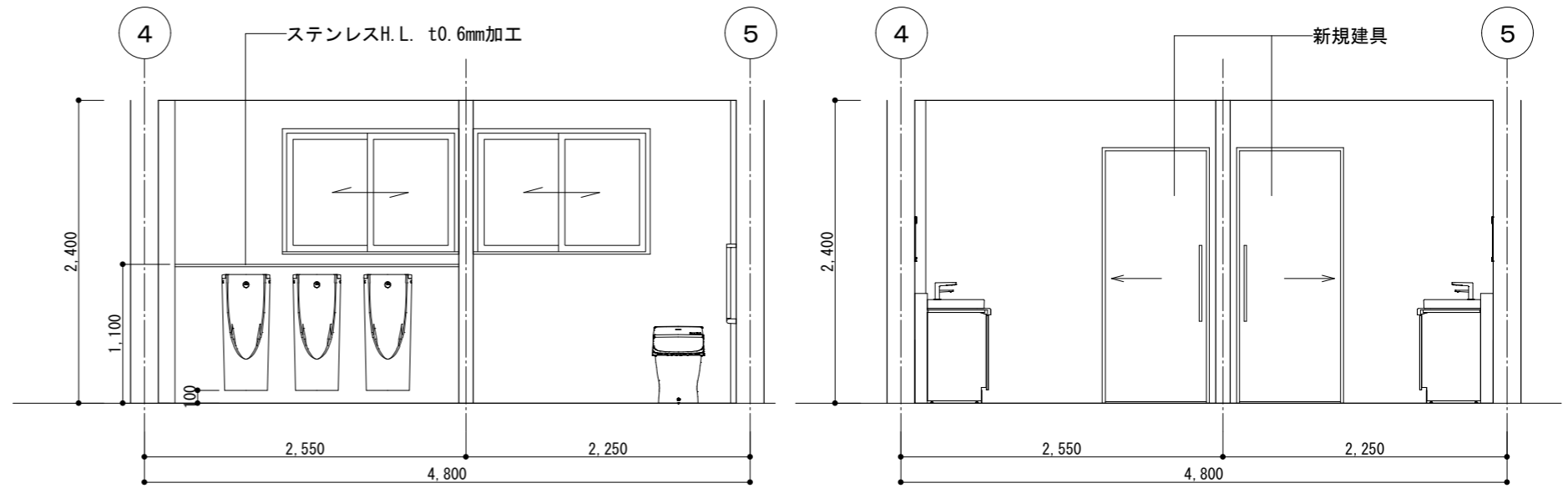
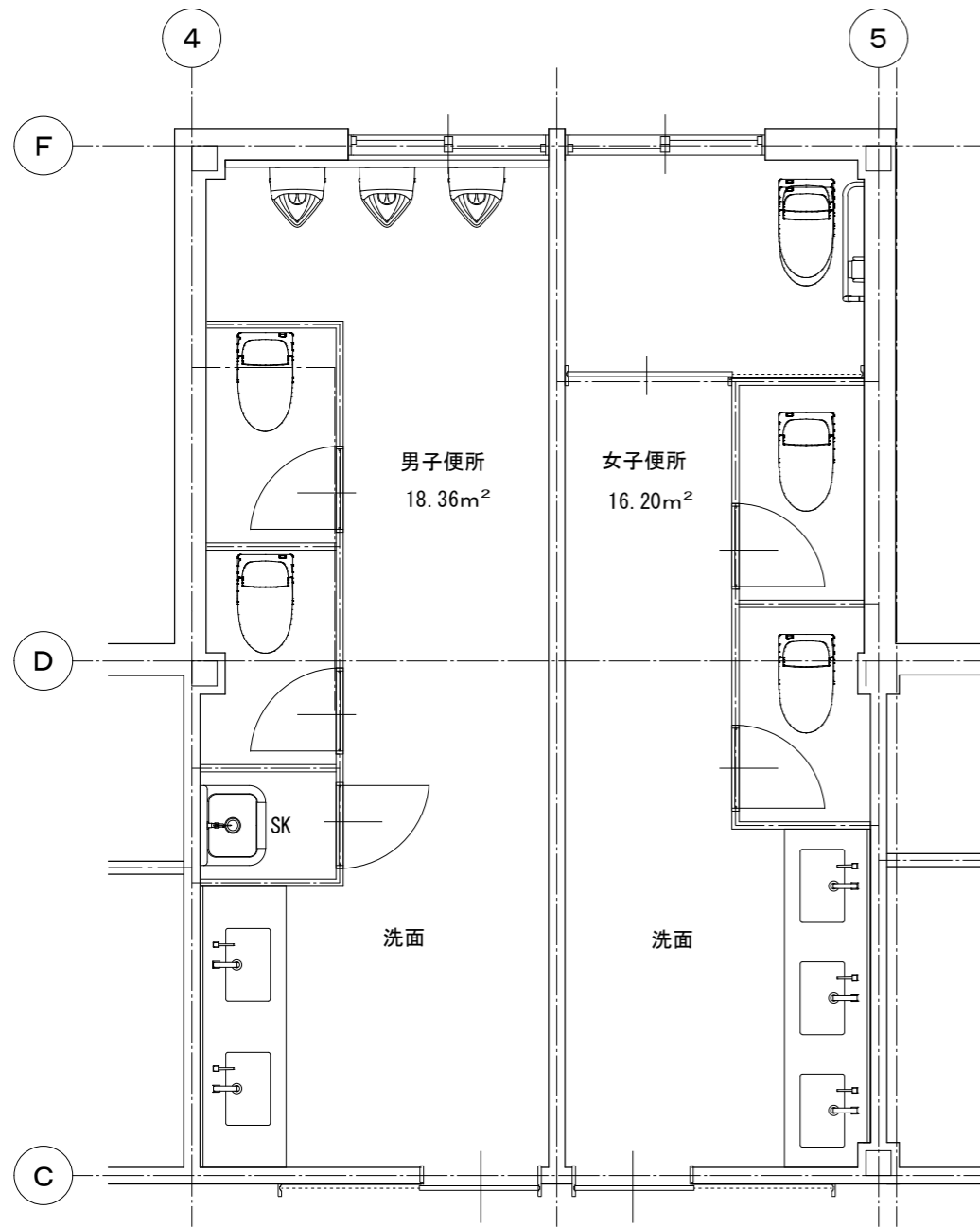
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】展開図1

SCALE 1 : 50

CHECK

NO D-55



男子・女子便所	
床	既存タイル上、モルタル金ゴテの上、長尺塩ビシート (洗面部分)長尺塩ビシート t2.0 張り替え
巾木	長尺巻き上げ H=100
壁	既存下地処理の上化粧シート貼
天井	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼 (洗面)既存石膏ボード撤去の上、化粧石膏ボード貼
備考	ミラー600×1,600 ミラー600×2,000

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

MEMO

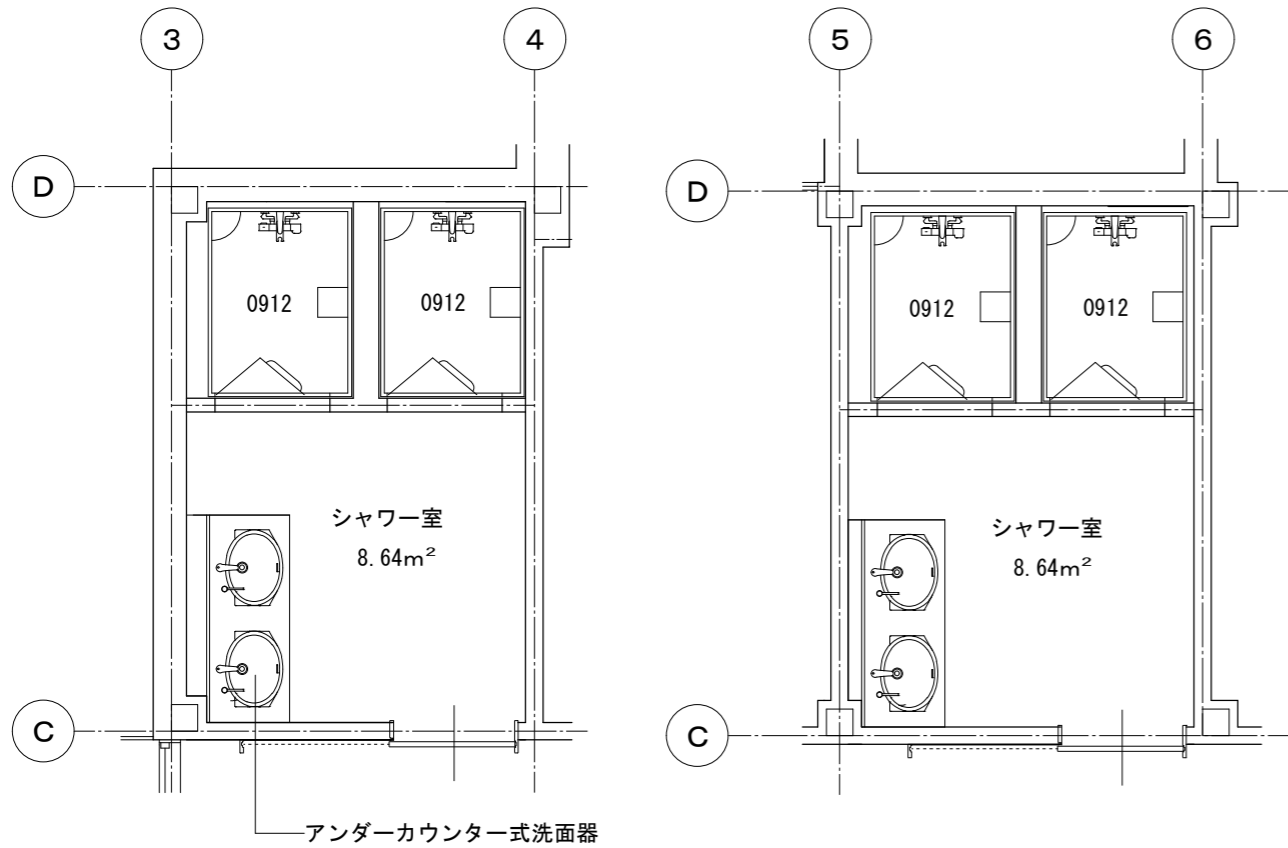
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】展開図2

SCALE 1:50

CHECK

NO D-56



シャワー室	
床	既存撤去後 シャワーブース 脱衣室:長尺塩ビシート 張り替え
巾 木	ソフト巾木 H=100
壁	耐水PBt12.5 ビニールクロス貼
天 井	フレキシブルボード撤去の上、化粧石膏ボード貼
備 考	ミラー1,200×900 シャワーユニット 0912

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

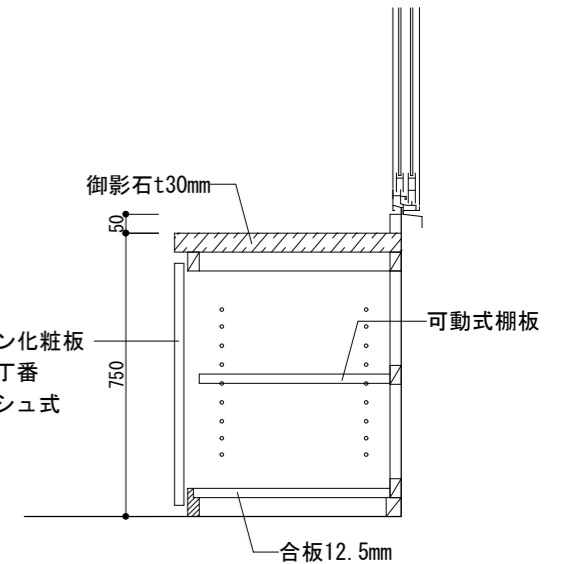
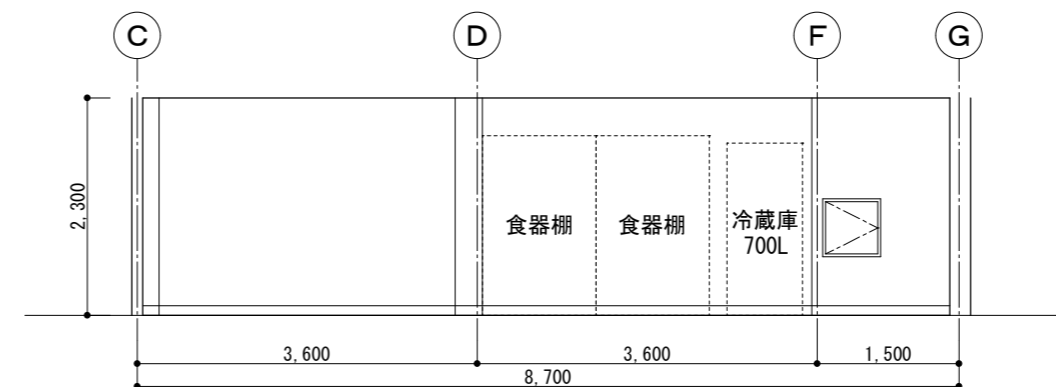
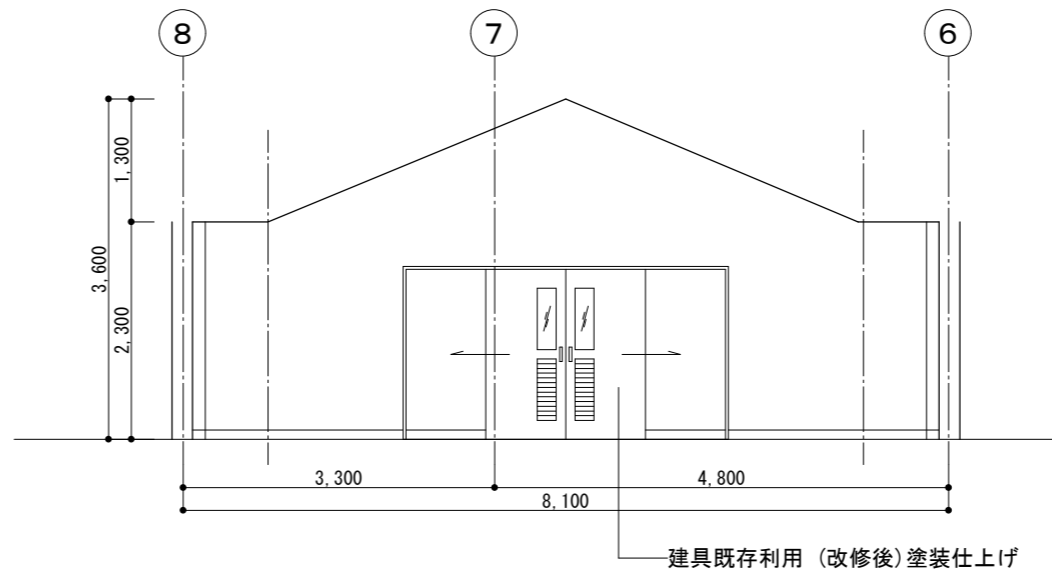
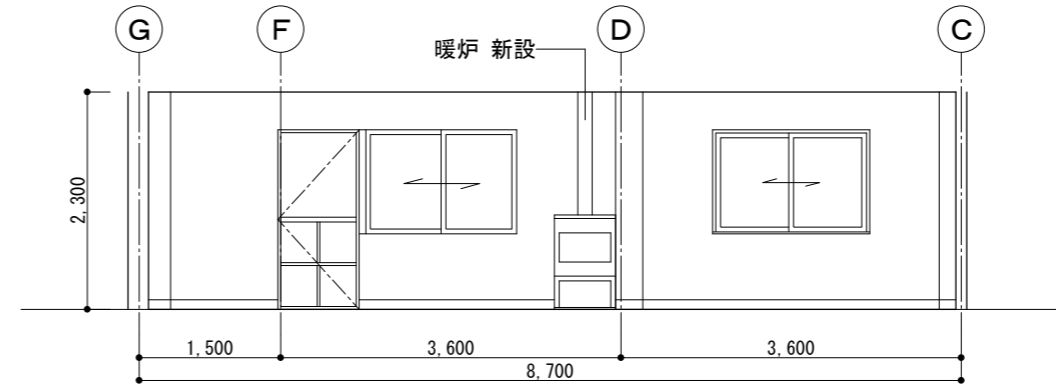
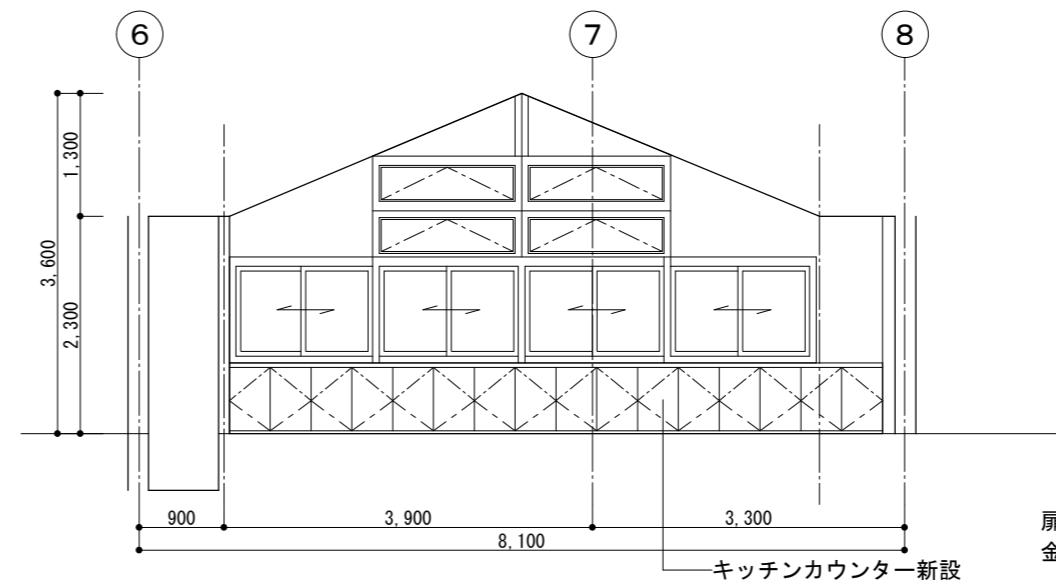
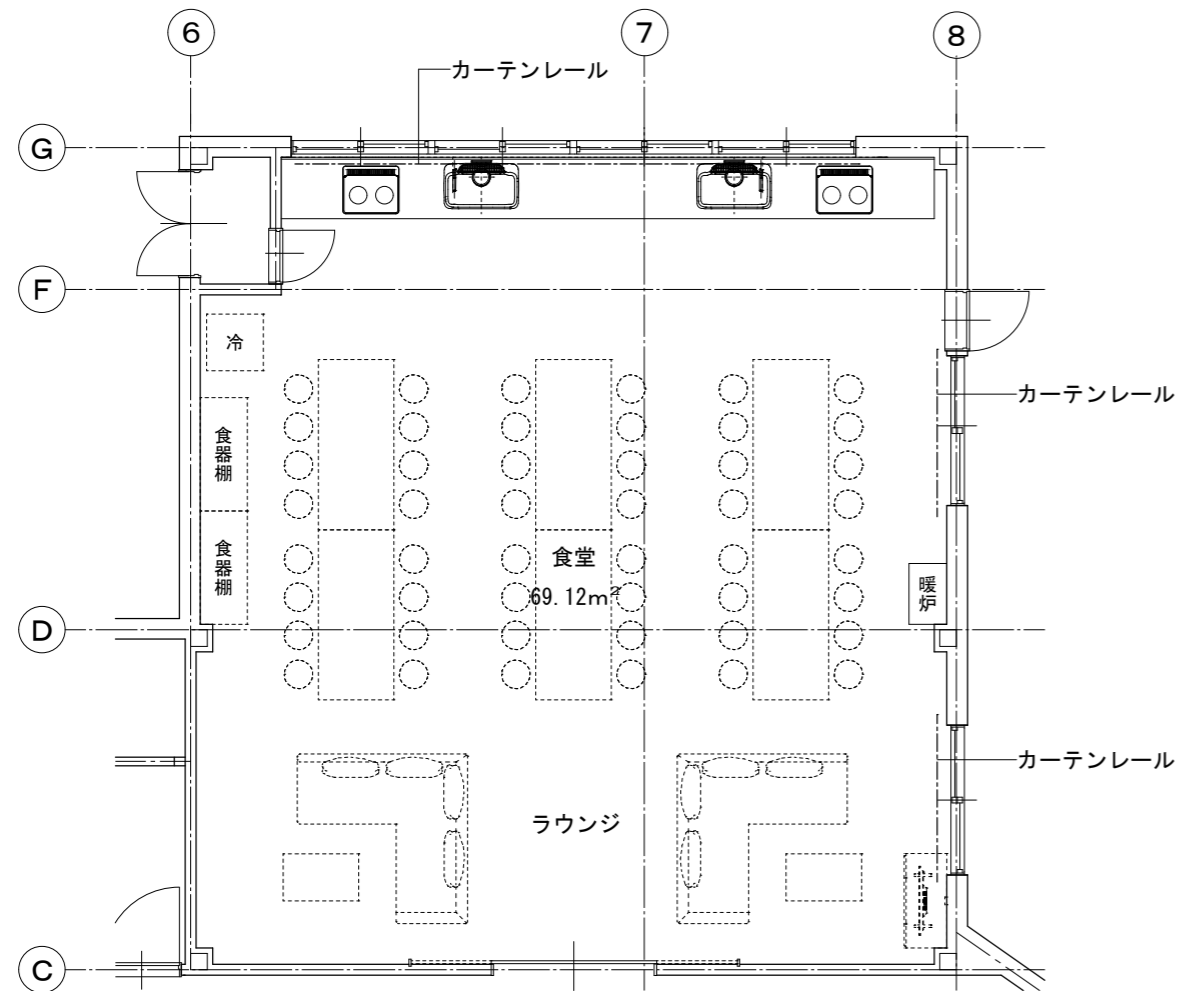
ITEM 【既存宿泊棟】展開図3

MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK



キッチンカウンター詳細図 1/20

食堂	
床	長尺塩ビシート撤去の上、ロボフロアt5.0(アスワン株)
巾 木	既存木製H=100 OP塗装
壁	ビニールクロス張り替え
天 井	ビニールクロス張り替え
備 考	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

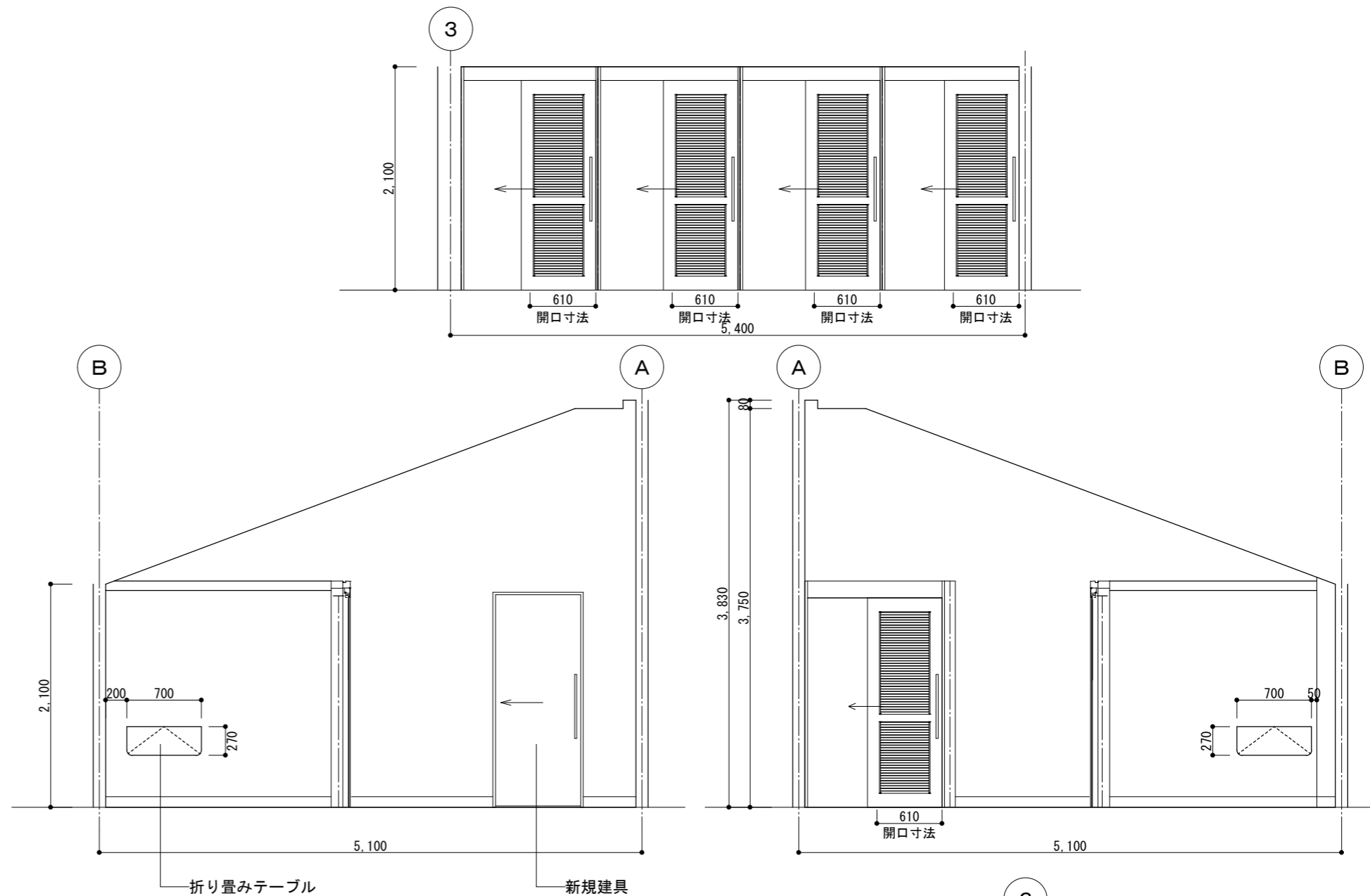
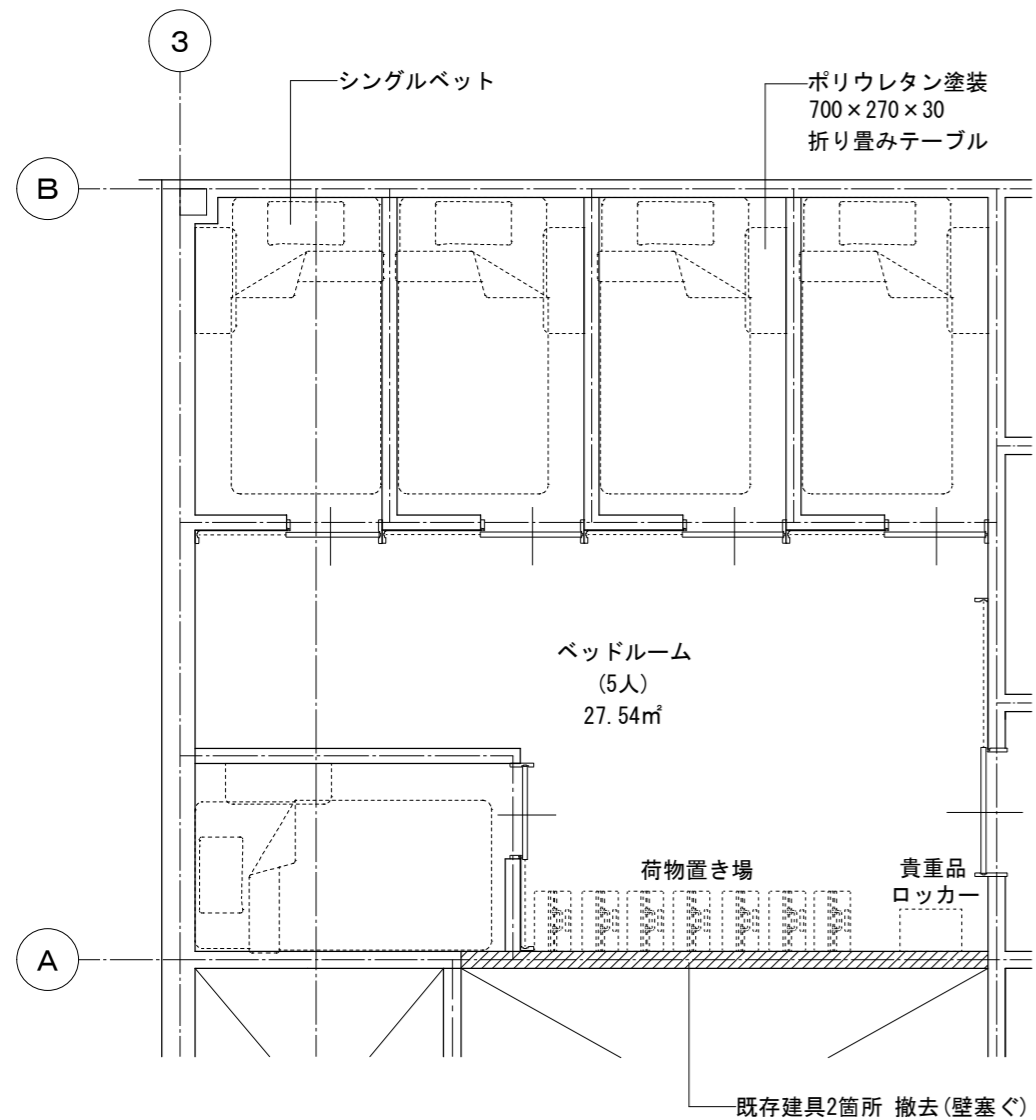
ITEM 【既存宿泊棟】展開図4

MEMO

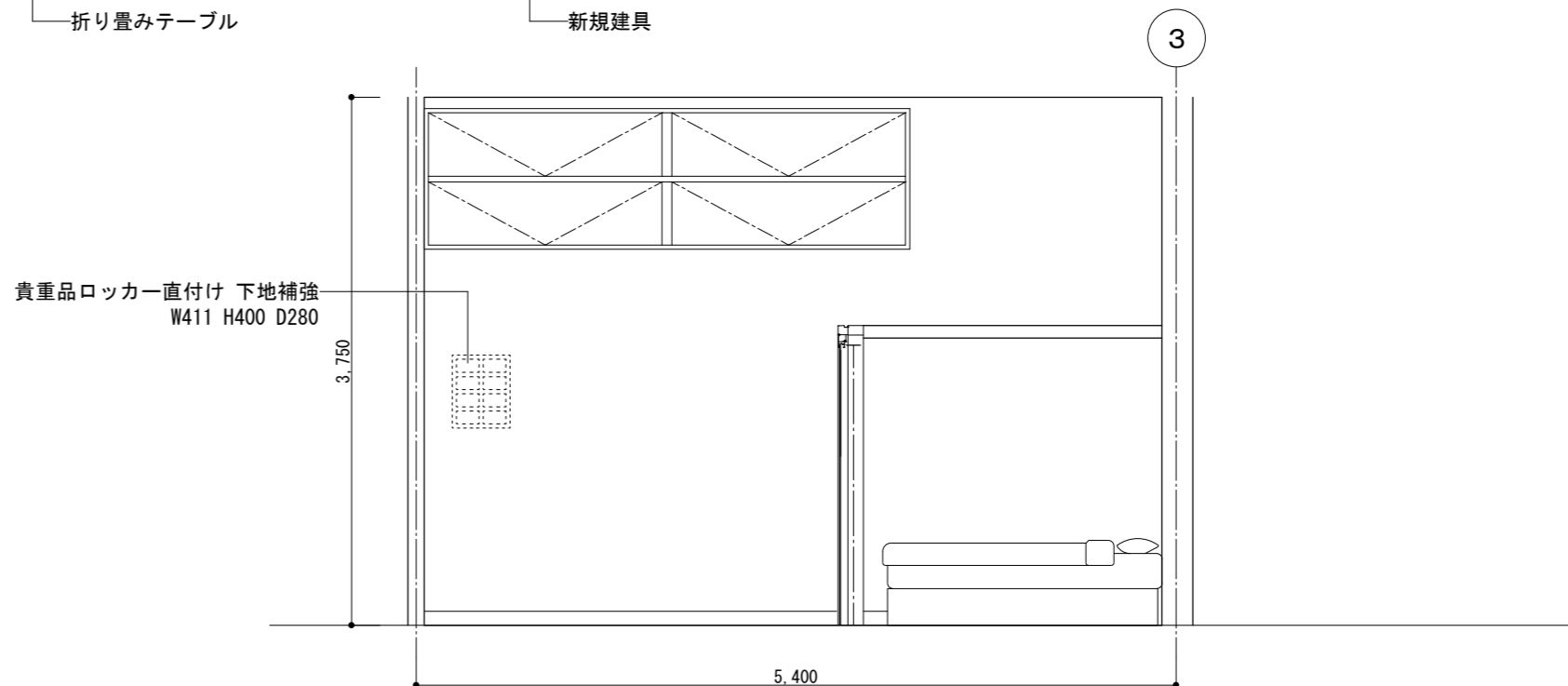
SCALE 1:80

DATE

CHECK



ベッドルーム (5人)	
床	ネダフォーム撤去の上、乾式2重床の上、合板t12.0 タイルカーペット (NT350) t6.2
巾木	ソフト巾木 H=100
壁	ビニールクロス張り替え
天井	ビニールクロス張り替え 一部換気扇部分フラット壁必要
備考	セキュリティボックス、壁掛け扇風機(各個室)



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

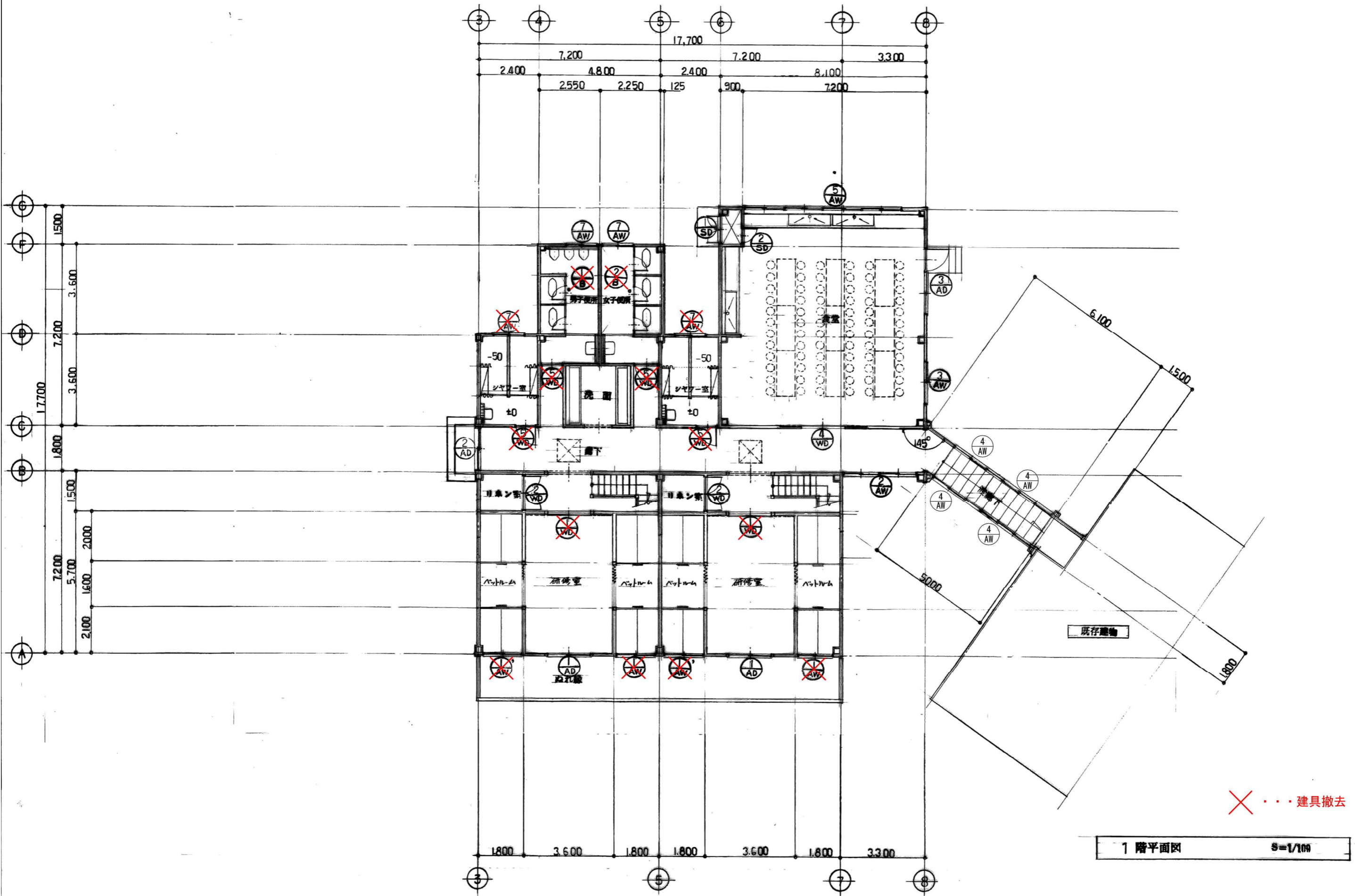
DATE

ITEM 【既存宿泊棟】展開図5

SCALE 1 : 50

CHECK

NO D-59

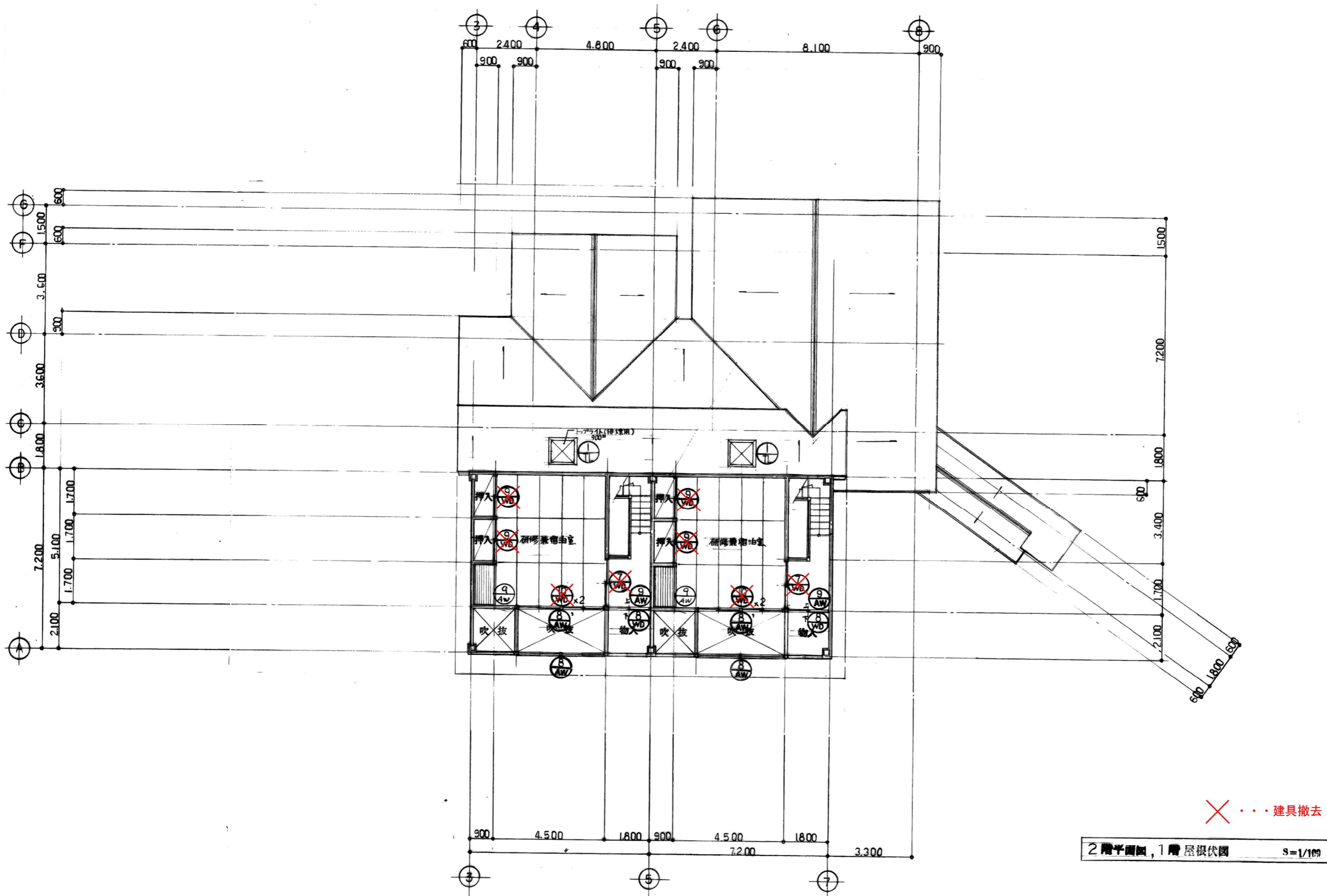


TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
 ITEM 【既存宿泊棟】1階建具キープラン

MEMO
 SCALE 1 : 100

DATE
 CHECK

NO D-60



..... 建具撤去

2階平面図, 1階屋根伏図 S=1/100

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)
 ITEM 【既存宿泊棟】2階建具キープラン

MEMO
 SCALE 1 : 100

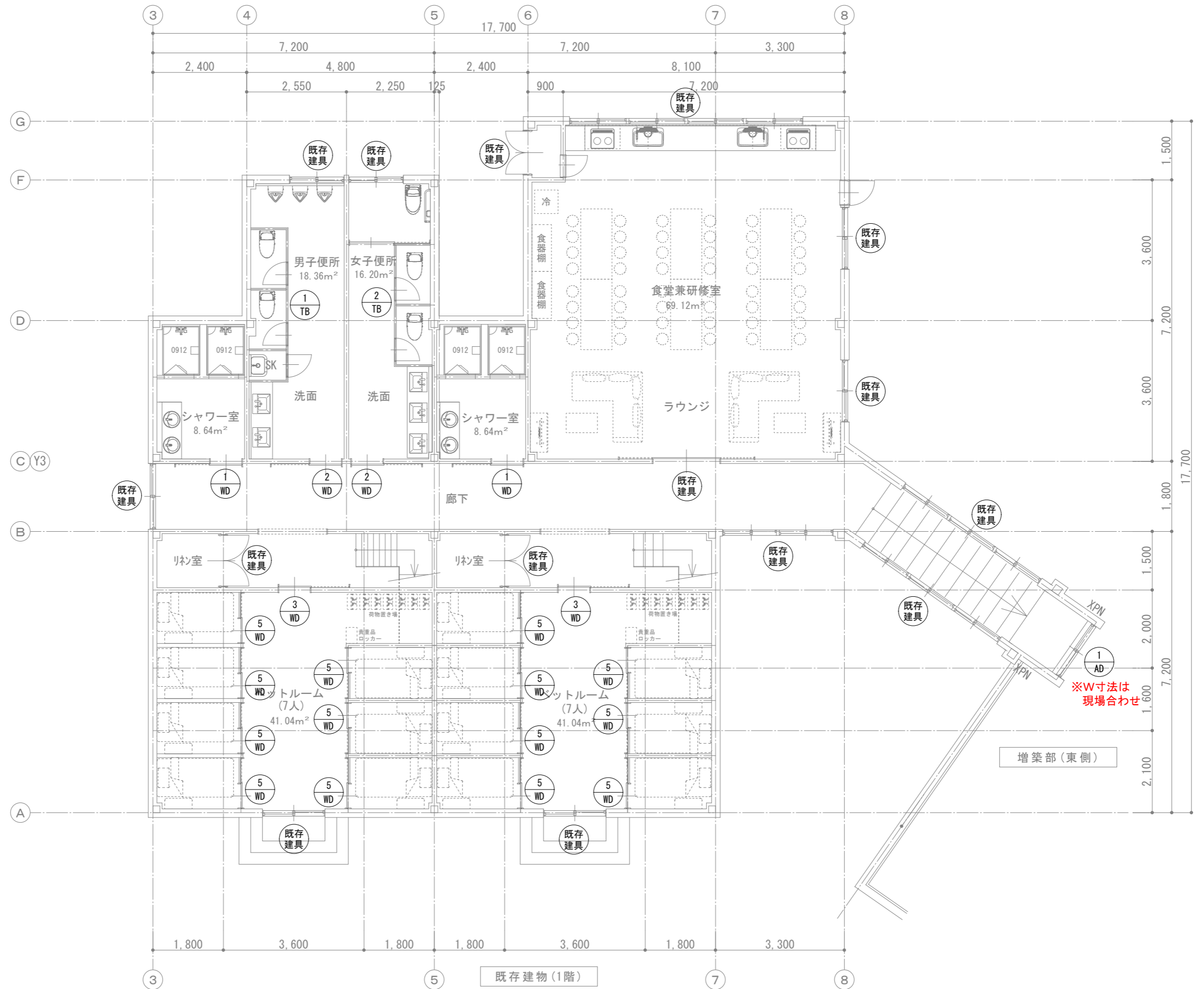
DATE
 CHECK

NO D-61

記号, 位置	1 AW AW 撤去	2 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃	3 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃	4 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃	5 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃
形状	1400 (1520) 940 860	1380 1380 940 960	1595 800 1100	1,595 1,100	6,094 1471 1471 1471 1471 380 380 1100 1000 2760 800
種別	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓(右, 裏出し窓付)
仕上	アクリル色	左 左	左 左	左 左	左 左
硝子	ア-4	左 左	左 左	左 左	左 左
金物	水切, フレイト, 48アパル, アミP	水切, フレイト, 48アパル, アミP	水切, フレイト, アミP	水切, フレイト, アミP	水切, フレイト, 48アパル, オペレーター (FL+1500以下取付)
見込, 数量	70	70	70	70	70
記号, 位置	7 AW 2箇所 撤去	8 AW ※真空硝子に変更 ※枠清掃	9 AW ※真空硝子に変更 ※枠清掃	10 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃	11 AW ※真空硝子に変更 ※網戸張り替え、枠清掃
形状	1200 1200 1750	3390 1660 1660 100 450 500 450 1000 2700 (2,735) 1000	1595 450 450 1000 2735	1600 100 250 1800 2150	1600 100 410 1900 2410
種別	アルミ製引違い窓	アルミ製外開き窓	アルミ製外開き窓	アルミ製引違い窓	アルミ製外開き窓
仕上	アクリル色	左 左	左 左	アクリル色	左 左
硝子	ア-4	左 左	左 左	左 左	左 左
金物	水切, フレイト, 48アパル, アミP	水切, 48アパル, オペレーター (FL+1500以下取付)	水切, フレイト, アミP	水切, フレイト, 48アパル, アミP	水切, フレイト, 17アパル, ホールフェーン, 38アパル
見込, 数量	70	70	70	70	70
記号, 位置	12 SB ※建具塗装	13 SB ※建具塗装		14 B 撤去	15 B 撤去
形状	1100 1200	550 550 550		2350 1200 1150 300 1800 50	3600 1200 1150 1250 300 1800 20 50
種別	スチール製引違い窓	スチール製引違い窓		トイレットSP	左 左
仕上	OP塗り			ポリ化粧板	左 左
硝子					
金物	丁番, 掃き出し錠	丁番, 引手錠, 取手, 48アパル		ブラケット, 取手錠, 2丁: 引手錠	左 左
見込, 数量	86	86		40	40

建具表 - 2 S=1/50

記号, 位置	① WD	② WD	③ WD	④ WD	⑤ WD
撤去	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装 ※ガラス周りOP塗装	撤去
型状					
種別	引違戸	両開き戸 (カマ付)	片開き戸	引違戸	片開き戸 (カマ付)
仕上	水引化粧板 木手 (木OP)	左 右	左 右	左 右	左 右
開子	F-4		F-4	F-4	F-4
金物	引違. 戸車. 引違. 錠. 右側外. 11°-V.L.V.	両開き付. 引違. 錠. 1個.	両開き付. 引違. 錠 (カマ付). 1個. D.C.	引違. 戸車. 引違. 錠 (カマ付). 右側外. 11°-V.L.V.	引違. 戸車. D.C. 1個.
見込, 数量	40	40	40	40	40
2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	4ヶ所	
記号, 位置	⑦ WD	⑧ WD	⑨ WD	⑩ WD	
撤去	撤去	※建具シート貼 ※ガラリOP塗装	撤去	撤去	
型状					
種別	引違戸	左 右 (カマ付)	左 右	左 右	
仕上	水引化粧板 木手 (木OP). 片側新島漆	水引化粧板 木手 (木OP)	新島漆	新島漆	
開子					
金物	引違. 戸車. V.L.V. 引違. 錠 (カマ付)	引違. 戸車. V.L.V. 引違. 錠	引違. 錠 戸車. 下.	引違. 錠 戸車. 下.	
見込, 数量	40	40	40	40	
2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	
記号, 位置					
型状					
種別					
仕上					
開子					
金物					
見込, 数量					



※W寸法は
現場合わせ

増築部(東側)

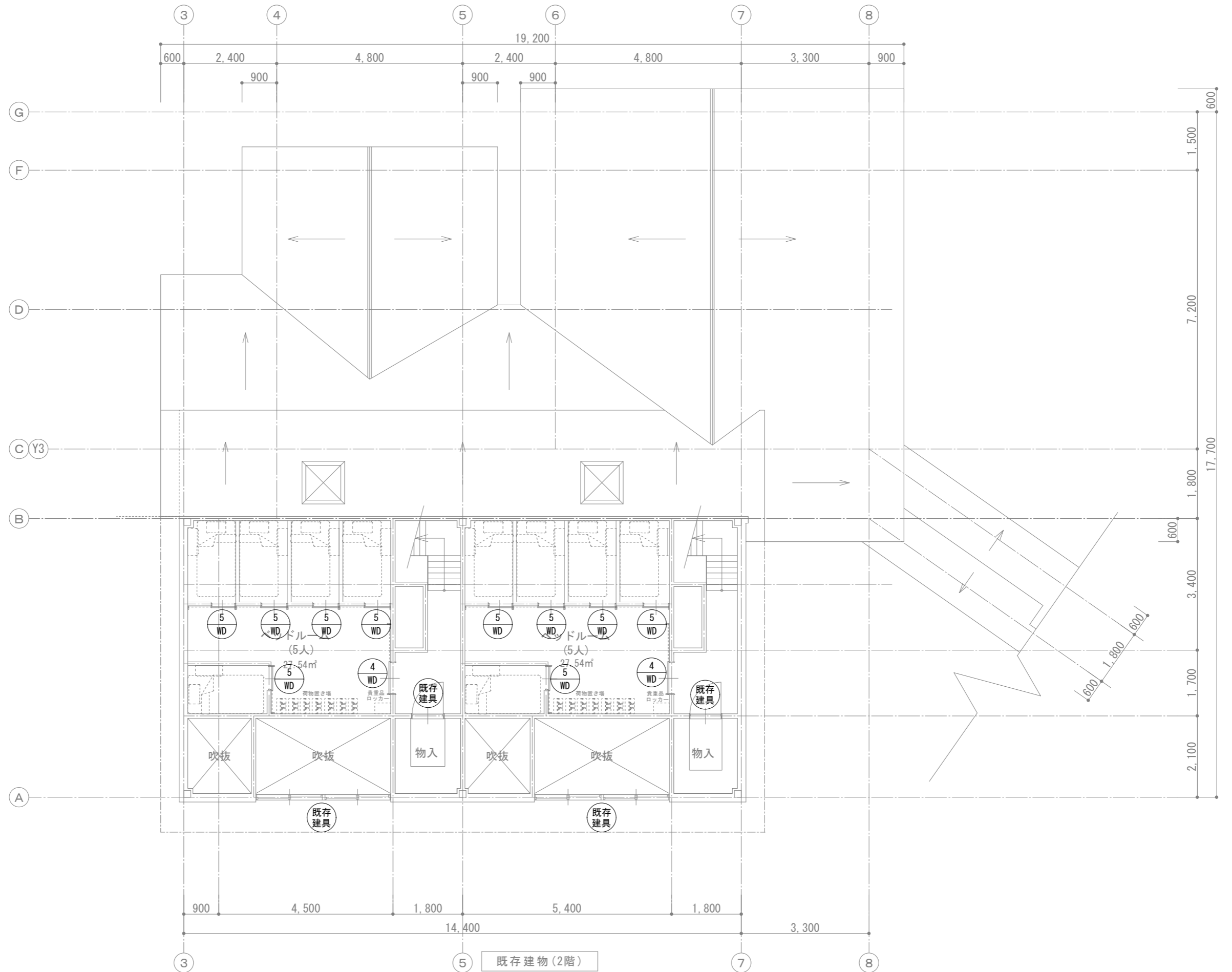
既存建物(1階)

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
ITEM 【既存宿泊棟】新規_1階建具キープラン

MEMO
SCALE 1:100

DATE
CHECK

NO D-64



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】新規_2階建具キープラン

SCALE 1 : 100

CHECK

NO D-65

記号/場所・個数	① AD	廊下 1		
姿 図	▽FL			
形 式	引違ドア			
材質・仕上	アルミ (カラー)			
見 込	70mm			
硝 子	強化ガラス6+A12+LowE3			
金 物	ドアハンドル、サムターンシリンダー錠 (マスターキー)			
	衝突防止マーク			
備 考	付属金物一式 (マスターキー: WD-1, 2箇所対応)			

記号/場所・個数	① WD	シャワー室 2	② WD	洗面 2	③ WD	1階ベットルーム 2	④ WD	2階ベットルーム 2
姿 図	▽FL							
形 式	木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア		木製片引きハンガードア	
材質・仕上	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込	36mm		36mm		36mm		36mm	
硝 子	型板ガラスt4		型板ガラスt4		型板ガラスt4		型板ガラスt4	
金 物	引手、半自動、 表示錠、その他付属金物一式		引手、半自動、 その他付属金物一式		引手、半自動、 シリンダー錠、その他付属金物一式		引手、半自動、 シリンダー錠、その他付属金物一式	
備 考	リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品		リクシル室内ハンガー金物 同等品	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】新規_建具表1

SCALE 1 : 100

CHECK

NO D-66

記号/場所・個数	⑤ WD	ベツトルーム 24
姿 図		
形 式	木製片引きハンガードア	
材質・仕上	メラミン化粧合板	
見 込	36mm	
硝 子		
金 物	ガラリ、ロック、引手、半自動、 サムターンシリンダー錠、その他付属金物一式	
備 考	リクシル室内ハンガー金物 同等品	

記号/場所・個数	① TB	男子便所 1	② TB	女子便所 1
姿 図				
形 式	トイレブース		トイレブース	
材質・仕上	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込	40mm		40mm	
硝 子				
金 物	グレビティーヒンジ、帽子掛、頭ツナギ、表示錠		グレビティーヒンジ、帽子掛、頭ツナギ、表示錠	
	SUS巾木		SUS巾木	
備 考	その他付属金物一式 サニティTB-GPRタイプ同等品		その他付属金物一式 サニティTB-GPRタイプ同等品	

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

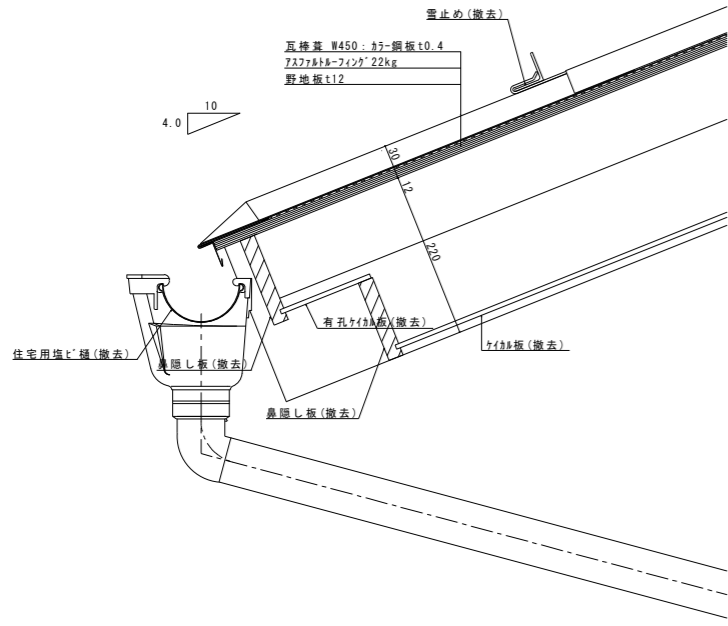
ITEM 【既存宿泊棟】新規_建具表2

SCALE 1 : 100

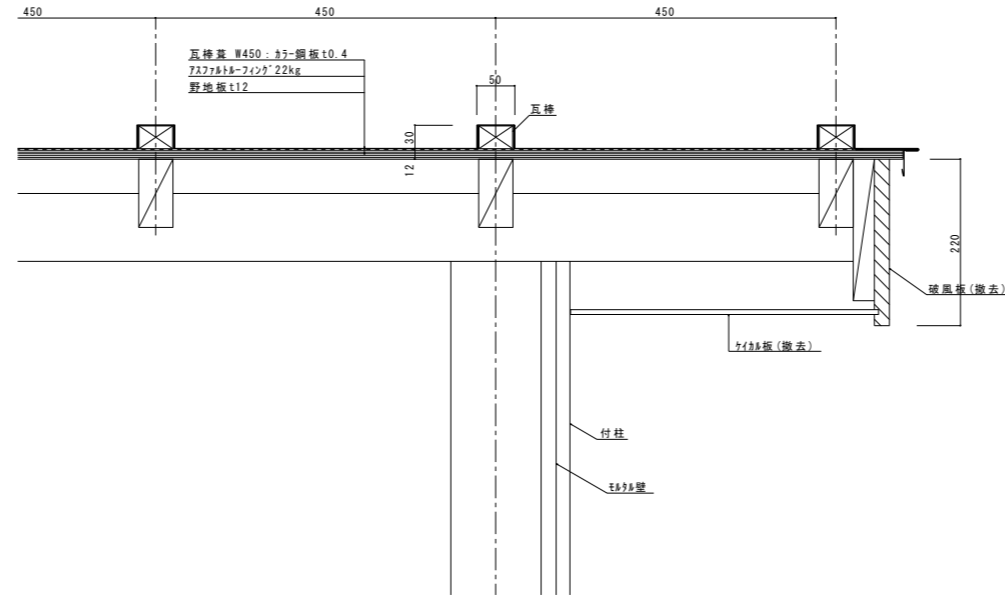
CHECK

NO D-67

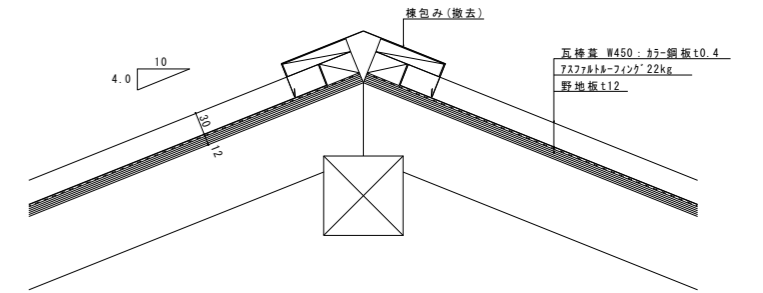
軒先(改修前)



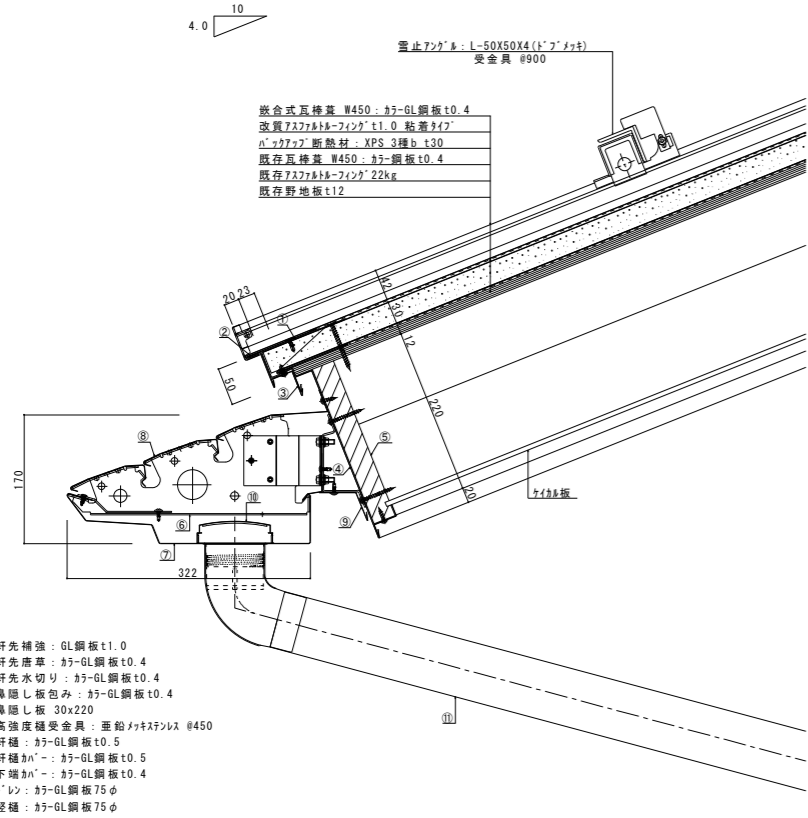
ケラバ(改修前)



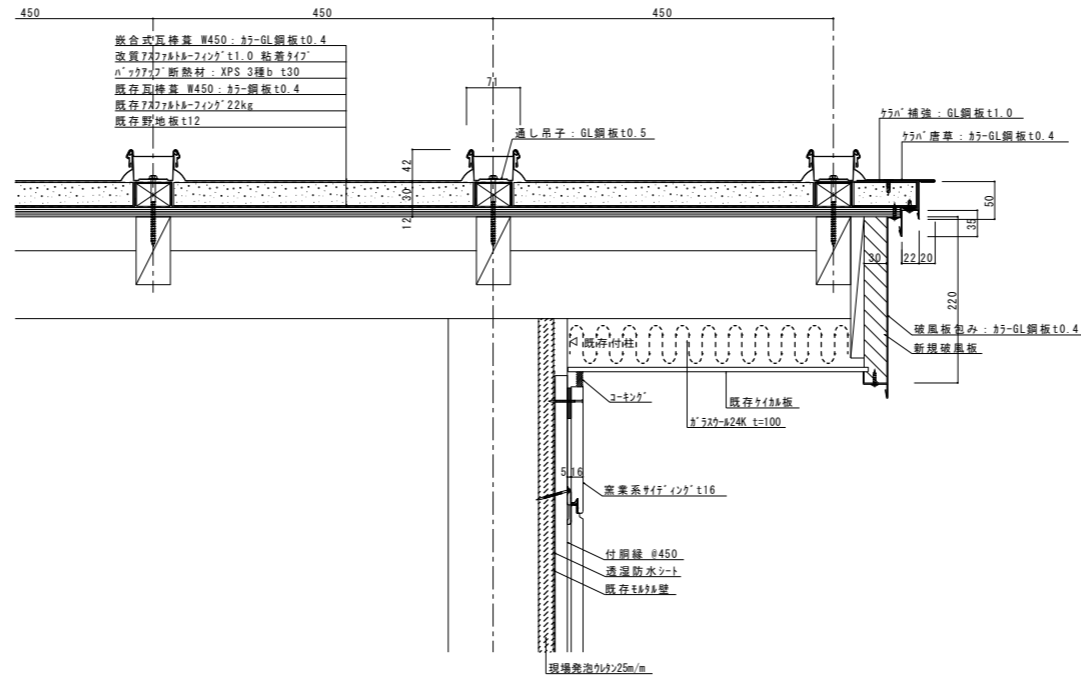
本棟(改修前)



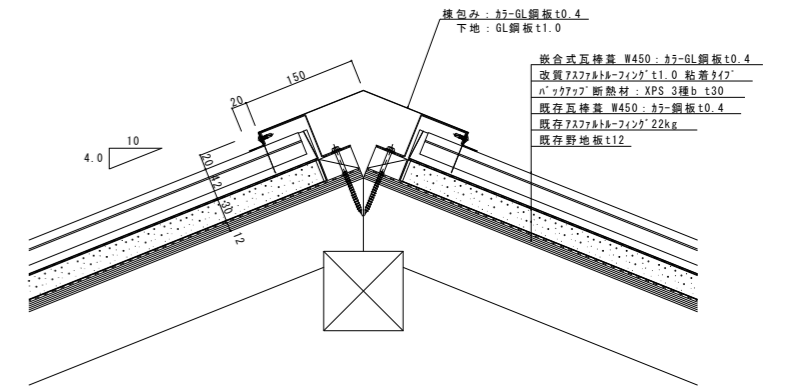
軒先(改修後)



ケラバ(改修後)



本棟(改修後)



- ① 軒先補強: GL鋼板 t1.0
- ② 軒先唐草: 85-GL鋼板 t0.4
- ③ 軒先水切り: 85-GL鋼板 t0.4
- ④ 鼻隠し板包み: 85-GL鋼板 t0.4
- ⑤ 鼻隠し板 30x220
- ⑥ 高強度補強受金具: 亜鉛メッキ? #450
- ⑦ 軒種: 85-GL鋼板 t0.5
- ⑧ 軒種?板: 85-GL鋼板 t0.5
- ⑨ 下?板: 85-GL鋼板 t0.4
- ⑩ ド?ン: 85-GL鋼板 75φ
- ⑪ 壁種: 85-GL鋼板 75φ

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

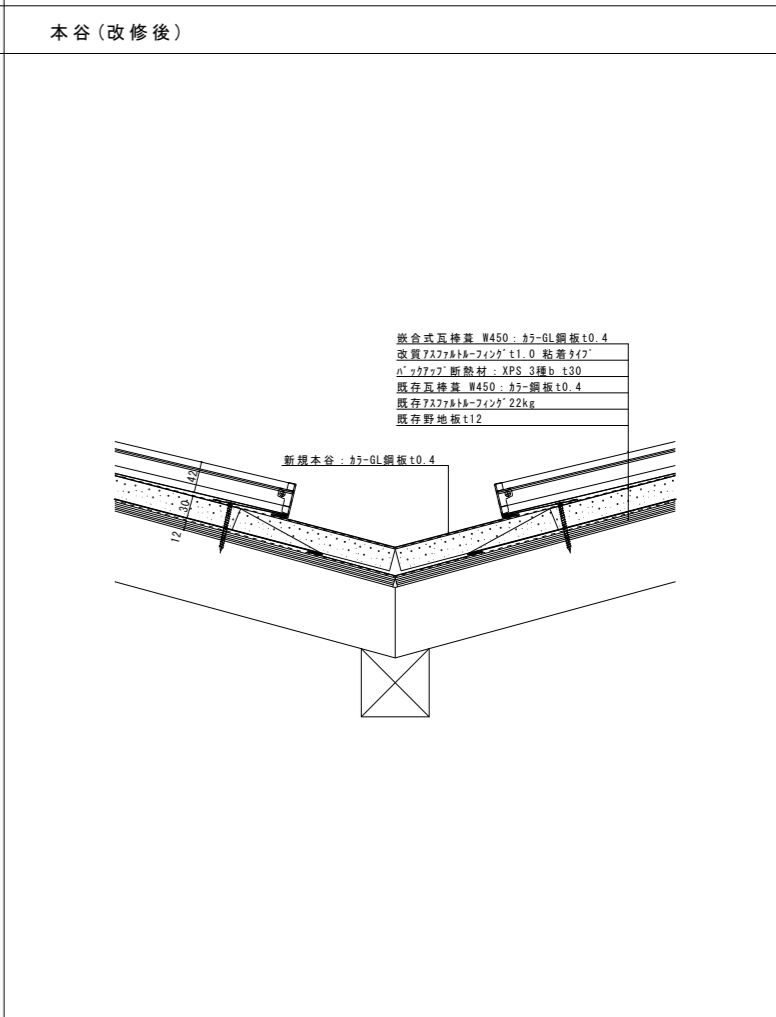
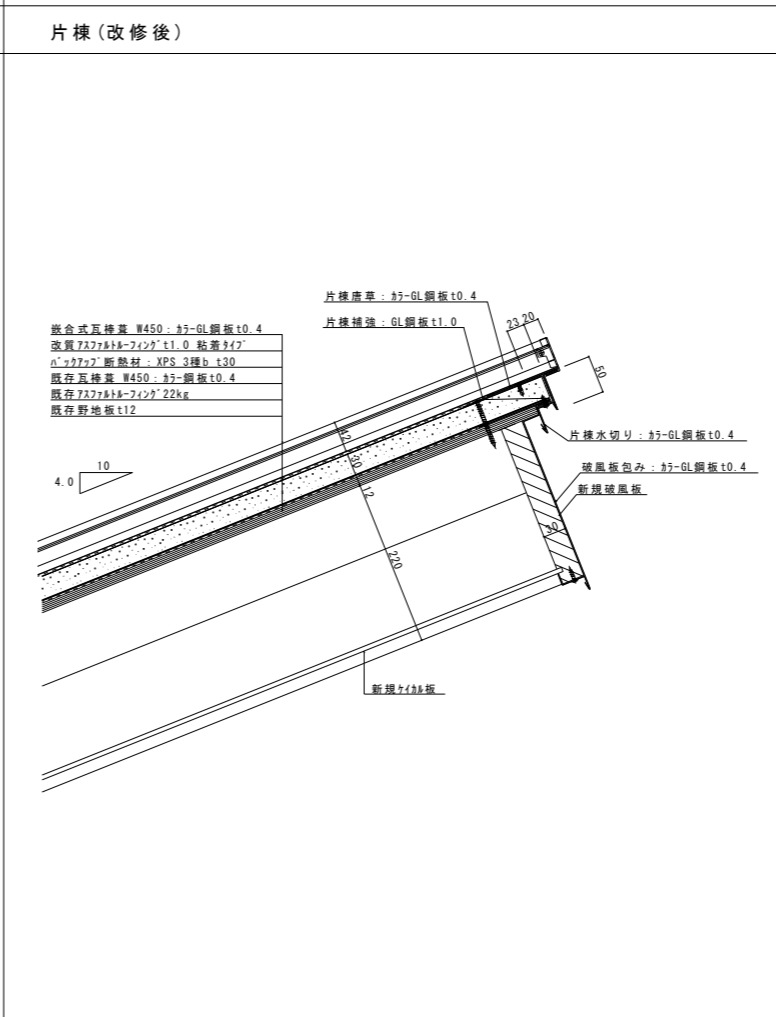
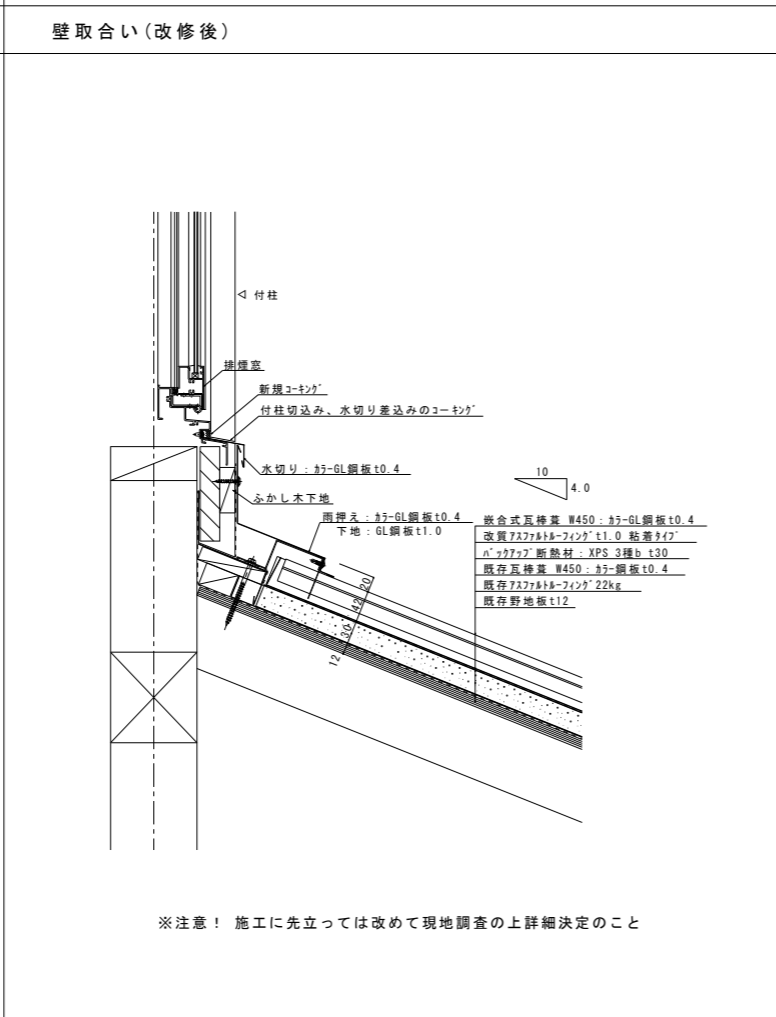
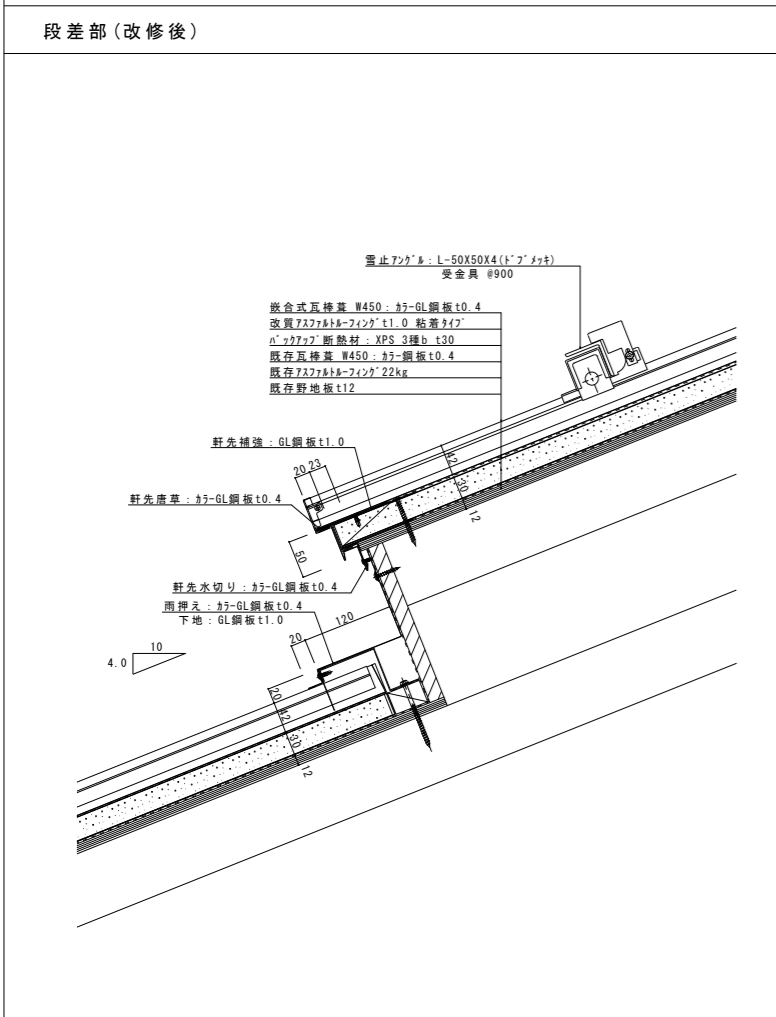
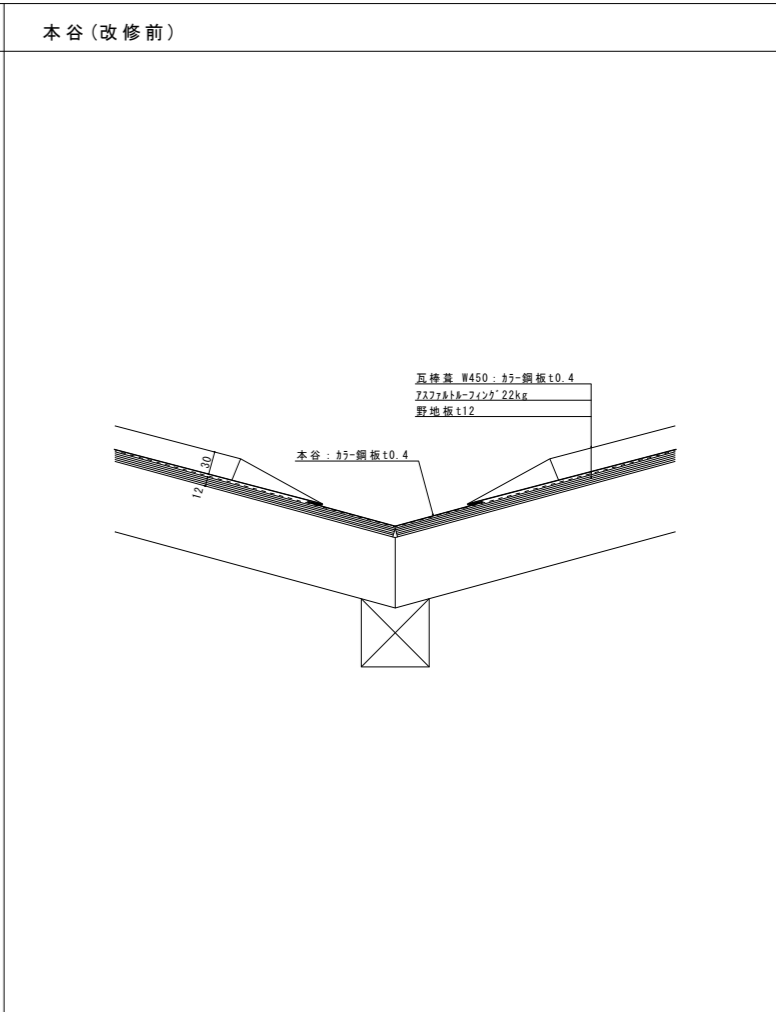
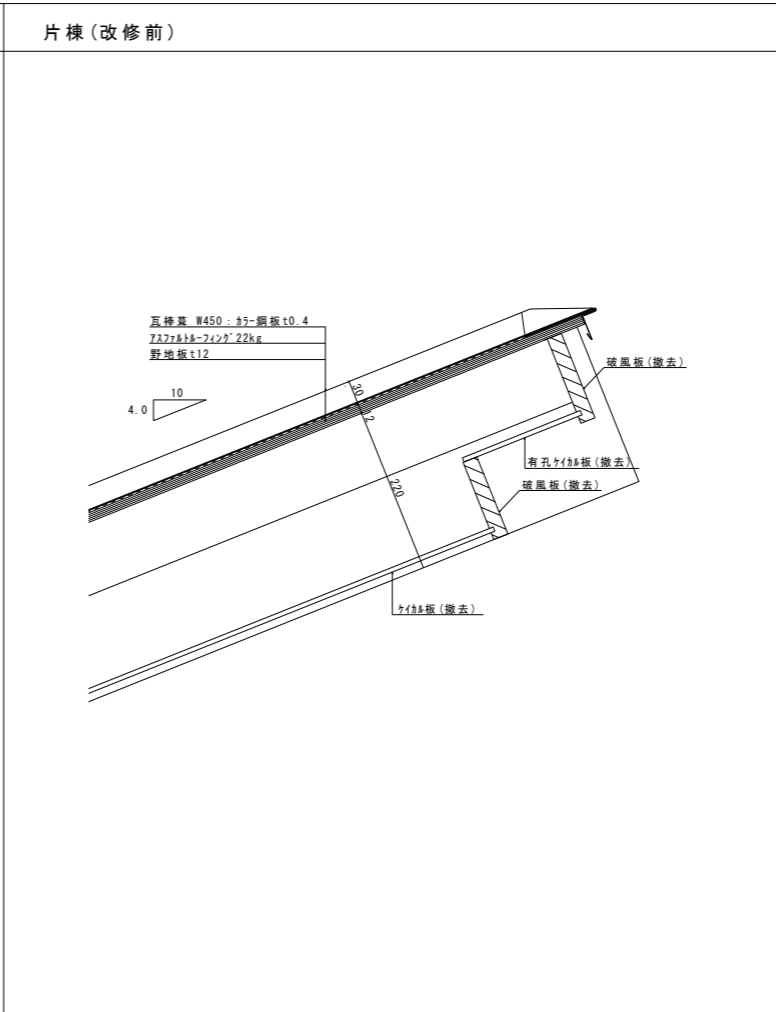
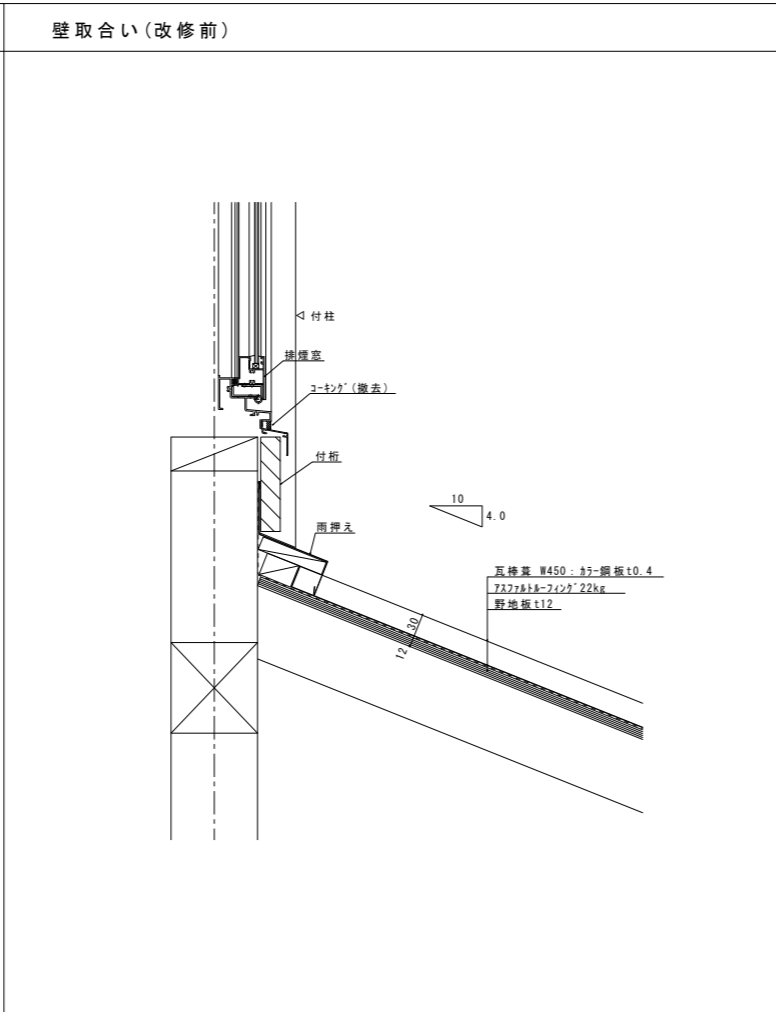
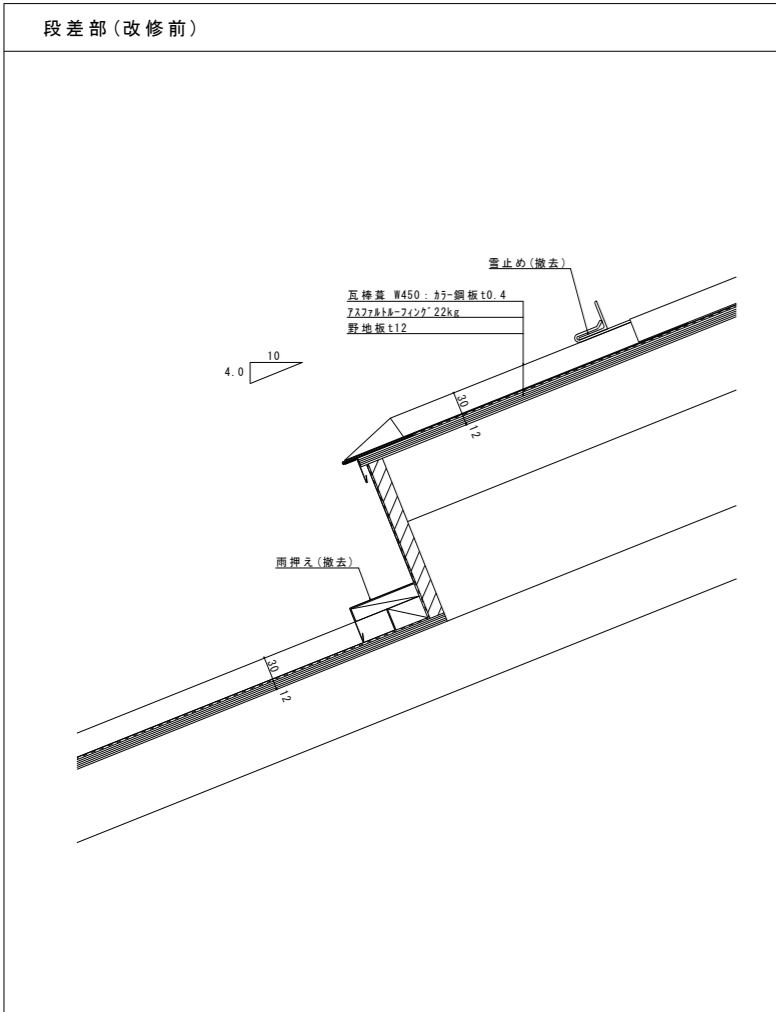
ITEM 【既存宿泊棟】屋根詳細図-1

MEMO

SCALE 1:5

DATE

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

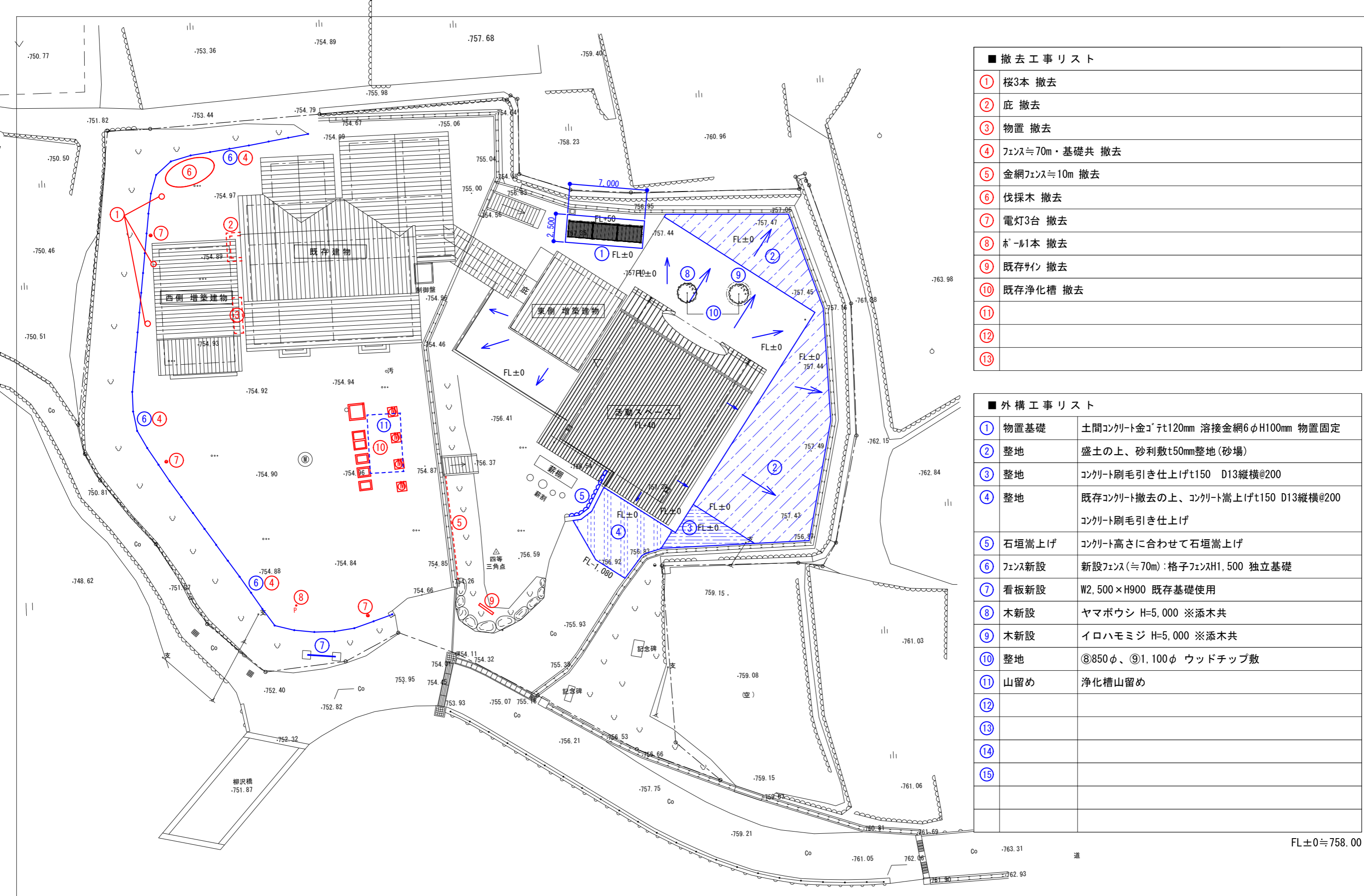
ITEM 【既存宿泊棟】屋根詳細図-2

MEMO

SCALE 1:5

DATE

CHECK



■ 撤去工事リスト

①	桜3本 撤去
②	庇 撤去
③	物置 撤去
④	フェンス≒70m・基礎共 撤去
⑤	金網フェンス≒10m 撤去
⑥	伐採木 撤去
⑦	電灯3台 撤去
⑧	ポール1本 撤去
⑨	既存サイン 撤去
⑩	既存浄化槽 撤去
⑪	
⑫	
⑬	

■ 外構工事リスト

①	物置基礎	土間コンクリート金ゴテt120mm 溶接金網6φH100mm 物置固定
②	整地	盛土の上、砂利敷t50mm整地(砂場)
③	整地	コンクリート刷毛引き仕上げt150 D13縦横@200
④	整地	既存コンクリート撤去の上、コンクリート嵩上げt150 D13縦横@200 コンクリート刷毛引き仕上げ
⑤	石垣嵩上げ	コンクリート高さに合わせて石垣嵩上げ
⑥	フェンス新設	新設フェンス(≒70m):格子フェンスH1,500 独立基礎
⑦	看板新設	W2,500×H900 既存基礎使用
⑧	木新設	ヤマボウシ H=5,000 ※添木共
⑨	木新設	イロハモミジ H=5,000 ※添木共
⑩	整地	⑧850φ、⑨1,100φ ウッドチップ敷
⑪	山留め	浄化槽山留め
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

FL±0≒758.00

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
ITEM 外構図

MEMO
SCALE 1:300

DATE
CHECK

NO D-70



撤去工事
①
桜3本撤去



撤去工事
②
庇撤去



撤去工事
③
物置撤去



撤去工事
④
既存フェンス
基礎共に撤去



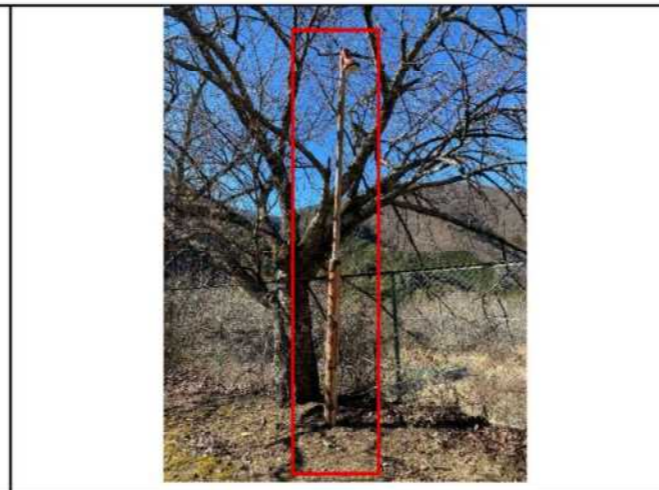
撤去工事
④
既存フェンス
基礎共に撤去



撤去工事
⑤
金網フェンス撤去



撤去工事
⑥
伐採木撤去



撤去工事
⑦
電灯3台撤去



撤去工事
⑧
ポール1本撤去

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 外部撤去写真(1)

SCALE -

CHECK



撤去工事
⑨
既存サ位



撤去工事
⑩
既存浄化槽

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

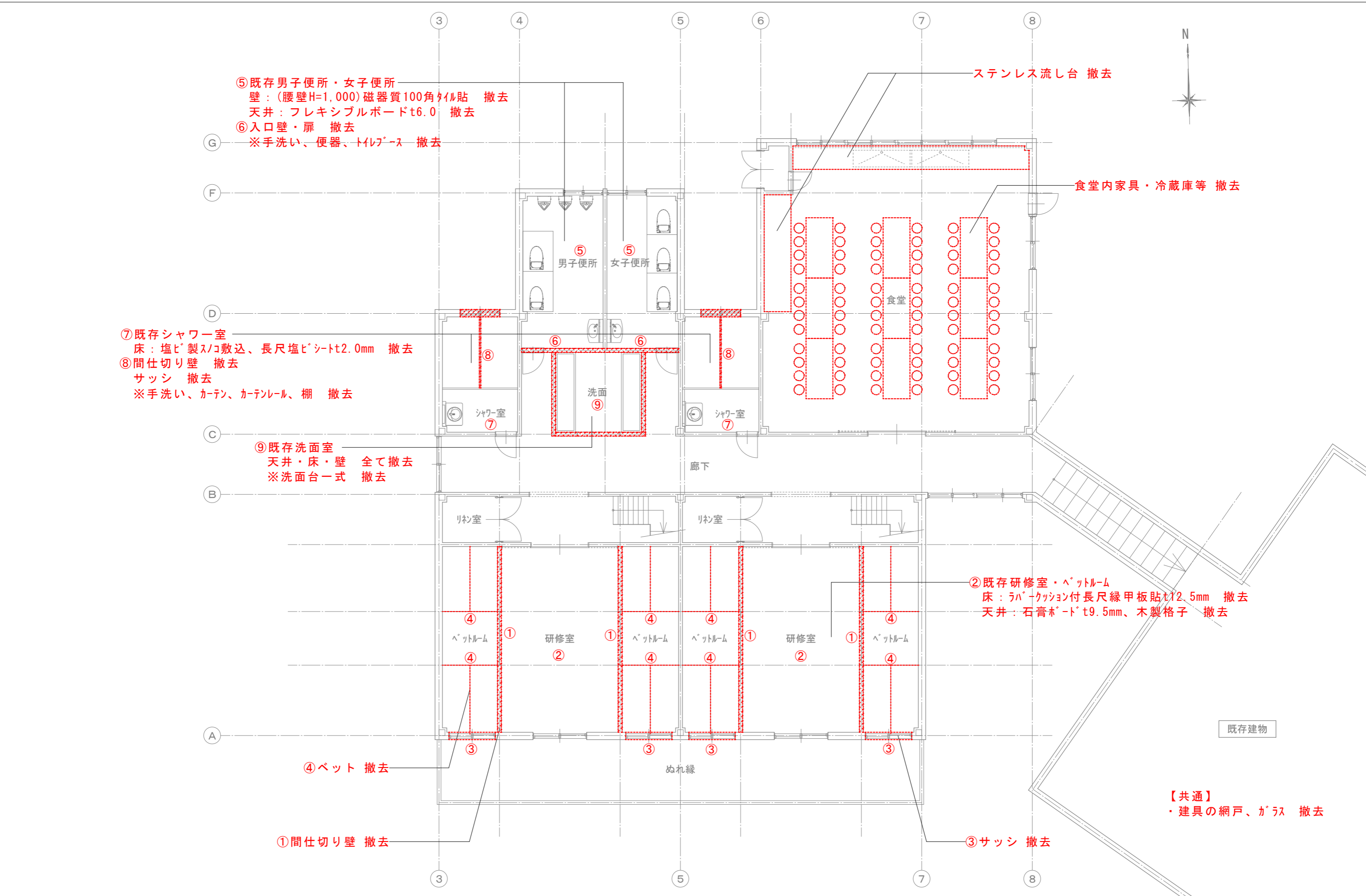
MEMO

DATE

ITEM 外部撤去写真(2)

SCALE -

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 【既存宿泊棟】内部撤去図（1階）

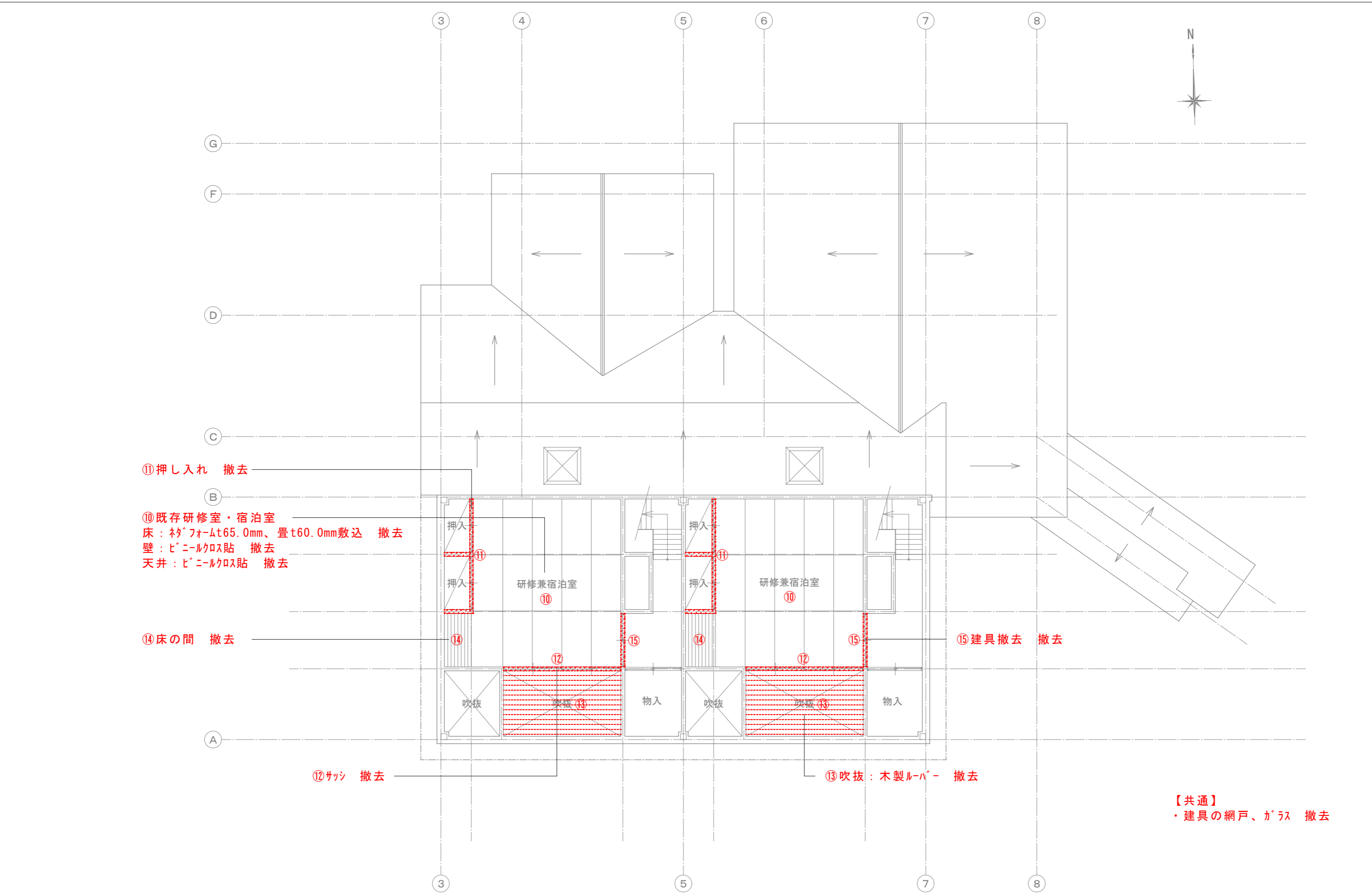
MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO D-73



⑪ 押し入れ 撤去

⑩ 既存研修室・宿泊室
 床：床タイルt65.0mm、畳t60.0mm敷込 撤去
 壁：ビニルクロス貼 撤去
 天井：ビニルクロス貼 撤去

⑭ 床の間 撤去

⑮ 建具撤去 撤去

⑫ サッシ 撤去

⑬ 吹抜：木製ルーバー 撤去

【共通】
 ・建具の網戸、ガラス 撤去

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】内部撤去図（2階）

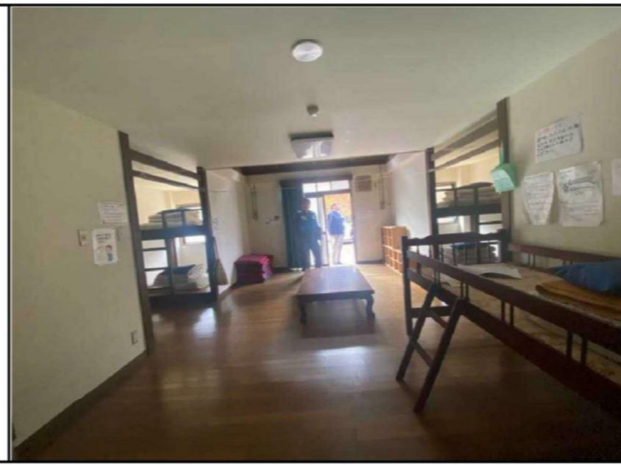
SCALE 1 : 100

CHECK

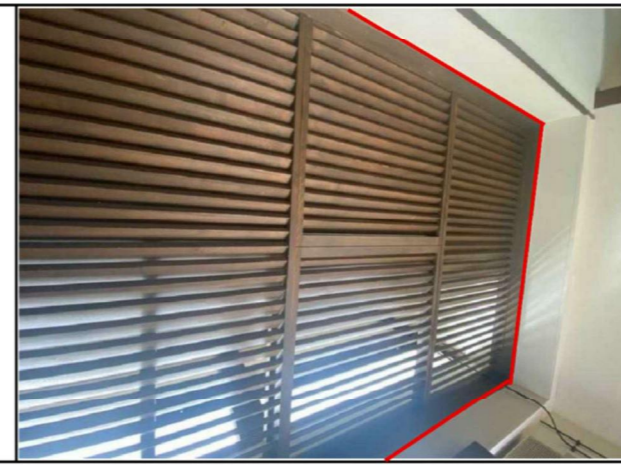
NO D-74



①
間仕切り壁
撤去



②
ベツルーム
床・天井
撤去



②
天井(木製格子)
撤去
※⑬同様



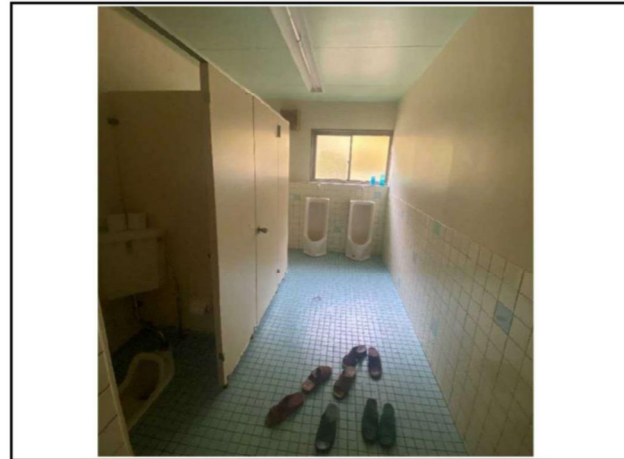
③
サツ
撤去



④
ベツ
撤去



④
ベツ
撤去



⑤
男子便所
天井
撤去



⑤
女子便所
床・天井
撤去



⑥
男子・女子便所
壁・扉
撤去

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】内部撤去写真1

SCALE -

CHECK



⑦
シャワー室
床・天井
撤去

⑧
シャワー室
間仕切り壁
撤去

⑨
洗面室
撤去



⑩
研修室兼宿泊室
床・壁・天井
撤去

⑪
押し入れ
撤去

⑫
サッシ
撤去
※撤去後、壁新設



⑬
吹抜
木製ルーバー
撤去

⑭
床の間
撤去

⑮
建具
撤去

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

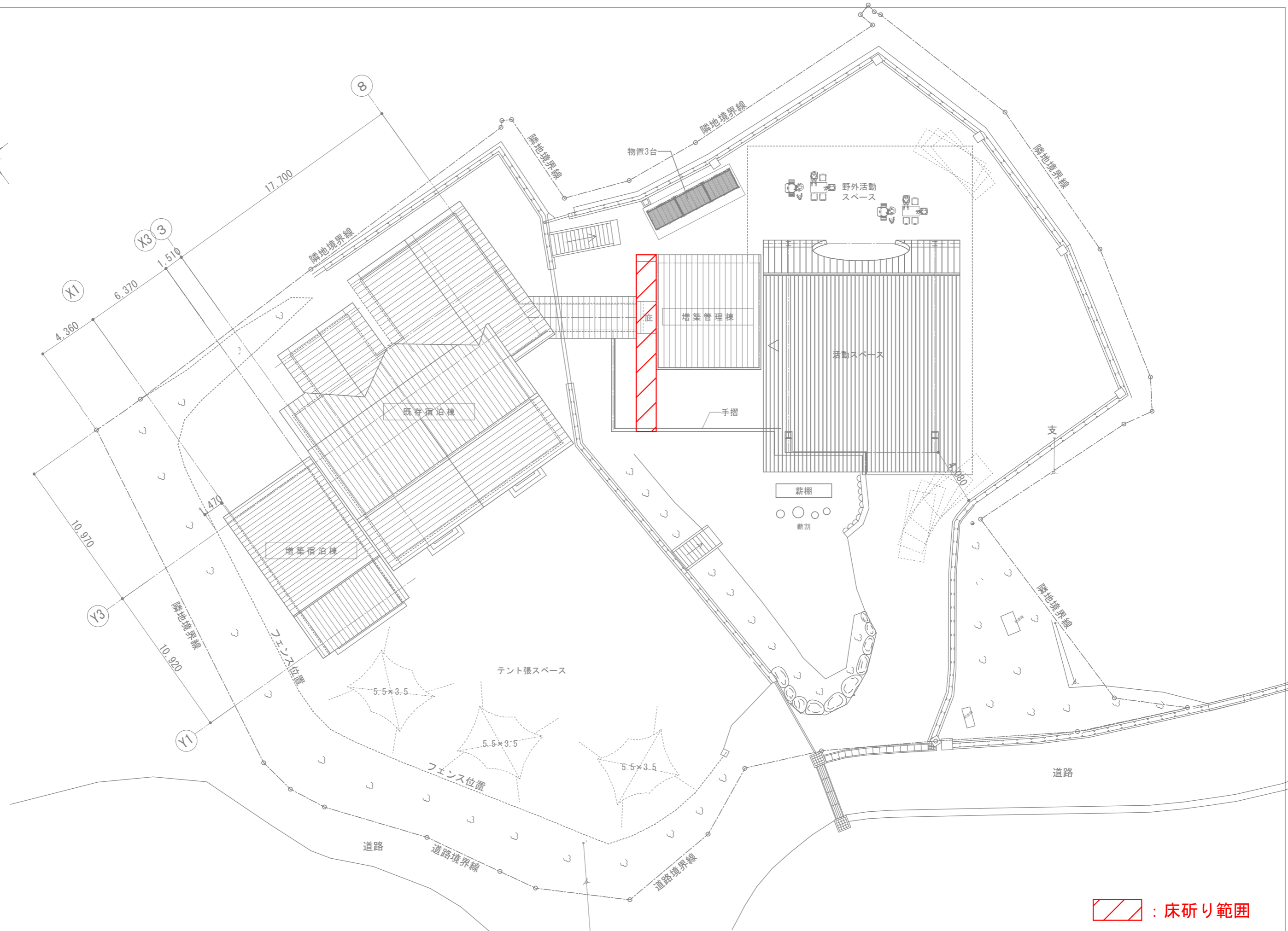
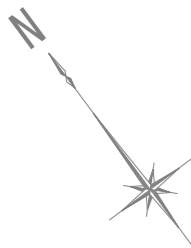
MEMO

DATE

ITEM 【既存宿泊棟】内部撤去写真2

SCALE -

CHECK

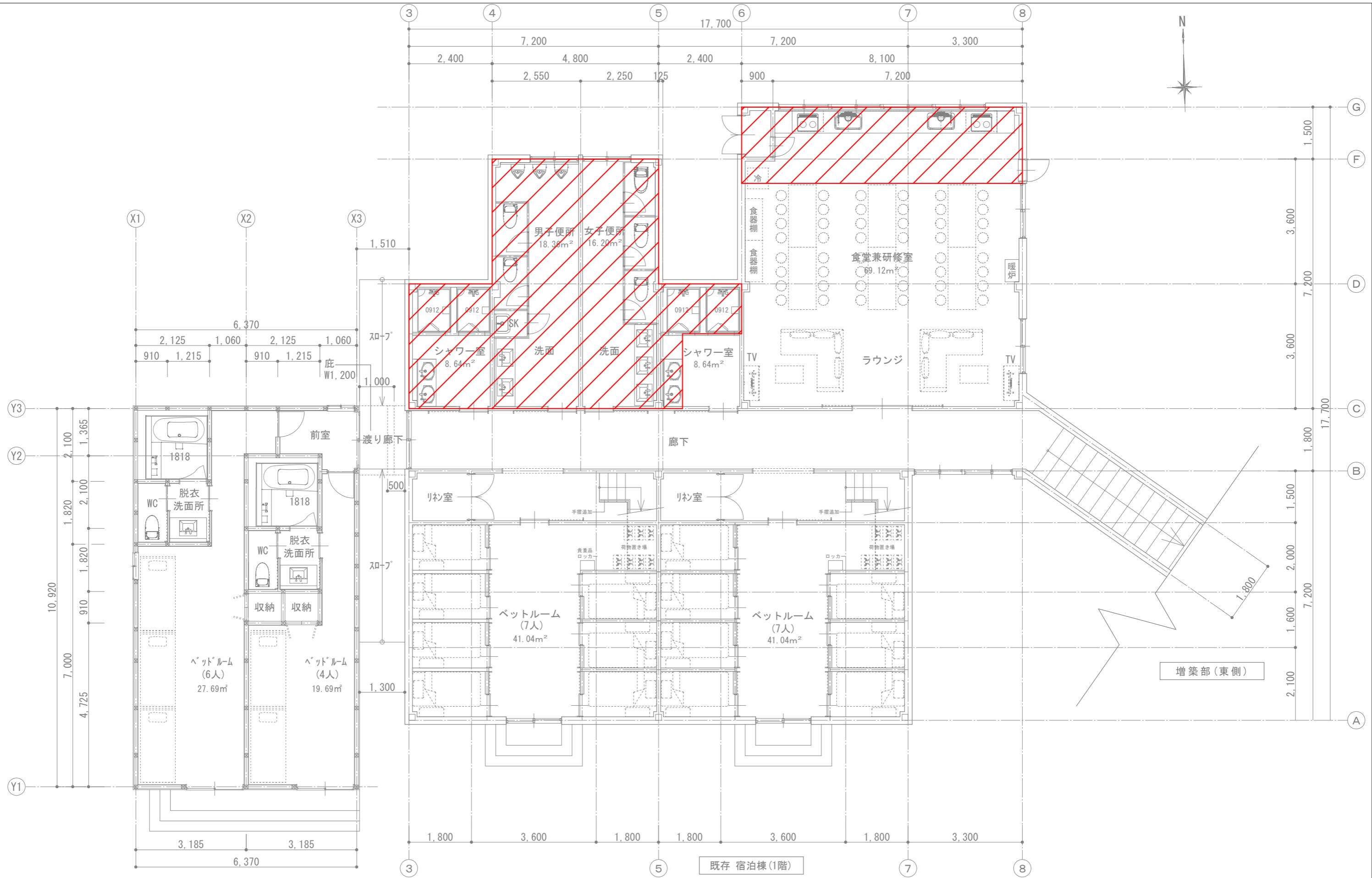


 : 床研り範囲

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM 土間研り範囲図（配置図）

MEMO 支
SCALE 1 : 250
DATE
CHECK

NO D-77



 : 床研り範囲

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
 ITEM 土間研り範囲図(平面図1)

MEMO
 SCALE 1 : 100

DATE
 CHECK

NO D-78

芦川グリーンロッジ (ASHIGAWA GREEN LODGE) の頭文字「A・G・L」が△○□で表現出来るので、図形元にマークと文字を考えました。



ASHIGAWA GREEN LODGE

マークタイプ

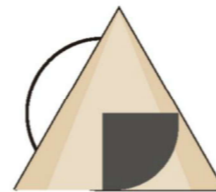
TYPE-A

芦川グリーンロッジの頭文字「A・G・L」を
収まり良く配置することで
マルチに使用できるサイズ感のマークとしました。



TYPE-B

芦川グリーンロッジの頭文字「A・G・L」の
配置バランスを変えるとともに
テントのイメージを強めました。



日本語使用フォント：コーポレート・ロゴ ver2 Medium

芦川グリーンロッジ

英語使用フォント：Faricy New Medium

Sleeping Pods C

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

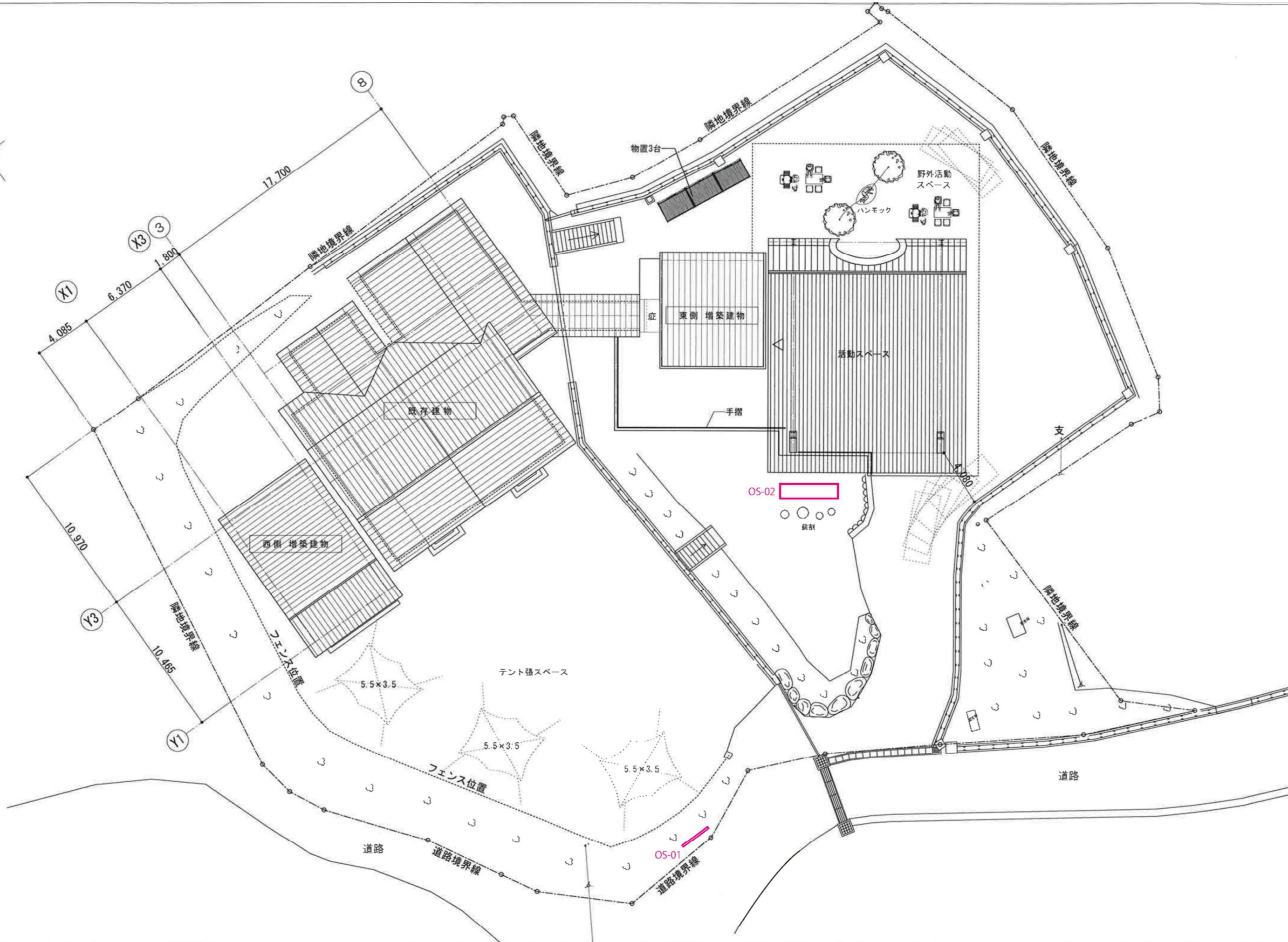
DATE

ITEM サイン図 1

SCALE -

CHECK

NO D-80



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM サイン図 2

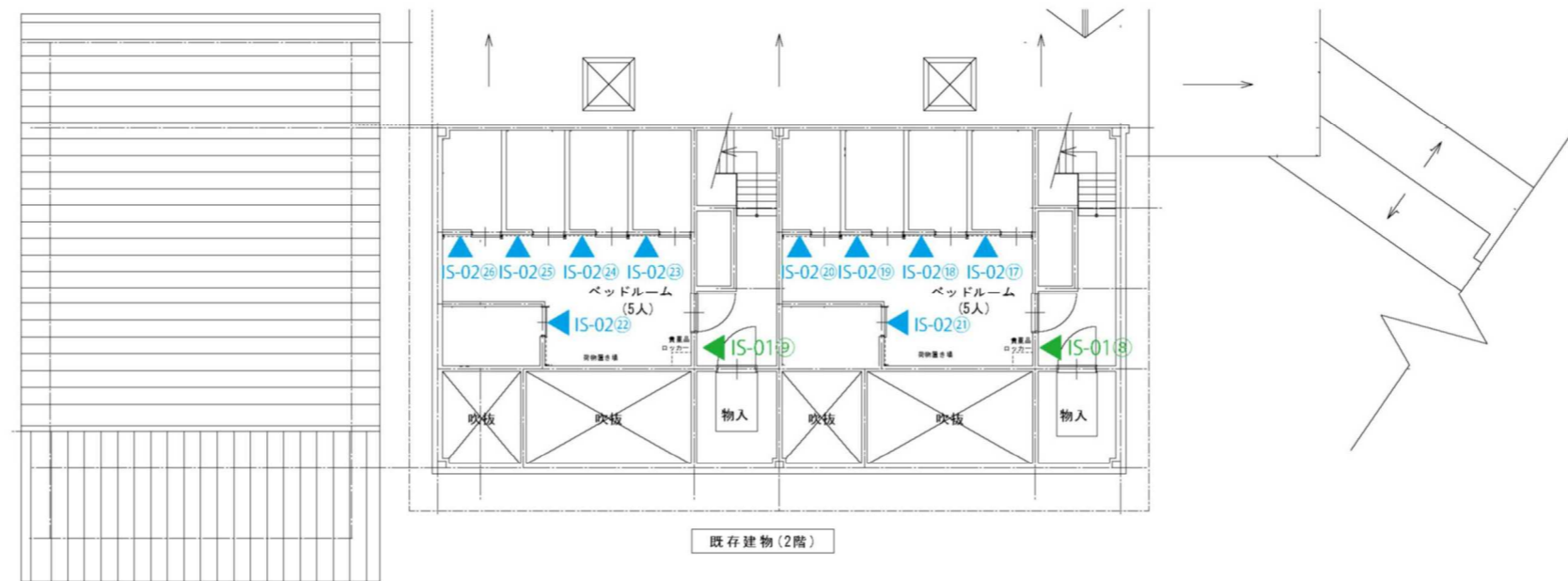
MEMO
SCALE -

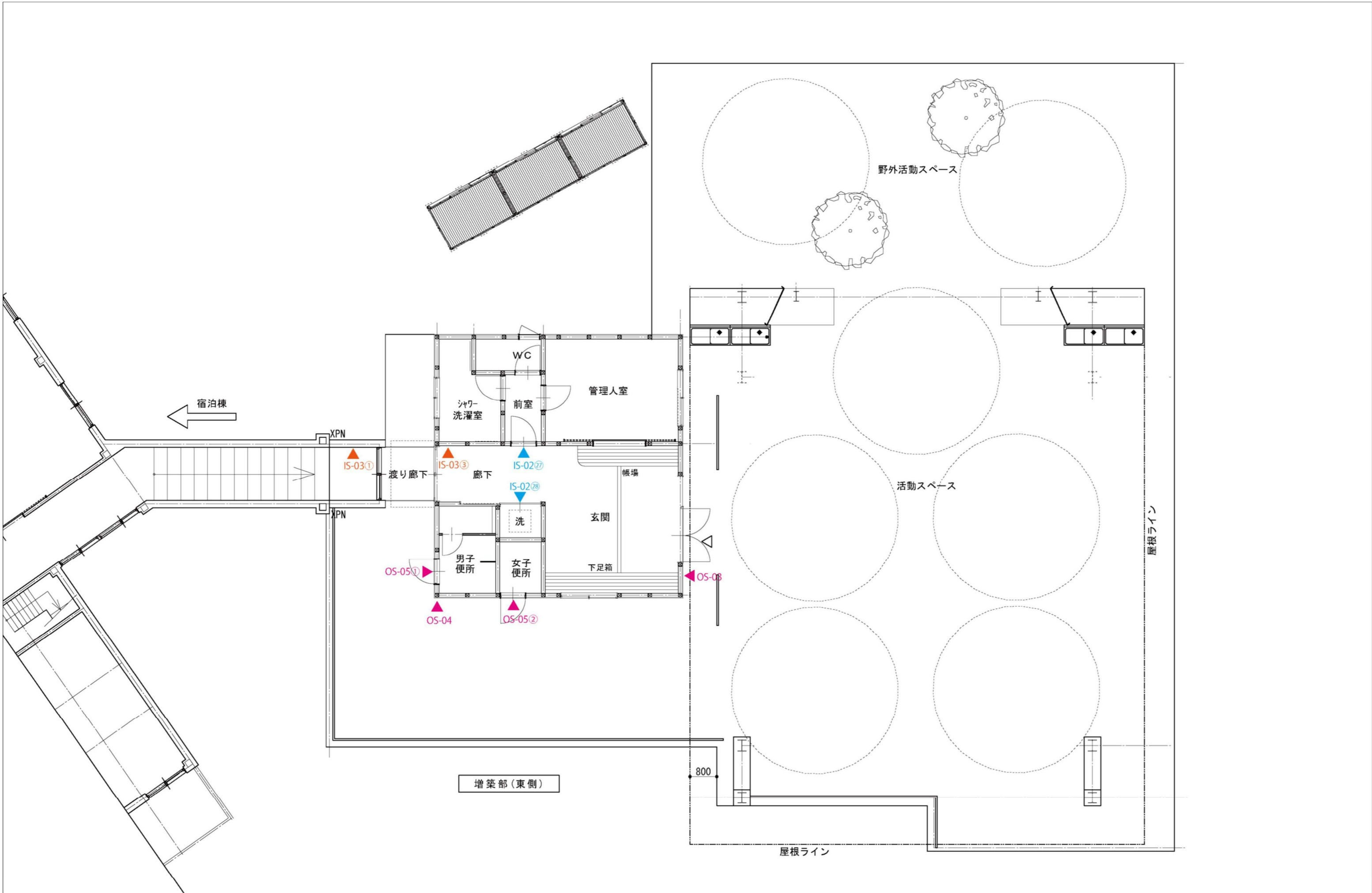
DATE
CHECK

1階



2階





TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM サイン図 4

MEMO

SCALE -

DATE

CHECK

【TYPE-A-1】

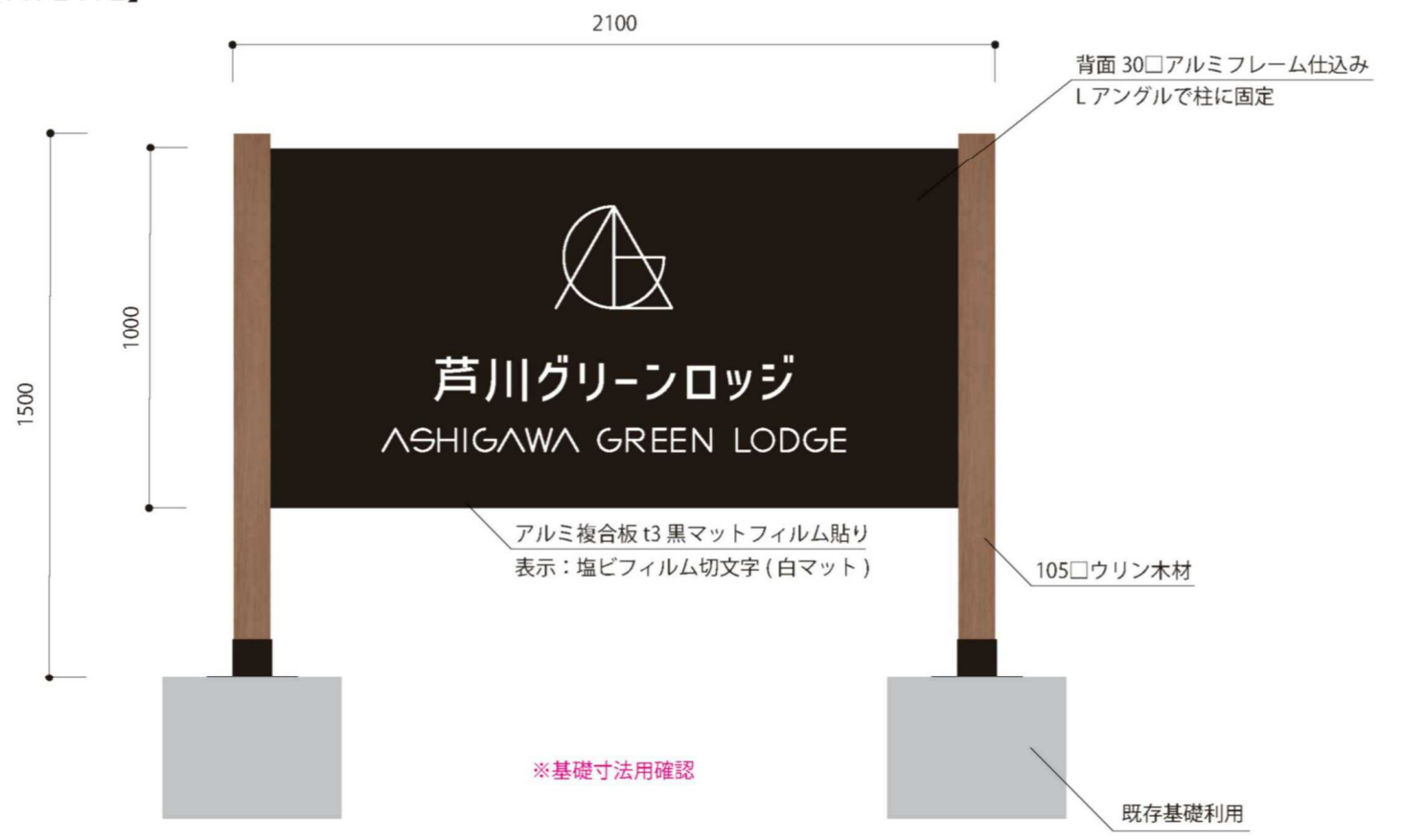


イメージ



※実際の見え方と異なる場合があります。植栽については要相談

【TYPE-A-2】



イメージ



※実際の見え方と異なる場合があります。植栽については要相談

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

MEMO

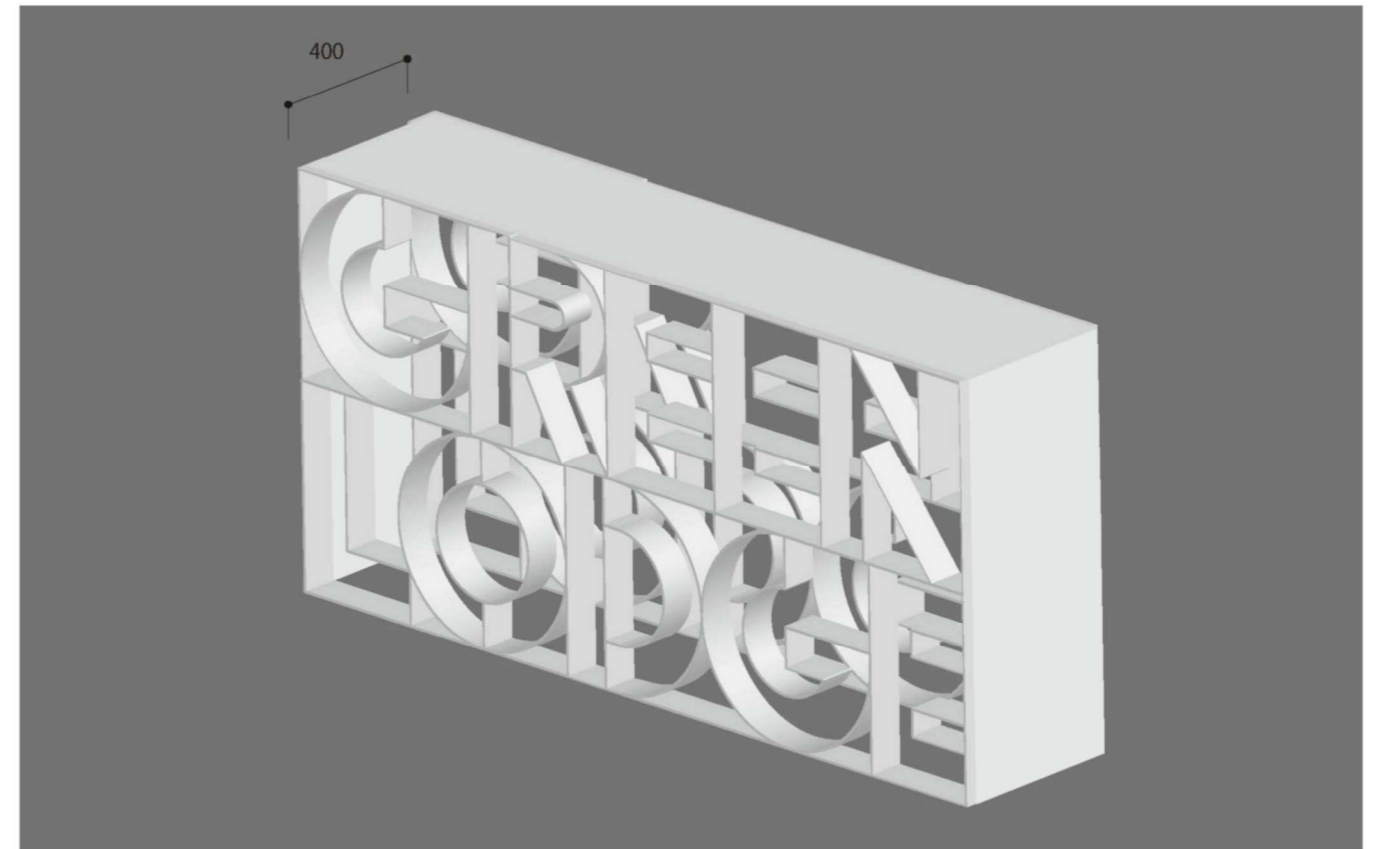
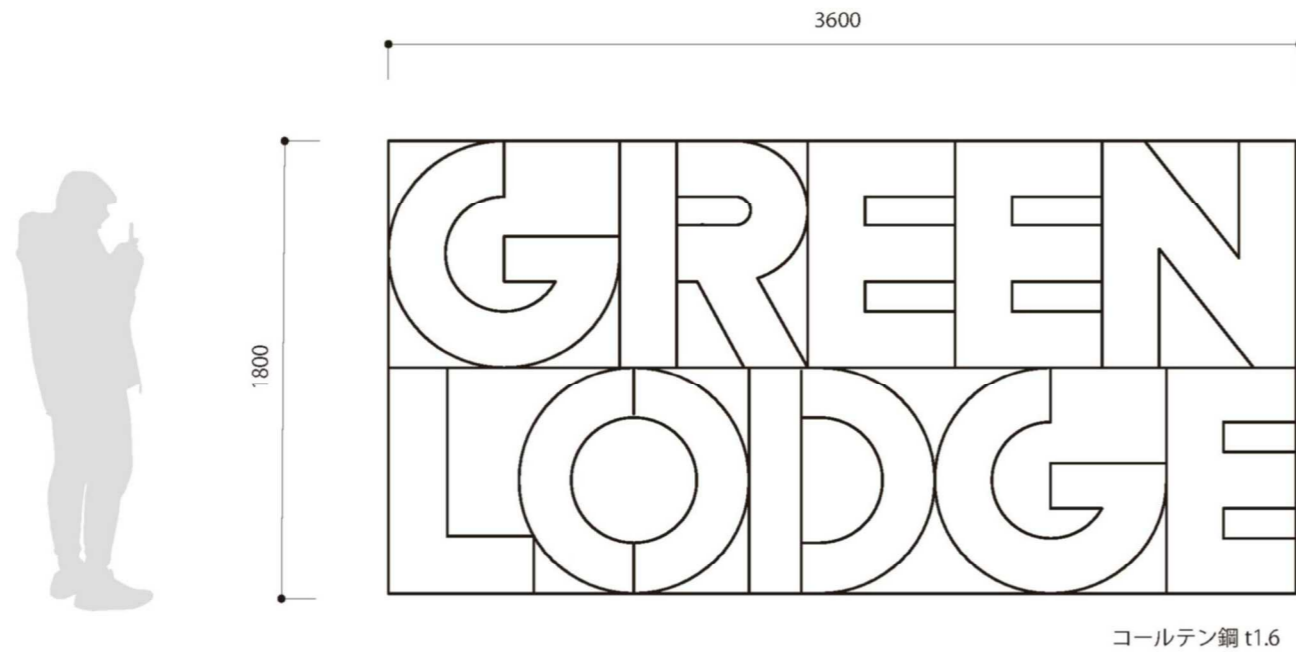
DATE

ITEM サイン図 5

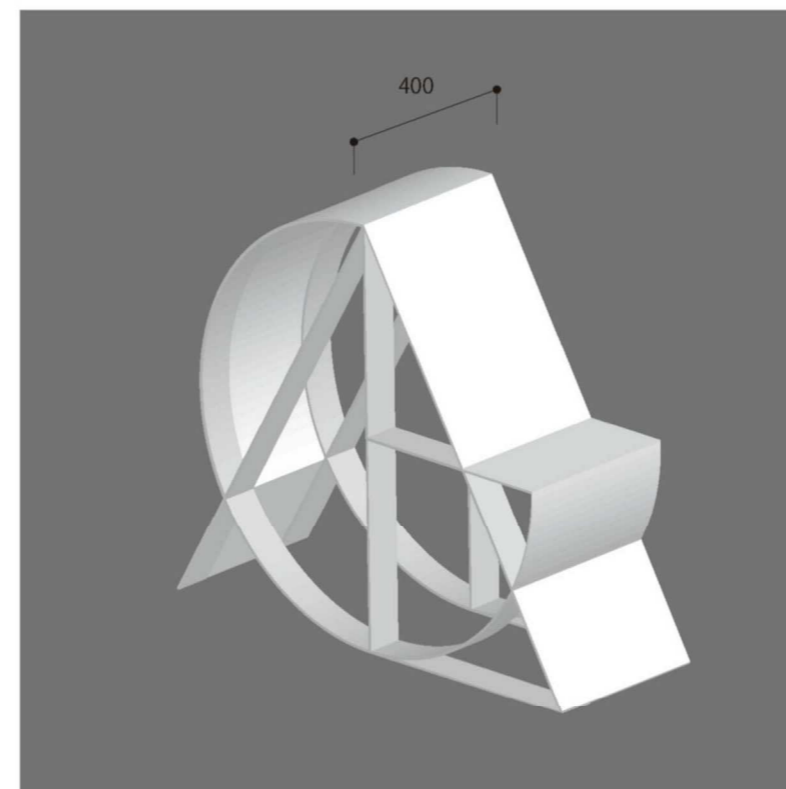
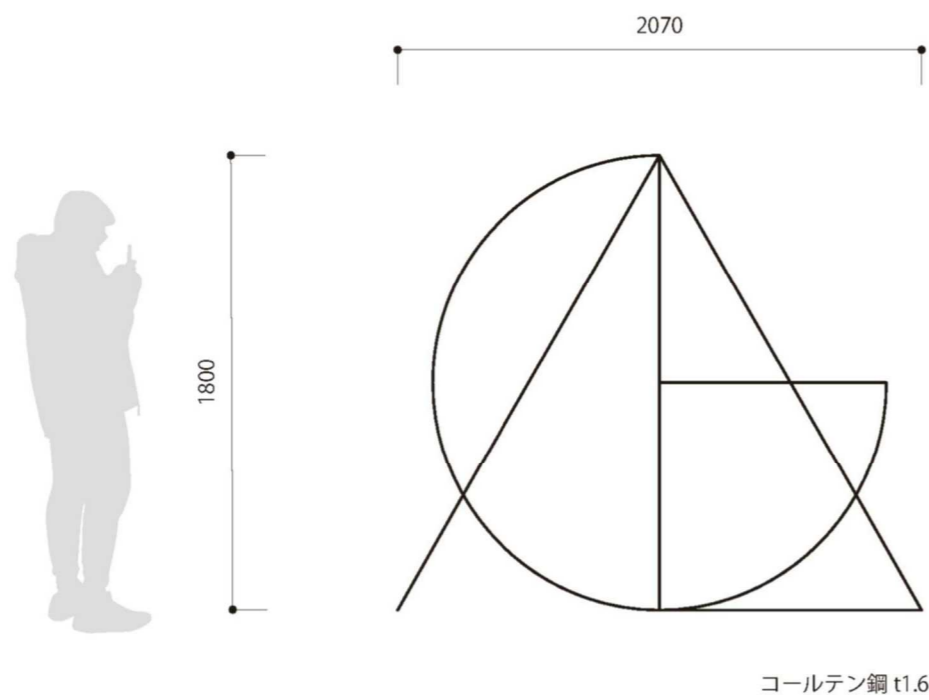
SCALE -

CHECK

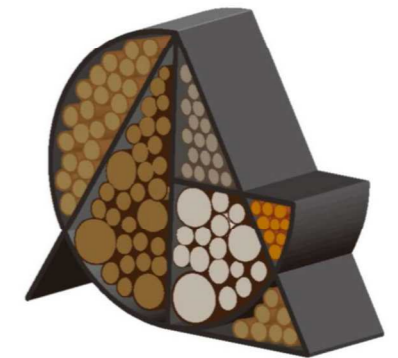
【TYPE-B-1】



【TYPE-B-2】



参考イメージ



参考資料



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

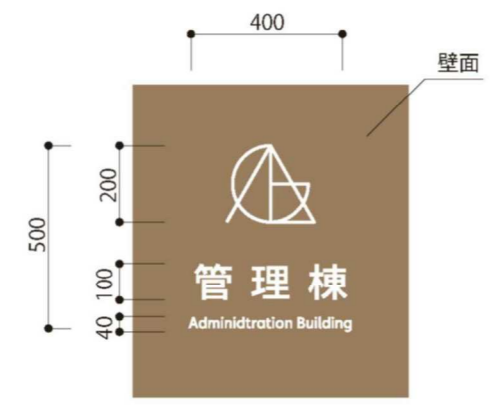
MEMO

DATE

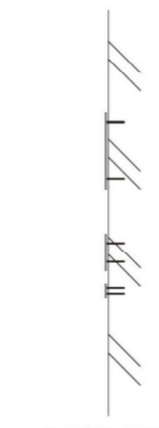
ITEM サイン図 6

SCALE -

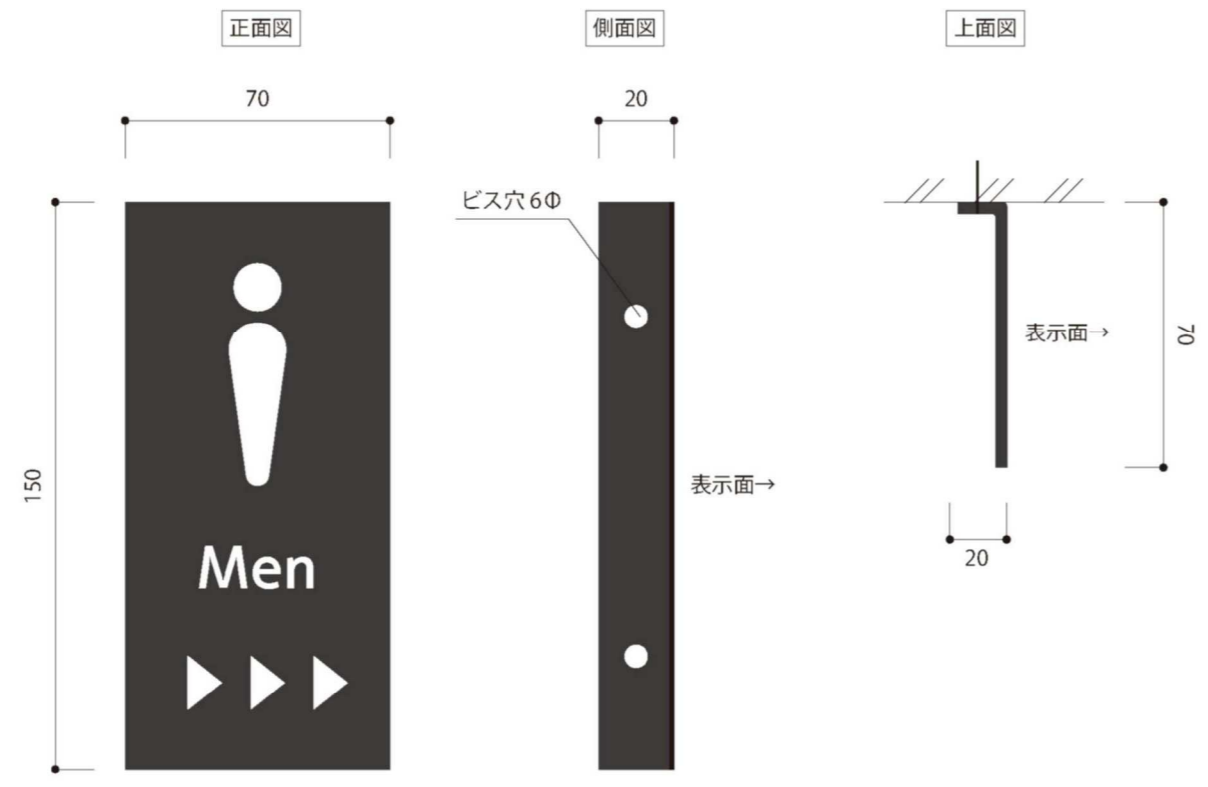
CHECK



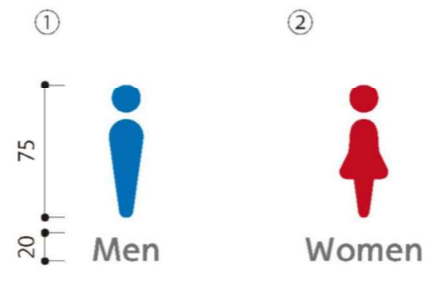
SUS切文字 t3、焼き付け塗装(白3分ツヤ)
 浮かし取付(浮かし幅5mm程度)
 ※内容は現場との協議で最終決定とする



※取付壁面素材要確認



SUSPLT t1.2、L字曲げ加工、焼付塗装(黒3分ツヤ)、表示:塩ビフィルム切文字(白マット)



※内容は現場との協議で最終決定とする



宿泊棟 1階

- ① Cafeteria / Laboratory
- ② Women's Shower Room
- ③ Men's Shower Room
- ④ Sleeping Pods A
- ⑤ Sleeping Pods B



宿泊棟 2階

- ⑧ Sleeping Pods C

- ⑨ Sleeping Pods D

TITLE

ITEM

MEMO

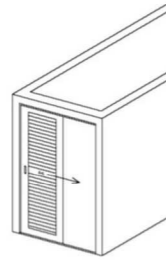
SCALE

DATE

CHECK

20
A-1

ベッドブースの番号表示位置は要確認



宿泊棟 1階

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| ① A-1 | ⑧ B-1 | ⑮ Guest Room E |
| ② A-2 | ⑨ B-2 | ⑯ Guest Room F |
| ③ A-3 | ⑩ B-3 | |
| ④ A-4 | ⑪ B-4 | |
| ⑤ A-5 | ⑫ B-5 | |
| ⑥ A-6 | ⑬ B-6 | |
| ⑦ A-7 | ⑭ B-7 | |

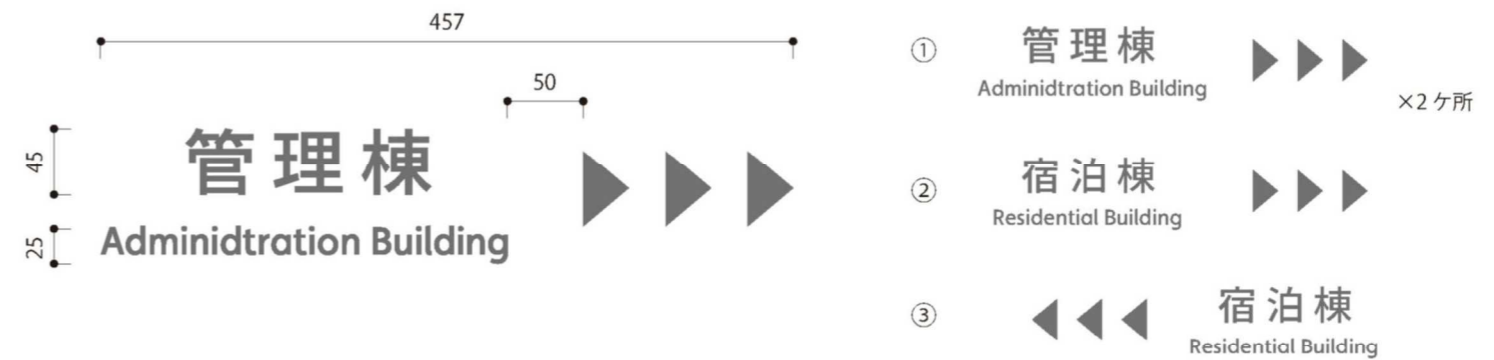
宿泊棟 2階

- | | |
|-------|-------|
| ⑰ C-1 | ⑳ D-1 |
| ⑱ C-2 | ㉑ D-2 |
| ㉒ C-3 | ㉓ D-3 |
| ㉔ C-4 | ㉕ D-4 |
| ㉖ C-5 | ㉗ D-5 |

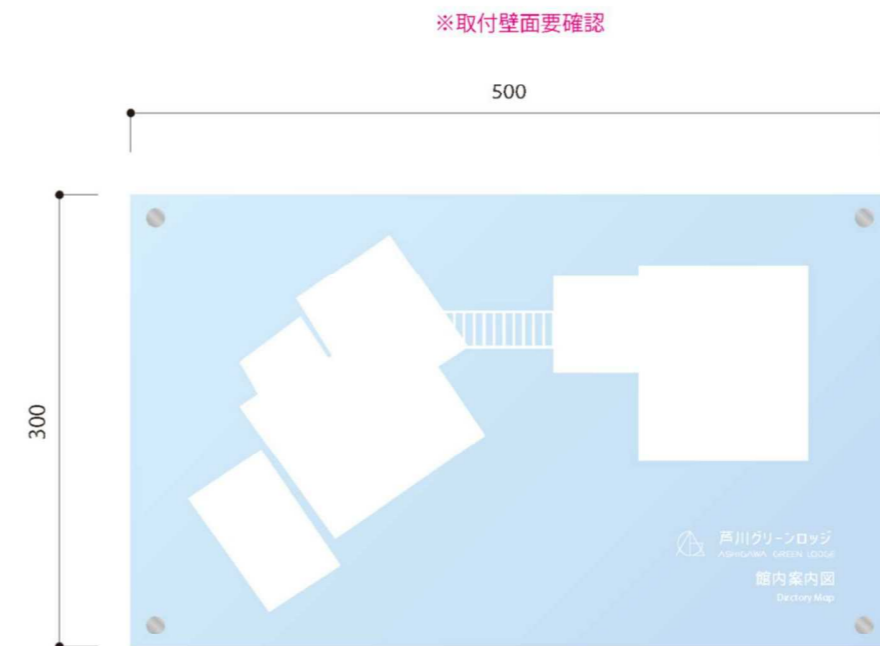
管理棟

- | |
|----------------|
| ㉟ STAFF ONLY |
| ㊱ Laundry Room |

※内容は現場との協議で最終決定とする



※内容は現場との協議で最終決定とする



ガラス調アクリル t3、透明メディアリ出力貼り (裏面から)、4点化粧ビス (浮かし取付)

※内容は現場との協議で最終決定とする

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

MEMO

DATE

ITEM サイン図 8

SCALE

CHECK

NO

D-87



アルミ複合板 t3、リ出力貼り(長期マット)、4辺巻き貼り、既存サインに上貼り
 ※内容は仮入れです。

イメージ



※実際の見え方と異なる場合があります。

TITLE	芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)
ITEM	サイン図9

MEMO	
SCALE	-

DATE	
CHECK	

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
建築場所 山梨県笛吹市芦川町鶯宿1760

(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築

(3) 構造設計一級建築士の関与 必要 必要としない
法第20条第二号（RC造高さ20m超 S造 4階建以上 木造高さ13m超 その他）

(4) 階数 地下 一階 地上 1階 塔屋 一階

(5) 構造種別

構造種別	該当層等	架構特徴等
<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造	階～階	<input type="checkbox"/> 免振建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	階～階	<input type="checkbox"/> 制震建物
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨造 (S)	1階	<input type="checkbox"/> 塔状建物
<input type="checkbox"/> RC造		<input type="checkbox"/>

(6) 主要用途 活動スペース屋根付

(7) 屋上付属物
高層水層 KN キュービクル KN 広告塔 煙突 太陽光発電設備 工作物

(8) 特別な荷重
エレベータ 人乗り (乗用) DW 0.2KN ホイスト KN
倉庫積載用 N/m² 受水槽 KN

(9) 付帯工事
門塙 塙壁

(10) 増築計画 有 () 無

(11) 構造計算ルート X方向ルート 3- () Y方向ルート 3- ()

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質基準強度 F _q =N/mm ²	調合管理強度 F _m =N/mm ²	スランプ cm	所要空気量 (%)
捨コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	18N	18N	18N	18	
土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21N	21N	21N	15	4.5
基礎・基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	21N	21N	21N+S	15	4.5
	<input type="checkbox"/> 普通					
	<input type="checkbox"/> 普通、軽量					
	<input type="checkbox"/> 普通、軽量					

混和剤 AE減水剤

呼び強度を保證する材齢、養生
材齢 (28日 56日)
養生 (現場封かん 現場水中 標準)

■単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする
■主要構造部、水セメント比は65%以下とする。
■調合管理強度 F_m=Max (F_c, F_d) + S S=3~6 (JASS5 (2015年版))
■調合管理強度 Fは下記の両式を満足するものとする。
F≥F_m+1.73σ F≥0.85F_m+3σ

(2) コンクリートブロック (CB)

A種 B種 C種 厚 100 120 150 190

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法	
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D16以下	基礎・基礎梁	■重ね継手 D16以下
	<input type="checkbox"/> SD295B			
	<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19以上	基礎・基礎梁	■ガス圧接継手 D19以上
<input type="checkbox"/>				□特殊継手 ()

高強度せん断補強筋 丸鋼 SR235

溶接金網 (JIS G 3551)

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> S400 <input type="checkbox"/> SM400 <input checked="" type="checkbox"/> SN400B	大梁・柱	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	鉄骨部材リスト
<input checked="" type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400 <input type="checkbox"/> SN400A, B, C	小梁、GPL、スプラインPL、P柱	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C (GIP)梁		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> STK400		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235 <input type="checkbox"/> BCP325		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A <input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400 <input type="checkbox"/>	鋼線	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	鉄骨部材リスト

*使用箇所の詳細については別途詳細図による。

(5) ボルト

■高力ボルト *締付けが困難な箇所は、JIS形高力ボルト (F10T) を用いる
■普通: F10T ■特殊: S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22 M24)
■ボルト (4.6): JISB1051 高力ボルトすべり係数試験 要 否
M12 M 高力ボルト導入係数確認試験 要 否

■アンカーボルト 定着長 ※ベースバックアンカーボルトは、大臣認定仕様によること
ABR400 M16 L=320mm ナット (シングル、ダブル)
ABR400 M20 L=400mm ナット (シングル、ダブル)
ABR400 M24 L=480mm ナット (シングル、ダブル)
ABR400 M27 L=540mm ナット (シングル、ダブル)

頭付キスタッド 特記なき限り、下記による
φ=16 L=80mm @300 使用箇所 (柱 大梁 小梁)
φ=19 L=80mm @250 使用箇所 (柱 大梁 小梁)

異形スタッド φ=16 L= mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁) (KSD490D)

(6) 屋根、床、壁
A.L.C版 厚 50、100、125、150 折版 H=150 t0.8 デッキ合成スラブ
■窯業系サイディング 厚 16 モエン大壁工法 金属系サイディング
型枠用デッキプレート 型式 厚 アイルー775 t1.0 GL鋼板

3. 地盤

(1) 地盤調査資料
有 (敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 水平地盤反力係数の測定
液状化判定 現場透水試験 土質試験

■無 (調査予定) ■有 無

(2) 地盤調査計画
■ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
土質試験 物理深査 平板載荷試験 試験掘 (支持層の確認)

(3) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記する)

深度	土質	N値	標準貫入試験	
1				○調査地番 建設地
2				○位置図
2.80				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				○調査結果とする
11				
12				
13				
14				○支持地盤、地層及び深さについてコメント
15				
16				○孔内水位
17				○近隣データの調査地番と設計地番とは約 mの距離がある
18				
19				○備考

4. 地業工事

(1) 直接基礎
ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
深さ S.GL-1.35 m 支持層 一層混じり砂層
長期許容支持力度 80 KN/m² (フーチング下面) 載荷試験 有 無

(2) 杭基礎 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PRC	PRC (<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み (プレボーリング掘削工法)	国住指第 - 号
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input type="checkbox"/> S S 400 <input type="checkbox"/> S K K 400	<input type="checkbox"/> ケーシング併用ケーシング工法	建設省版指第 号
<input type="checkbox"/> 鋼管コンクリート	SC (<input type="checkbox"/> SC80 <input type="checkbox"/> S6405) (<input type="checkbox"/> SKK400 <input type="checkbox"/> SKK490)	<input type="checkbox"/>	年月日
<input type="checkbox"/> 場所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c = N/mm ² スランプ セメント量 KN/m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡張杭 <input type="checkbox"/> リバスサーキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース	拡張杭 日本建築センター認定 第 号 年月日

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有、無) (打ち込み、載荷、埋込み、埋込み根固め)

杭径 (mm)	杭符号	長期設計支持力 (KN/本)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート 本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36N/mm²以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

■ コンクリートは JIS 認定工場の製品とし、施工に関しては JASS5 (2015) による。
■ 耐久設計基準強度 F_d 短期 標準 長期 超長期
■ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5 T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。尚、設計基準強度が27N/mm²以上の場合は、打ち込み区画ごと、打ち込み日ごと、かつ、100m³又は、その端数ごとに1回以上とする。
1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車から必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋

■ 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工は JASS5 (2015) による。
■ 高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
■ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

表9.4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級			鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の部位 (注)			
■重ね継手	標準図による	A級	B級	SA級	■D (16) 以下 基礎・基礎梁
■圧接継手	告示1463号第2項各号	■			■D (19) 以下 基礎梁
□溶接継手	告示1463号第3項各号	□	□	□	□D () 以下
□機械式継手	告示1463号第4項各号	□	□	□	□D () 以下

注) (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・認定等を取付した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準 (建築物の構造関係技術基準解説書 2007)』によって検討した部材の条件・仕様によること。

- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は (公社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
■ ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
■ 圧接技量資格者は、(公社) 日本鉄筋継手協会によって承認された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
■ 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書を取得した定着金物を用いる。
定着工法使用の際は、仕口内フープ及び定着長さ等の検討を各メーカーの技術評価に基づき行い、監理者の確認を得ること。

(b) 検査
継手部の検査方法
各継手工法ごとの検査は平12建告1463号による他、具体的な検査方法は、(公社) 日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9.5 継手の検査

継手方法	外観検査	引張試験	超音波探傷試験
1 ガス圧接	■有 100 %	抜取り1検査ロッド当たり □有 ■無 % 個	抜取り1検査ロッド当たり ■有 □無 30 % 個
2 溶接	□有 %	抜取り1検査ロッド当たり □有 □無 % 個	抜取り1検査ロッド当たり □有 □無 % 個
3 機械式	□有 %	□有 □無 % 個	□有 □無 検査ロットごとに10箇所

ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初のロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は3本以上とする。(1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所 200箇所程度とする。)

■ 鉄筋の継手の試験・検査は、「要領」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関、又は、これに準ずる法的試験機関で行うこと
試験・検査機関名 (都知事登録 号)
□ 鉄筋機械式継手は、接合する鉄筋のカブラー又はスリーブへの挿入長さの確保が重要である。継手施工のプロセス管理は、鉄筋接合工事標準仕様書機械式継手工事 (2017年) (日本鉄筋継手協会) に準じて行い、受入検査で外観検査の他に挿入長さを超音波測定検査 (SVコーナーエコー法) によること。
超音波測定検査の検査ロットは同一作業班が同一日に施工した継手箇所とし、その大きさは200箇所程度を標準とし、サンプルの大きさは検査ロットごとに10箇所とする。
□ 鉄筋機械式継手の外観検査項目 (受入検査)
ねじ節鉄筋継手 (カブラーの外観、挿入マーク、挿入長さ、合わせマーク、グラウト材の充填)
モルタル充填継手 (スリーブの外観、挿入マーク、挿入長さ、モルタルの充填)
端部ねじ加工継手 (カブラー・固定ナットの外観、挿入長さ、固定ナットの締付け)

(3) 型枠

■ 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建設第1655号に基づき下表による。

表9.7 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号 (昭和63年改正建設省告示第1655号)

種類 部位	せき板		支柱					
	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下、梁下	スラブ下	梁下				
セメントの種類	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント				
	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種				
存置期間の平均気温	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種				
コンクリートの材齢 (日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 5.0 N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の			
					85%		100%	

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあつては5 N/mm²以上、長期及び超長期の場合は10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は10 N/mm²以上。
注) 1 片持ち梁、応、スパン 9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注) 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛替えは、小梁が終了してからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛替えを行わないこと。
注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないよう行うこと。

6. 鉄骨工事

*但し、Rグレード工場による場合、
・横向き姿勢によるF.P溶接部のUT検査は全数とする。
・ベースプレート (490NC、t36) は、CO2ガスシールドアーク溶接による。

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■ 日本建築学会「JASS6 2015」鉄骨精度検査基準 「鉄骨工事技術指針」
□ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
■ 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書
■ 認定または登録工場 (* R グレード以上 都登録 ランク)
■ 材料規格証明書または試験成績書
■ 鋼材 ■ 高力ボルト ■ 特殊ボルト □ 頭付スタッド
■ 社内検査表 □ ■ 溶接材料

(3) 工事監理者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
原寸検査 組立・開先検査 製品検査
建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること
東京都アーク溶接工事管理規程 (建築構造設計指針第12章)
鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
■ 日本建築学会「溶接工作規程、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII」
■ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
■ 完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	100 % 個	* 30 % 個	100 % 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目視及び計画)
■	外観 (目視) 検査	100 % 個	30 % 個	100 % 個	
□	マクロ試験・その他	個	個	個	* 第三者検査をもって工事監理者の確認とする

第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査を行う事。
注2) 現場溶接部は、超音波探傷試験を100%行う事。
■ 高力ボルトの検査 (検査結果は、後日工事監理者に報告すること)
軸力導入試験 □ 要 ■ 否 高力ボルトすべり係数試験 □ 要 ■ 否
■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常がないことを確認する。
■ トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンテールの断断を確認する。

(6) 防錆塗装
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、 JIS K5621、 JIS K5625、 JIS K5674 を使用して4つ塗、2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は急に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

■ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
■ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ50mm以上を原則とする。
■ 建築設備は、施行令第129条の2の4の規定に基づき、国交省1447号に基づく転倒防止等その他の措置を講じること。
■ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。又、地震力等に対して適切に支持されていること。
■ 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。

8. その他

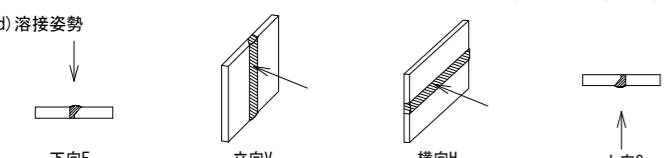
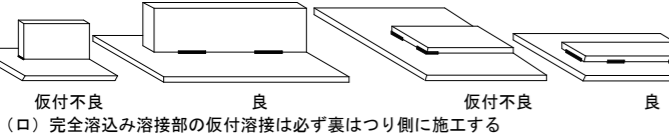
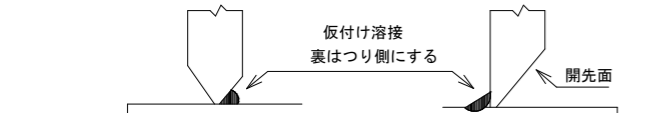
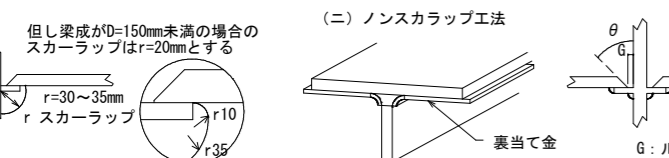
■ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

TITLE	芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)	MEMO		DATE	
ITEM	構造設計標準仕様	SCALE	N. S	CHECK	

S-01
NO

鉄骨構造標準図 (1)

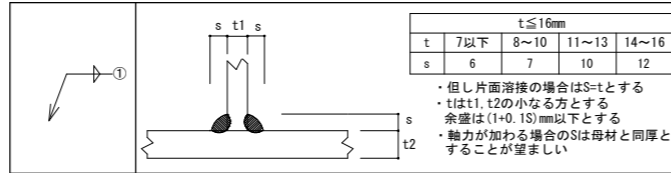
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る
 (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本締め使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてならない
- (4) 溶接接合
 (a) 溶接技能者
 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 (b) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアークウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 (c) 溶接方法
 アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアークウジング(AAG)
 (d) 溶接姿勢

 (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置
 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

 (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

 (f) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 II) エンドタブの材質は母材と同質とする
 III) エンドタブの長さは、MC:35mm以上、NGC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
 *フランジ端部の溶接は、バックステップは禁止し、フランジ外側から溶接を始める事。フランジ端部より外側に15mm程度確保でき、かつ、バスの数及び形状が確認できるものを標準仕様とする。参考:EGアークタブ(旭化成建材)等
 (ロ) 裏あて金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接6mm、半自動溶接で9mm以上とする
 裏あて金の組立溶接は、JASS6、鉄骨工事技術指針に従い、適切な施工を行う
 *スカラップは、(ハ)又は、(ニ)のいずれかとする。
 (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする。

 (ホ) 裏はつり
 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークをつける
 (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接基準図

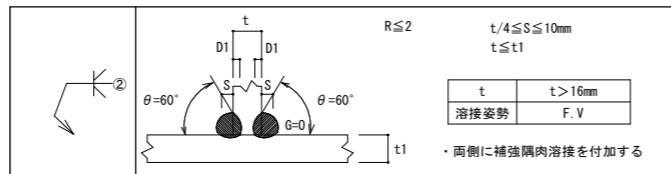
(注)f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

(1) 隅肉溶接



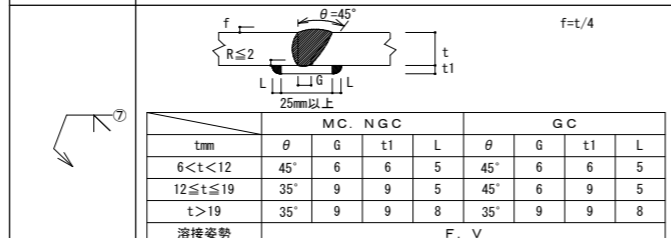
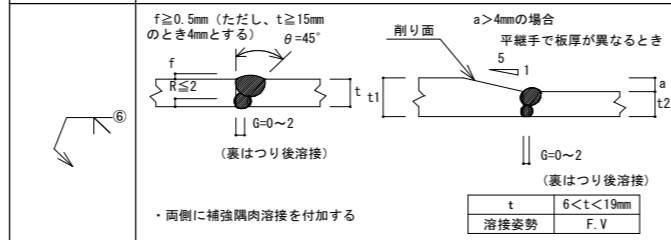
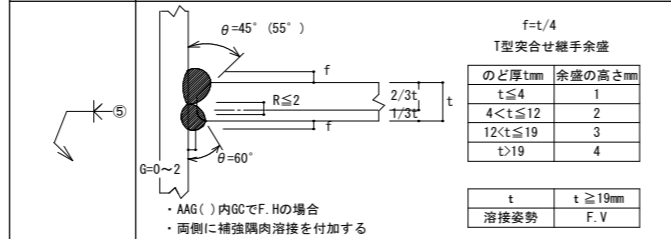
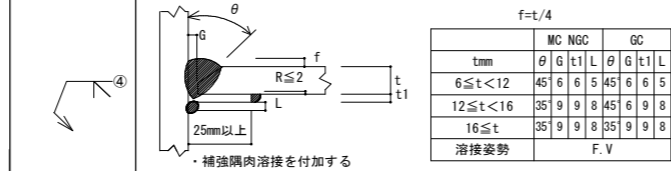
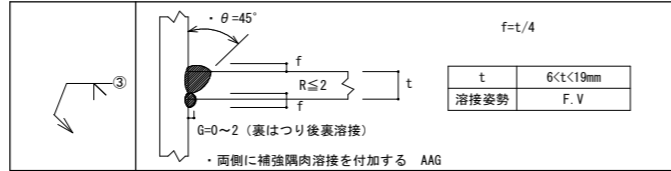
(2) 部分溶込み溶接

(使用箇所)に注意

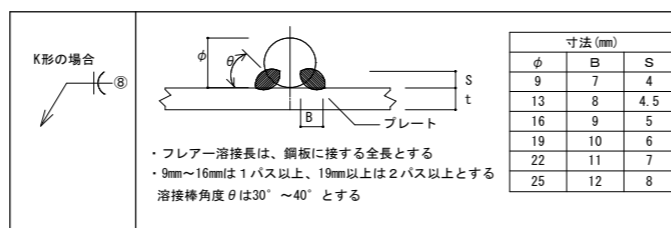


(3) 完全溶込み溶接

(平継手 T形継手)

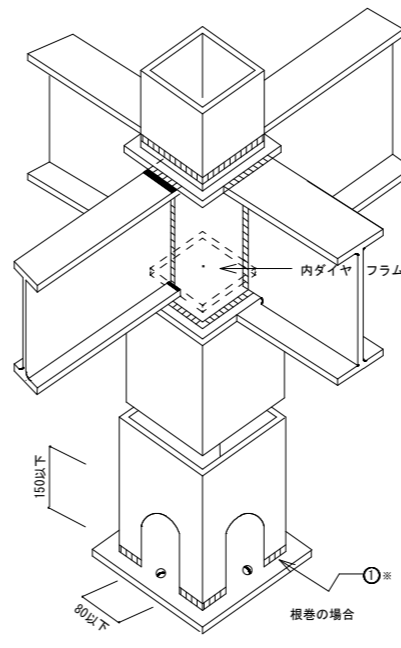


(4) フレア溶接

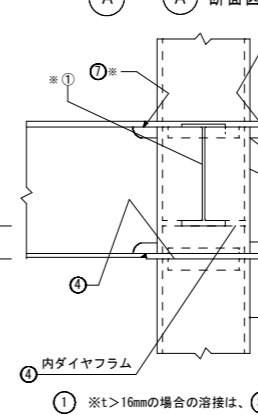


○ 溶接記号番号を○中に記入のこと

● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)

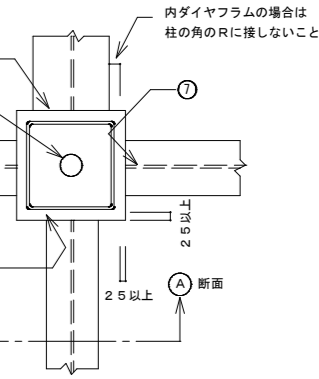


○ A-A 断面図



⑦ ※はフランジは、通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接する事。

平面詳細

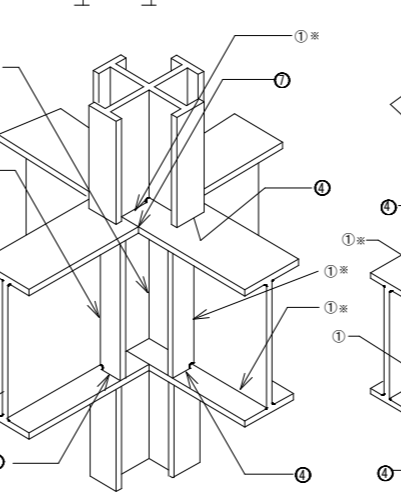


ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の2サイズアップ、かつ、上下柱最大厚以上とする事。
 内ダイヤフラム厚は、接合する梁の最大厚の1サイズアップとする。
 <柱材料: BCR295, BCP325を使用する場合>
 通しダイヤフラム板材は、SN490C、内ダイヤフラム板材はSN490Bとする。
 その他、構造設計標準仕様書(使用構造物材料)、鉄骨詳細図に従う

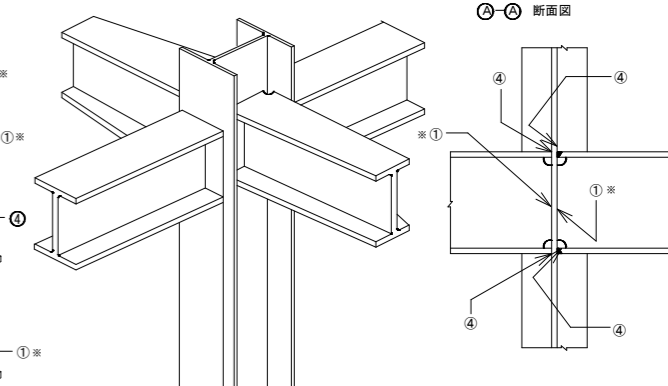
● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	バス温度差(°C)
400級鋼	JIS Z 3212, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		
490級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGW-18, 19		
	YGA-50W, 50P		

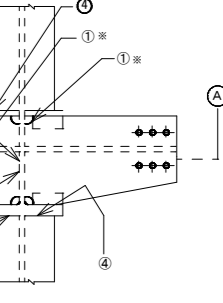
● H型



● B. H方式



○ A-A 断面図



① ※t>16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務)

MEMO

DATE

ITEM 鉄骨構造標準図(1)

SCALE N.S

CHECK

NO S-02

鉄骨構造標準図 (2)

3. 継手標準図、その他

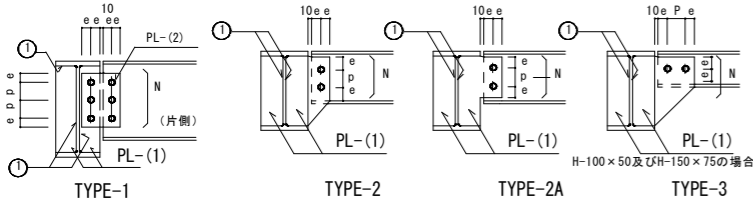
(1) ボルトピッチ (P)

ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小 標準
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	32	45	70

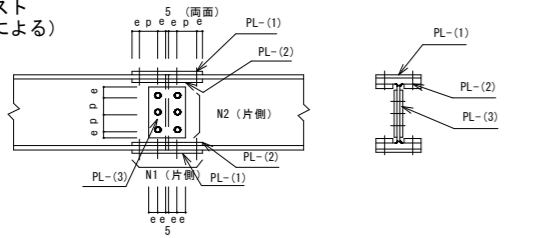
- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上げ線の場合の縁端距離

(2) 引張材接合継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
鉄骨部材リストによる					
* リストに特記なき場合、縁端距離、ピッチは、上表の標準による					

(3) 剛接合継手リスト (SCSS-H97による)

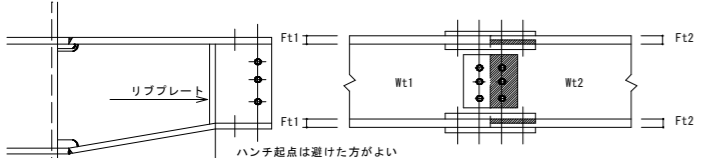


注) 端部をBHとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

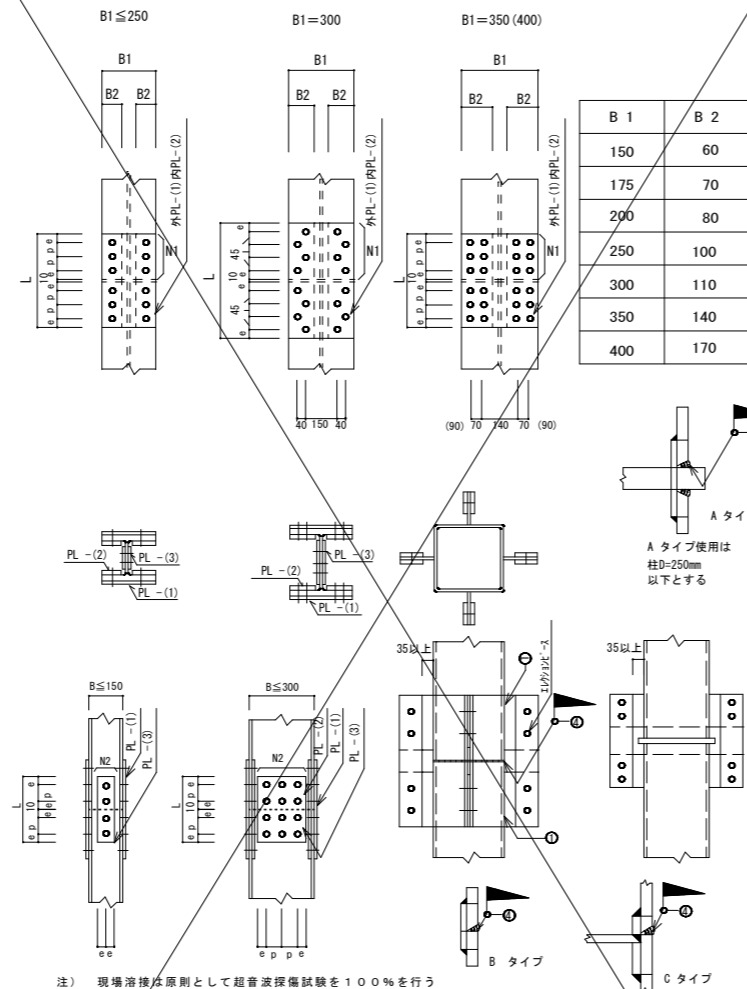
(4) ハンチ部の継手

フランジ及ウェブ厚の差のある場合



ハンチ勾配は普通 1 : 4 程度であるが構造図による $Ft1-Ft2$ $Wt1-Wt2 \ge 1mm$ フィラプレート併用のこと

(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース

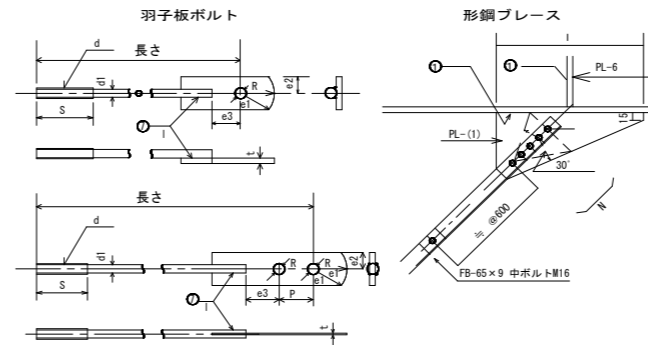
(a) 羽子板ボルト JIS規格品とする... (JIS A5540...1982/5541・5542...1993)

ねじの呼び	(d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
		軸径d1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175	
取付ボルト穴径	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5	
許容差+0.0-0.5mm									
はしあき(最小)	(2) e1	3.5	4.0	4.5	5.0	5.0	5.5	5.0	
切板製	へりあき(最小)	(1) e2	2.2	2.8	2.8	3.4	3.4	3.8	3.8
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
平鋼製	へりあき(最小)	(1) e2	1.9	2.5	2.5	3.2.5	3.2.5	3.7.5	3.7.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9	
ボルト端から取付ボルト穴心のあき(最小)	e3	4.7	5.2	5.9	6.6	6.6	7.3	7.0	
溶接長さ(最小)	l	4.0	5.0	5.5	6.0	7.5	8.5	8.5	
取付ボルト	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g10.9							
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20	
本数		1	1	1	1	1	1	2	

- 注 (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガゼットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

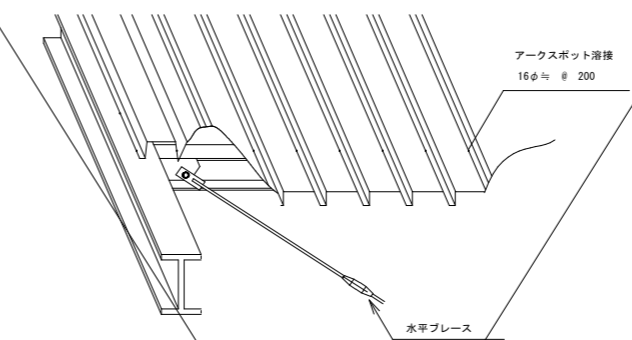
(b) 形鋼ブレース他

符号	部材	PL-(1) 厚さ×必要幅	N-径	必要溶接長 L (mm)		
				TYPE① L	TYPE② L	TYPE③ L=1+1+2
	1-M20	9×80	1-M20	97	65	81

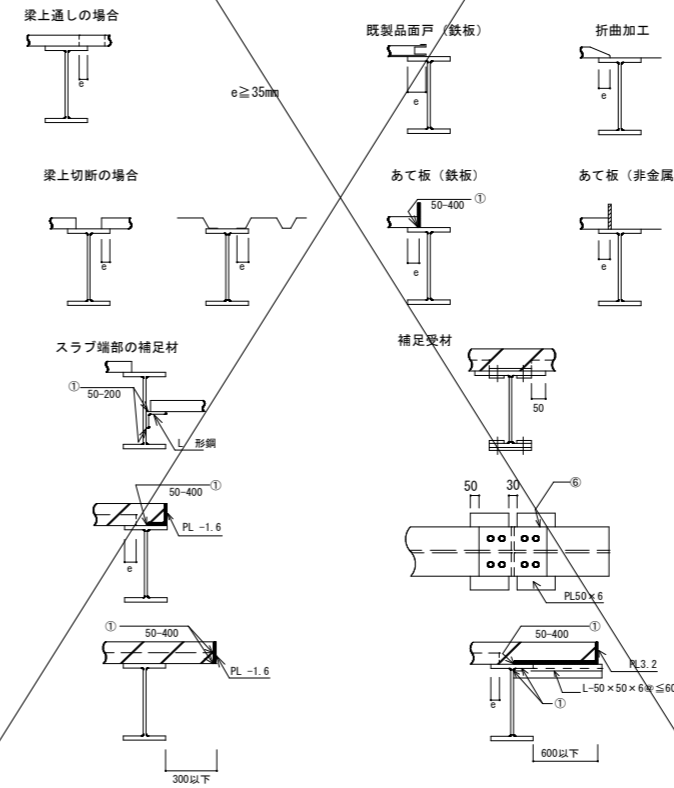


(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のとき構造図を参照)

梁との溶接およびコンネクター

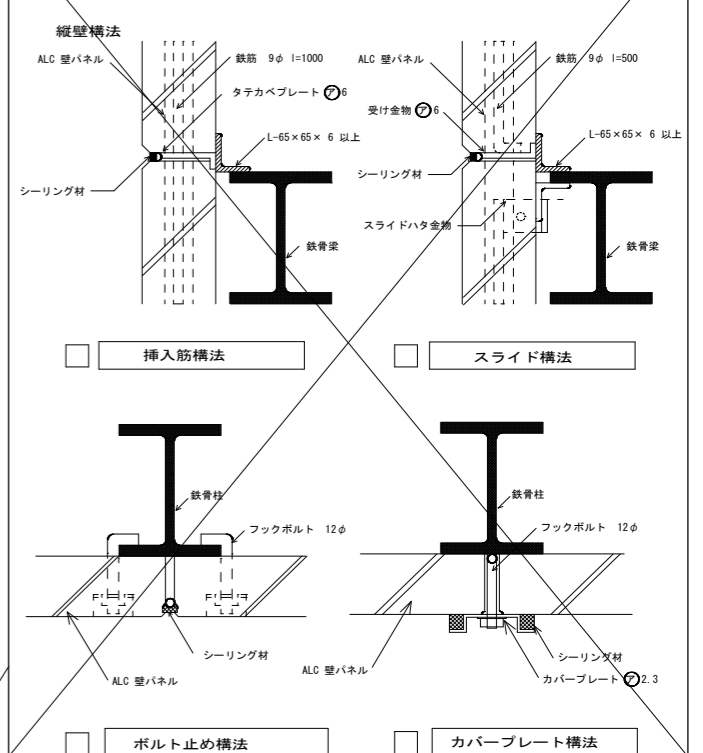


受梁へのかかり寸法および端部処理



(8) ALC板取付要領

縦壁ロッキング工法 (GDR工法、又は、同等の変形追従性の構法) によること



(9) 頭付きスタッド (JIS 1198)

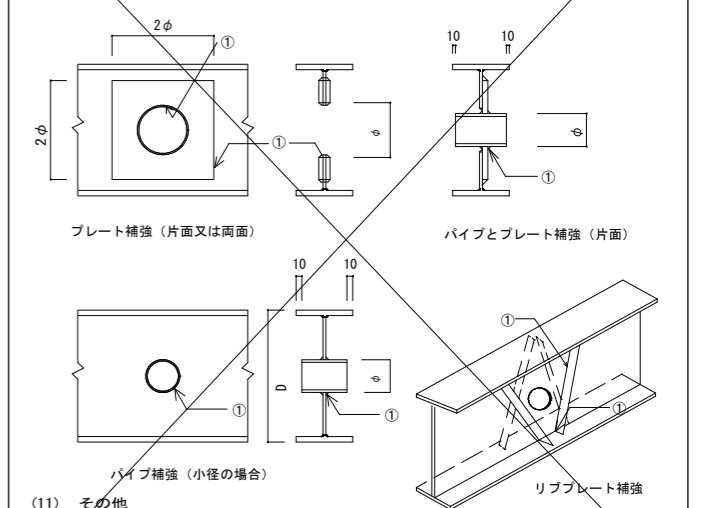
スタッド材の標準形状・寸法

形状	呼び名	スタッド材			
		軸径 d mm	頭高 D mm	頭高 T mm	溶接後の長さ L mm
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130	
	12.7	25.4	7.9		
φ16mm	16.0	29.0	10.0	100, 130	
	15.8	31.7	7.9		
φ19mm	19.0	32.0	10.0	100, 130, 150	
	19.0	31.7	9.5		
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150	
	22.2	34.9	9.5		

(10) 梁貫通補強

原則、既製品を使用する

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
- 梁端部(スパンの1/10以内かつ2D以内)は避ける
- φ ≤ 0.4D



(11) その他

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

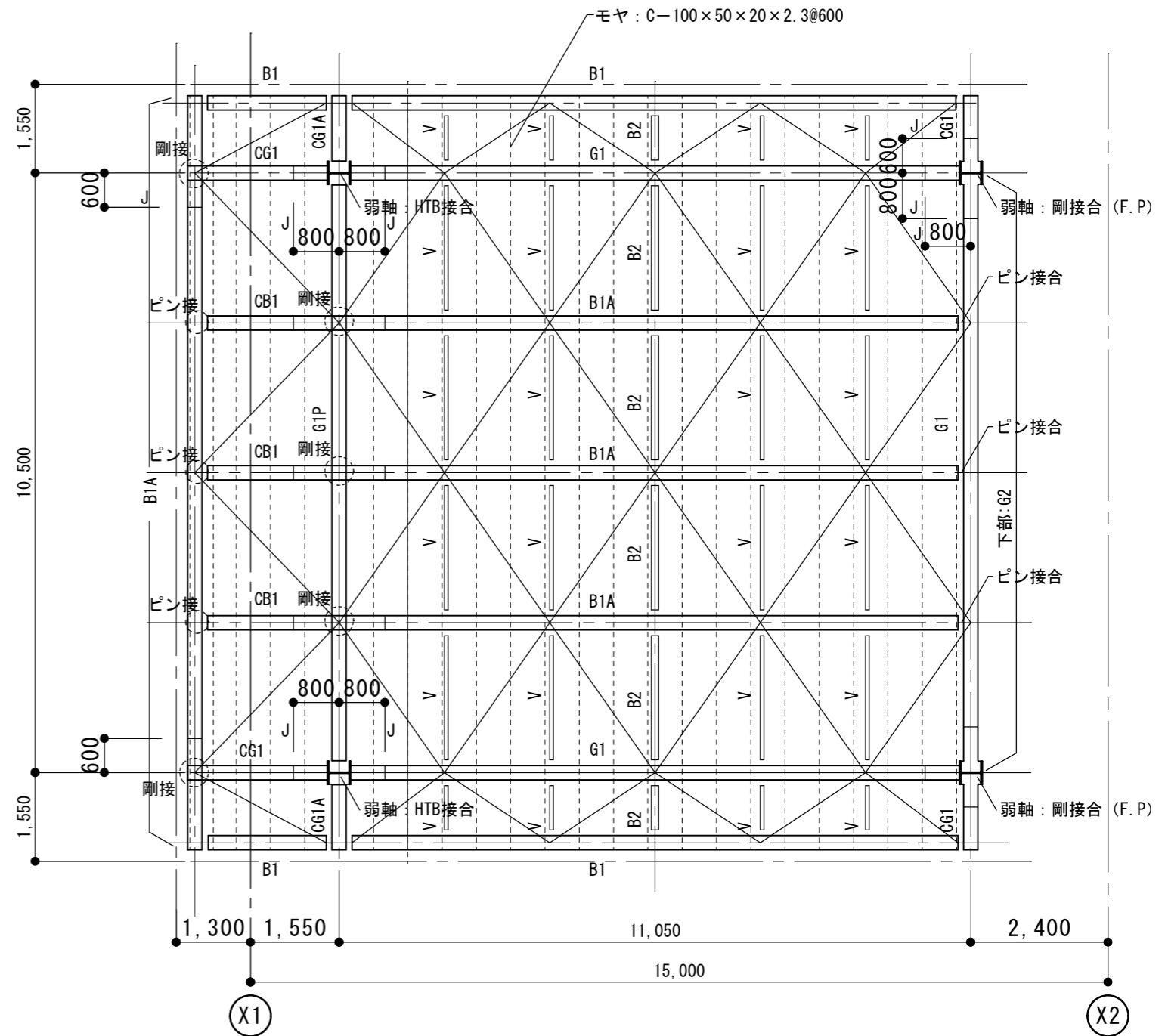
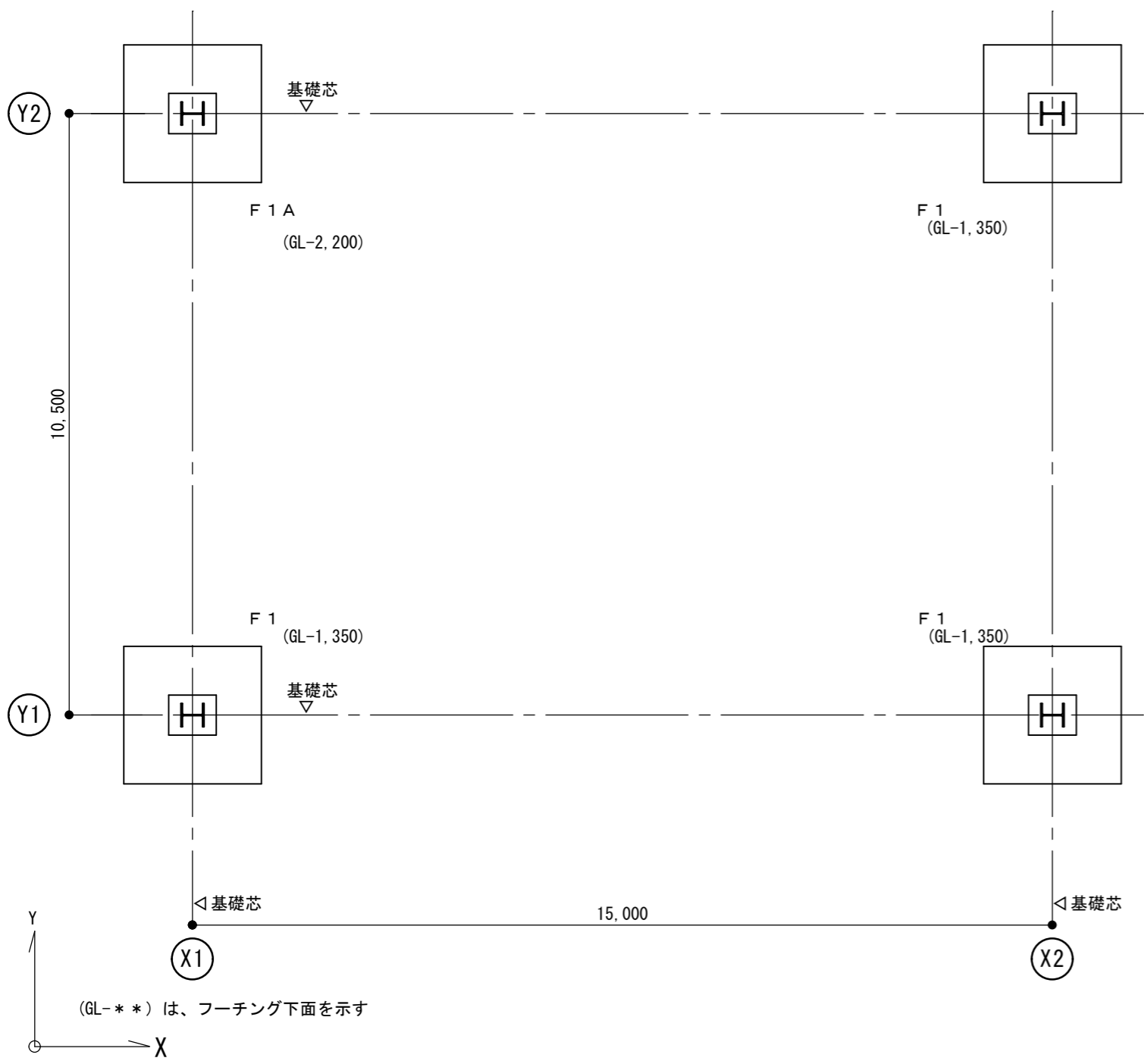
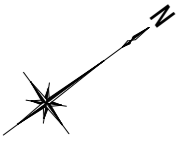
MEMO

DATE

ITEM 鉄骨構造標準図 (2)

SCALE N. S

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 基礎伏図・屋根梁伏図

MEMO

SCALE 1 : 100

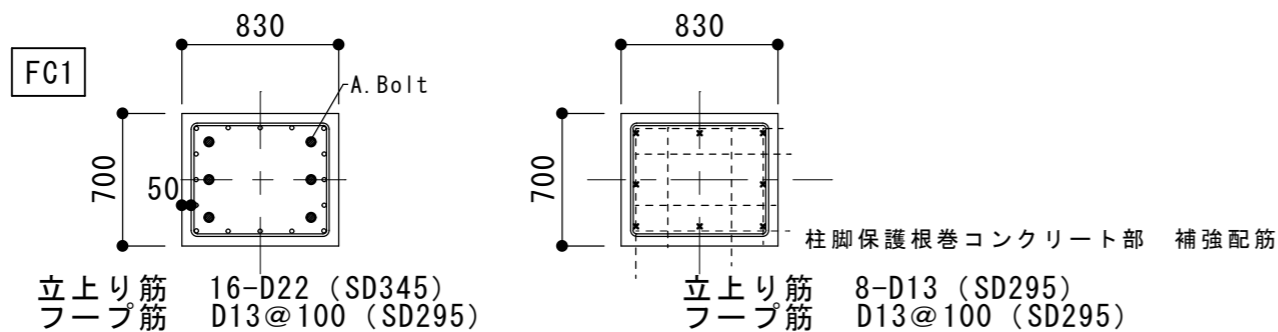
DATE

CHECK

NO S-04

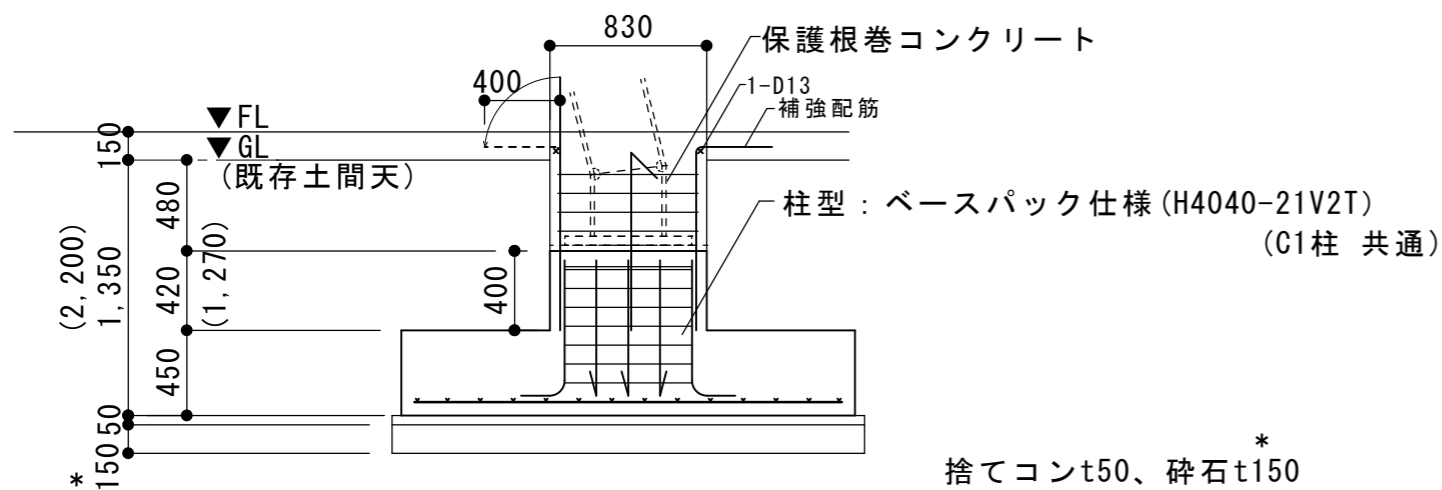
F1・(F1A)

()内寸法は、F1A (フーチング下面=S. GL-2, 200) を示す。

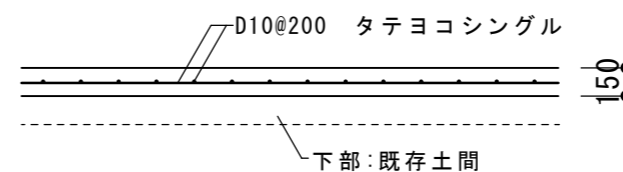


共通事項

ボーリング調査にて支持層を確認すること。
 長期設計地盤支持力度は、フーチング地業下面にて、80KN/m²以上とする。
 支持層がフーチング下面より深い場合、監理者と協議の上、フーチング下面から支持層までを地盤改良層とする等、必要な対策を講じることとする。

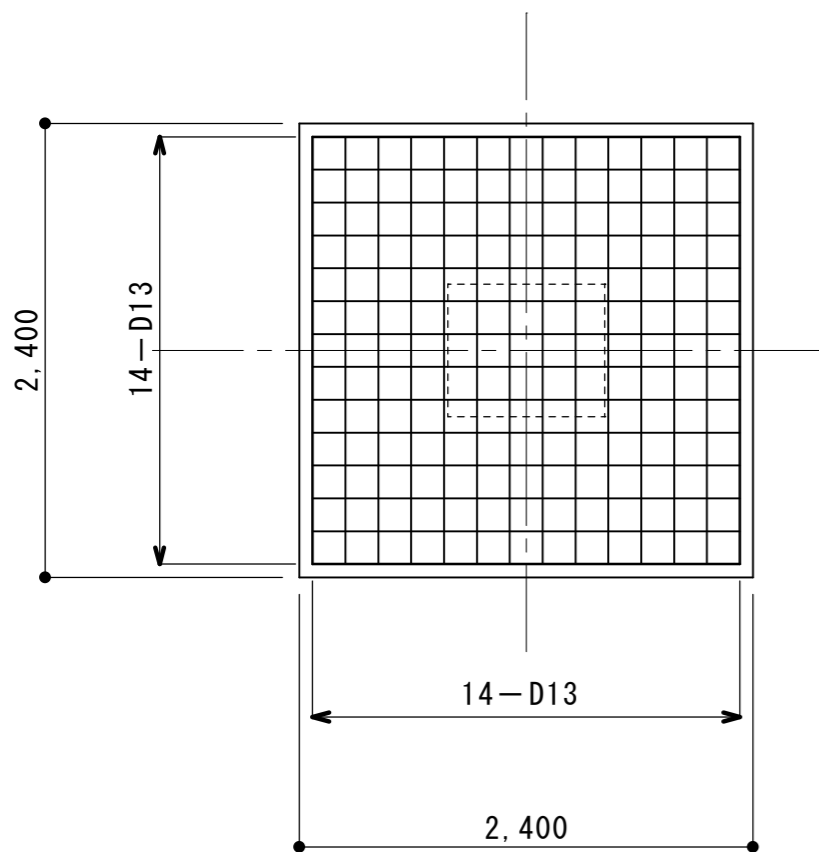


新設土間配筋



*
 捨てコンt50、砕石t150

* フーチング下面より支持層までを地盤改良層の対策とする場合、不要とする。



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

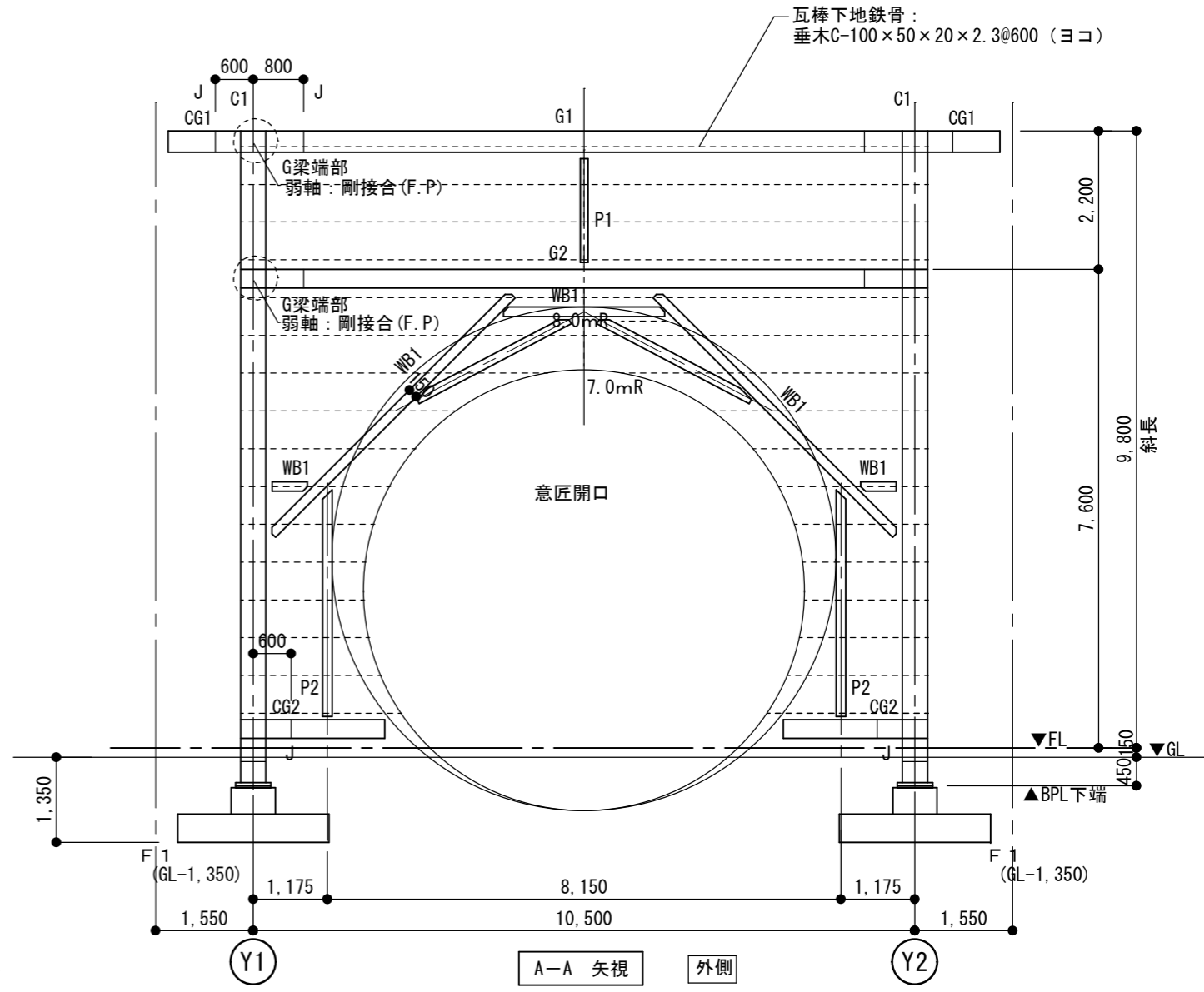
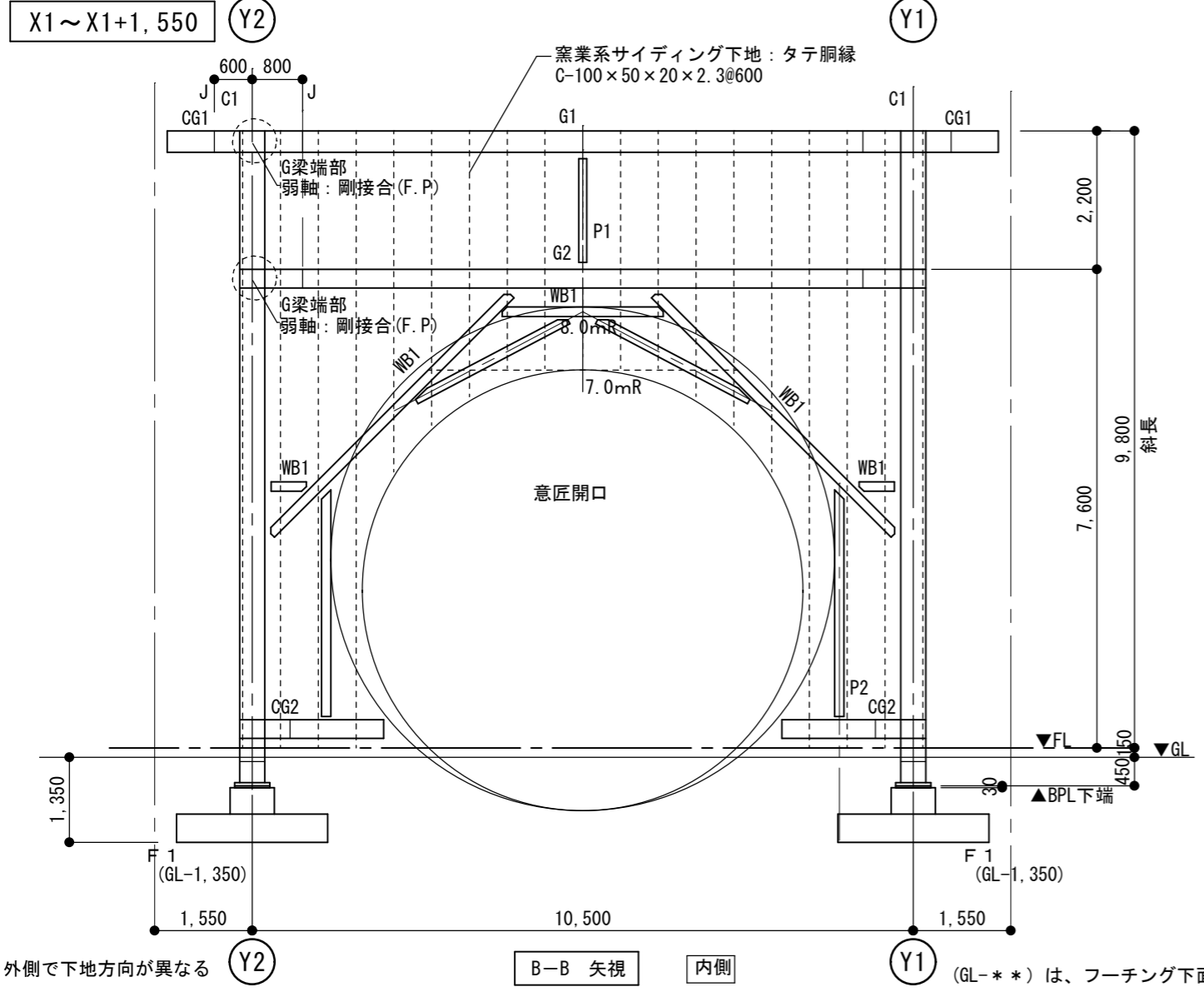
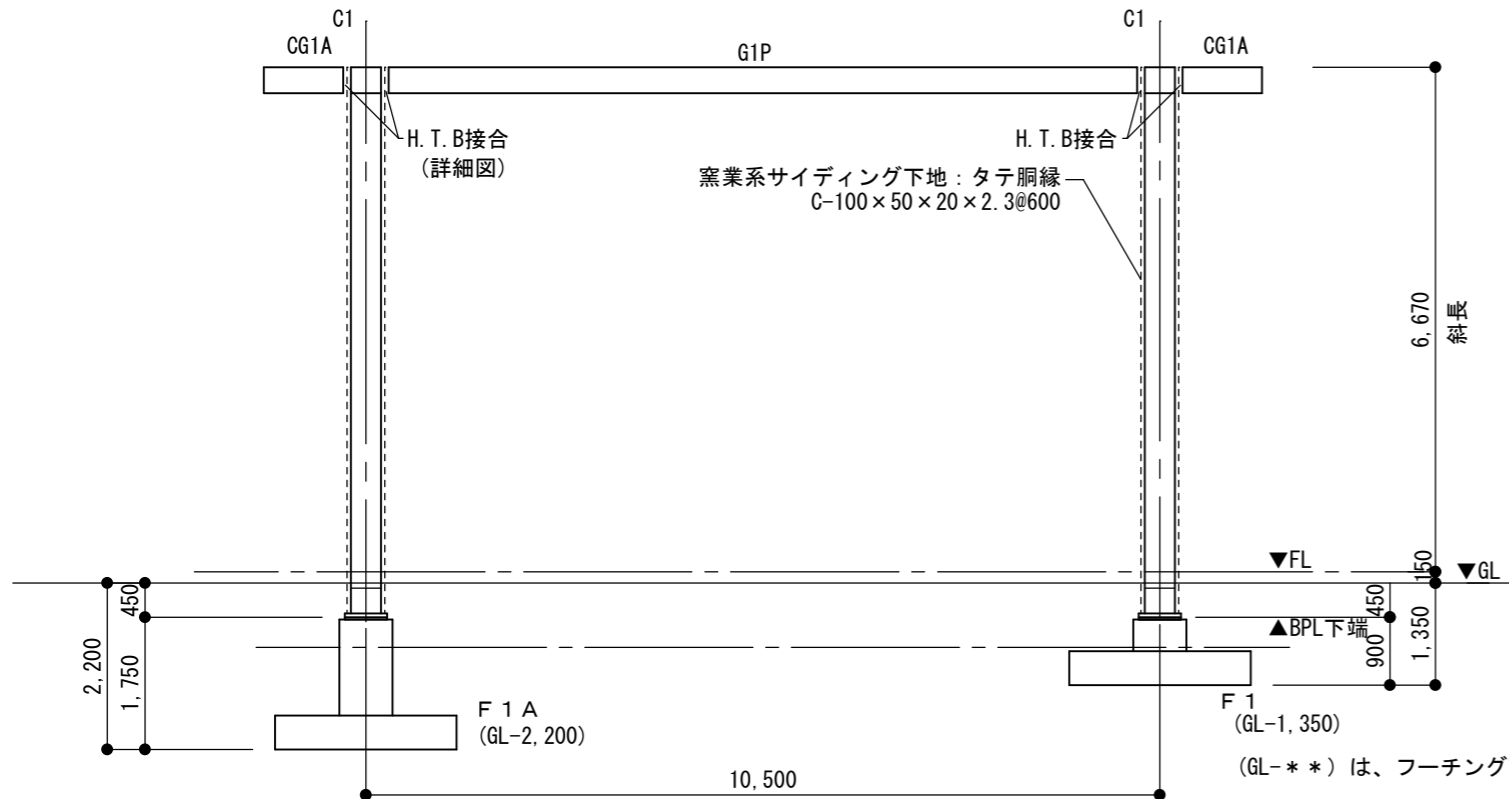
MEMO

DATE

ITEM 基礎リスト

SCALE 1 : 40

CHECK



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 軸組図

MEMO

SCALE 1 : 100

DATE

CHECK

NO S-06

主柱リスト	
符号	C1
1 階	H-400×400 × 13 × 21 (SN400B)
柱脚	
ベースプレート	ベースバック : H4040-21V2
アンカーボルト	6-D41 (BPM-SD390)
RC柱型	FC1
柱型立上り断面	830×700
立上り配筋	16-D22 (SD345)
フープ筋	D13@100 (SD295)

間柱リスト		
符号	P1	P2
主材	H-250×125×6×9	H-300×150×6.5×9
断面		
接合部	PL-9、2-M20	PL-9、3-M20
BASE PL H.T.B	—	B. PL-12×330×180 (SS400) H.T.B 4-M20

鉄骨大梁リスト				
階	符号	位置	主材	備考
RSL	G1	全断面	H-340×250×9×14	柱強軸方向、柱弱軸方向へ共に剛接合(F.P)とする
	G1P	全断面	H-340×250×9×14 (SM490A)	柱弱軸方向との接合はピン接合とする GPL-16、9-M22 (3行×3列) @80
	G2	全断面	H-300×300×10×15	柱強軸方向、柱弱軸方向へ共に剛接合(F.P)とする

高力ボルトの配置		高力ボルト配列			
*継手は、SCSS-97「鉄骨構造標準接合部」H形鋼編に従う		ボルト径	P1	P2	e
フランジ	100<B<300 1列	M16	60	/	40
	B=300 1列 チドリ	M20・M22	60	45	40
ウェブ	1列	フランジ幅	g1	g2	備考
		100	56	/	/
	125	75	/	/	
	150	90	/	/	
	175	105	/	/	
	200	120	/	/	
	250	150	/	/	
	300	150	40	フランジの高力ボルトは千鳥打ち	
2列	350	140	70	フランジの高力ボルトは2列打ち	
	400	140	90		

TITLE	芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）
ITEM	鉄骨部材リスト

特記外、鉄骨材質：SS400、H.T.B：S10T G.PL SS400 軽量溝形鋼：SSC400
 ピン継手は、ボルト穴径、最小縁端距離、ボルトピッチ（標準）は構造標準図に依る。GPL形状はTYPE-2を原則とする。
 Z付きは、溶融亜鉛めっき処理を示す () 内、ボルト配列：行×列 (m×n)

鉄骨二次部材リスト			
符号	鉄骨主材	継手	備考
B1	H-340×250×9×14	GPL-9、3-M20 (3×1)	
B2	H-250×125×6×9	GPL-9、2-M20 (2×1)	
B1A	H-340×250×9×14	GPL-9、3-M20 (3×1)	SN400 片端部剛接合
CG1	H-340×250×9×14		SN400 片持ち梁 柱接合は、剛接合
CB1	H-244×175×7×11		SN400 片持ち梁 梁接合は、剛接合
CG1A	H-340×250×9×14	GPL-16 9-M22 (3×3) @80	片持ち梁 柱接合は、H.T.B接合による
WB1	H-340×250×9×14	GPL-9、3-M20 (3×1)	
V	[-125×65×6×8	GPL-6、2-M16 (1×2)	天端：G梁天端-50 TYPE-2A
屋根・庇ブレース	1-M20 (JIS仕様品)	GPL-9、1-M20	ターンバックル付 GPL 必要幅B≥80mm 溶接サイズ 8mm

鉄骨継手リスト							
鉄骨主材	フランジ				ウェブ		
	ボルト	ゲージ		外PL	内PL	ボルト	PL寸法
	n _F × m _F	g1	g2	厚×長さ	厚×幅	n _F × m _F	P _C 厚×幅×長さ
H-340×250×9×14	4×2-M20	150		12×530	12×100	3×2-M20	60 9×200×290

ガセットプレート取合い標準図 *GPL必要幅、必要溶接長さ（最小値）は、鉄骨構造標準図(2)に記載

必要溶接長 (L=溶接長, L_e=有効溶接長)
 溶接長さは、必要溶接長さ(最小値)以上を確保すること。

TYPE ① TYPE ② TYPE ③

2S以上 2S以上 L2 ←母材面を示す

$L \geq L_e$ $L \geq \frac{L_e}{2} + 2S$ $L1, L2 \geq \frac{L_e}{4} + 2S$

*TYPE①は、母材（柱梁）への偏心曲げを考慮して採用すること。

G.PL必要幅：B

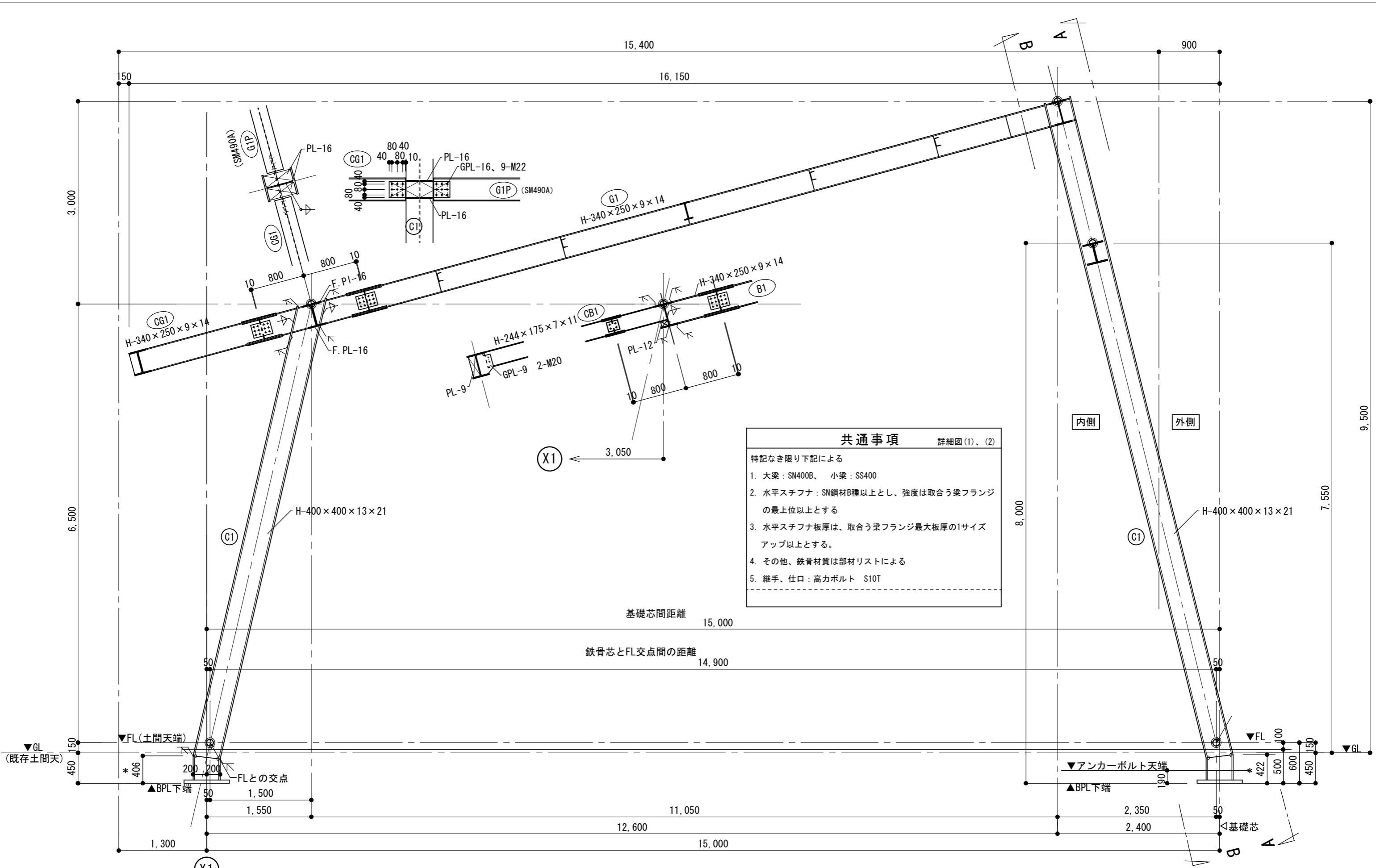
30°

Bは耐力に必要なG.PL幅を示す。

ただしBはB_eの範囲内とし、これを越える部分は構造計算上、無効とする。
 (左図ハッチング部分が無効)

B_e：有効幅最大範囲を示す
 ボルト列より30度以内

MEMO		DATE	
SCALE	1:50	CHECK	



共通事項	
特記なき限り下記による	
1.	大梁：SN400B、 小梁：SS400
2.	水平スチフナ：SN鋼材B種以上とし、強度は取合う梁フランジの最上位以上とする
3.	水平スチフナ板厚は、取合う梁フランジ最大板厚の1サイズアップ以上とする。
4.	その他、鉄骨材質は部材リストによる
5.	継手、仕口：高力ボルト S10T

TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事（建築主体）（債務）

ITEM 鉄骨架構詳細図（1）

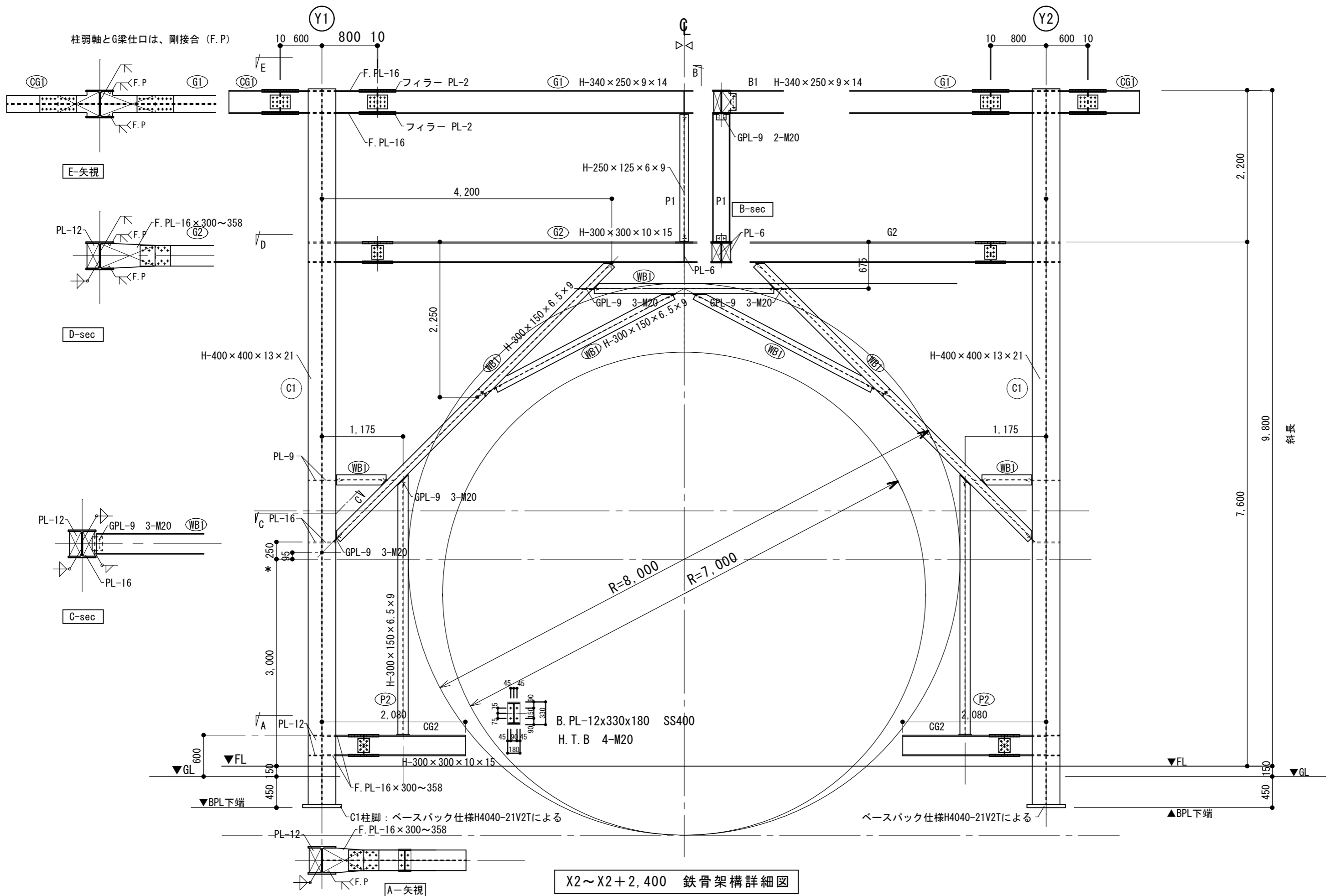
MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

NO S-08



TITLE 芦川グリーンロッジ改修工事 (建築主体) (債務)

ITEM 鉄骨架構詳細図 (2)

MEMO

SCALE 1 : 50

DATE

CHECK

NO S-09